

台東区
区民満足度調査

平成 19 年 3 月

台東区

「台東区 区民満足度調査」について

区民の皆さまには、日頃より区政にご協力いただきありがとうございます。

このたび「平成18年度 台東区 区民満足度調査」の結果につきまして、取りまとめをいたしましたのでご報告いたします。

この調査は、子育て・教育、文化の充実、健康と福祉、産業振興など、区のさまざまな取り組みについて、区民の皆さまのお考えをお聞きしたものです。

調査の実施にあたりましては、区内にお住まいの満20歳以上の方から無作為に1,000名を選ばせていただきました。調査にご協力いただきました皆さまに、深く感謝いたします。

調査の内容は、台東区基本構想、長期総合計画の各分野につきまして、区民の皆様が、どの分野を重要と考えるか、各分野における満足度はどうか、そして、今後、各分野について、どのような取り組みが大切と考えるか、などをお伺いいたしました。

なお、調査結果はすべて個人が特定できないよう統計的に処理しておりますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

この調査結果を受けまして、今後、長期総合計画等の取り組みを、より一層充実してまいりたいと存じますので、よろしく、お願い申し上げます。

平成19年3月

台東区企画財政部 企画課

～ 目 次 ～

調査の概要	2
1．目的	2
2．対象	2
3．期間	2
4．内容	2
5．調査方法	2
6．報告書の見方	3
7．調査ブロック	4
8．回答者の属性	5
調査結果の分析	9
1 産業を振興するための取り組み	9
(1) 産業の振興についての重要度	9
(2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度	13
(3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの	16
2 観光を振興するための取り組み	20
(1) 観光の振興についての重要度	20
(2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度	23
(3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの	25
3 文化を振興するための取り組み	28
(1) 文化の振興についての重要度	28
(2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度	31
(3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの	34
4 まちづくりのための取り組み	38
(1) まちづくりについての重要度	38
(2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度	41
(3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの	44
5 環境対策のための取り組み	48
(1) 環境対策についての重要度	48
(2) 環境対策への区の取り組みについての満足度	51
(3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの	53
(4) 環境に配慮した行動への取り組み	56

6	生涯学習のための取り組み	58
	(1) 生涯学習についての重要度	58
	(2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度	61
	(3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの	63
	(4) 生涯学習への取り組み	66
	(5) スポーツの頻度	68
7	健康づくりのための取り組み	70
	(1) 健康づくりについての重要度	70
	(2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度	73
	(3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの	75
8	福祉のための取り組み	79
	(1) 福祉についての重要度	79
	(2) 福祉のための区の取り組みについての満足度	82
	(3) 福祉のための取り組みとして大切なもの	84
9	子育てのための取り組み	88
	(1) 子育てについての重要度	88
	(2) 子育てのための区の取り組みについての満足度	91
	(3) 子育てのための取り組みとして大切なもの	93
	(4) 子育てについて	97
	(5) 子育てへの自信	99
10	教育のための取り組み	102
	(1) 教育の重要度	102
	(2) 教育のための区の取り組みについての満足度	105
	(3) 教育のための取り組みとして大切なもの	108
11	パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み	112
	(1) パートナーシップについての重要度	112
	(2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度	115
	(3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの	118
	(4) 地域の活動の状況と今後の活動予定	122
	(5) ボランティアやNPO活動と今後の活動予定	126

12	行政経営のための取り組み	130
(1)	行政経営についての重要度	130
(2)	行政経営のための区の取り組みについての満足度	133
(3)	行政経営のための取り組みとして大切なもの	135
	【重要度と満足度の項目間比較】	138
	【重要度と満足度の相関】	140
13	施策の優先順位について	150
(1)	今後、区が優先的に力を入れていくべき施策	150
14	区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）	156
	調査票	170

調査の概要

調査の概要

1. 目的

長期総合計画の施策に対する、区民の満足度等を調査することにより、区が実施している施策の改善を図る。加えて、調査結果を今後の区政における資料として活用する。

2. 対象

満 20 歳以上の区民 1,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為抽出

3. 期間

平成 18 年 7 月 27 日（木）～ 8 月 25 日（金）

4. 内容

- (1) 産業を振興するための取り組み
- (2) 観光を振興するための取り組み
- (3) 文化を振興するための取り組み
- (4) まちづくりのための取り組み
- (5) 環境対策のための取り組み
- (6) 生涯学習のための取り組み
- (7) 健康づくりのための取り組み
- (8) 福祉のための取り組み
- (9) 子育てのための取り組み
- (10) 教育のための取り組み
- (11) パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み
- (12) 行政経営のための取り組み
- (13) 施策の優先順位について
- (14) 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

5. 調査方法

郵送配布 - 訪問回収

（訪問回収にあたっては、区職員が 300 件の回収を担当）

【回収結果】

- ・ 標本数 1,000 件
- ・ 有効回収数 689 件
- ・ 有効回収率 68.9%

6 . 報告書の見方

〔この報告書における表・グラフの見方〕

- 図表の中の n とは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率は n を 100% とした百分比で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が 100% に満たない、または上回ることがある。
- 1 人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100% を上回ることがある。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。
- n が小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、n が 25 未満の場合は注意を要する。したがって、n が 25 を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、下式によって得られ、比率算出の基数（n）および 回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N = 母集団数
 n = 比率算出の基数
 p = 回答の比率

回答の比率 (p) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
689	± 3.2	± 4.3	± 4.9	± 5.3	± 5.4
600	± 3.5	± 4.6	± 5.3	± 5.7	± 5.8
500	± 3.8	± 5.1	± 5.8	± 6.2	± 6.3
400	± 4.2	± 5.7	± 6.5	± 7.0	± 7.1
300	± 4.9	± 6.5	± 7.5	± 8.0	± 8.2
200	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	± 10.0

(注) 1 . 表は $\frac{N - n}{N - 1} \times 1$ として算出した。

2 . 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。

3 . この表の見方は次のとおりである。

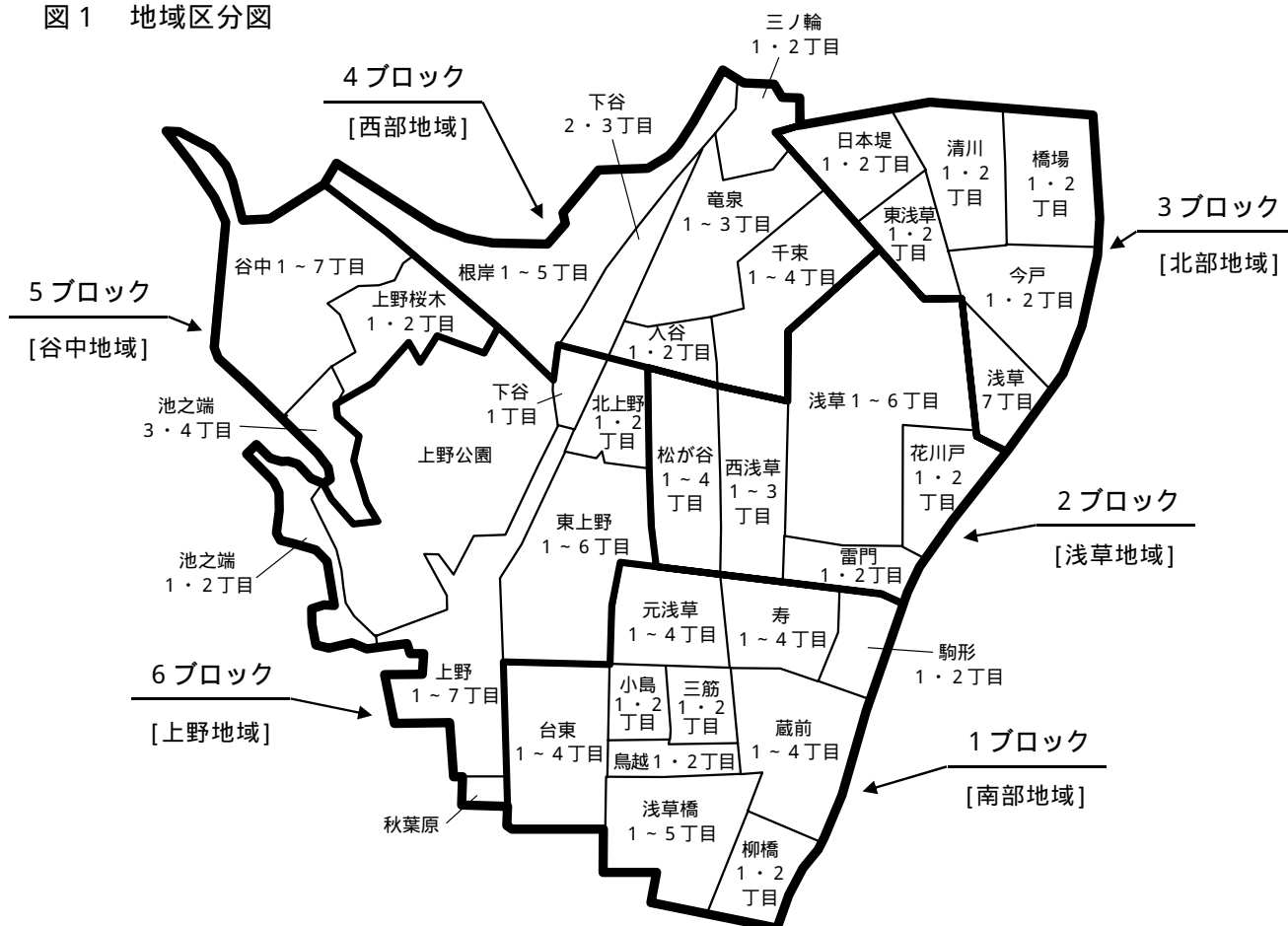
「ある設問の回答者が 689 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 70% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 4.9% である。」

7. 調査ブロック

この調査では、地域別の分析を行うために下記のとおり調査ブロックを設定した。なお、この報告書では理解を助けるために、便宜上、調査ブロックの後に[]で地域名を付した。

調査ブロック	該当町丁目
1ブロック [南部地域]	柳橋1・2丁目、浅草橋1～5丁目、蔵前1～4丁目、台東1～4丁目、小島1・2丁目、鳥越1・2丁目、三筋1・2丁目、元浅草1～4丁目、寿1～4丁目、駒形1・2丁目
2ブロック [浅草地域]	松が谷1～4丁目、西浅草1～3丁目、雷門1・2丁目、浅草1～6丁目、花川戸1・2丁目
3ブロック [北部地域]	今戸1・2丁目、浅草7丁目、東浅草1・2丁目、清川1・2丁目、日本堤1・2丁目、橋場1・2丁目
4ブロック [西部地域]	千束1～4丁目、竜泉1～3丁目、三ノ輪1・2丁目、入谷1・2丁目、下谷2・3丁目、根岸1～5丁目
5ブロック [谷中地域]	上野桜木1・2丁目、谷中1～7丁目、池之端3・4丁目
6ブロック [上野地域]	上野1～7丁目、秋葉原、東上野1～6丁目、北上野1・2丁目、下谷1丁目、池之端1・2丁目、上野公園

図1 地域区分図

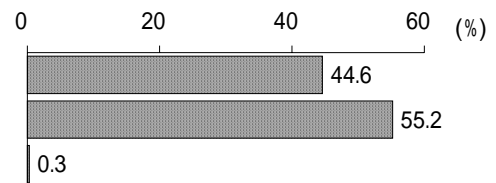


8 . 回答者の属性

(1) F 1 性別

n=(689)

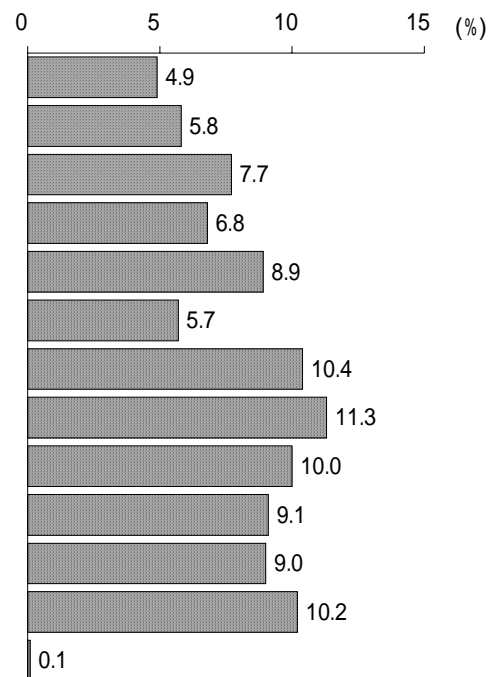
	基数	構成比
1 . 男性	307	44.6%
2 . 女性	380	55.2
(無回答)	2	0.3
全 体	689	100.0



(2) F 2 年齢

n=(689)

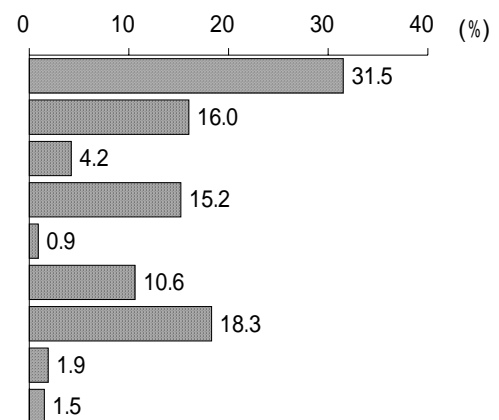
	基数	構成比
1 . 20 ~ 24 歳	34	4.9%
2 . 25 ~ 29 歳	40	5.8
3 . 30 ~ 34 歳	53	7.7
4 . 35 ~ 39 歳	47	6.8
5 . 40 ~ 44 歳	61	8.9
6 . 45 ~ 49 歳	39	5.7
7 . 50 ~ 54 歳	72	10.4
8 . 55 ~ 59 歳	78	11.3
9 . 60 ~ 64 歳	69	10.0
10 . 65 ~ 69 歳	63	9.1
11 . 70 ~ 74 歳	62	9.0
12 . 75 歳以上	70	10.2
(無回答)	1	0.1
全 体	689	100.0



(3) F 3 職業

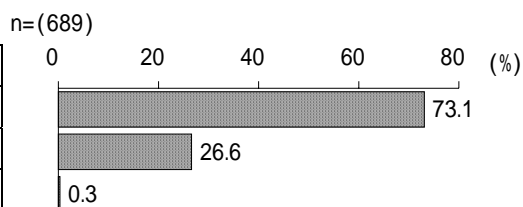
n=(689)

	基数	構成比
1 . 会社員・公務員	217	31.5%
2 . 自営業・自由業	110	16.0
3 . 会社経営者	29	4.2
4 . 家事専業	105	15.2
5 . 学生	6	0.9
6 . アルバイト・パート	73	10.6
7 . 無職	126	18.3
6 . その他	13	1.9
(無回答)	10	1.5
全 体	689	100.0



(4) F4 同居者の有無

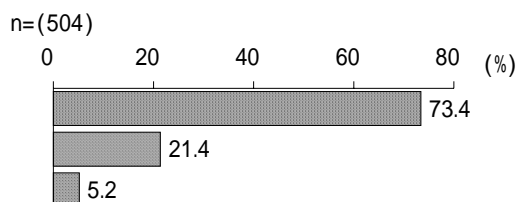
	基数	構成比
1.いる	504	73.1%
2.いない	183	26.6
(無回答)	2	0.3
全体	689	100.0



(5) F5 同居者

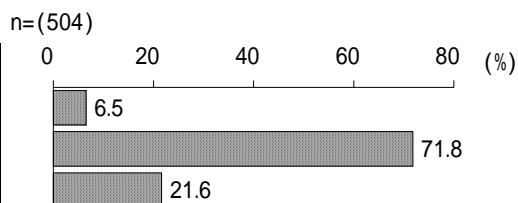
《配偶者》

	基数	構成比
1.いる	370	73.4%
2.いない	108	21.4
(無回答)	26	5.2
全体	504	100.0



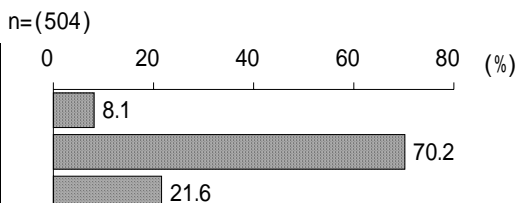
《小学校入学前のお子さん》

	基数	構成比
1.いる	33	6.5%
2.いない	362	71.8
(無回答)	109	21.6
全体	504	100.0



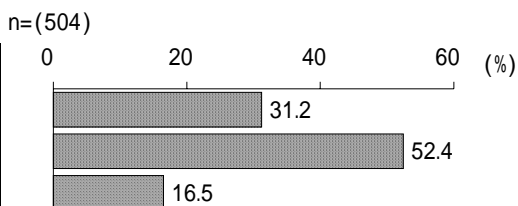
《小・中学生》

	基数	構成比
1.いる	41	8.1%
2.いない	354	70.2
(無回答)	109	21.6
全体	504	100.0



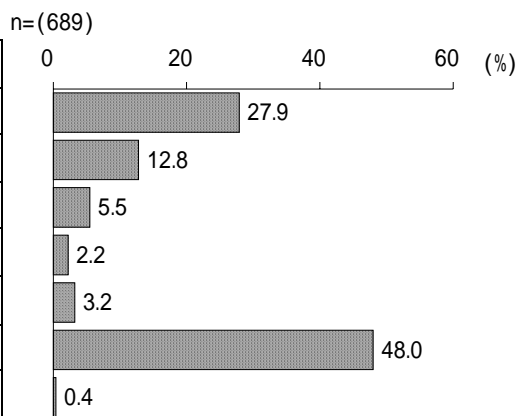
《65歳以上の方》

	基数	構成比
1.いる	157	31.2%
2.いない	264	52.4
(無回答)	83	16.5
全体	504	100.0



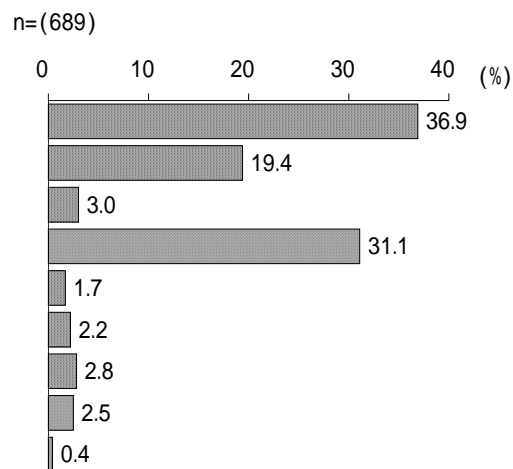
(6) F 6 居住年数

	基数	構成比
1 . 1年未満	192	27.9%
2 . 1～5年	88	12.8
3 . 6～10年	38	5.5
4 . 11～15年	15	2.2
5 . 16～20年	22	3.2
6 . 21年以上	331	48.0
(無回答)	3	0.4
全 体	689	100.0



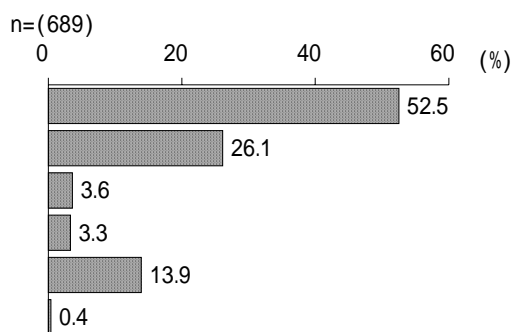
(7) F 7 住居形態

	基数	構成比
1 . 一戸建て持家	254	36.9%
2 . 分譲マンション	134	19.4
3 . 一戸建て借家	21	3.0
4 . 賃貸アパート・マンション	214	31.1
5 . 公営住宅	12	1.7
6 . 社宅等	15	2.2
7 . 同居、間借り	19	2.8
8 . その他	17	2.5
(無回答)	3	0.4
全 体	689	100.0



(8) F 8 定住意向

	基数	構成比
1 . 住み続けるつもりである	362	52.5%
2 . できれば住み続けたい	180	26.1
3 . できれば移転したい	25	3.6
4 . 移転するつもりである	23	3.3
5 . わからない	96	13.9
(無回答)	3	0.4
全 体	689	100.0



調査結果の分析

1. 産業を振興するための取り組み

台東区には、さまざまな産業が集まっています。上野、浅草など、大きな商業地があります。しかし、小さな会社や商店が多く、景気などの影響を受けやすい面があります。

区では、中小企業への融資や相談などの経営への支援、地場産業や商店街の振興など、産業全体の活性化に取り組んでいます。

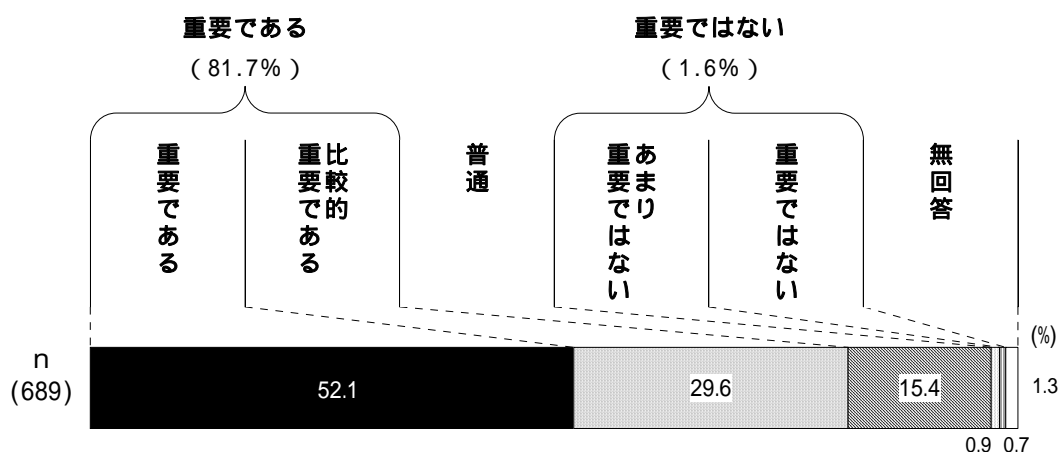
(1) 産業の振興についての重要度

《重要である》が8割強

問1 産業の振興についてどの程度重要だと思いますか。

(1つだけをおつけください)

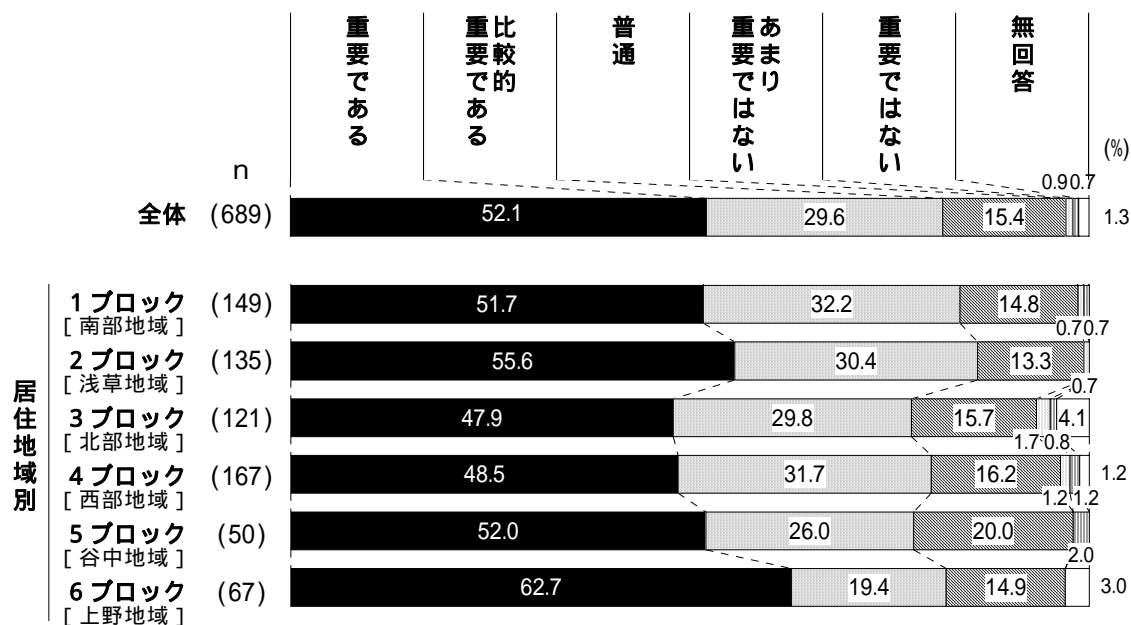
<図表1-1> 産業の振興についての重要度



産業の振興についてどの程度重要か聞いたところ、過半数が「重要である」(52.1%)と答えている。これに「比較的重要である」(29.6%)を加えると8割以上が《重要である》(81.7%)と考えていることになる。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.6%と極めて低い。(図表1-1)

地域別でみると、《重要である》割合は2ブロック〔浅草地域〕(86.0%)で唯一8割台半ばを超えている。しかし、より強い肯定の「重要である」に限れば、6ブロック〔上野地域〕(62.7%)が2ブロック〔浅草地域〕(55.6%)を上回っている。(図表1-2)

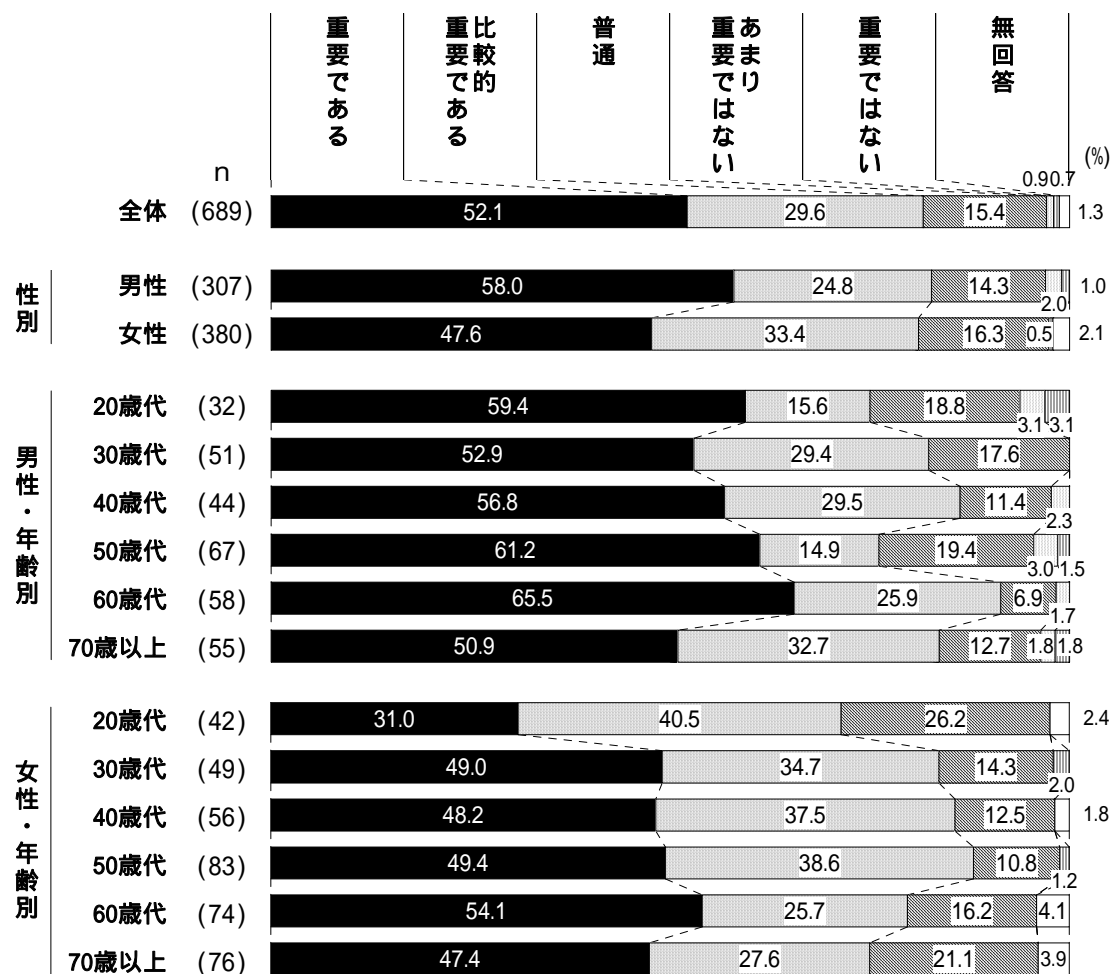
<図表1-2> 産業の振興についての重要度 地域別



性別で見ると、男女間で《重要である》割合に大きな差はないが、「重要である」に限れば、男性（58.0%）が女性（47.6%）よりも10ポイント以上高くなっている。

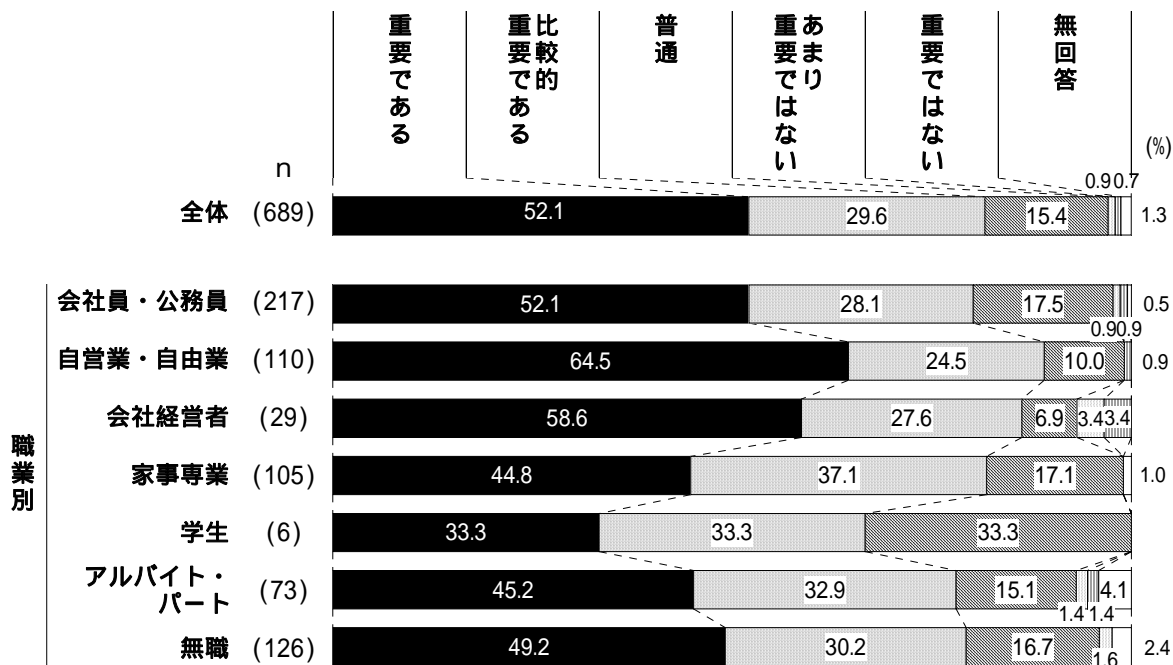
性・年齢別で見ると、《重要である》割合は、男性では60歳代（91.4%）、女性では50歳代（88.0%）が最も高く、男女ともに40歳代がこれに次いでいる。女性20歳代は「重要である」（31.0%）が目立って低くなっている。（図表1-3）

<図表1-3> 産業の振興についての重要度 性別/性・年齢別



職業別でみると、「自営業・自由業」は《重要である》が 89.0%で最も高い。次いで「会社経営者」が 86.2%、「家事専業」(81.9%)、「会社員・公務員」(80.2%) が 8 割台で続いている。
 (図表 1 - 4)

< 図表 1 - 4 > 産業の振興についての重要度 職業別



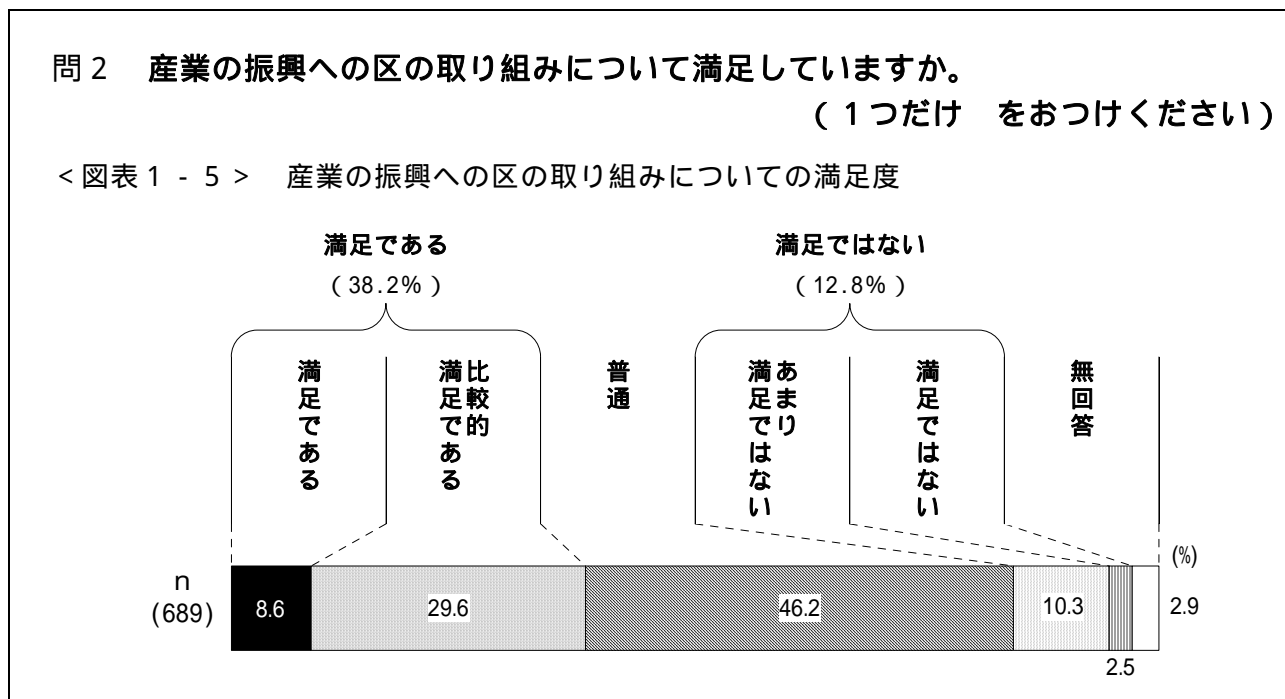
(2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度

「普通」が4割台半ば、《満足である》が4割弱

問2 産業の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

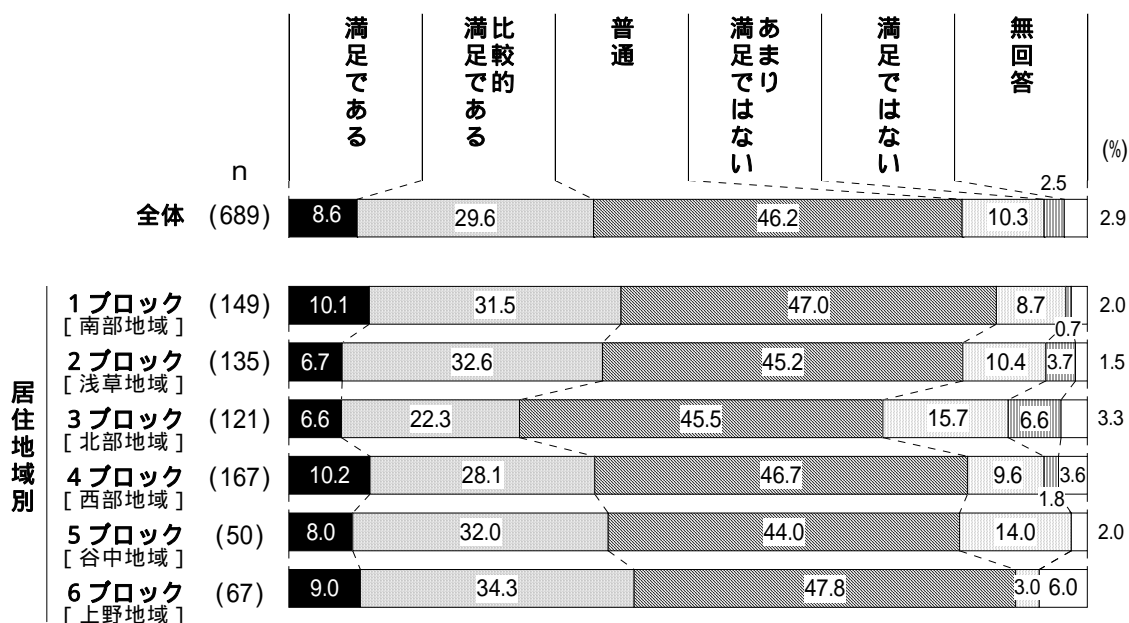
<図表1-5> 産業の振興への区の取り組みについての満足度



産業の振興への区の取り組みについて、どの程度満足しているかを聞いたところ、「普通」(46.2%)が最も高く、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は38.2%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は12.8%となっている。(図表1-5)

地域別でみると、「普通」の割合はブロック間で大きな差はない。《満足である》は、6ブロック[上野地域] (43.3%)や1ブロック[南部地域] (41.6%)ではやや高いが、3ブロック[北部地域] (28.9%)では3割未滿で低く、ここでは《満足ではない》が22.3%と高くなっている。(図表1-6)

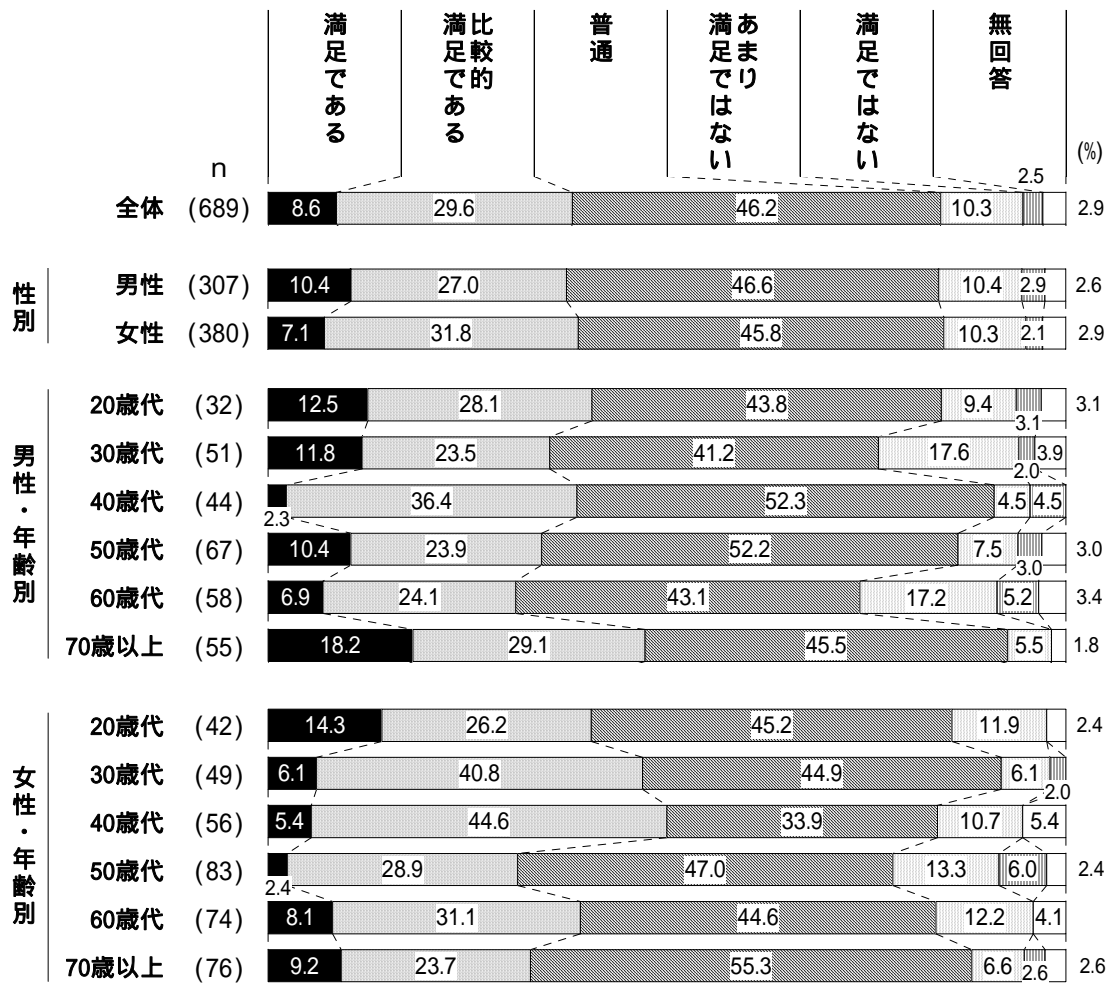
<図表1-6> 産業の振興への区の取り組みについての満足度 地域別



性別で見ると、男女間で目立った違いはない。

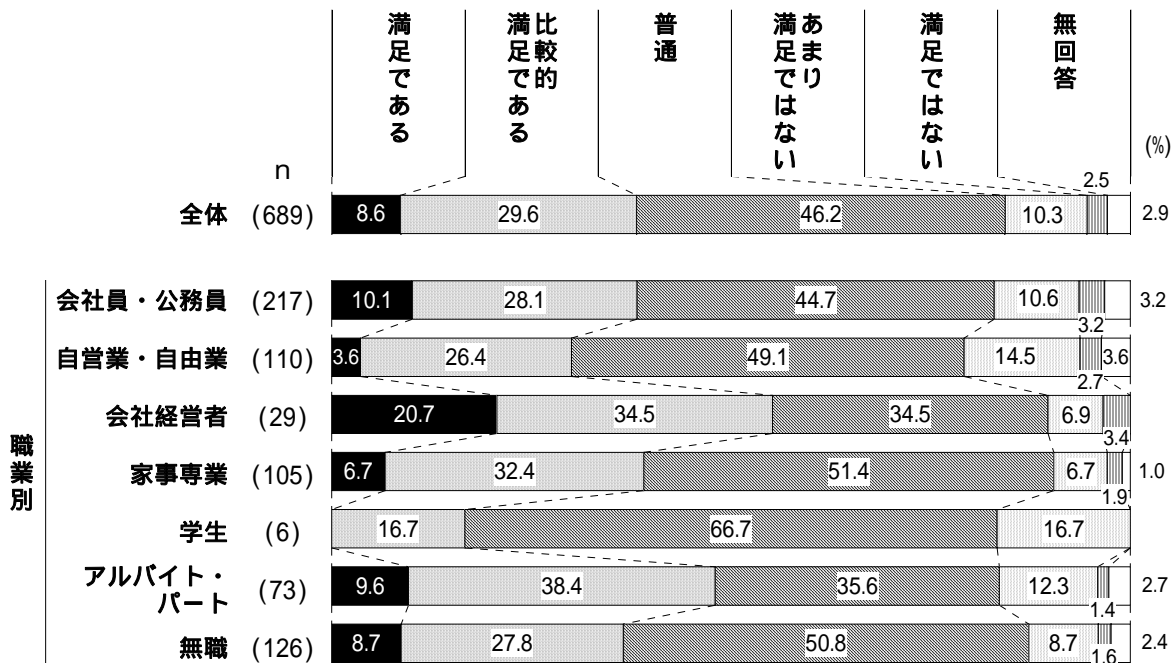
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性では70歳以上(47.3%)が特に高く、女性では40歳代(50.0%)と30歳代(46.9%)が高い。一方、《満足ではない》割合は、男性の60歳代(22.4%)と30歳代(19.6%)、女性50歳代(19.3%)で高くなっている。(図表1-7)

<図表1-7> 産業の振興への区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



職業別でみると、《満足である》割合は、「会社経営者」(55.2%)や「アルバイト・パート」(48.0%)で比較的高い傾向がある。(図表1-8)

<図表1-8> 産業の振興への区の取り組みについての満足度 職業別

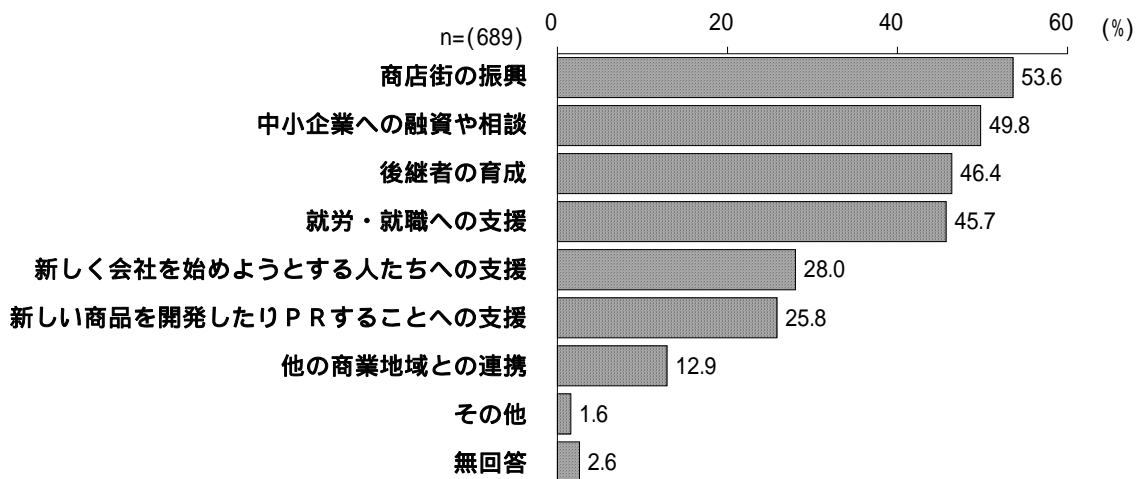


(3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの

「商店街の振興」が過半数

問3 産業の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

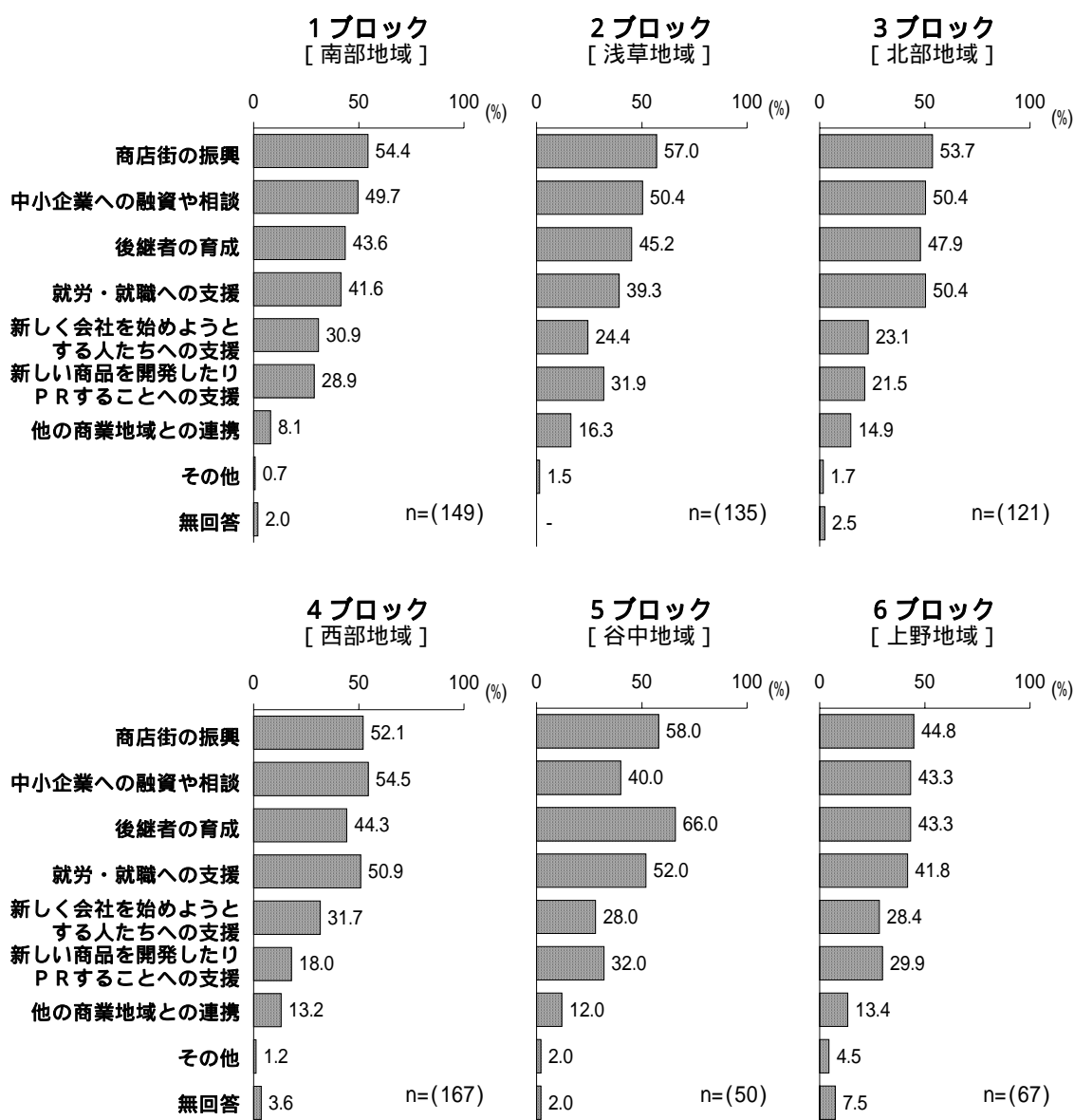
< 図表 1 - 9 > 産業の振興のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



産業の振興のため、どのような取り組みが大切かを聞いたところ、「商店街の振興」(53.6%) が過半数から選ばれており、「中小企業への融資や相談」(49.8%) は半数、「後継者の育成」(46.4%) と「就労・就職への支援」(45.7%) が4割台半ばで続いている。(図表 1 - 9)

地域別でみると、6ブロック[上野地域]は、「商店街の振興」(44.8%)と「中小企業への融資や相談」(43.3%)での低さが目立っている。5ブロック[谷中地域]は「中小企業への融資や相談」(40.0%)では最も低いものの、「後継者の育成」(66.0%)では特に高くなっている。「就労・就職への支援」は、5割前後の3, 4, 5ブロックと4割前後の1, 2, 6ブロックに二分されている。(図表1-10)

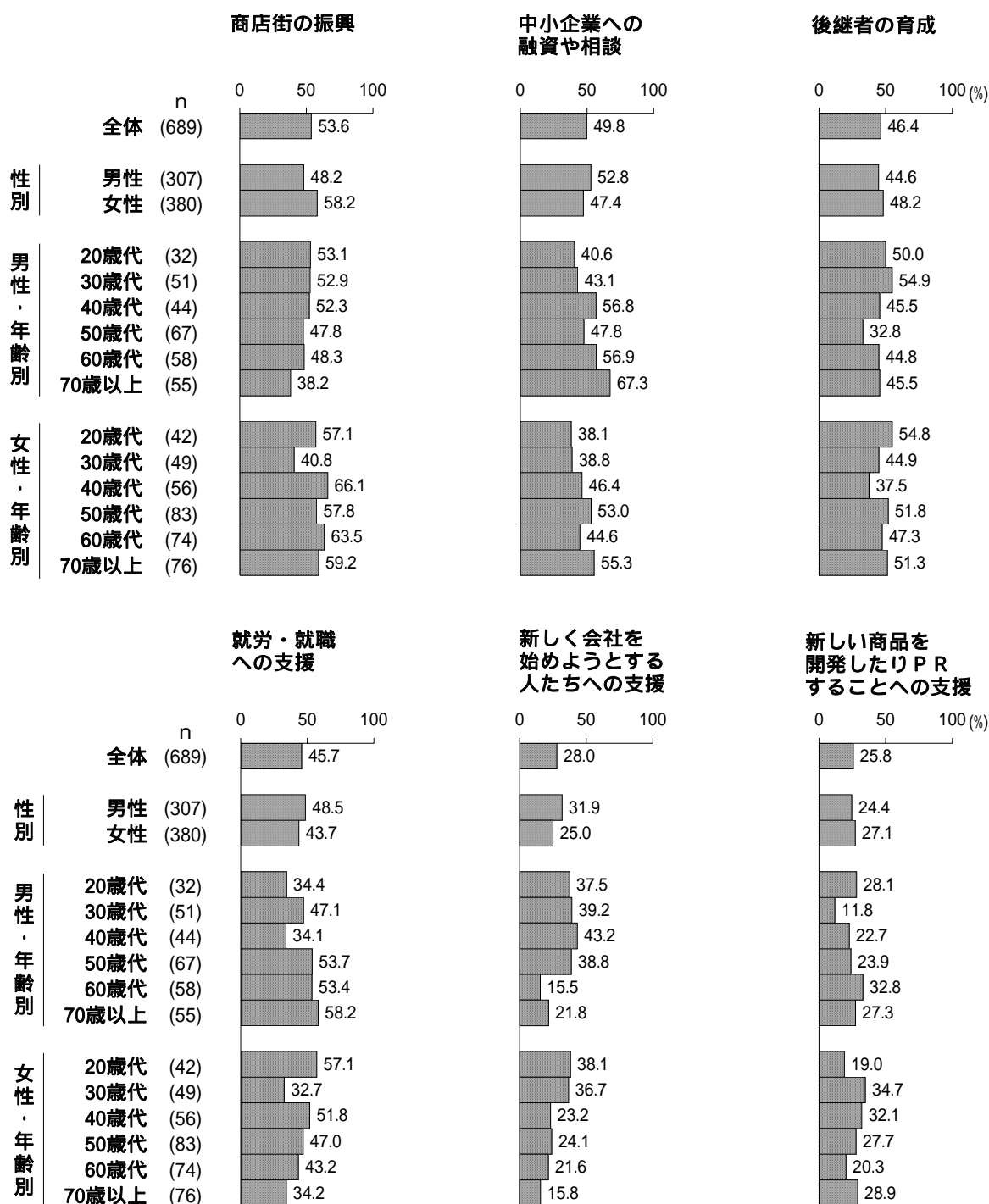
<図表1-10> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「商店街の振興」では女性（58.2%）が男性（48.2%）を10ポイント上回るが、「中小企業への融資や相談」、「就労・就職への支援」、「新しく会社を始めようとする人々への支援」では男性の方がやや高くなっている。

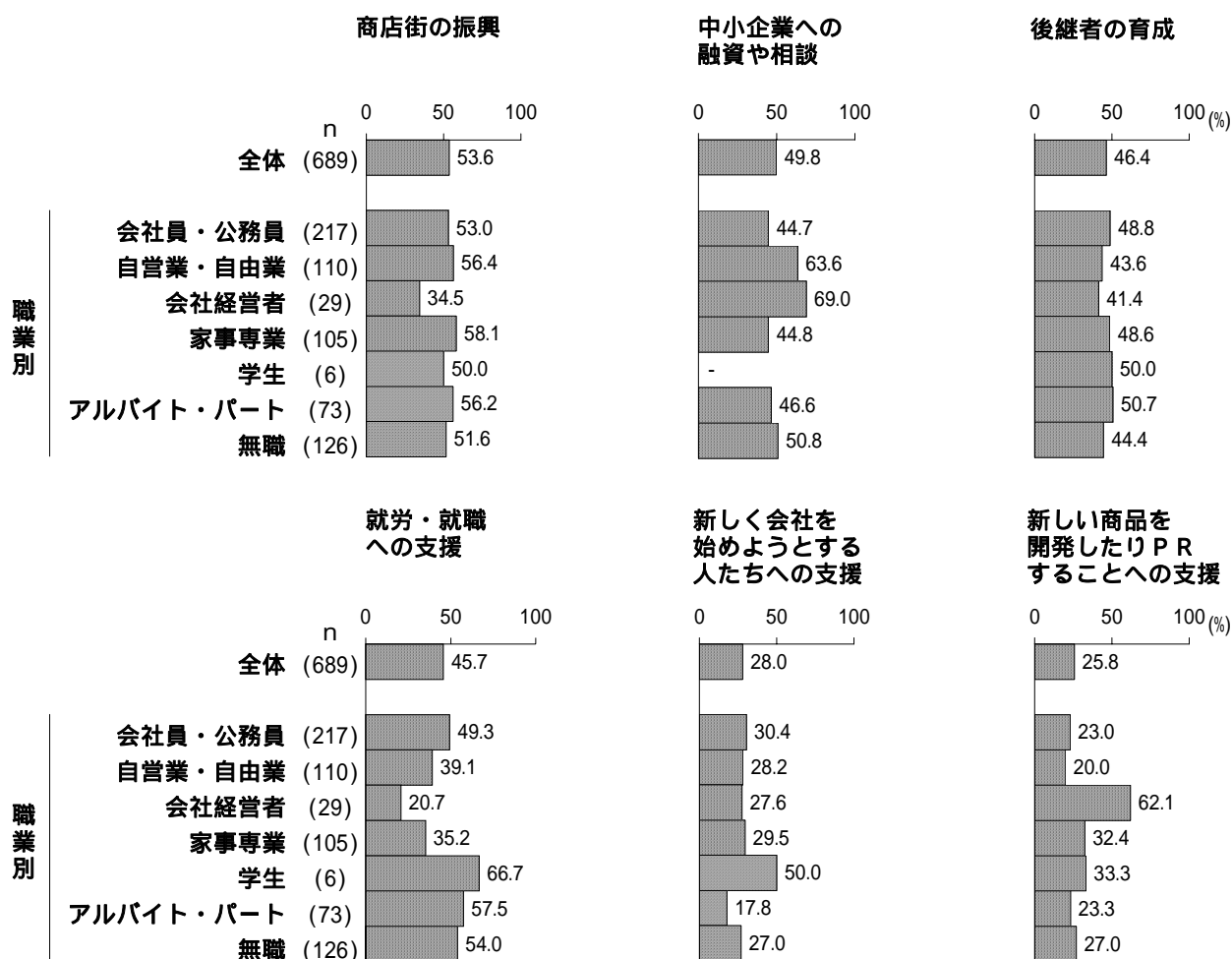
性・年齢別で見ると、「商店街の振興」は女性の40歳代（66.1%）と60歳代（63.5%）で6割を超えて高く、男性70歳以上（38.2%）と女性30歳代（40.8%）では4割前後で低い。「中小企業への融資や相談」は男女ともに70歳以上が最も高く、「就労・就職への支援」は男性では70歳以上、女性では20歳代がそれぞれ最も高く、男性では40歳代、女性では30歳代が最も低くなっている。（図表1-11）

<図表1-11> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別（上位6項目）



職業別でみると、会社経営者は「商店街の振興」(34.5%)や「就労・就職への支援」(20.7%)で特に低いが、「中小企業への融資や相談」(69.0%)と「新しい商品を開発したりPRすることへの支援」(62.1%)では極めて高い。また、自営業・自由業は「中小企業への融資や相談」(63.6%)が会社経営者と並んで高くなっている(図表1-12)

<図表1-12> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 職業別(上位6項目)



2. 観光を振興するための取り組み

台東区には、上野、浅草という、全国的な観光地があり、さまざまな行事などで年間3,300万人を超える人たちが訪れています。

また、史跡や博物館、芸能など、豊かな観光資源があります。

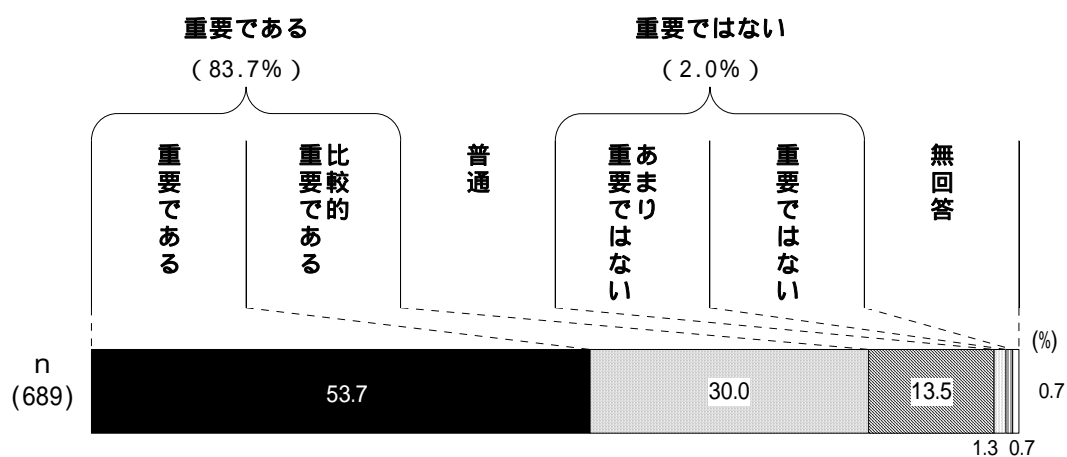
この特徴を活かして、より魅力のあるまちにするため、観光コースの整備や、観光案内の充実、おもてなし運動などに取り組んでいます。

(1) 観光の振興についての重要度

《重要である》が8割強

問4 観光の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

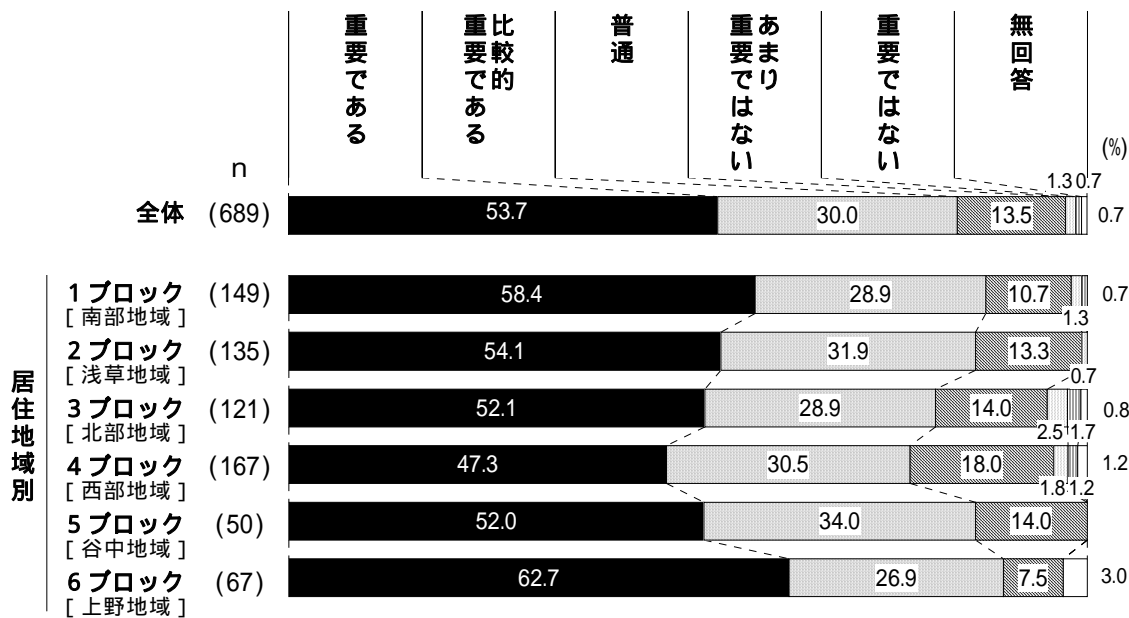
<図表2-1> 観光の振興についての重要度



観光の振興がどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(53.7%)が過半数を占め、これに「比較的である」(30.0%)を加えた《重要である》は83.7%に達している。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.0%である。(図表2-1)

地域別でみると、《重要である》割合は6ブロック [上野地域] (89.6%) や1ブロック [南部地域] (87.3%) で高く、4ブロック [西部地域] (77.8%) や3ブロック [北部地域] (81.0%) でやや低くなっている。(図表 2 - 2)

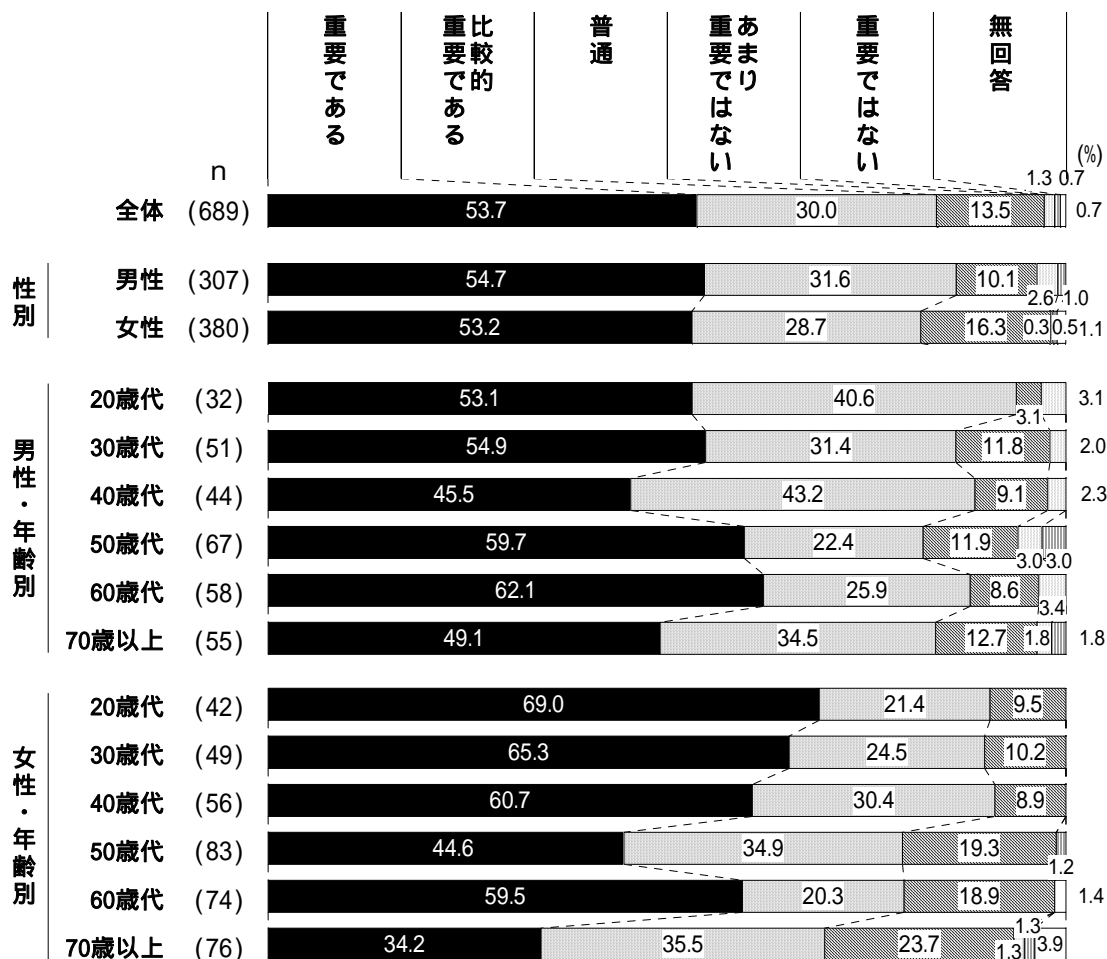
< 図表 2 - 2 > 観光の振興についての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》割合は男性（86.3%）が女性（81.9%）よりもやや高い。

性・年齢別でみると、女性は年代によって《重要である》割合の差が大きく、20～40歳代では9割前後、50・60歳代では8割弱、70歳以上では7割弱となっている。（図表2 - 3）

<図表2 - 3> 観光の振興についての重要度 性別/性・年齢別



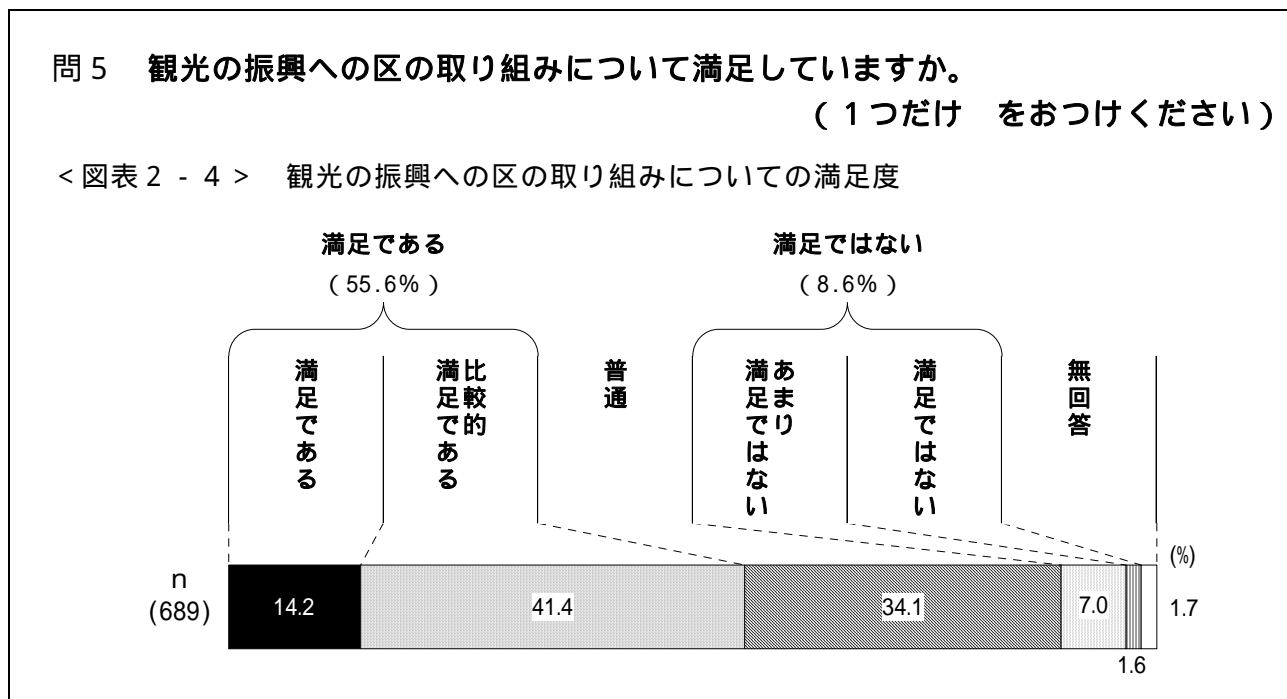
(2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度

《満足である》が5割台半ば

問5 観光の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

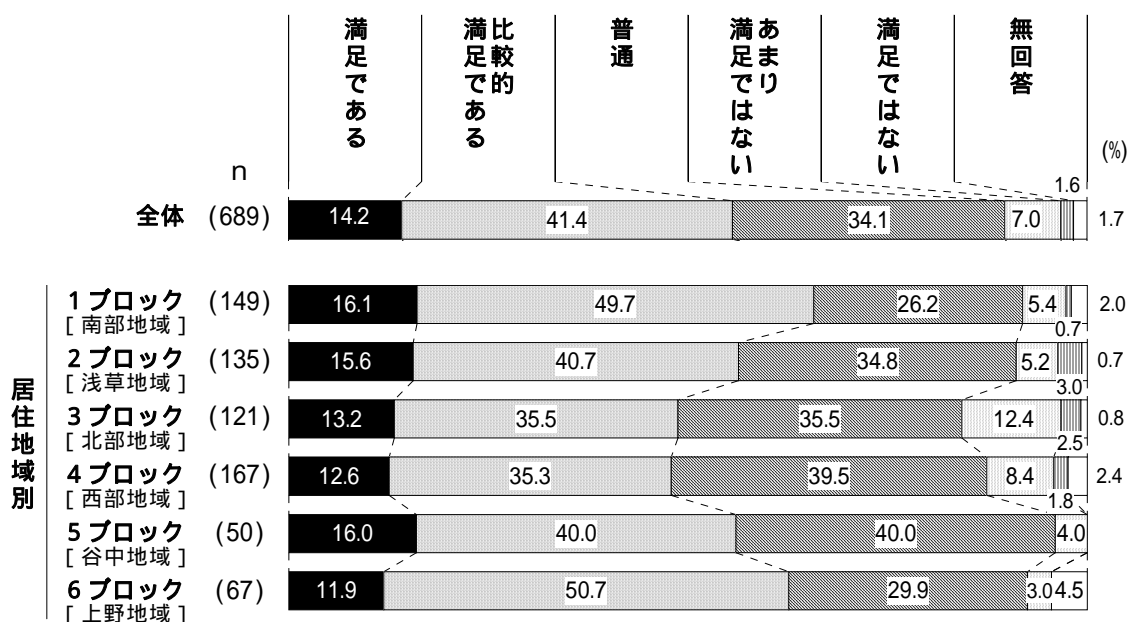
<図表2-4> 観光の振興への区の取り組みについての満足度



観光の振興への区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は55.6%と5割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は8.6%で1割未満である。(図表2-4)

地域別で《満足である》の割合をみると、1ブロック[南部地域](65.8%)と6ブロック[上野地域](62.6%)では6割を超え高く、4ブロック[西部地域](47.9%)と3ブロック[北部地域](48.7%)では5割未満と低い。(図表2-5)

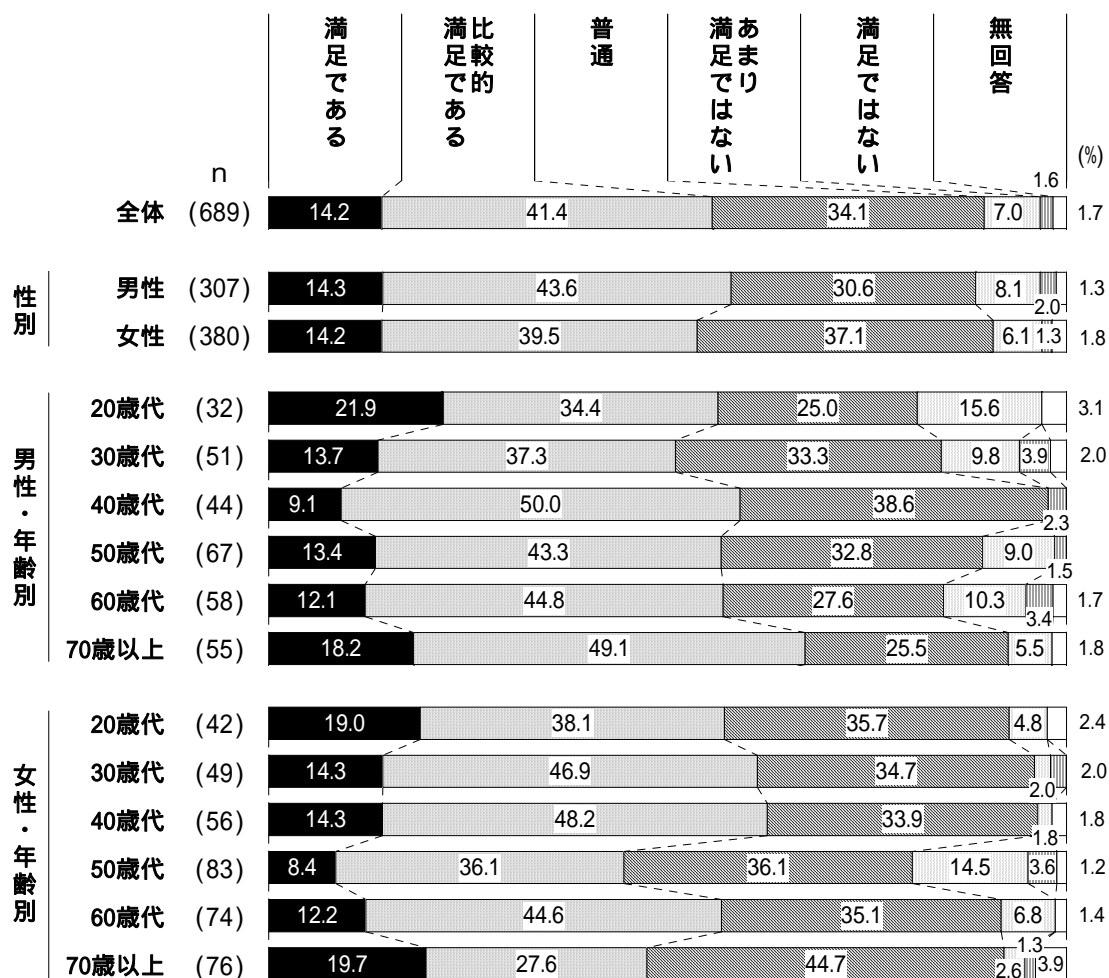
<図表2-5> 観光の振興への区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、《満足である》割合は男性（57.9%）が女性（53.7%）よりもわずかに高い。

性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性 70 歳以上（67.3%）の高さが目立つ一方、女性の 50 歳代（44.5%）と 70 歳以上（47.3%）は 5 割未満と低い。（図表 2 - 6）

<図表 2 - 6> 観光の振興への区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別

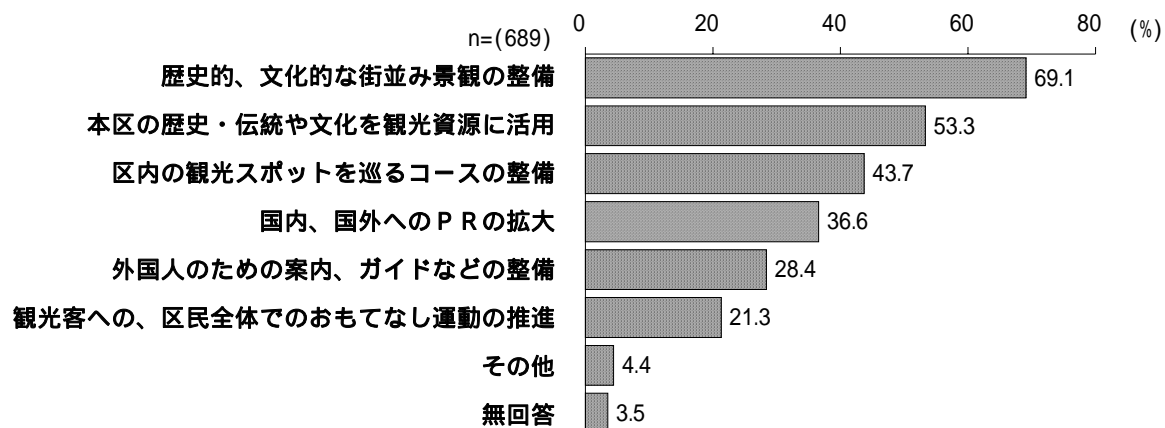


(3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの

「歴史的、文化的な街並み景観の整備」が7割弱

問6 観光の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

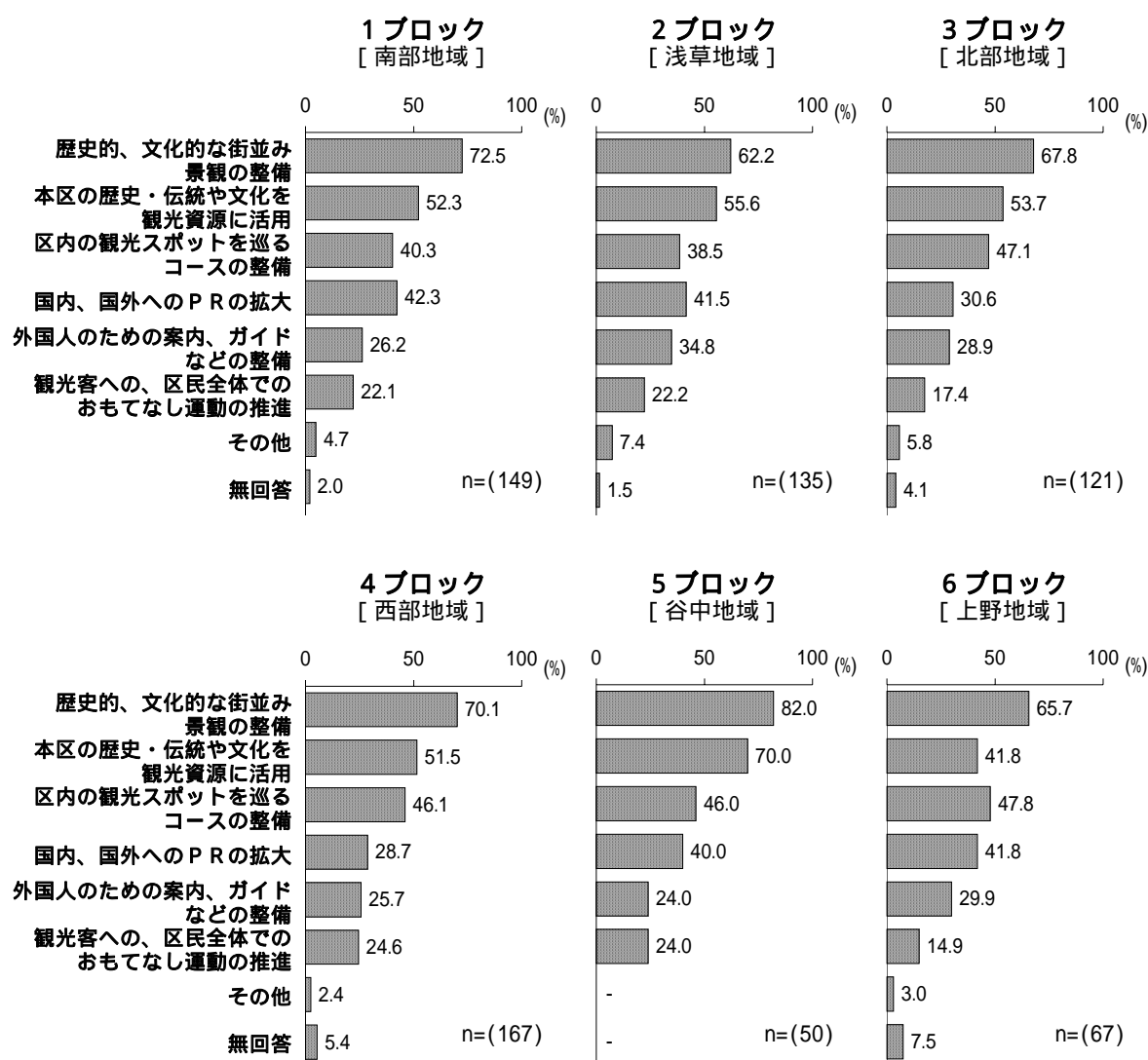
< 図表 2 - 7 > 観光の振興のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



観光の振興のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」(69.1%) が7割弱で最も高く、以下「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」(53.3%)、「区内の観光スポットを巡るコースの整備」(43.7%)、「国内、国外へのPRの拡大」(36.6%) の順になっている。(図表 2 - 7)

地域別でみると、5ブロック [谷中地域] は「歴史的、文化的な街並み景観の整備」(82.0%) と「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」(70.0%) において最も高い。2ブロック [浅草地域] は「歴史的、文化的な街並み景観の整備」(62.2%) と「区内の観光スポットを巡るコースの整備」(38.5%) では最も低い、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」(34.8%) では最も高くなっている。(図表 2 - 8)

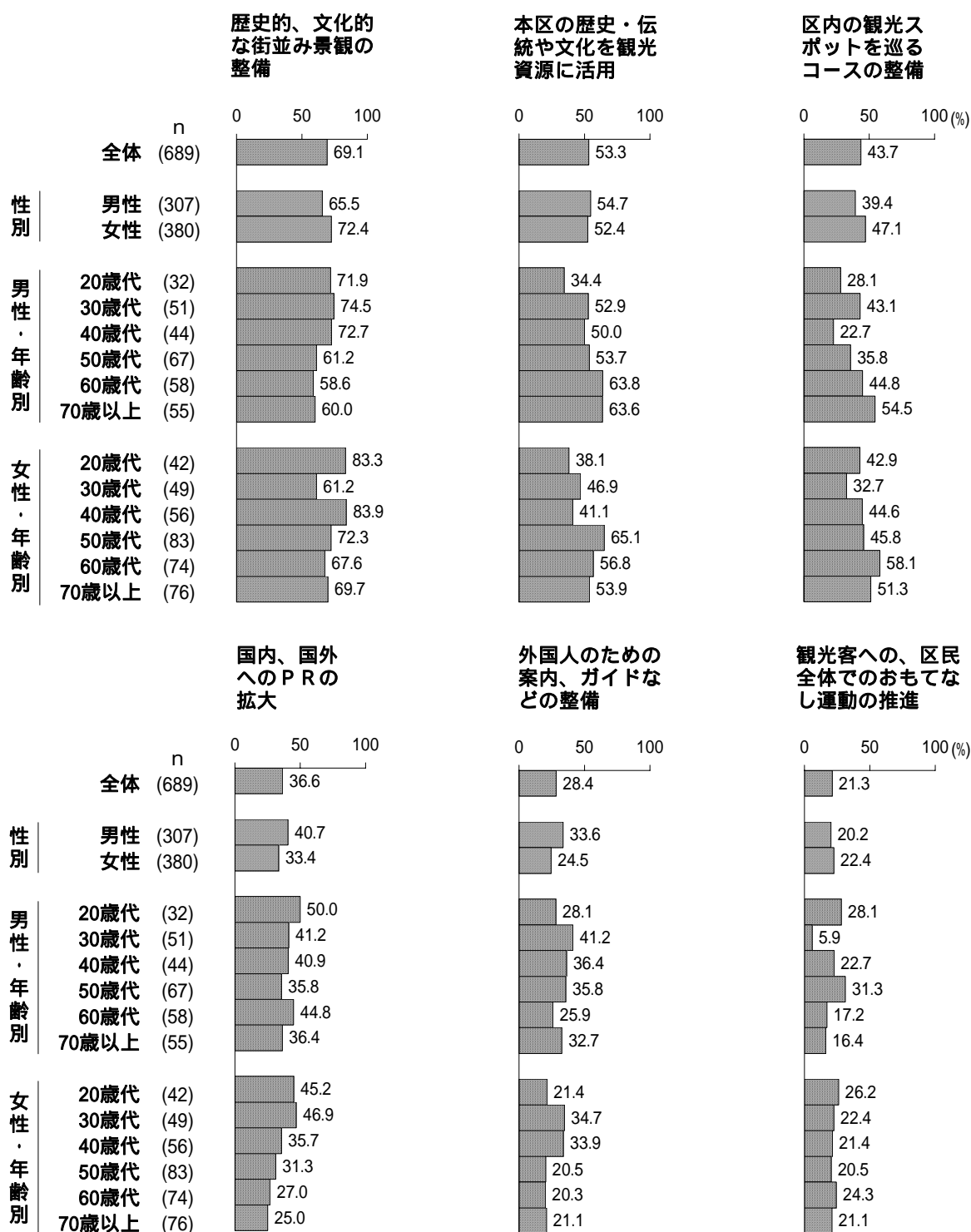
< 図表 2 - 8 > 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別でみると、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」と「区内の観光スポットを巡るコースの整備」では女性の方が高く、「国内、国外へのPRの拡大」と「外国人のための案内、ガイドなどの整備」では男性の方が高くなっている。

性・年齢別でみると、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」は女性の40歳代(83.9%)と20歳代(83.3%)で特に高い。「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」は男女ともに高年齢層で比較的高く、20歳代で最も低い。「区内の観光スポットを巡るコースの整備」は男性70歳以上(54.5%)、女性の60歳代(58.1%)と70歳以上(51.3%)で半数を超えている。「国内、国外へのPRの拡大」は、男性20歳代(50.0%)や女性の30歳代(46.9%)や20歳代(45.2%)でやや高くなっている。(図表2-9)

<図表2 - 9> 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)



3 . 文化を振興するための取り組み

台東区には、数多くの史跡や芸術、芸能など、豊かな文化資源があります。

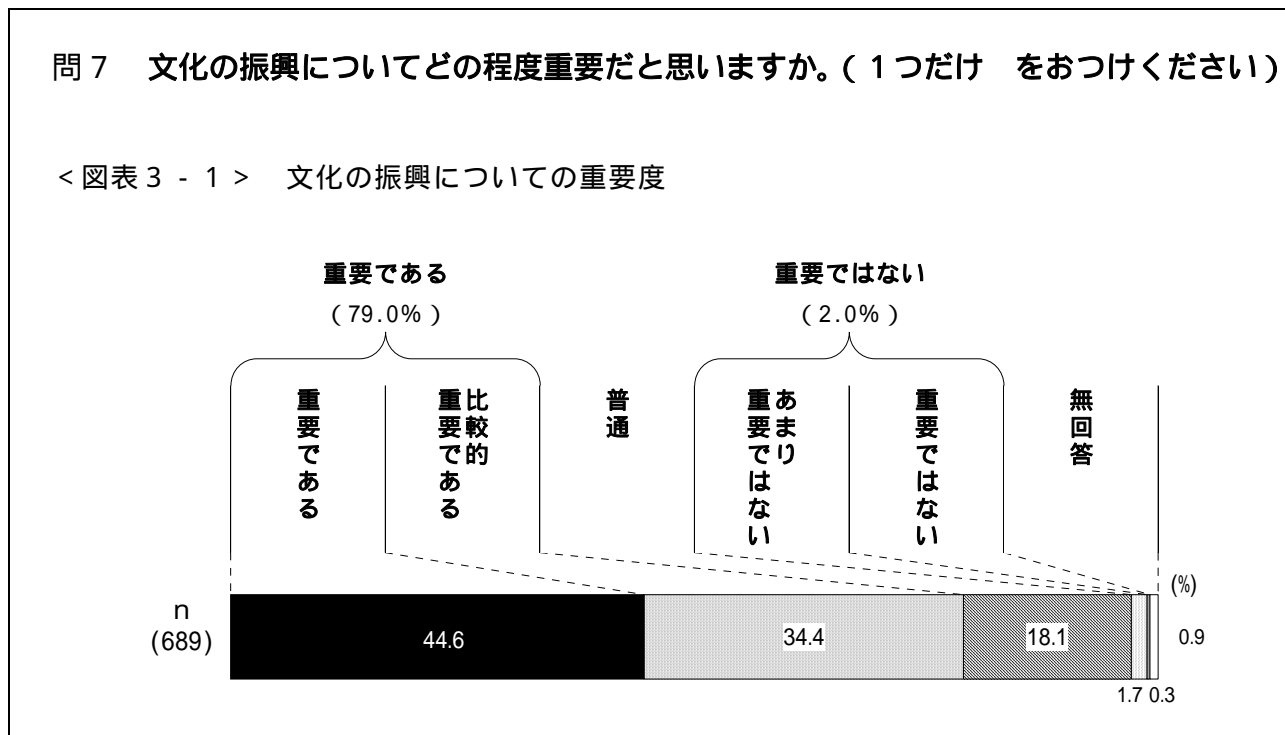
この特徴を活かして、より豊かな生活を創っていくため、伝統的な文化の保存、新しい文化の創造、芸術家と区民の創作活動の振興などに取り組んでいます。

(1) 文化の振興についての重要度

《重要である》が 8 割弱

問 7 文化の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1 つだけ をおつけください)

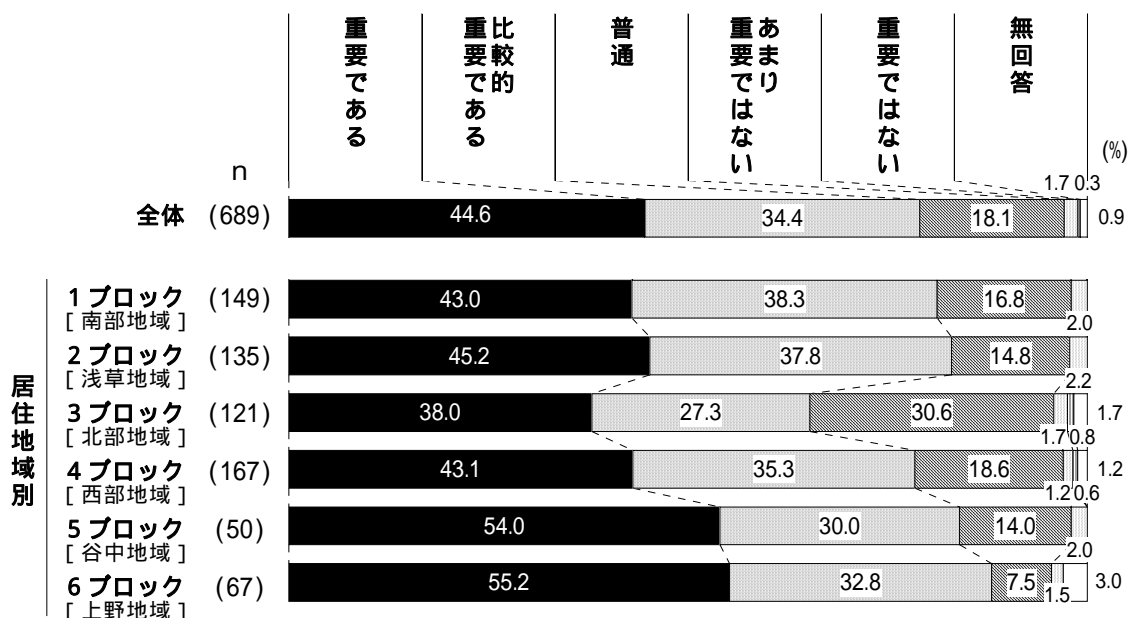
< 図表 3 - 1 > 文化の振興についての重要度



文化の振興についての重要度を聞いたところ、4割台半ばが「重要である」(44.6%)と答え、これに「比較的である」(34.4%)を加えた《重要である》(79.0%)は8割弱を占めている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.0%である。(図表3-1)

地域別でみると、《重要である》割合は6ブロック[上野地域](88.0%)で最も高い。3ブロック[北部地域]では「普通」(30.6%)が3割を超えている点が、5ブロック[谷中地域]および6ブロック[上野地域]では、強い肯定の「重要である」が5割台半ばと高い点が目立っている。(図表3-2)

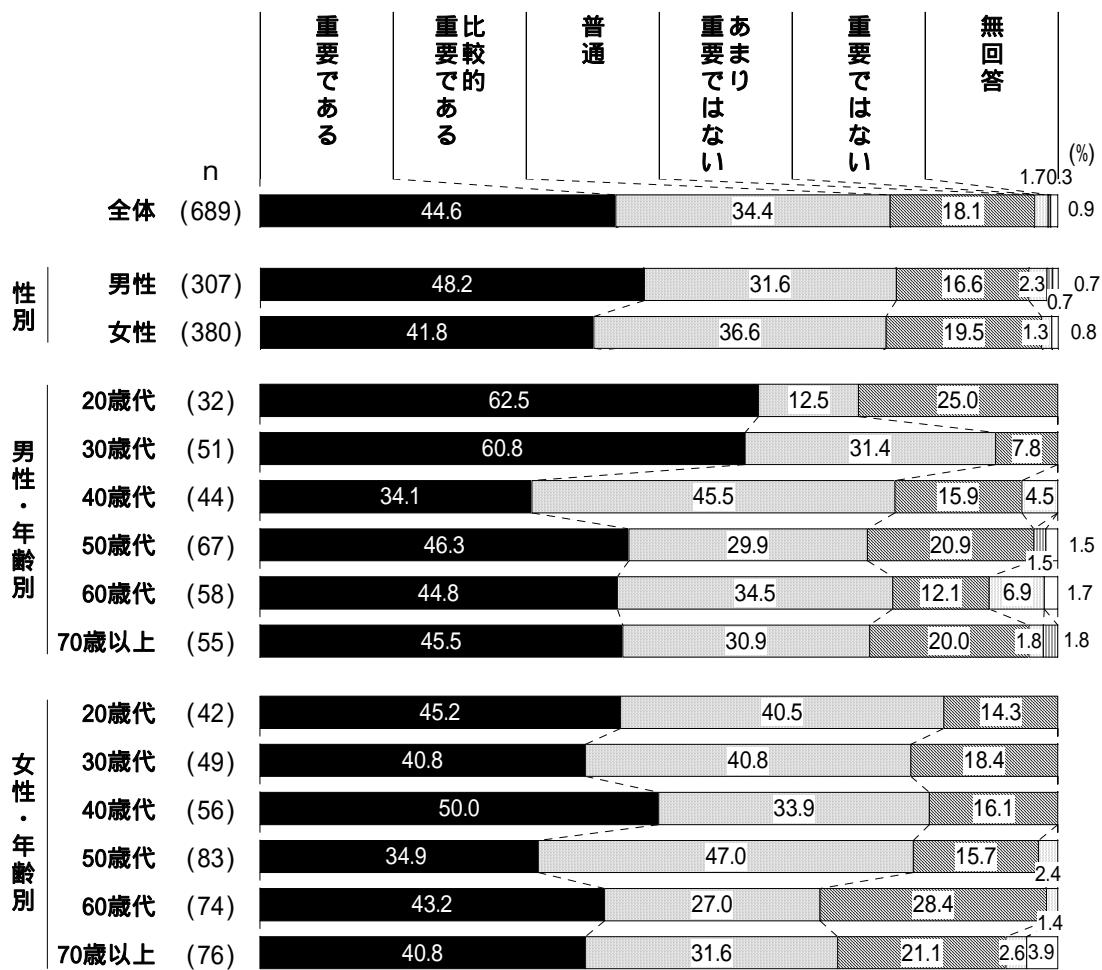
<図表3-2> 文化の振興についての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》割合は男女間で差はないが、「重要である」だけに限ると男性(48.2%)が女性(41.8%)を上回っている。

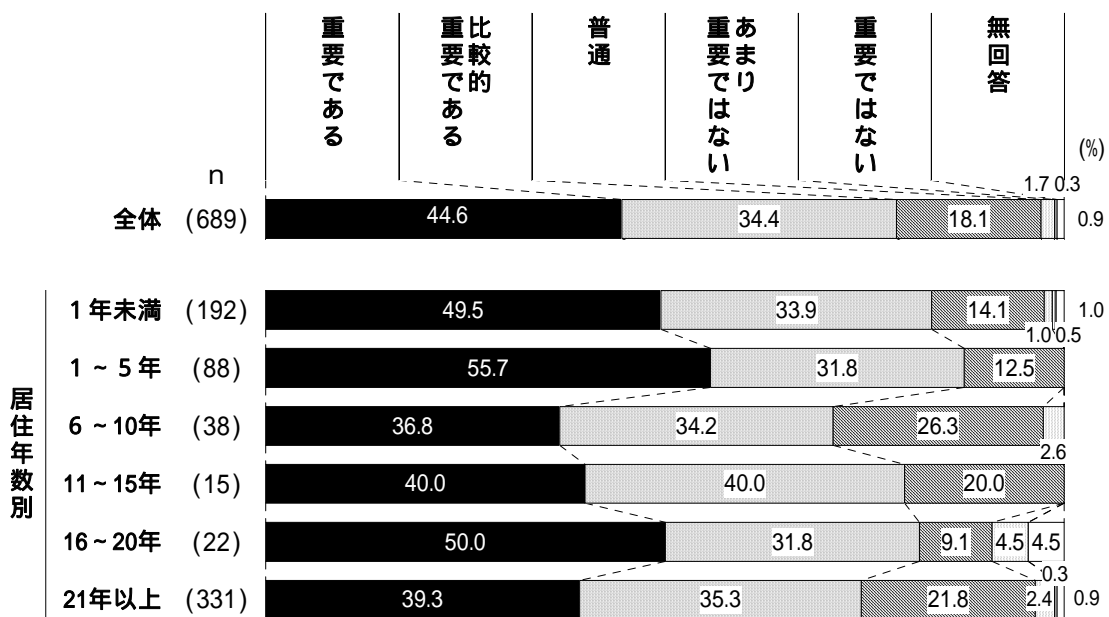
性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性30歳代(92.2%)が9割を超え極めて高い。男性20歳代(75.0%)は男性の中では一番低いが、「重要である」だけに限れば62.5%で最も高くなっている。女性では、最も低い60歳代でも7割を超えている。(図表3-3)

<図表3 - 3> 文化の振興についての重要度 性別/性・年齢別



居住年数別で見ると、《重要である》割合は「1～5年」(87.5%)と「1年未満」(83.4%)の短期居住者で高くなっている。(図表3 - 4)

<図表3 - 4> 文化の振興についての重要度 居住年数別



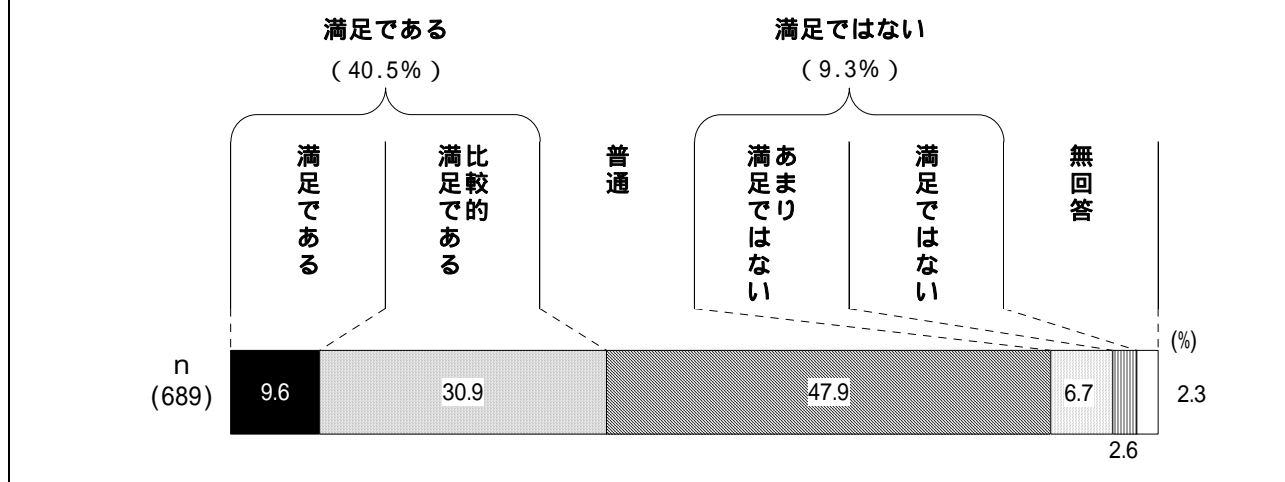
(2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度

「普通」が5割弱、「満足である」が4割

問8 文化の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

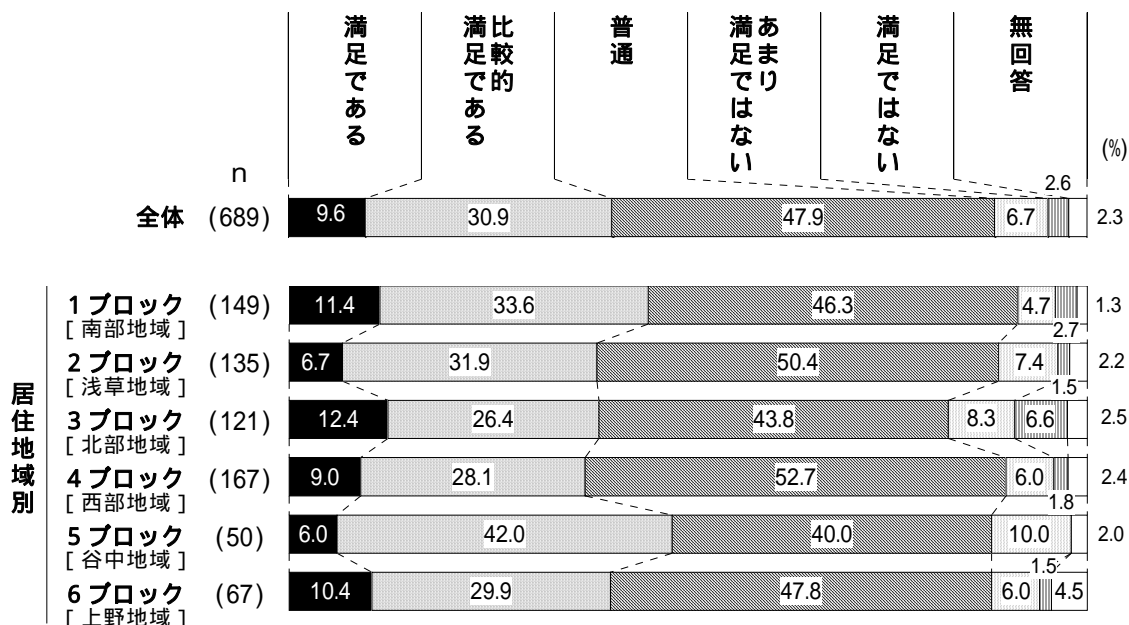
<図表3-5> 文化の振興への区の取り組みについての満足度



文化の振興への区の取り組みについて聞いたところ、「普通」(47.9%)が5割弱を占め、「満足である」(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は40.5%と4割、「満足ではない」(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は1割弱(9.3%)となっている。(図表3-5)

地域別でみると、「満足である」割合は、5ブロック[谷中地域](48.0%)と1ブロック[南部地域](45.0%)でやや高い。一方、3ブロック[北部地域]は「満足ではない」が14.9%とやや高くなっている。(図表3-6)

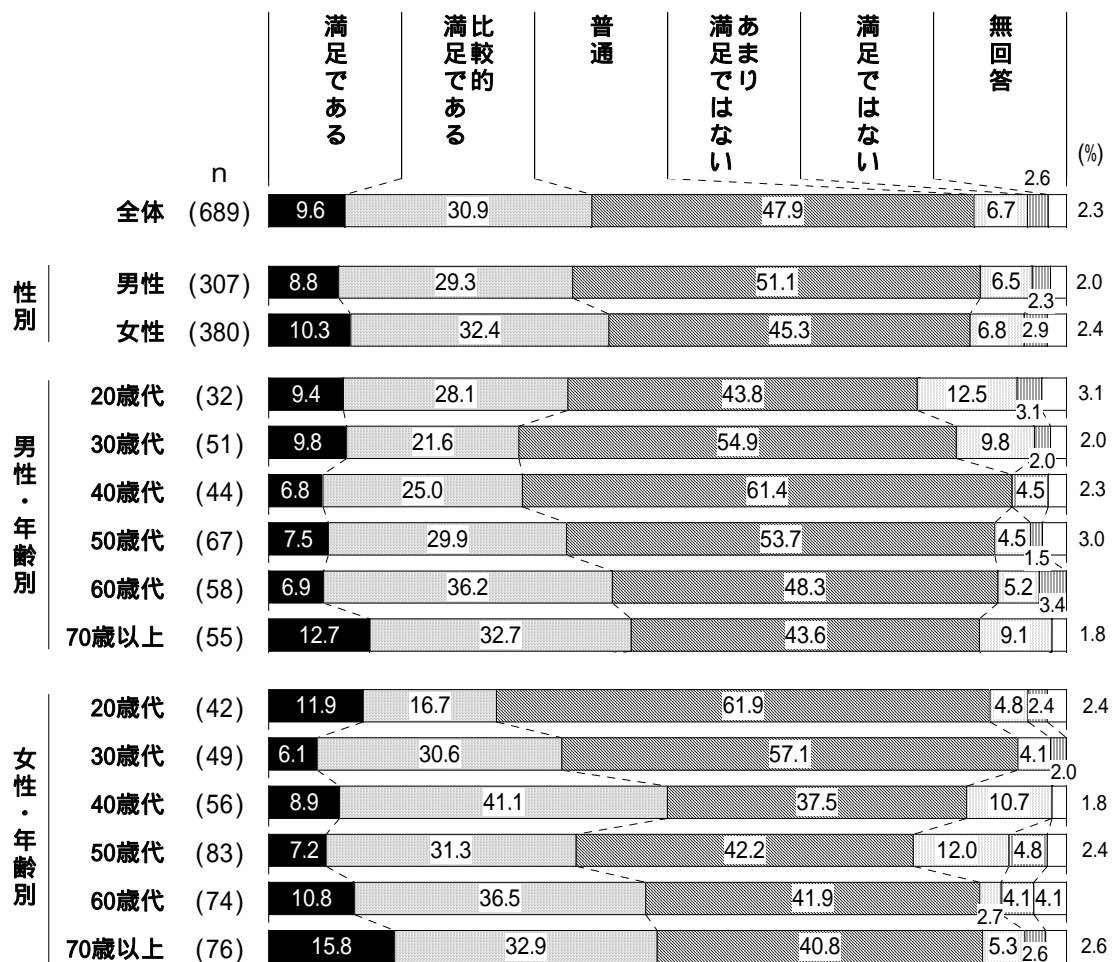
<図表3-6> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、《満足である》割合は女性（42.7%）が男性（38.1%）よりもわずかに高い。

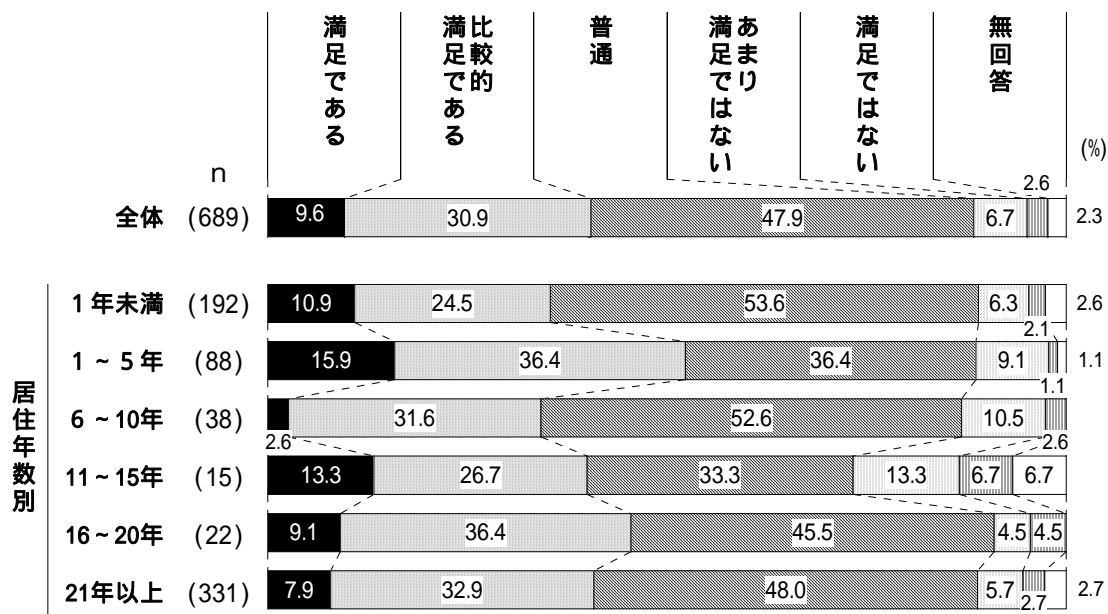
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男女ともに全体的な傾向として、若年層よりも高齢層が高くなっている。（図表3 - 7）

<図表3 - 7> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、《満足である》割合は1～5年の居住者（52.3%）で高い。一方、《満足ではない》が11～15年の居住者（20.0%）で高くなっているが、基数（15）が小さいため、はっきりした傾向とはいえない。（図表3 - 8）

<図表3 - 8> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 居住年数別

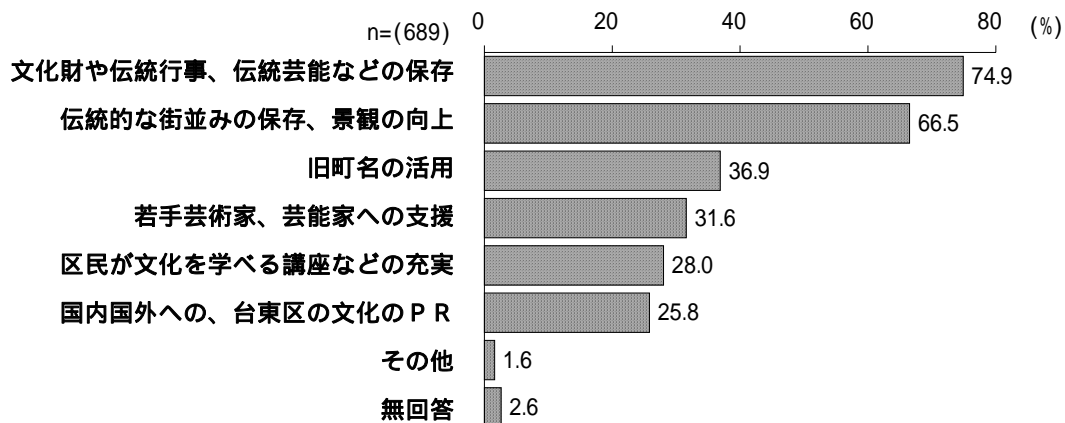


(3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの

「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」が7割台半ば

問9 文化の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

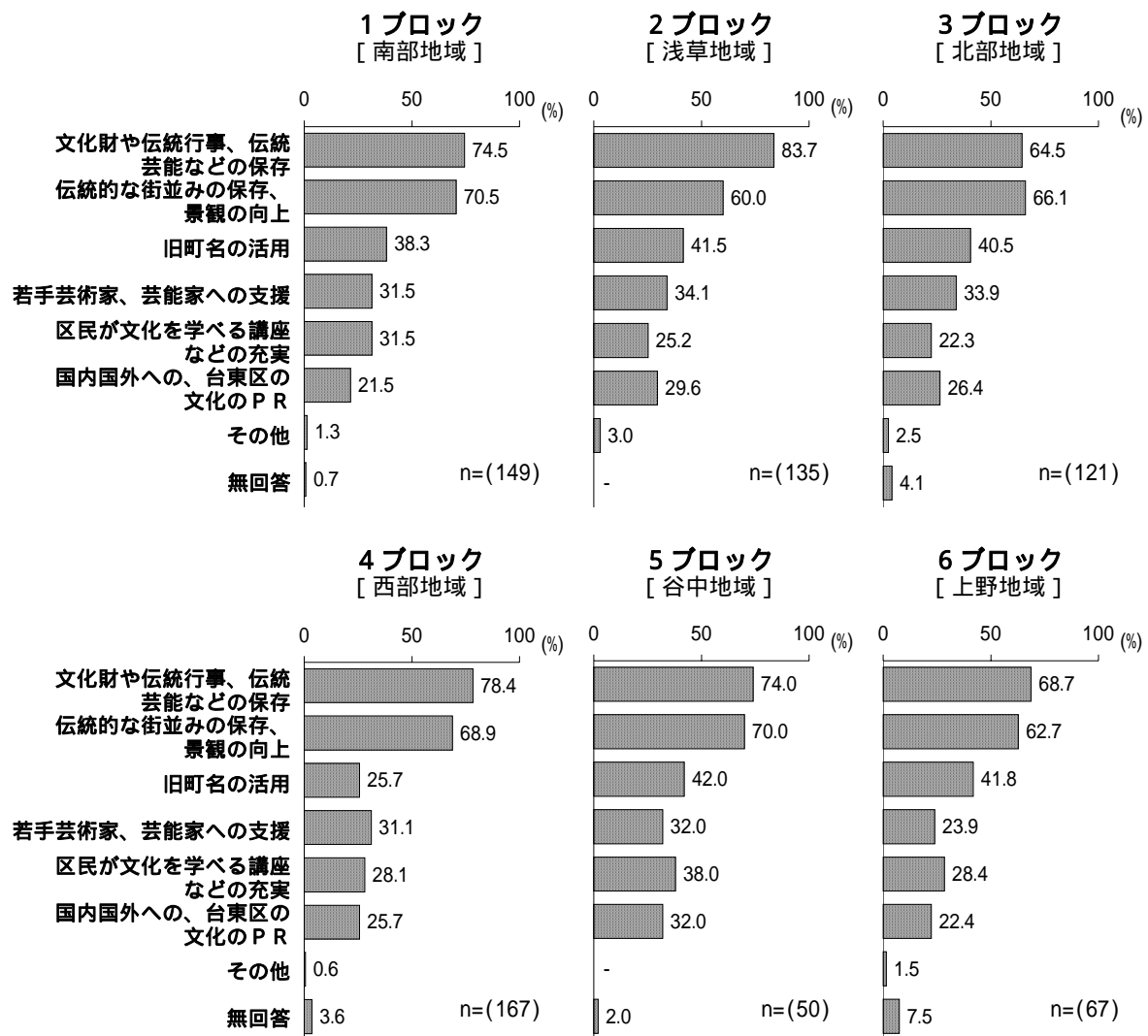
< 図表 3 - 9 > 文化の振興のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



文化の振興のための取り組みとして、何が大切かを聞いたところ、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」(74.9%)と「伝統的な街並みの保存、景観の向上」(66.5%)の2つが特に高くなっている。(図表 3 - 9)

地域別でみると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」では2ブロック[浅草地域](83.7%)が、「区民が文化を学べる講座などの充実」では5ブロック[谷中地域](38.0%)がやや高くなっている。一方、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」では3ブロック[北部地域](64.5%)、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」では2ブロック[浅草地域](60.0%)、「旧町名の活用」では4ブロック[西部地域](25.7%)がそれぞれ低くなっている。(図表3-10)

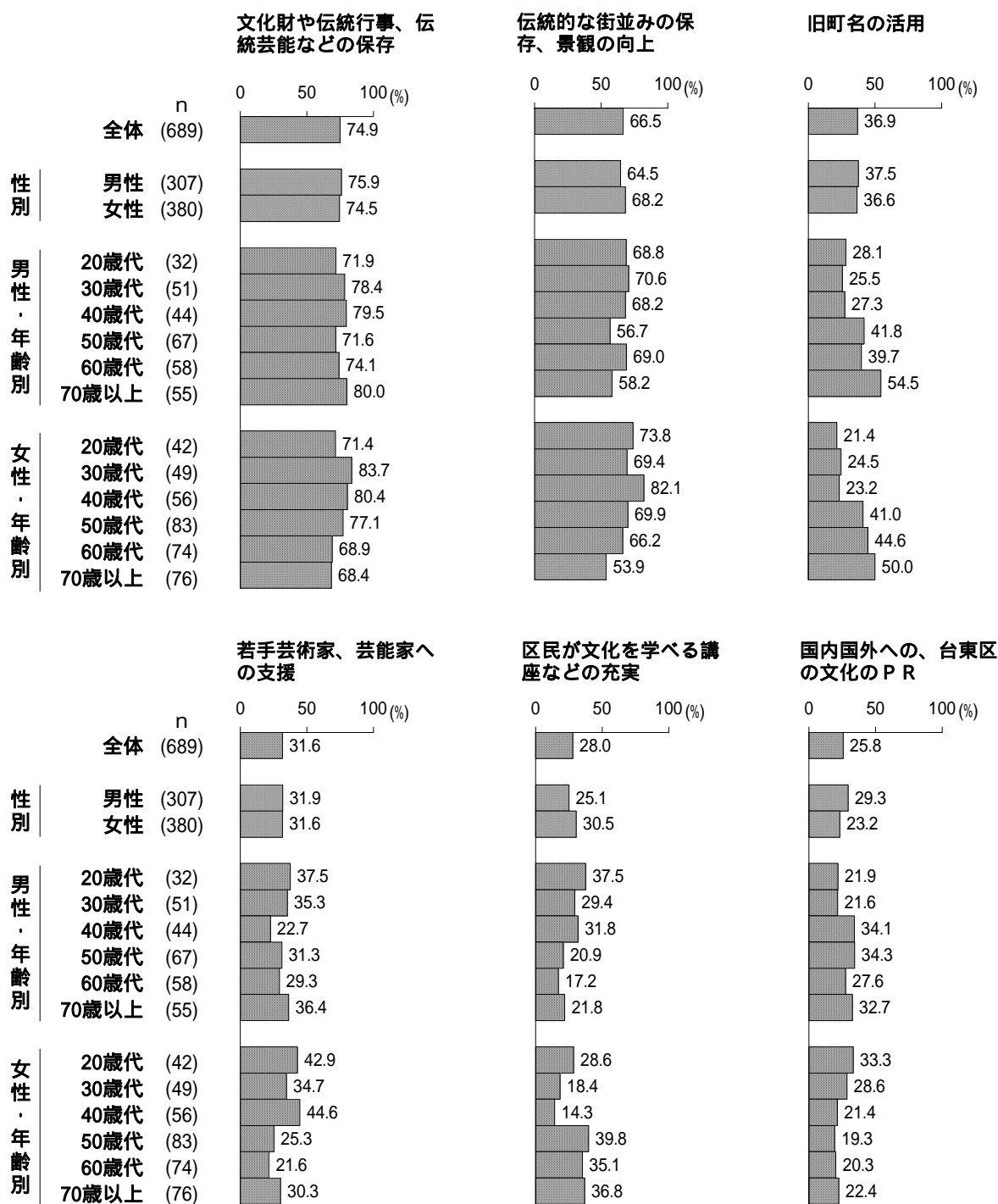
<図表3-10> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「区民が文化を学べる講座などの充実」では女性が、「国内国外への、台東区の文化のPR」では男性がやや高くなっている。

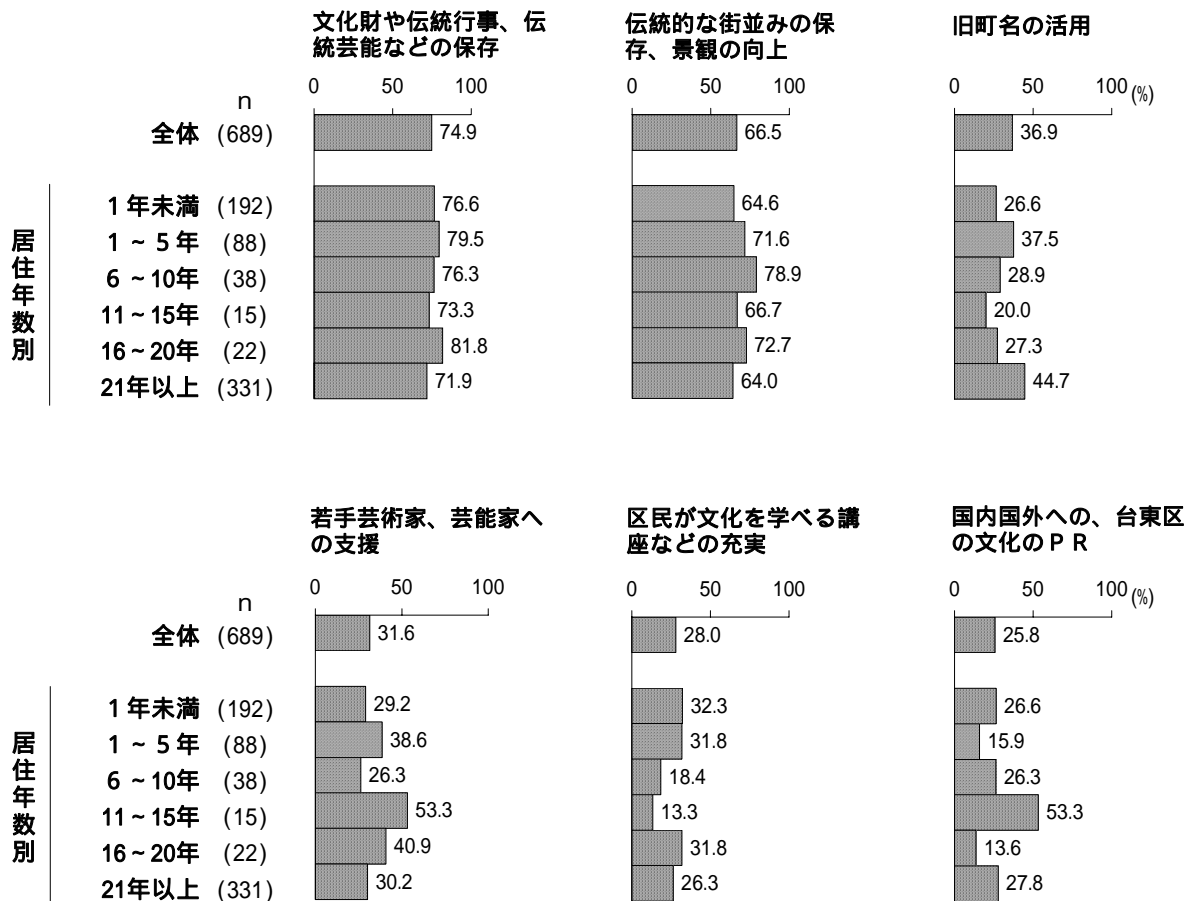
性・年齢別で見ると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は特に目立った特徴はなく、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」は男女ともに70歳以上は5割台でやや低い。「旧町名の活用」は高年齢層ほど高い割合を示している。(図表3-11)

<図表3-11> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)



居住年数別でみると、「旧町名の活用」で21年以上の居住者が44.7%と高い点が目立っている。
 (図表3 - 1 2)

<図表3 - 1 2> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 居住年数別(上位6項目)



4. まちづくりのための取り組み

台東区は、地域ごとにまちの個性があります。

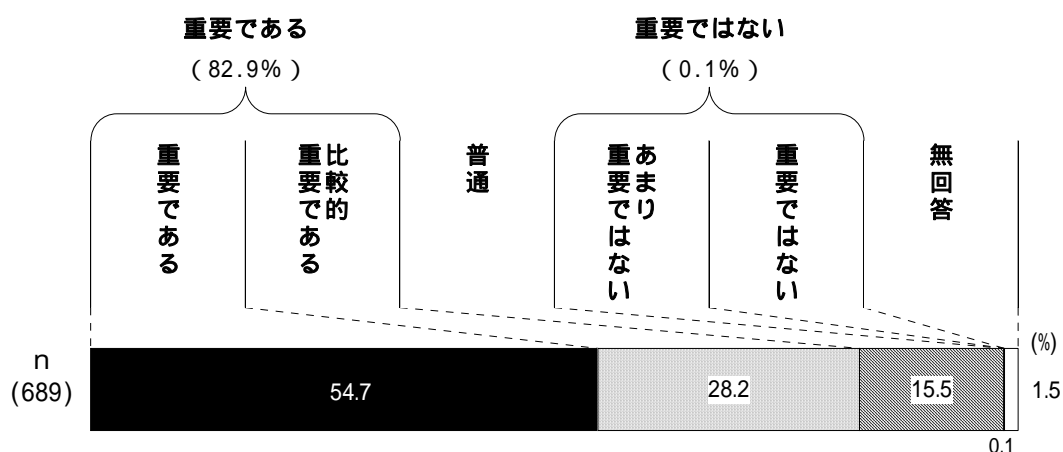
その個性を活かしたまちづくりを推進するため、台東区は、交通、土地利用などの基盤整備、街並み景観の保存、住まいの環境整備やマンション対策、防災・防犯の強化などに取り組んでいます。

(1) まちづくりについての重要度

《重要である》が8割以上

問10 まちづくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

<図表4-1> まちづくりについての重要度

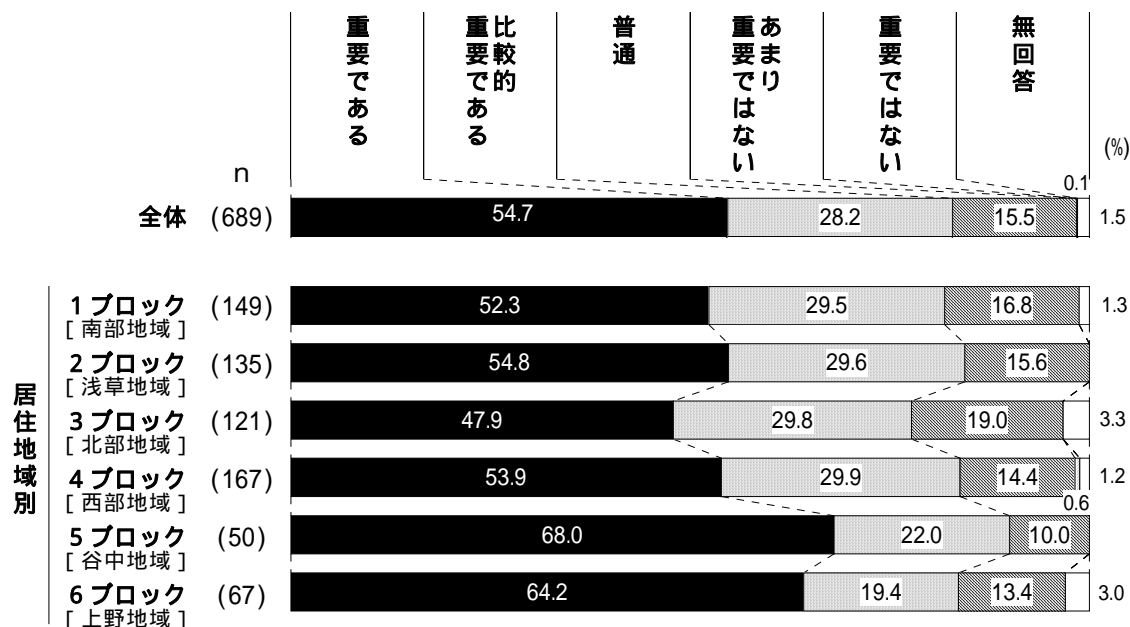


まちづくりについての重要度を聞いたところ、5割台半ばが「重要である」(54.7%)と回答している。さらに「比較的重要である」(28.2%)を加えた《重要である》は82.9%となる。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.1%である。

(図表4-1)

地域別でみると、《重要である》は5ブロック[谷中地域](90.0%)で9割に達し極めて高い。これに次いで2ブロック[浅草地域](84.4%)、4ブロック[西部地域](83.8%)、6ブロック[上野地域](83.6%)が高くなっている。5ブロック[谷中地域]と6ブロック[上野地域]は、強い肯定の「重要である」がともに6割を超えている点に特徴がある。(図表4-2)

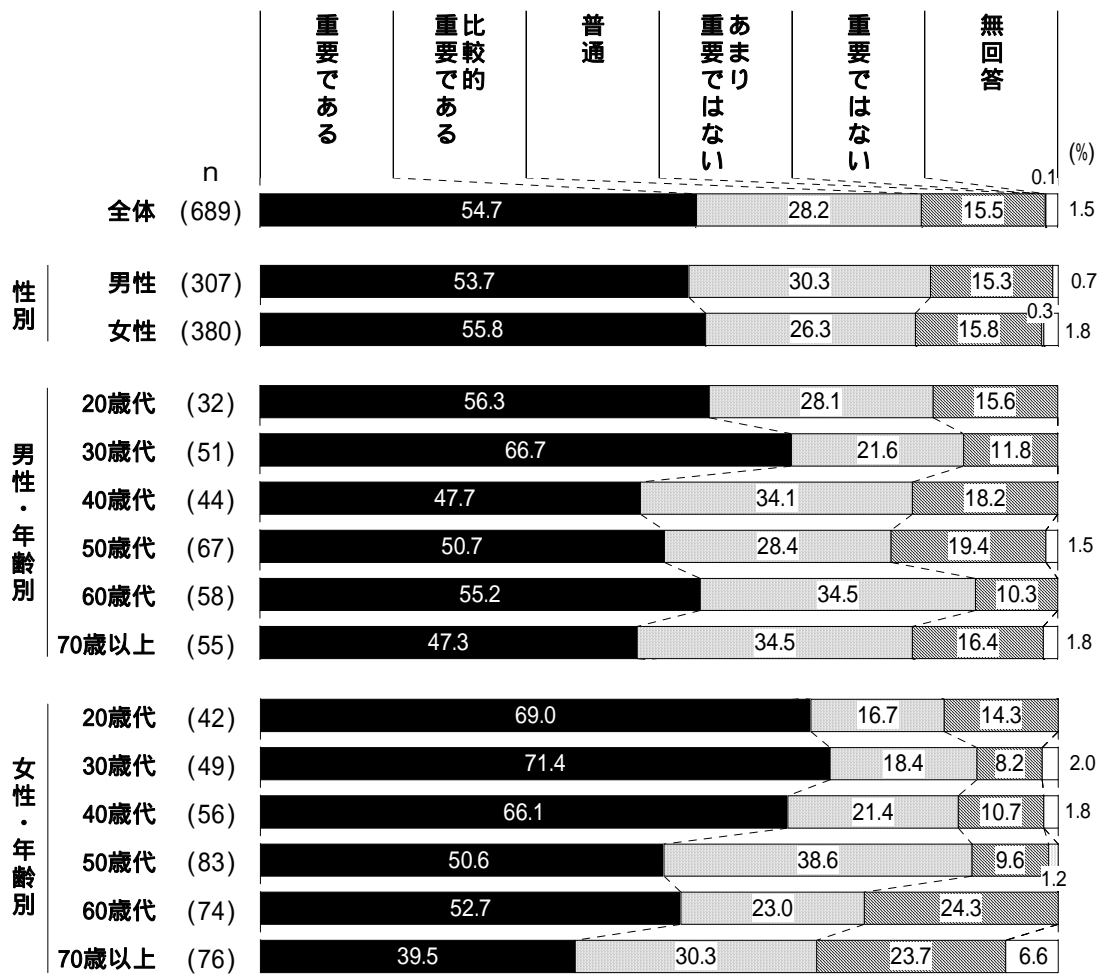
<図表4-2> まちづくりについての重要度 地域別



性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

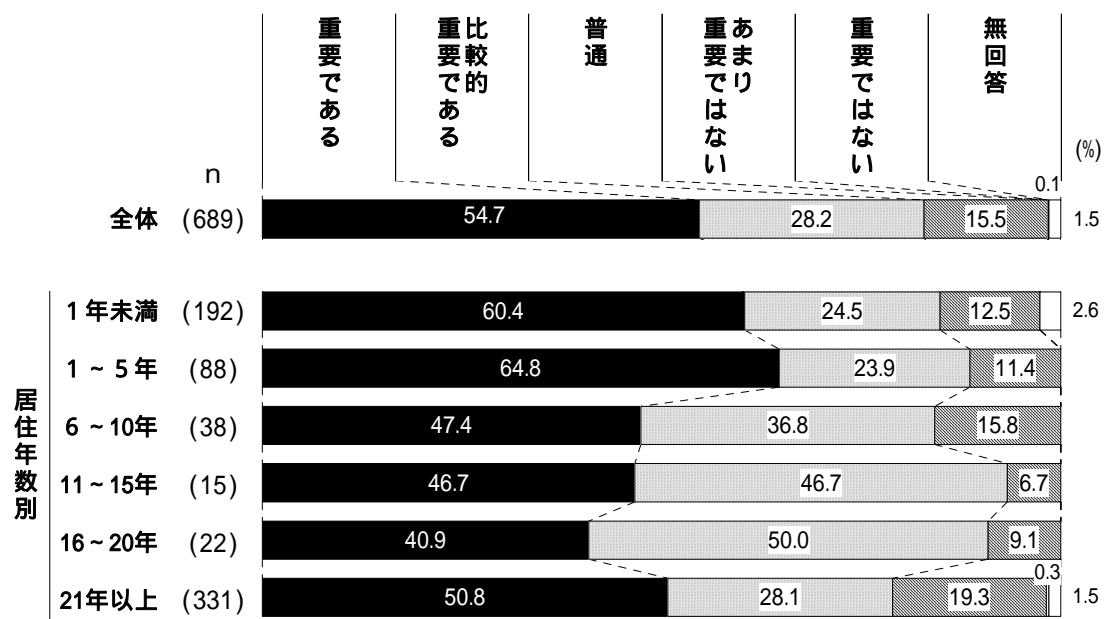
性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性は30歳代(88.3%)と60歳代(89.7%)が高く、女性は大まかな傾向として高齢層ほど低くなっている。(図表4-3)

<図表4-3> まちづくりについての重要度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、《重要である》割合は21年以上の居住者が78.9%とやや低い。1年未満および1～5年の居住者は強い肯定の「重要である」がともに6割を超えて高くなっている。(図表4-4)

<図表4-4> まちづくりについての重要度 居住年数別



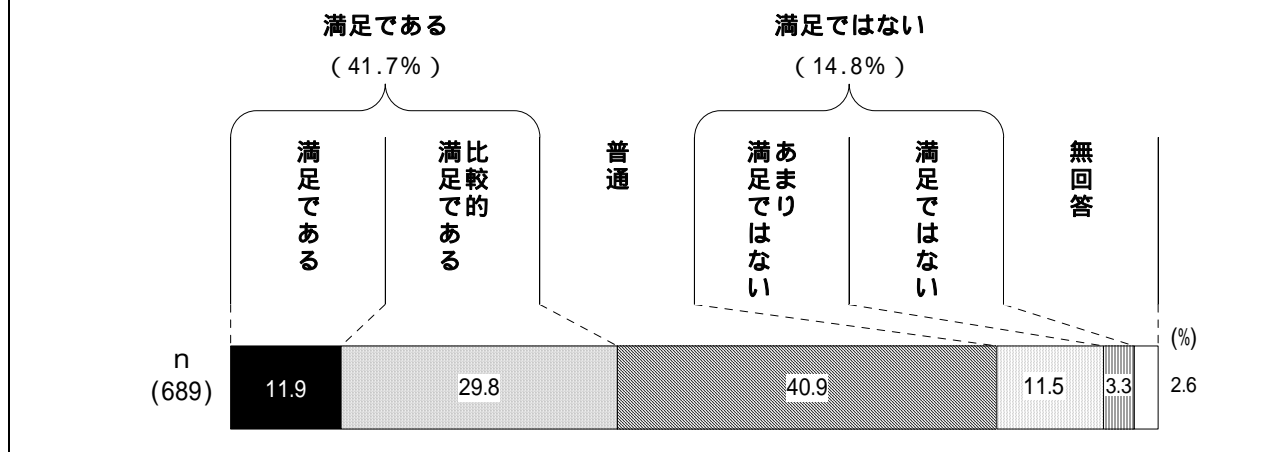
(2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度

《満足である》と「普通」がそれぞれ4割強

問11 まちづくりへの区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

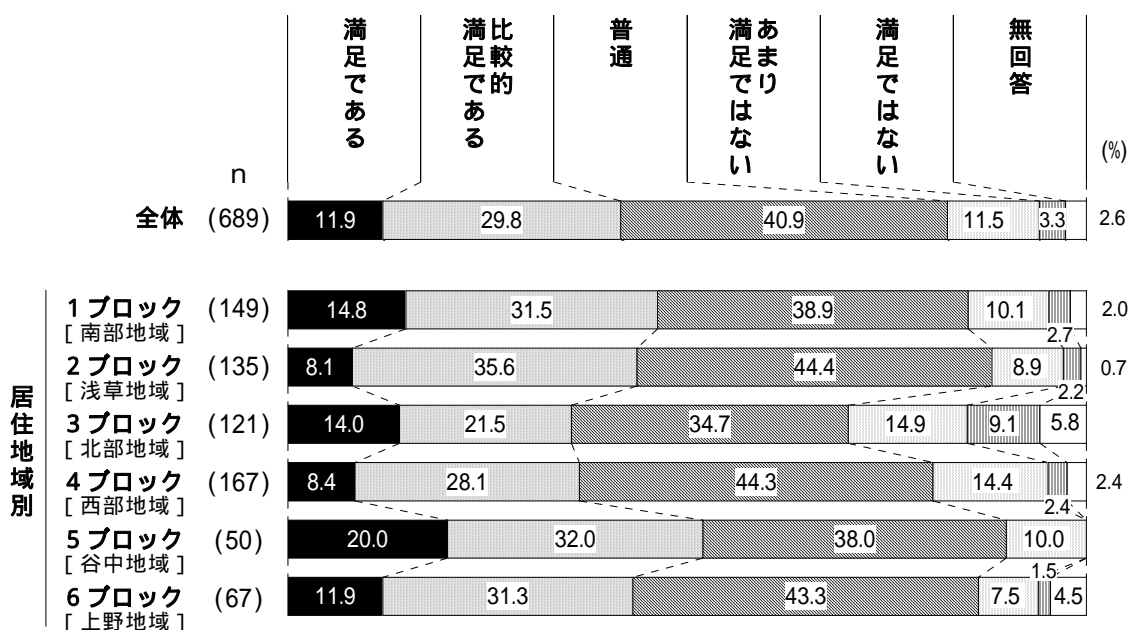
<図表4-5> まちづくりへの区の取り組みについての満足度



まちづくりへの区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は41.7%で、「普通」(40.9%)とほぼ同率である。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は14.8%となっている。(図表4-5)

地域別でみると、《満足である》割合は5ブロック[谷中地域](52.0%)で唯一5割を超えている。一方、3ブロック[北部地域](35.5%)と4ブロック[西部地域](36.5%)は3割台半ばで低い。特に3ブロック[北部地域]は《満足ではない》が24.0%と高くなっている。(図表4-6)

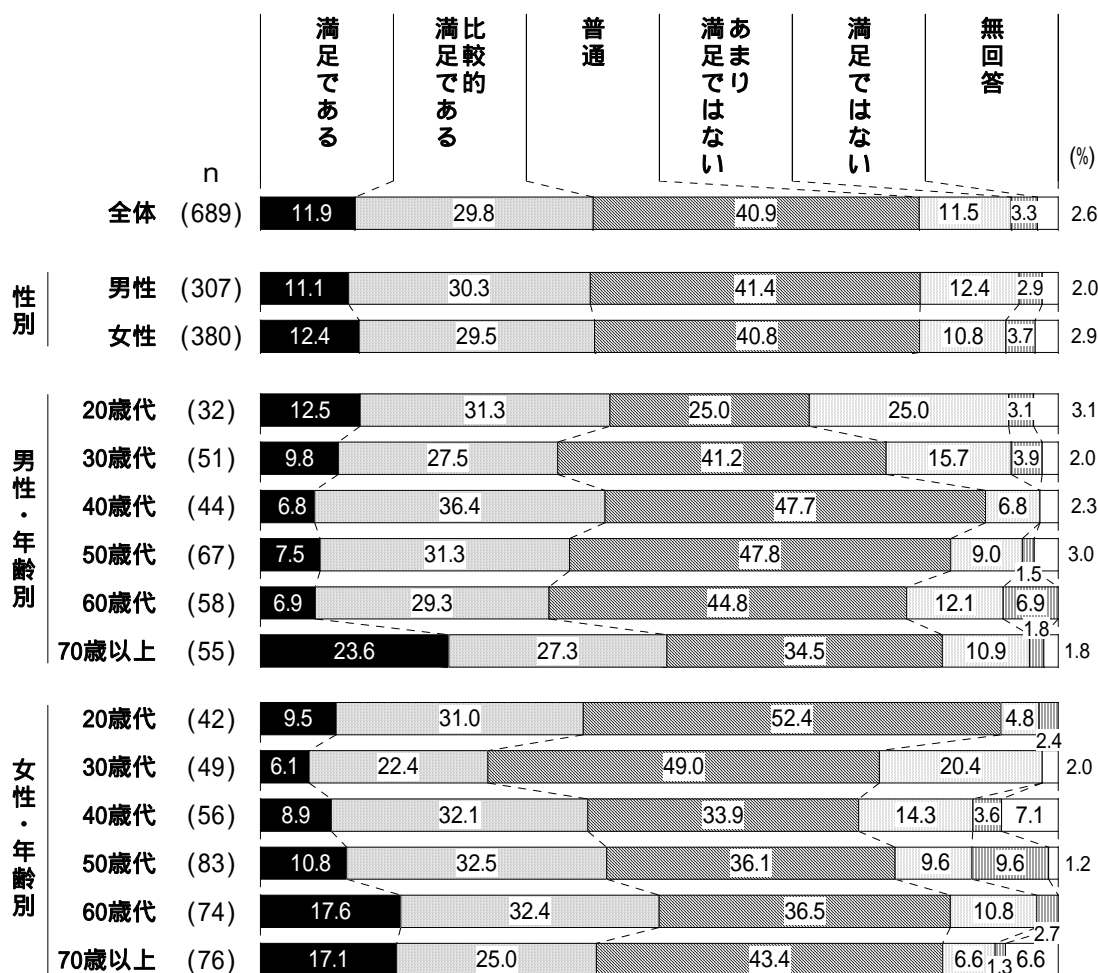
<図表4-6> まちづくりへの区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女間で違いは見当たらない。

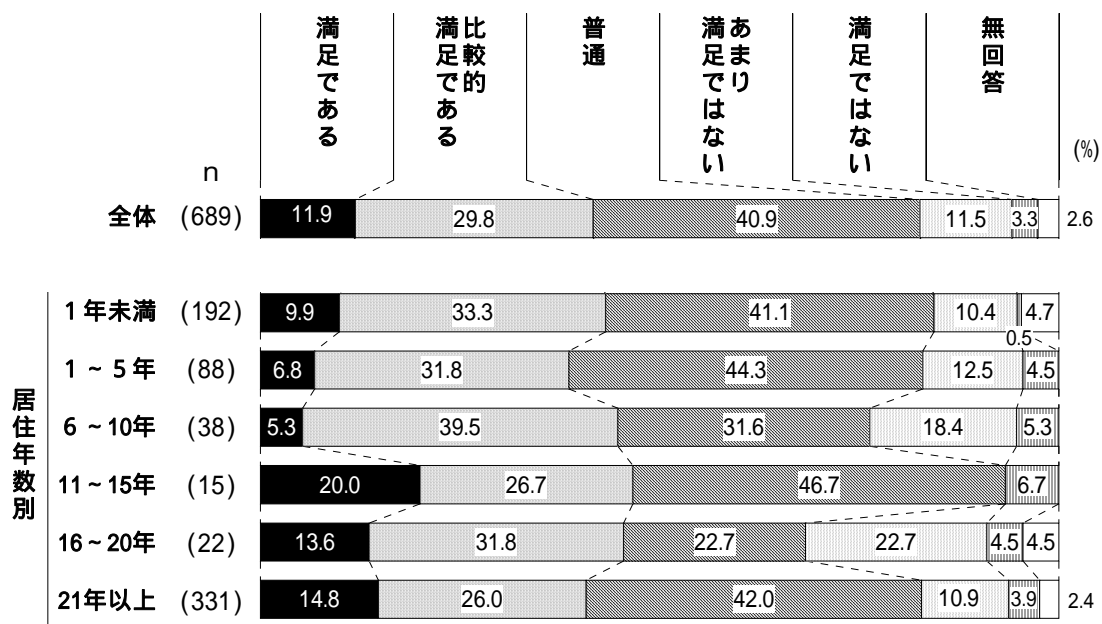
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性では70歳以上(50.9%)、女性では60歳代(50.0%)が5割以上と高く、一方、女性30歳代(28.5%)は3割未満と低い点が目立っている。(図表4-7)

<図表4-7> まちづくりへの区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、年数別で《満足である》割合に大きな差は見られない。(図表4-8)

<図表4-8> まちづくりへの区の取り組みについての満足度 居住年数別

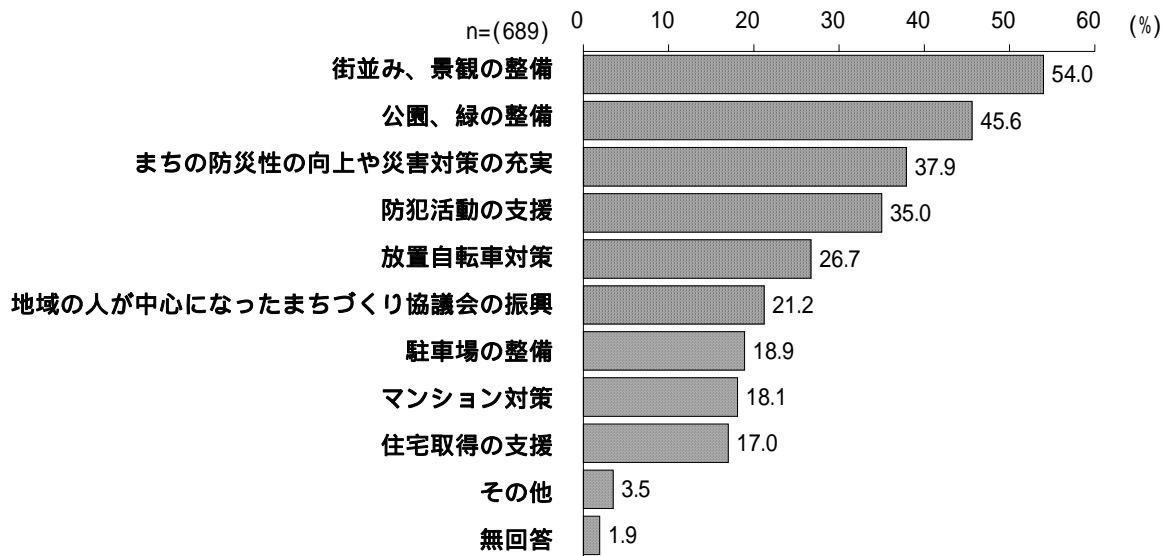


(3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの

「街並み、景観の整備」が5割台半ば

問12 まちづくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

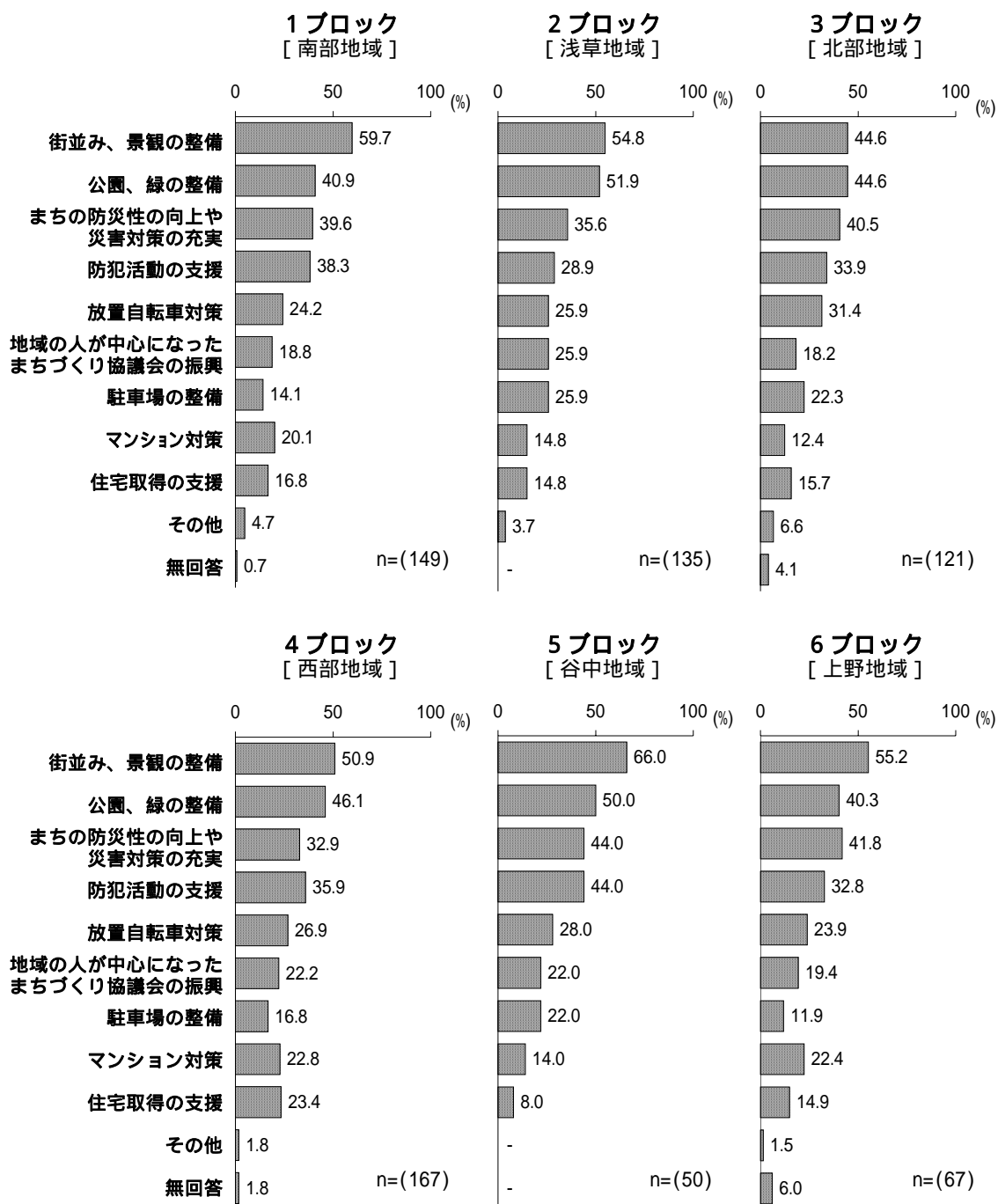
<図表4-9> まちづくりのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



まちづくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「街並み、景観の整備」(54.0%)が5割台半ばで最も高く、以下「公園、緑の整備」(45.6%)、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」(37.9%)、「防犯活動の支援」(35.0%)の順になっている。(図表4-9)

地域別でみると、5ブロック [谷中地域] が「街並み、景観の整備」、「公園、緑の整備」、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」、「防犯活動の支援」の上位4項目においていずれも高い割合を示している。(図表4 - 10)

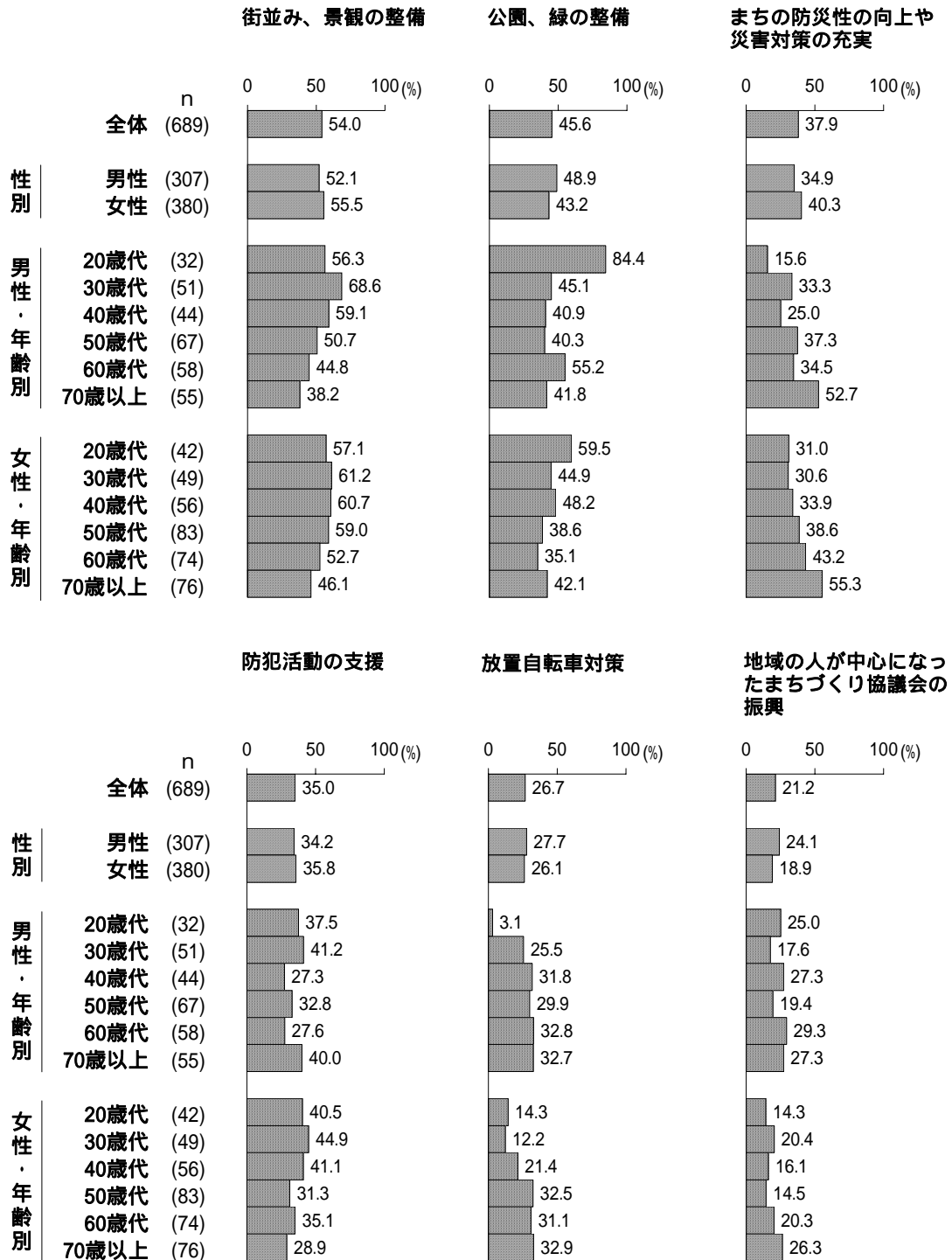
< 図表4 - 10 > まちづくりのための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「公園、緑の整備」、「地域の人を中心になったまちづくり協議会の振興」で男性がやや高く、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」では女性がやや高くなっている。

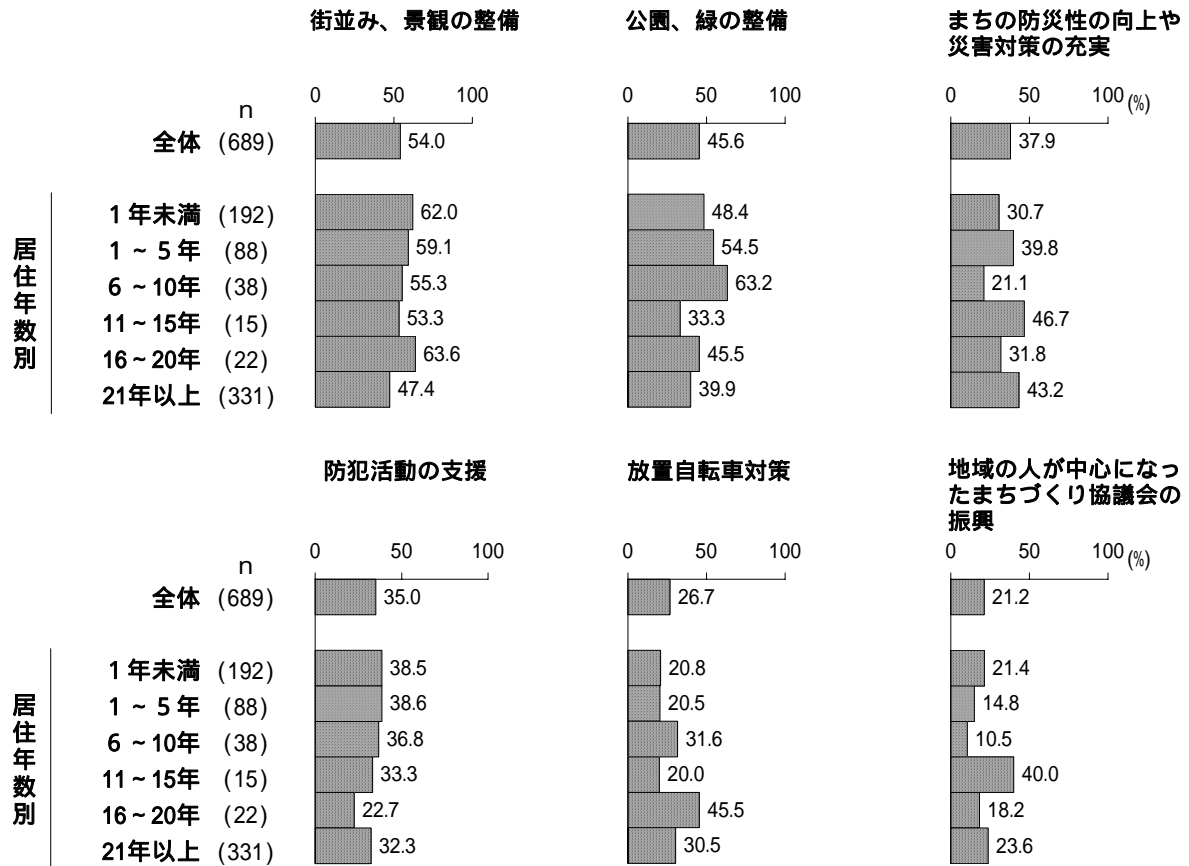
性・年齢別で見ると、「街並み、景観の整備」と「防犯活動の支援」では男女とも30歳代が最も高く、「公園、緑の整備」では男女ともに20歳代が、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」では男女ともに70歳以上が最も高くなっている。(図表4-11)

<図表4-11> まちづくりのための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)



居住年数別でみると、「街並み、景観の整備」は居住年数が16～20年の人が63.6%で最も高く、「公園、緑の整備」では居住年数が10年以下の人で高くなっている。(図表4-12)

<図表4-12> まちづくりのための取り組みとして大切なもの 居住年数別(上位6項目)



5 . 環境対策のための取り組み

台東区には、上野公園、隅田川など自然的な環境があります。

一方、ごみ減量、リサイクル、地球温暖化対策など、環境問題への取り組みが強く求められています。

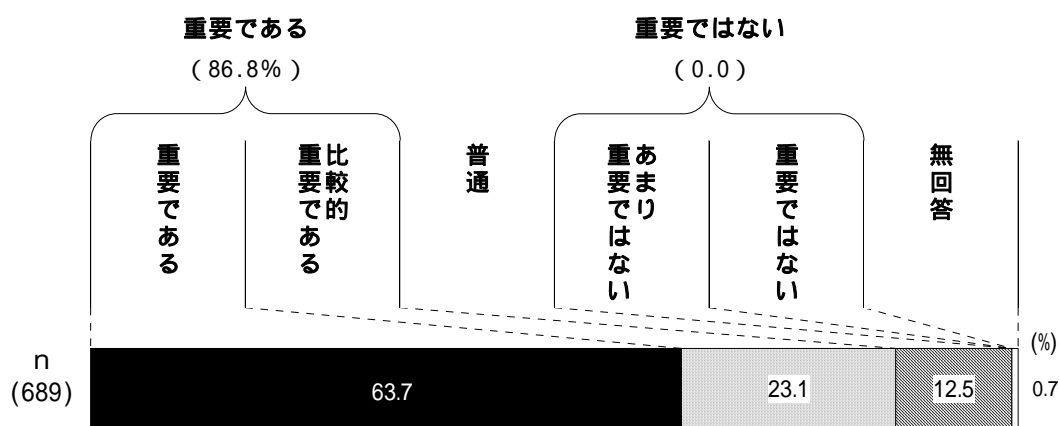
そのため、区では、水と緑の保全など、うるおいのある生活環境づくりと、生活様式の見直しなど、環境に配慮した社会づくりに取り組んでいます。

(1) 環境対策についての重要度

《重要である》が8割台半ば

問13 環境対策についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ をおつけください)

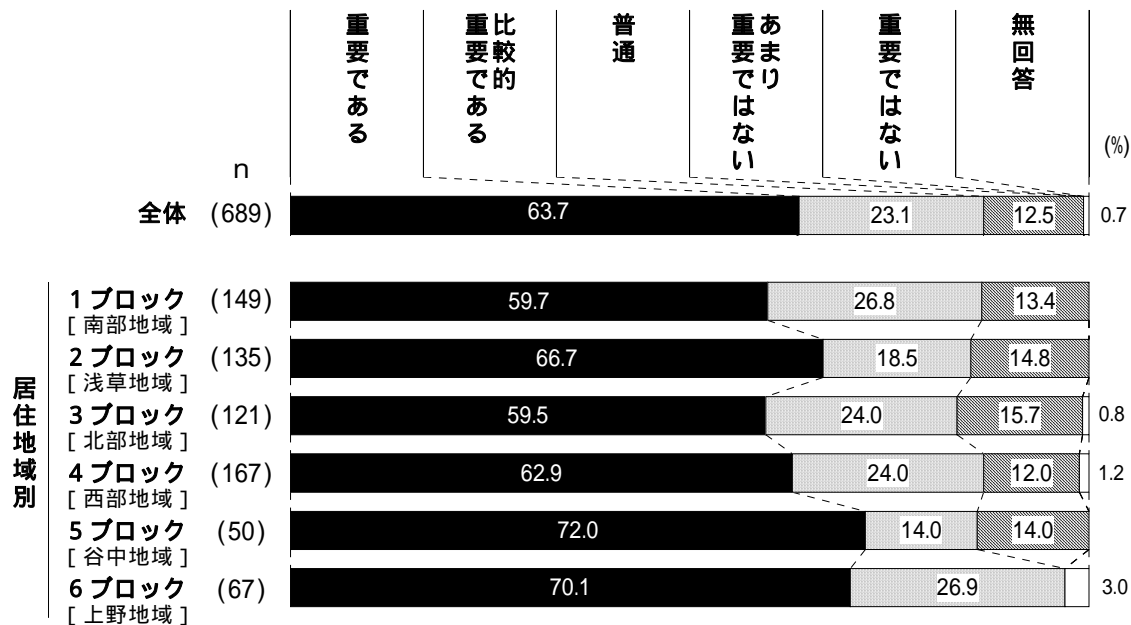
< 図表 5 - 1 > 環境対策についての重要度



環境対策についての重要度について聞いたところ、6割台半ばが「重要である」(63.7%)と回答し、「比較的である」(23.1%)を加えた《重要である》は86.8%を占めている。一方、「普通」は12.5%、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は皆無である。(図表5-1)

地域別でみると、《重要である》は6ブロック [上野地域] (97.0%) において特に高くなっている。(図表 5 - 2)

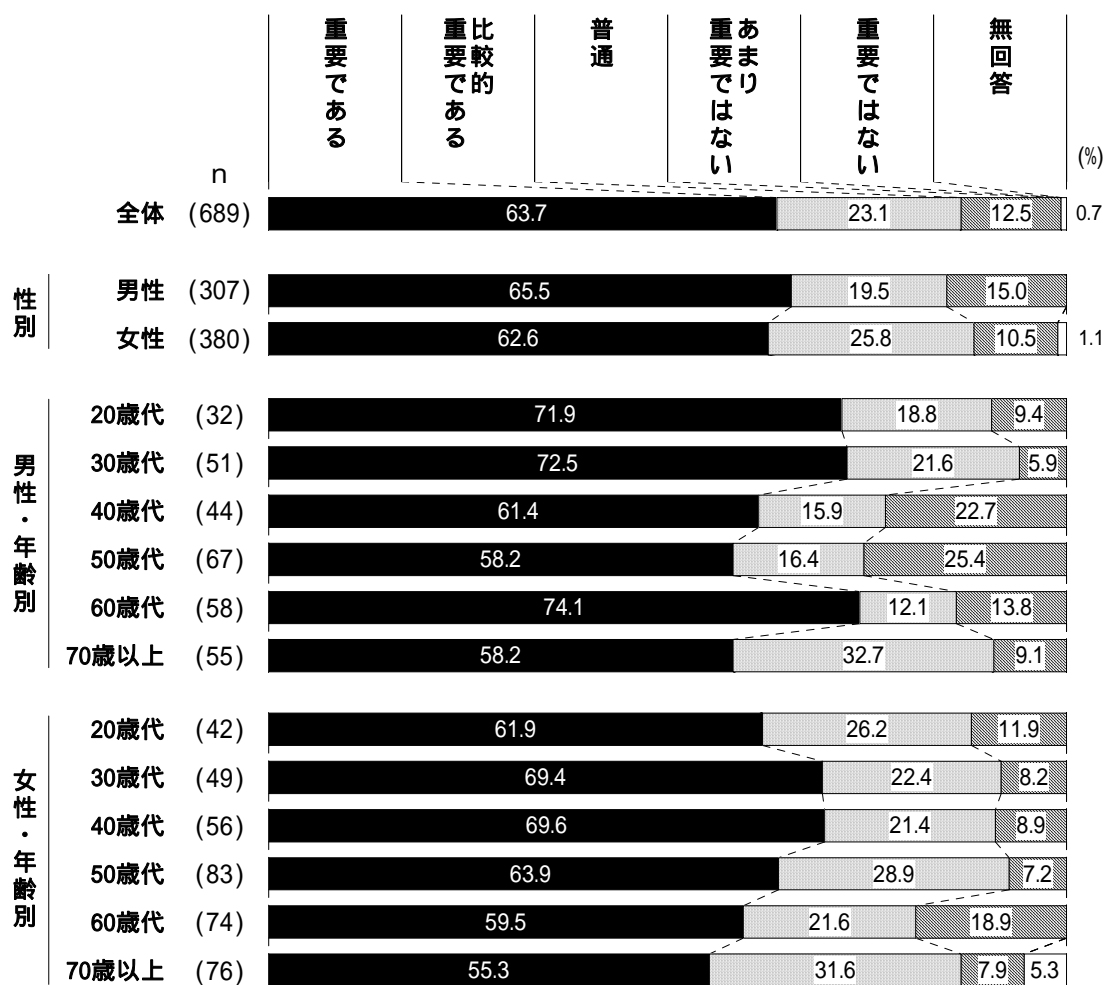
< 図表 5 - 2 > 環境対策についての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》は女性のほうがやや高くなっている。

性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性の40歳（77.3%）と50歳代（74.6%）がやや低くなっている。（図表5 - 3）

<図表5 - 3> 環境対策についての重要度 性別 / 性・年齢別



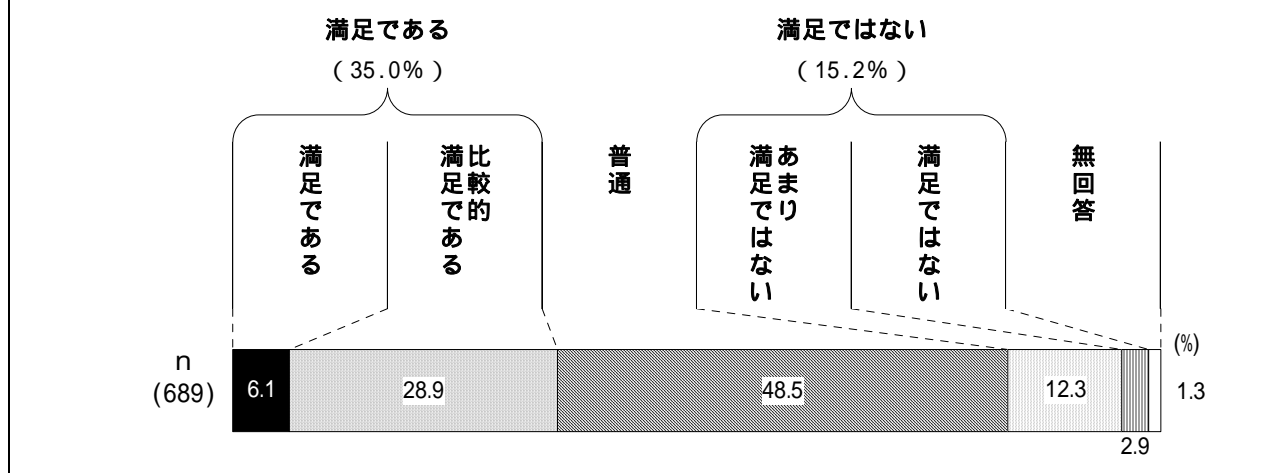
(2) 環境対策への区の取り組みについての満足度

「普通」が5割弱、《満足である》は3割台半ば

問14 環境対策への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

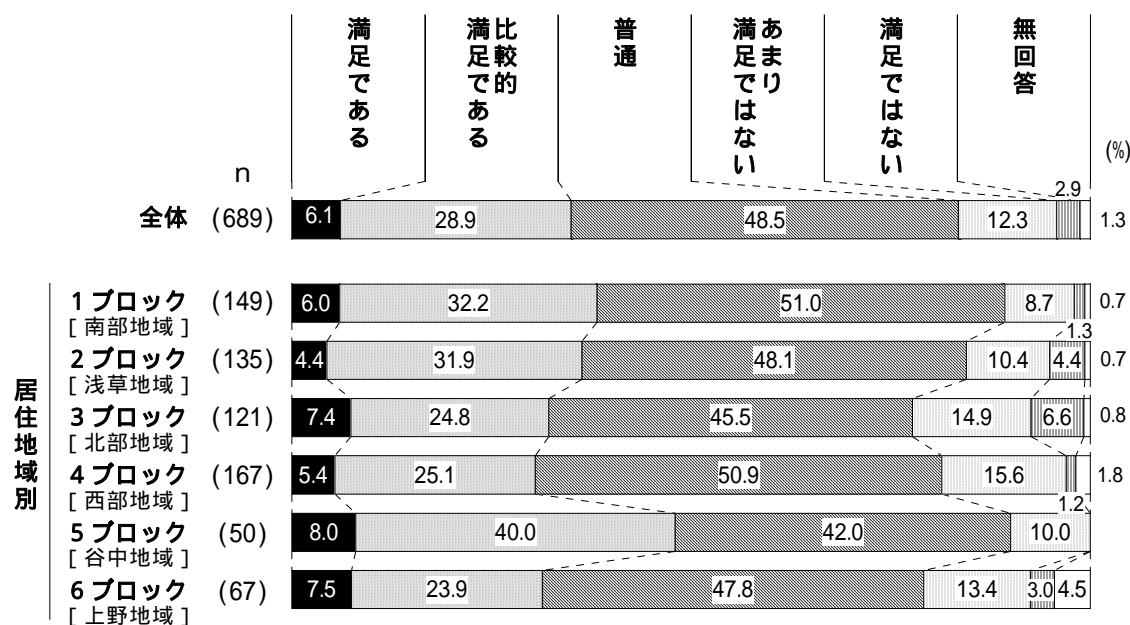
<図表5-4> 環境対策への区の取り組みについての満足度



環境対策への区の取り組みについて満足度を聞いたところ、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は35.0%で、「普通」(48.5%)よりも低い。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は15.2%となっている。(図表5-4)

地域別でみると、《満足である》が5ブロック[谷中地域](48.0%)で特に高くなっている。(図表5-5)

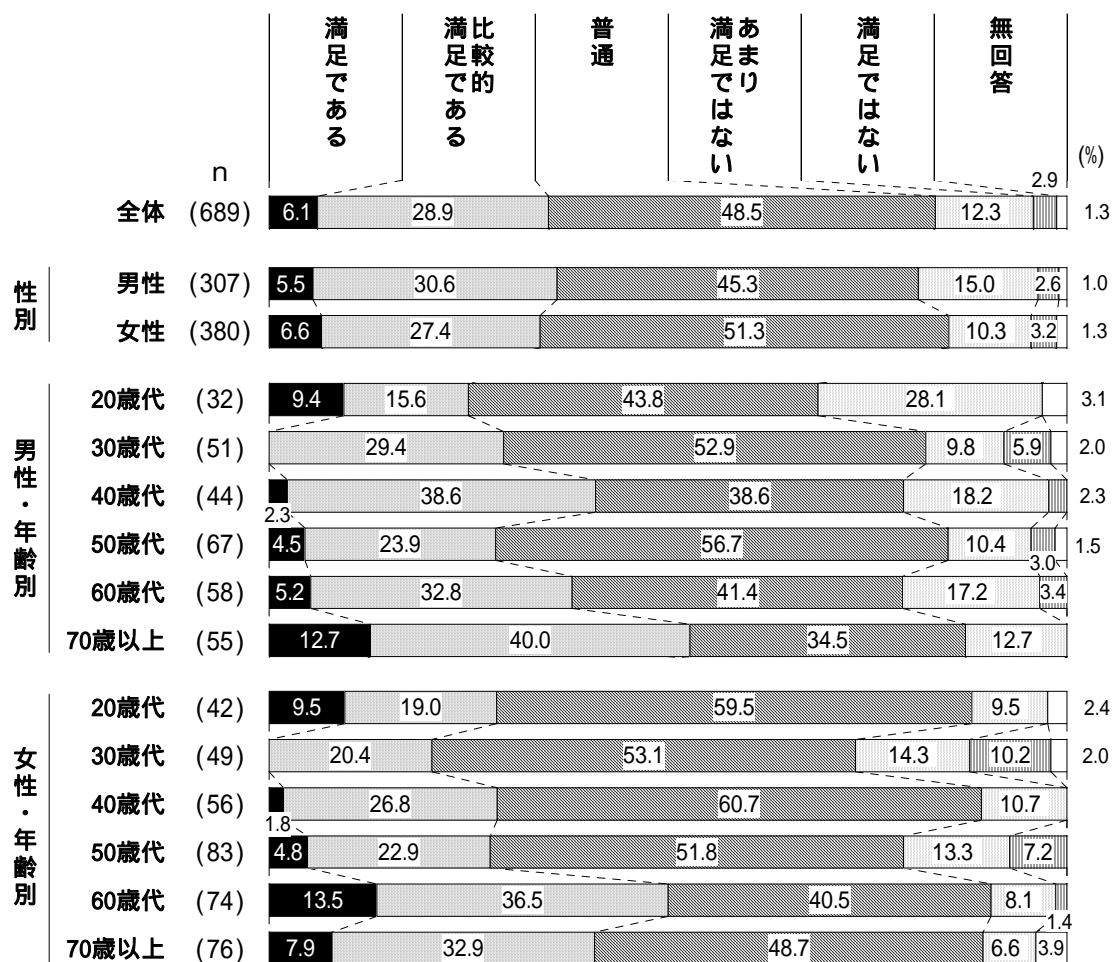
<図表5-5> 環境対策への区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女間に目立った差はない。

性・年齢別で《満足である》割合をみると、男女ともに高年齢層で高いという傾向がある。男性20歳代（25.0%）と女性30歳代（20.4%）は特に低く、《満足ではない》割合よりも低くなっている。（図表5 - 6）

<図表5 - 6> 環境対策への区の取り組みについての満足度 性別 / 性・年齢別



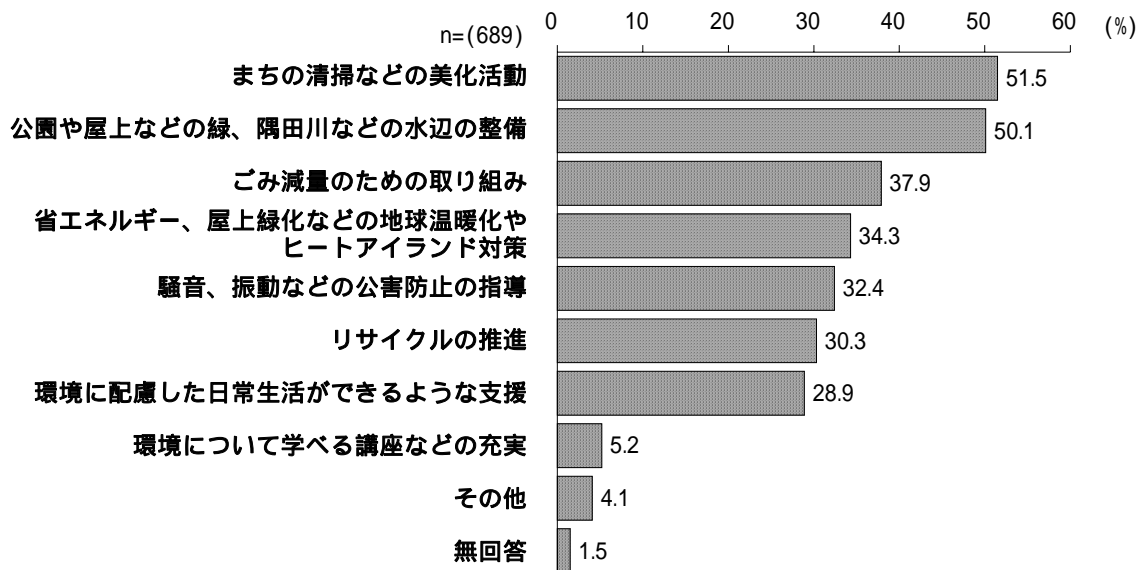
(3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの

「美化活動」と「緑、水辺の整備」が各5割強

問15 環境対策のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

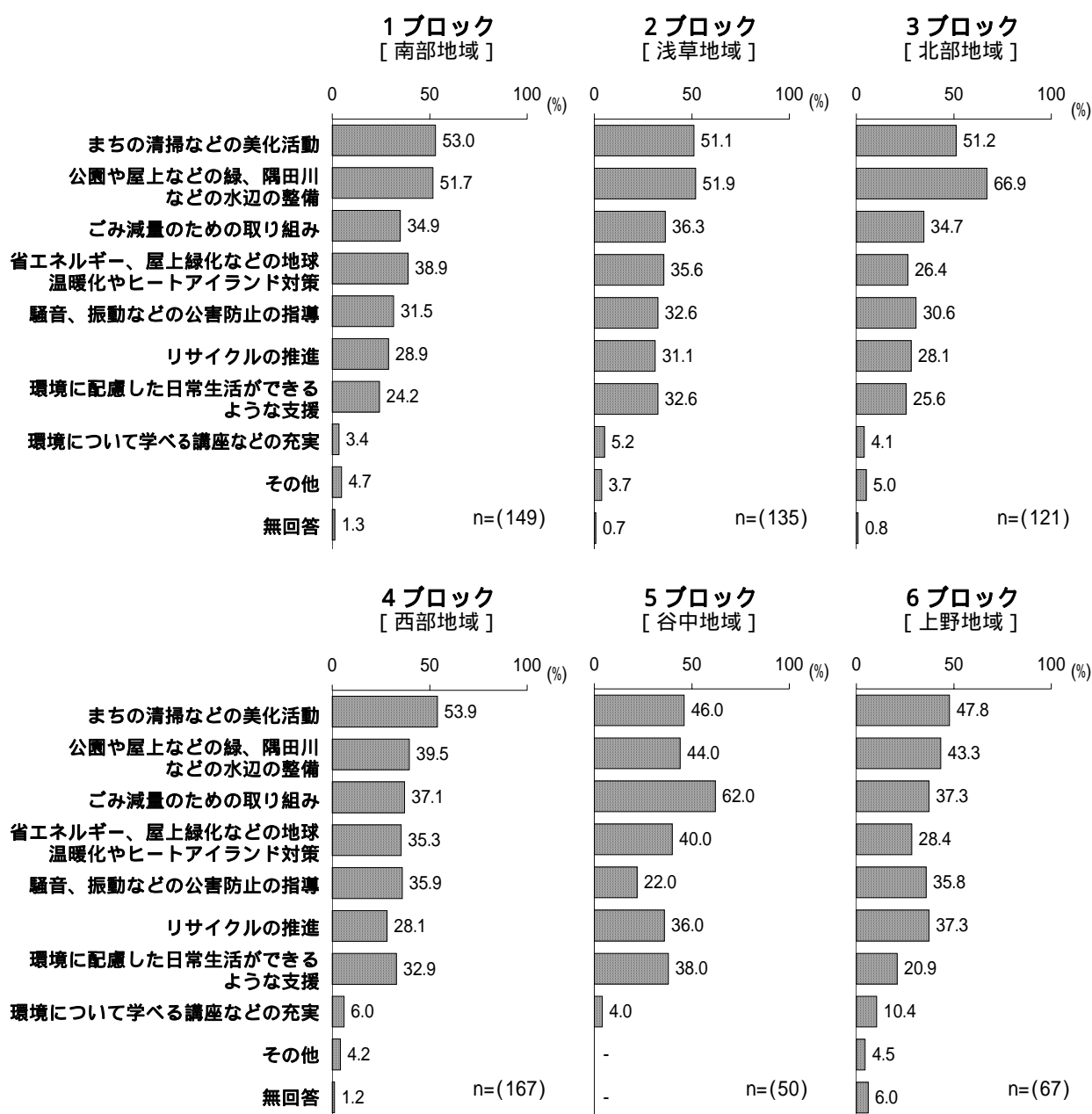
< 図表 5 - 7 > 環境対策のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



環境対策のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「まちの清掃などの美化活動」(51.5%)と「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」(50.1%)の2つが5割を超え、以下「ごみ減量のための取り組み」(37.9%)、「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」(34.3%)、「騒音、振動などの公害防止の指導」(32.4%)の順となっている。(図表 5 - 7)

地域別でみると、「まちの清掃などの美化活動」は、5ブロック[谷中地域]と6ブロック[上野地域]以外で5割を超えている。「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」では3ブロック[北部地域](66.9%)の高さが目立っている。「ごみ減量のための取り組み」で最も高い5ブロック[谷中地域](62.0%)は、「騒音、振動などの公害防止の指導」(22.0%)では最も低くなっている。(図表5-8)

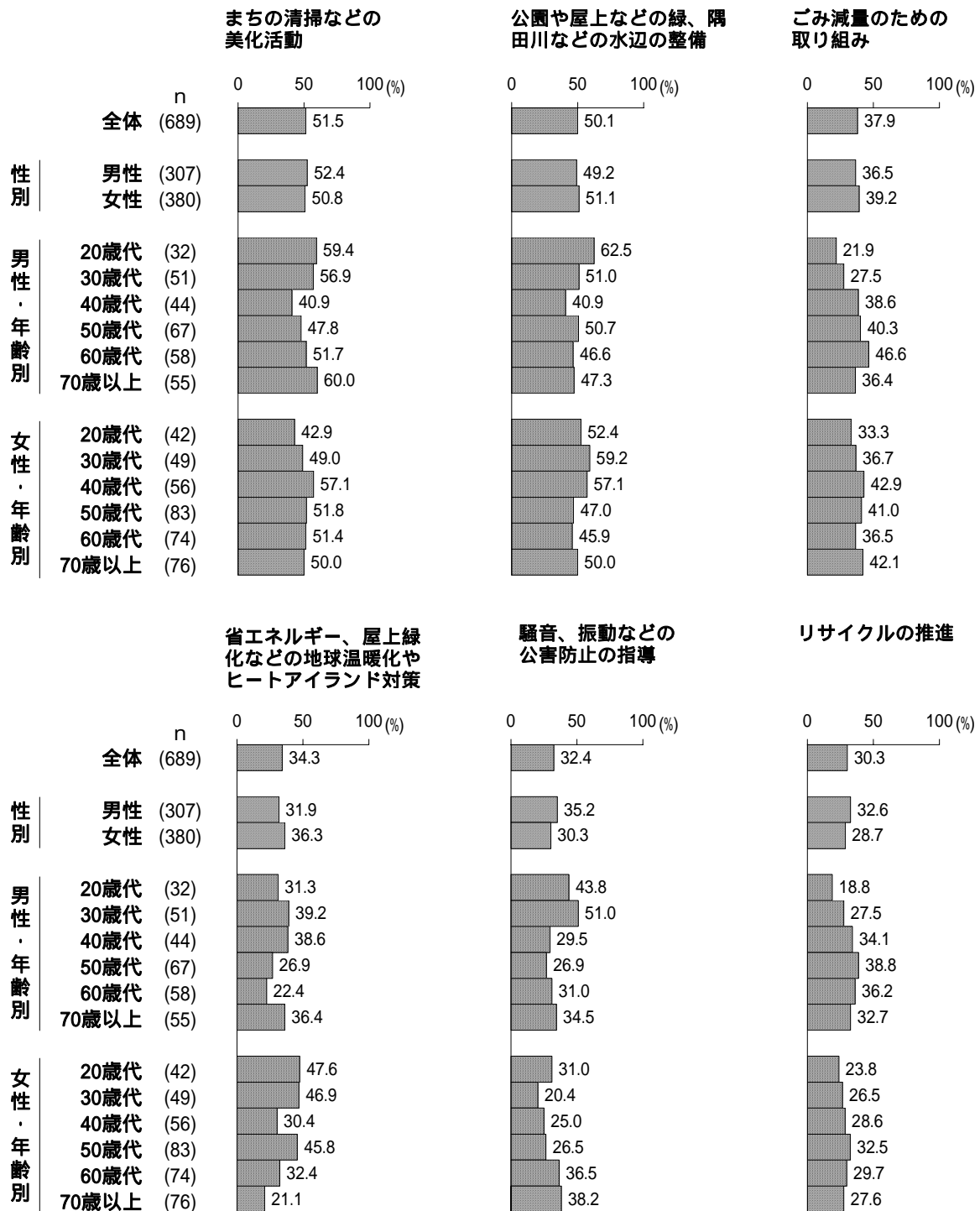
<図表5-8> 環境対策のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別でみると、「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」では女性が、「騒音、振動などの公害防止の指導」では男性がやや高くなっている。

性・年齢別でみると、「まちの清掃などの美化活動」は、男性は40歳代(40.9%)が最も低いが、女性は逆に40歳代(57.1%)が最も高い。「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」では男性は20歳代(62.5%)、女性は30歳代(59.2%)が最も高い。「ごみ減量のための取り組み」では男性の20歳代(21.9%)と30歳代(27.5%)が2割台で低い。(図表5-9)

<図表5-9> 環境対策のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)

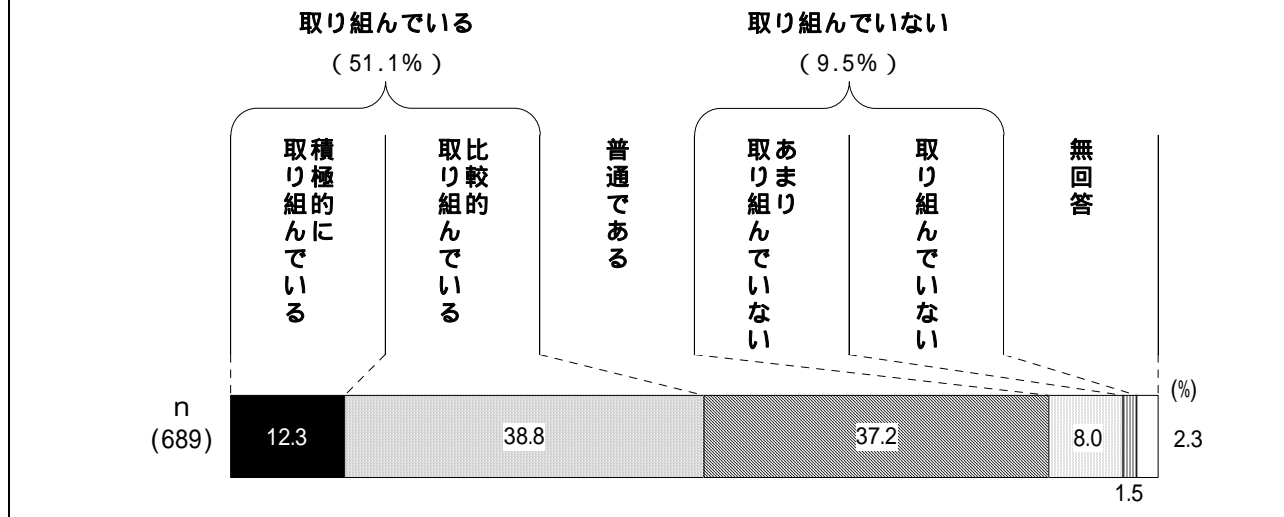


(4) 環境に配慮した行動への取り組み

《取り組んでいる》が半数、「普通である」が4割弱

問16 あなたは、電気の節約などの省エネルギーや集団回収などのリサイクル、緑の保全など、環境に配慮した行動に取り組まれていますか。(1つだけをおつけください)

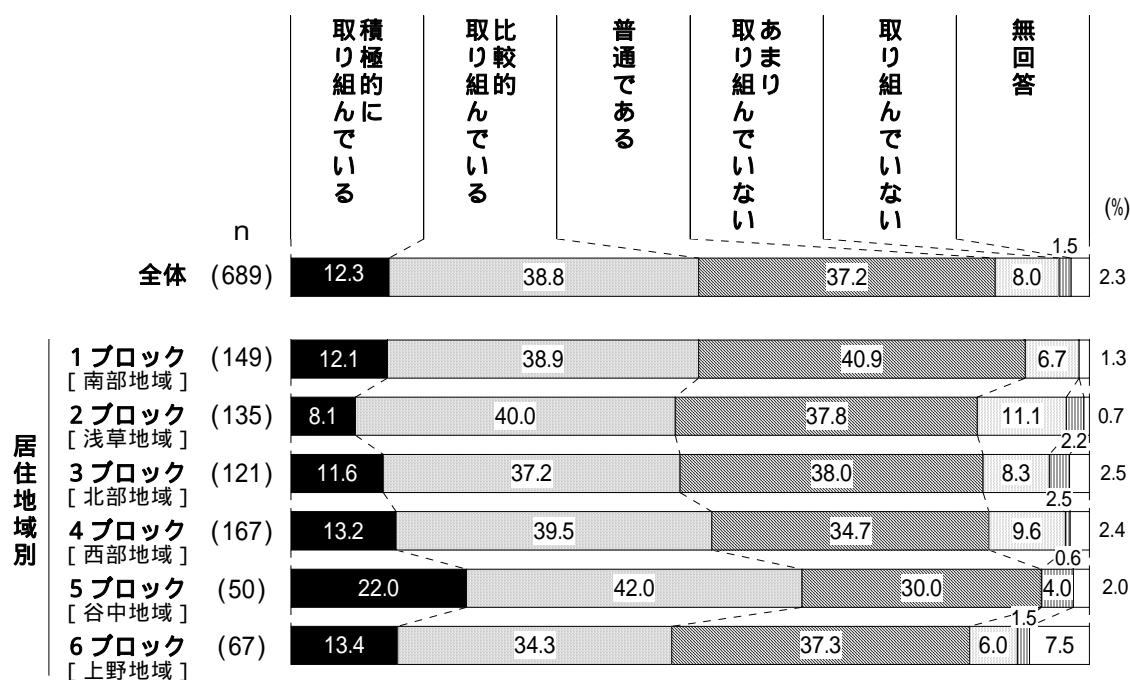
<図表5-10> 環境に配慮した行動への取り組み



環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》(「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」の合計)が半数(51.1%)、「普通である」が4割弱(37.2%)、「取り組んでいない」(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)が1割(9.5%)となっている。(図表5-10)

地域別でみると、《取り組んでいる》は5ブロック[谷中地域](64.0%)で特に高い。(図表5-11)

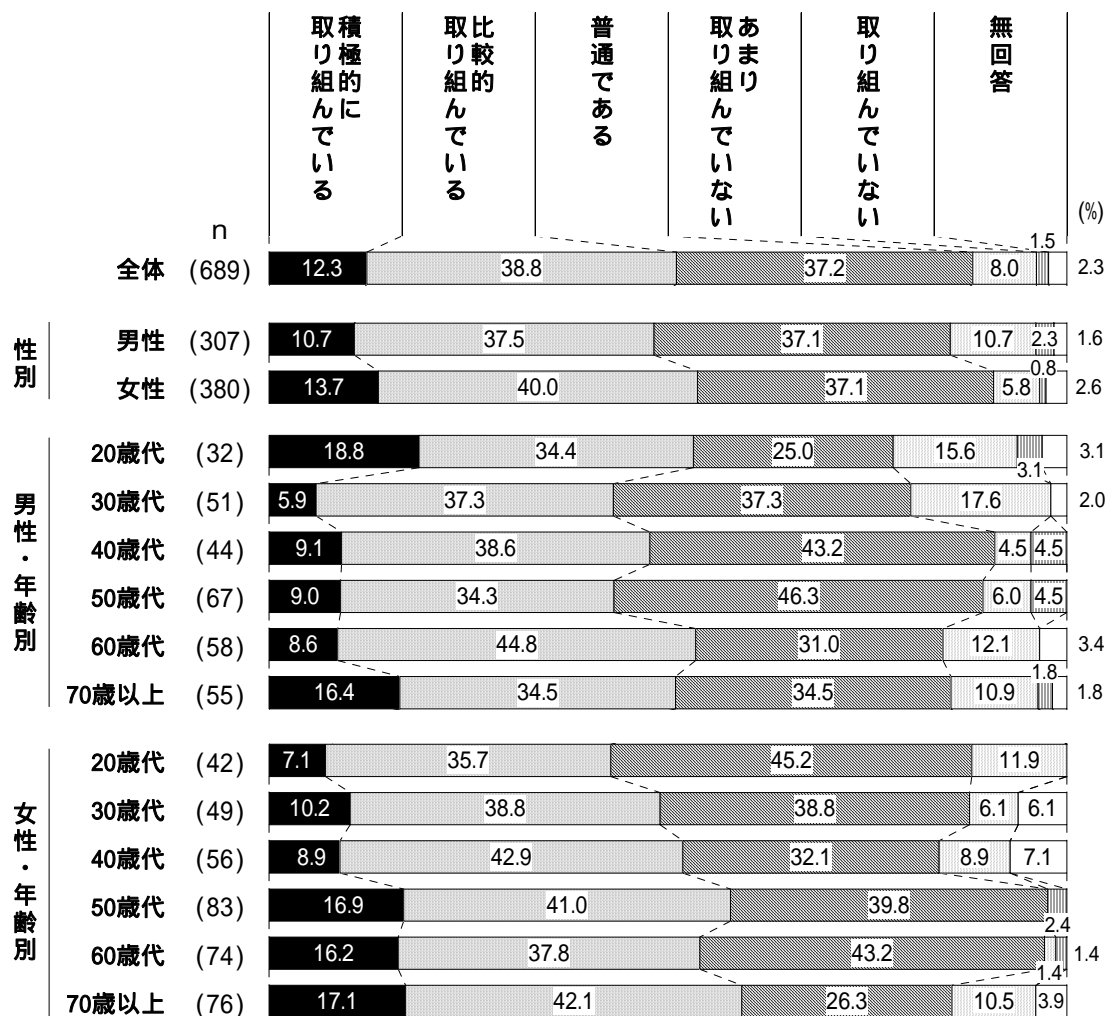
<図表5-11> 環境に配慮した行動への取り組み 地域別



性別でみると、《取り組んでいる》は女性(53.7%)が男性(48.2%)よりもやや高くなっている。

性・年齢別で《取り組んでいる》割合をみると、女性は高年齢層ほど割合が高くなる傾向が見られる。男性20歳代(53.2%)は男性の中ではやや高いが、《取り組んでいない》割合も18.7%と高くなっている。(図表5-12)

<図表5-12> 環境に配慮した行動への取り組み 性別/性・年齢別



6 . 生涯学習のための取り組み

区民の一人ひとりが、心の豊かさや生きがいを、自分にあったかたちで実現していくことや、学習の成果を地域での交流やさまざまな課題解決に活かしていくことが大切です。

また、地域の課題の解決のため、さまざまな活動が行われています。

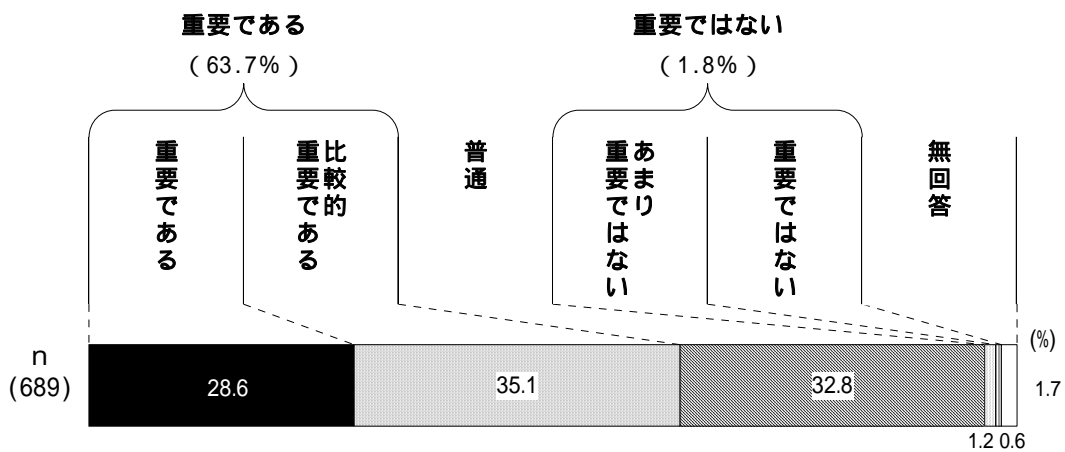
区では、区民のさまざまな学習ニーズに応えるため、生涯学習センター、図書館などの整備、多様な講座などの学ぶ機会の充実に取り組んでいます。

(1) 生涯学習についての重要度

《重要である》が6割強

問17 生涯学習についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ をおつけください)

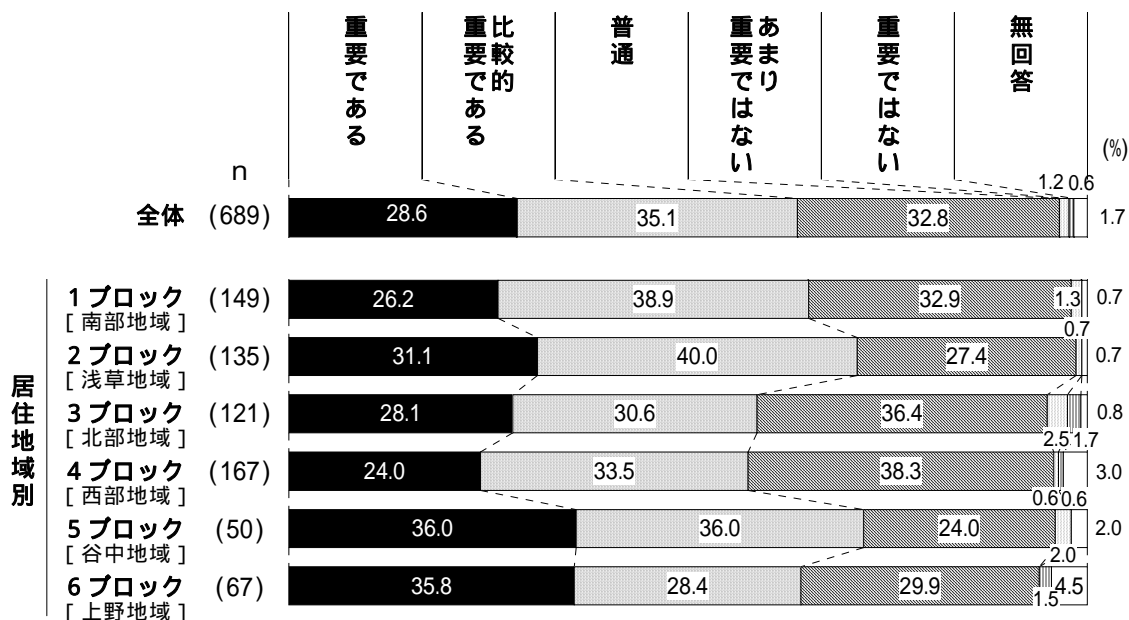
<図表 6 - 1> 生涯学習についての重要度



生涯学習がどの程度重要かを聞いたところ、「比較的重要である」(35.1%)が最も高く、次いで「普通」(32.8%)、「重要である」(28.6%)の順になっている。《重要である》(「重要である」と「比較的重要である」の合計)は63.7%、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.8%である。(図表 6 - 1)

地域別で《重要である》の割合をみると、5ブロック[谷中地域](72.0%)と2ブロック[浅草地域](71.1%)では7割を超えて高いが、3ブロック[北部地域](58.7%)と4ブロック[西部地域](57.5%)では6割未満となっている。(図表6-2)

<図表6-2> 生涯学習についての重要度 地域別

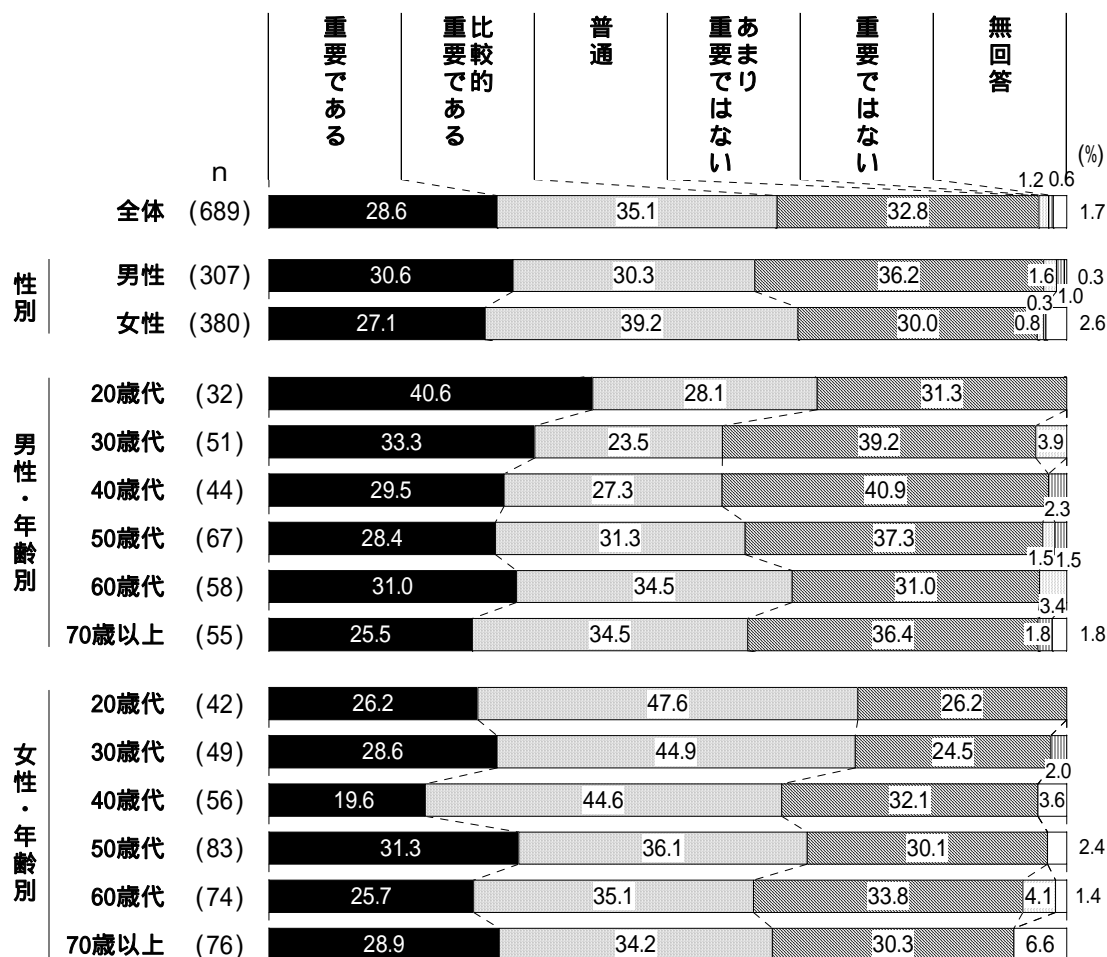


性別でみると、《重要である》は女性（66.3%）が男性（60.9%）をやや上回っている。

性・年齢別で《重要である》割合をみると、60歳代を除いた各年齢層で、女性が男性よりも高くなっている。特に30歳代は、男性（56.8%）と女性（73.5%）の差が大きくなっている。

（図表6-3）

<図表6-3> 生涯学習についての重要度 性別/性・年齢別



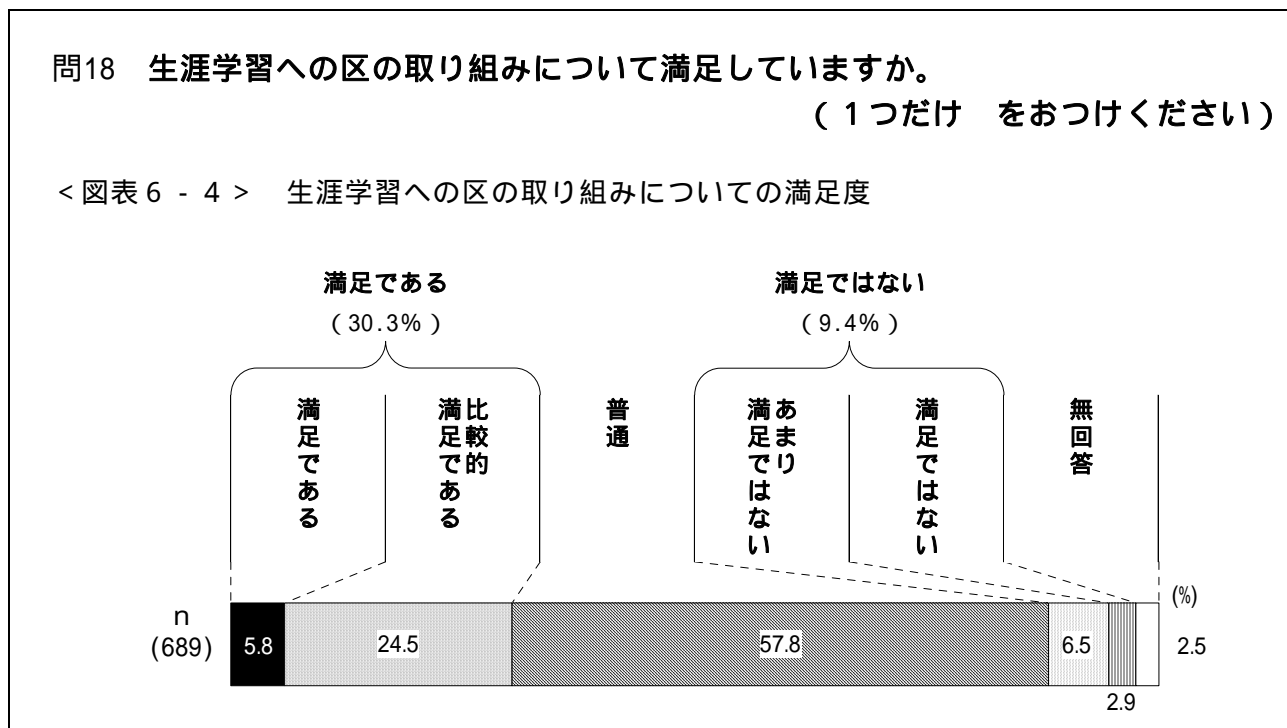
(2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度

「普通」が6割弱

問18 生涯学習への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

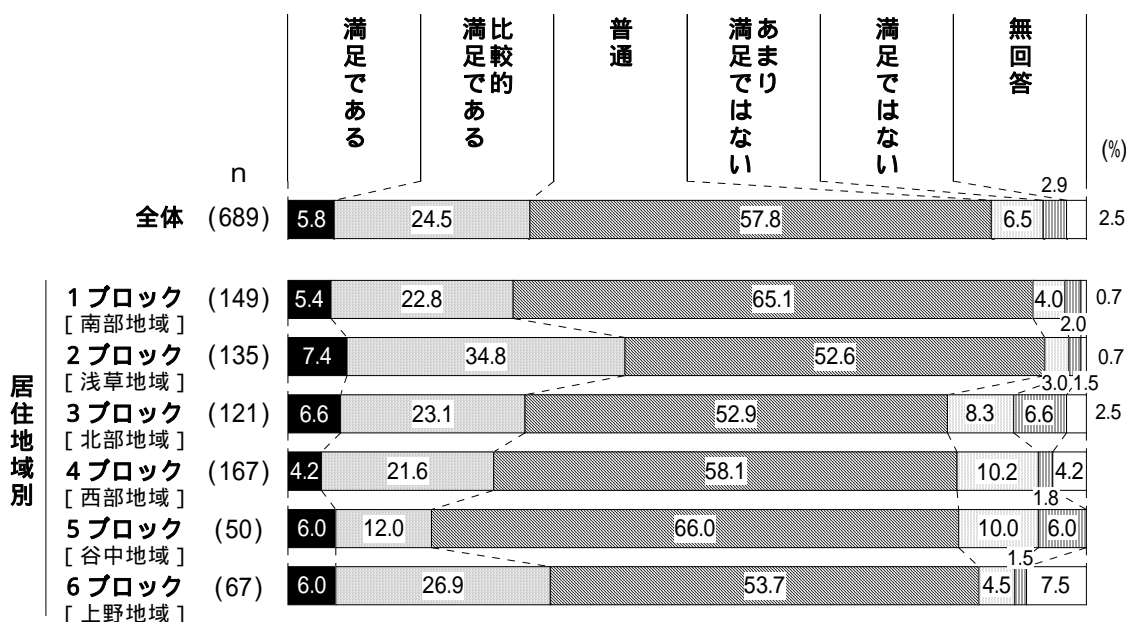
<図表6-4> 生涯学習への区の取り組みについての満足度



生涯学習への区の取り組みについての満足度について聞いたところ、「普通」(57.8%)が6割弱を占めている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は30.3%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は9.4%である。(図表6-4)

地域別で《満足である》割合をみると、2ブロック[浅草地域](42.2%)の高さが目立つ。逆に、5ブロック[谷中地域](18.0%)は唯一2割未満となっている。(図表6-5)

<図表6-5> 生涯学習への区の取り組みについての満足度 地域別

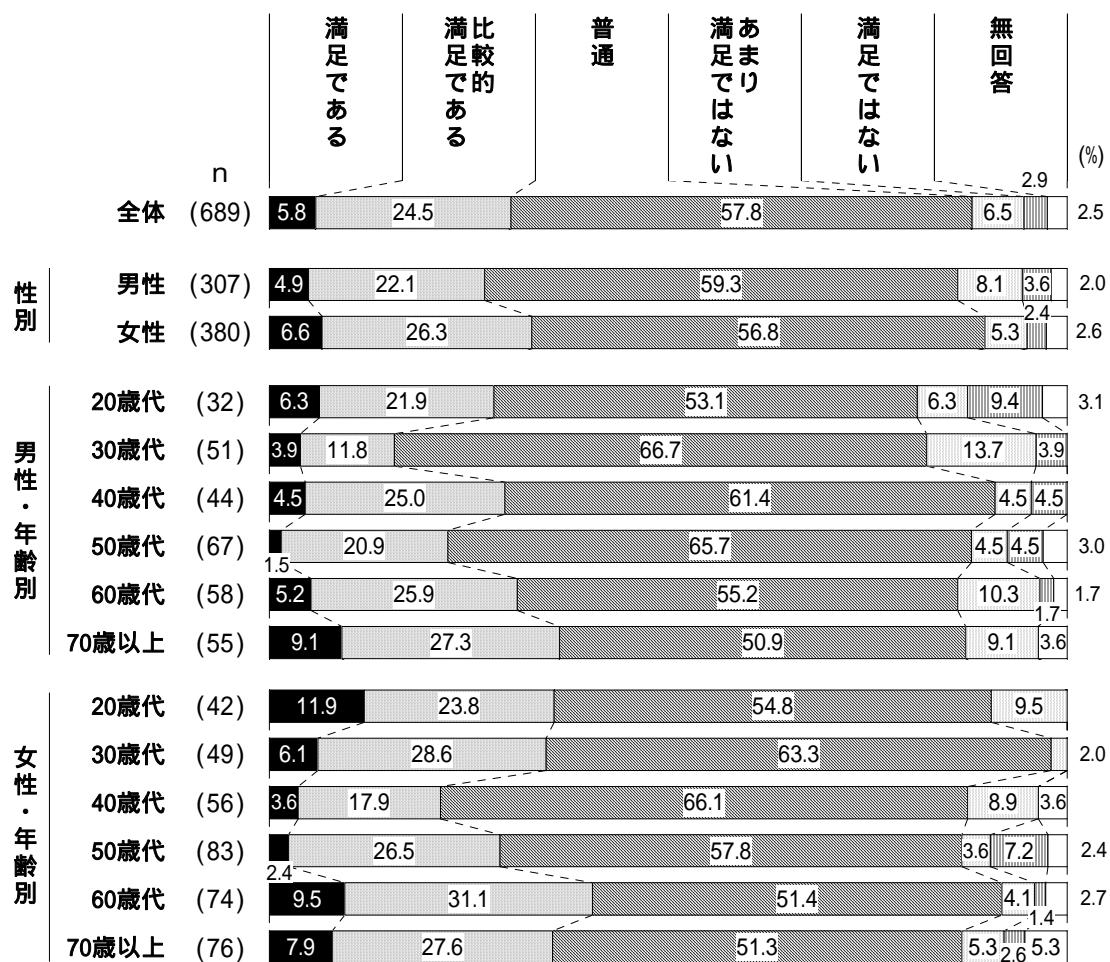


性別でみると、《満足である》は女性（32.9%）が男性（27.0%）よりも約6ポイント高い。

性・年齢別で《満足である》割合をみると、女性60歳代（40.6%）は唯一4割台の満足度を示しているが、女性では40歳代（21.5%）、男性では30歳代（15.7%）で低く目立っている。

（図表6-6）

<図表6-6> 生涯学習への区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



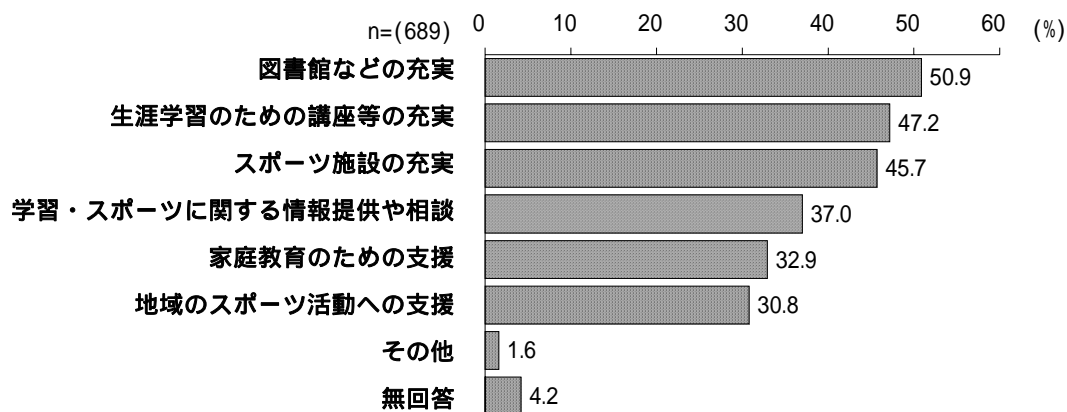
(3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの

「図書館などの充実」、「生涯学習のための講座等の充実」が5割前後

問19 生涯学習のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

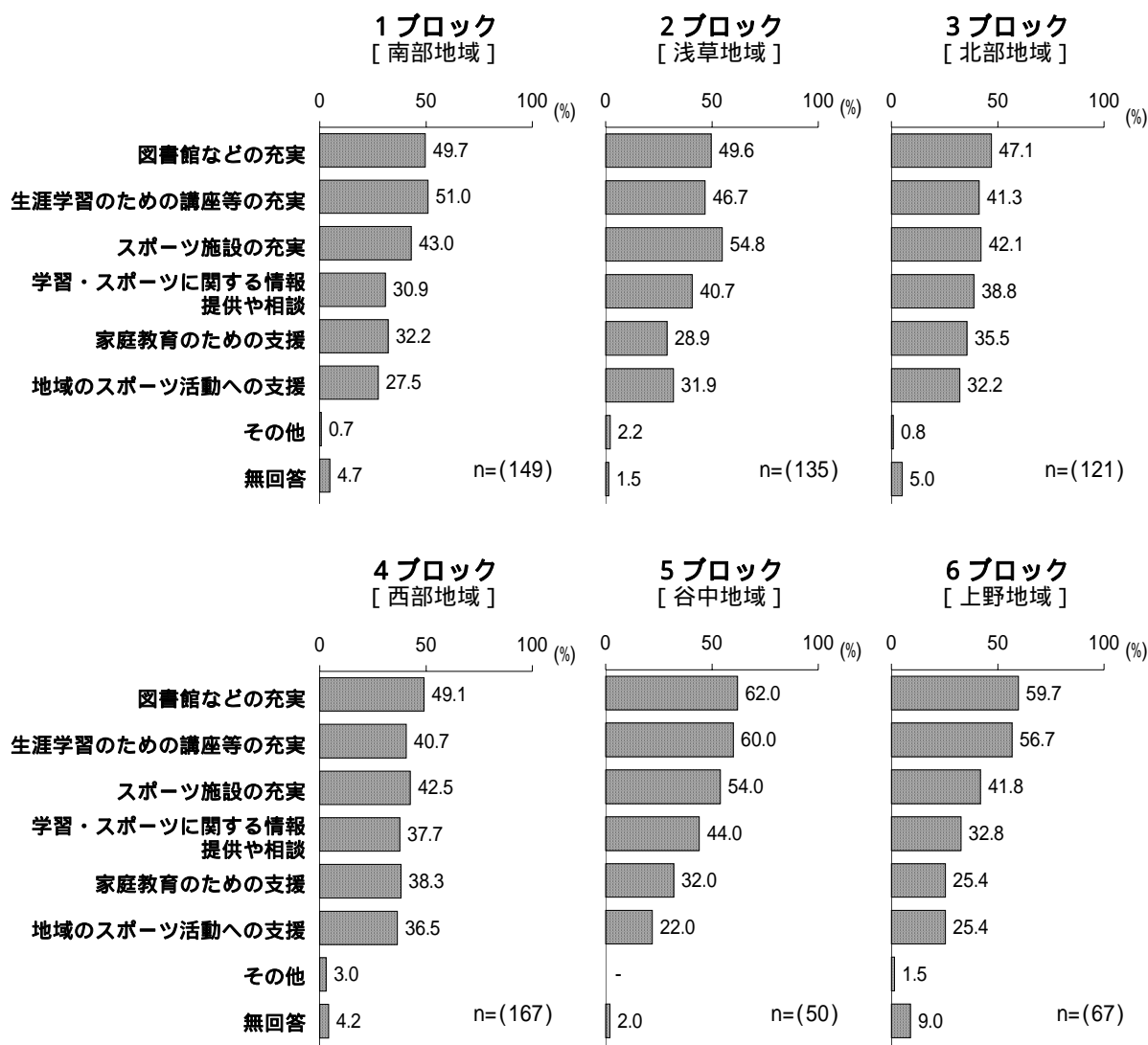
< 図表 6 - 7 > 生涯学習のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



生涯学習のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「図書館などの充実」(50.9%) が5割、「生涯学習のための講座等の充実」(47.2%) と「スポーツ施設の充実」(45.7%) が4割台半ばを超えている。(図表 6 - 7)

地域別でみると、「図書館などの充実」と「生涯学習のための講座等の充実」の上位2項目で、5ブロック[谷中地域]と6ブロック[上野地域]が6割前後と高い。「スポーツ施設の充実」と「学習・スポーツに関する情報提供や相談」では2ブロック[浅草地域]と5ブロック[谷中地域]がそれぞれ高くなっている。(図表6-8)

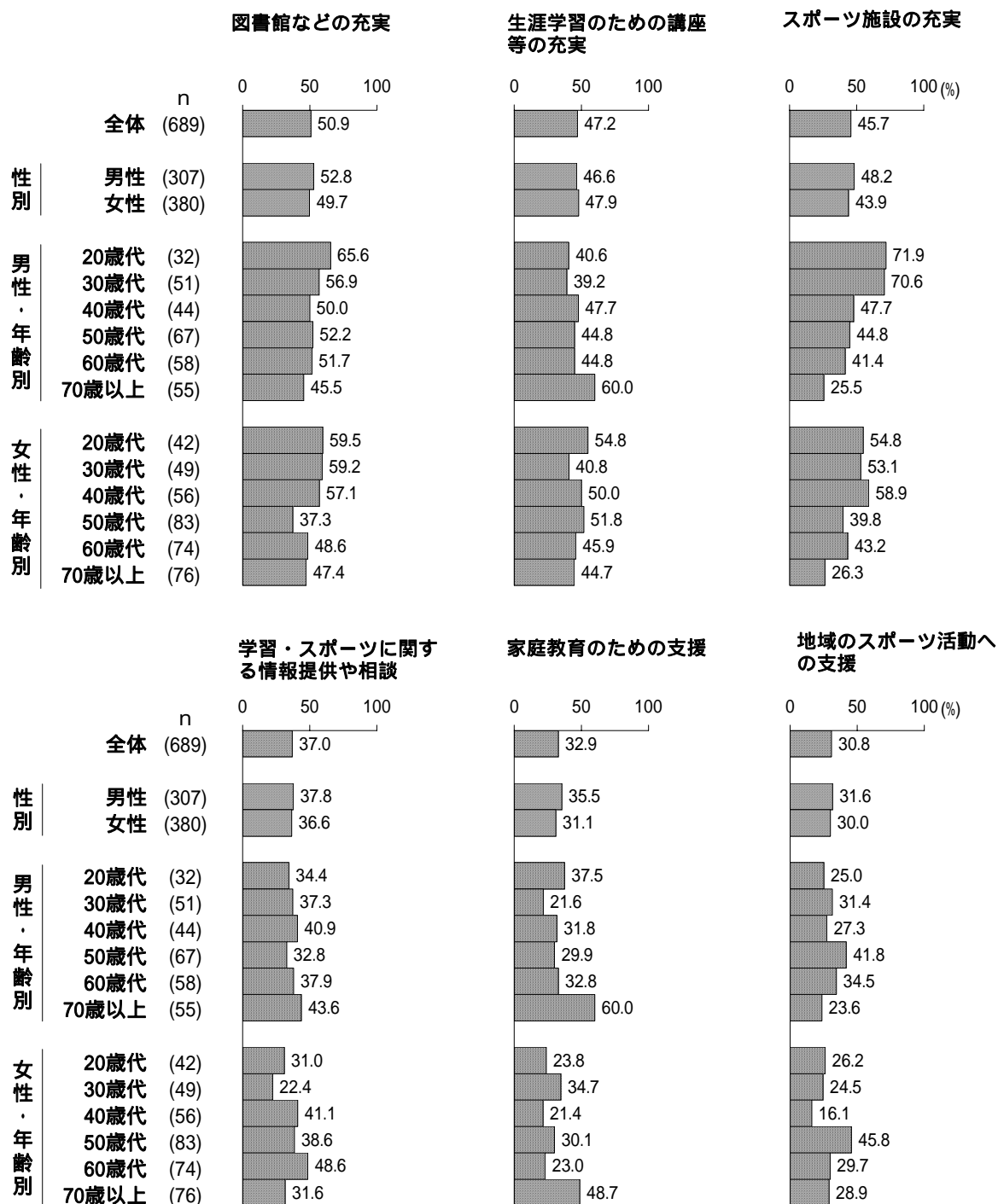
<図表6-8> 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別でみると、男女間で特に大きな差がある項目は見当たらない。

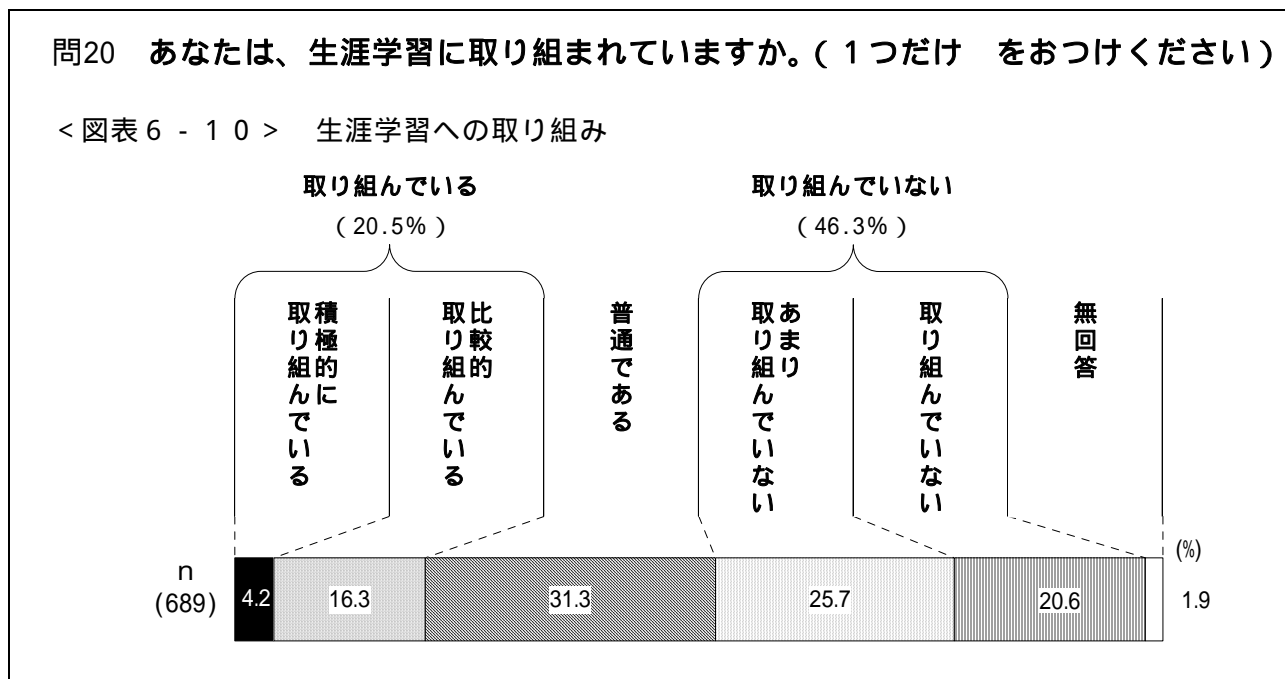
性・年齢別でみると、「図書館などの充実」は男性では20歳代が、女性では20～40歳代がやや高い。「生涯学習のための講座等の充実」は男性70歳以上（60.0%）の高さが目立つが、他の年齢層ではいずれも女性の方が高い。「スポーツ施設の充実」は男女ともに若年齢層が高いが、この傾向は男性において顕著である。「家庭教育のための支援」は男女ともに70歳以上が最も高くなっている。（図表6-9）

<図表6-9> 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)



(4) 生涯学習への取り組み

《取り組んでいる》は2割

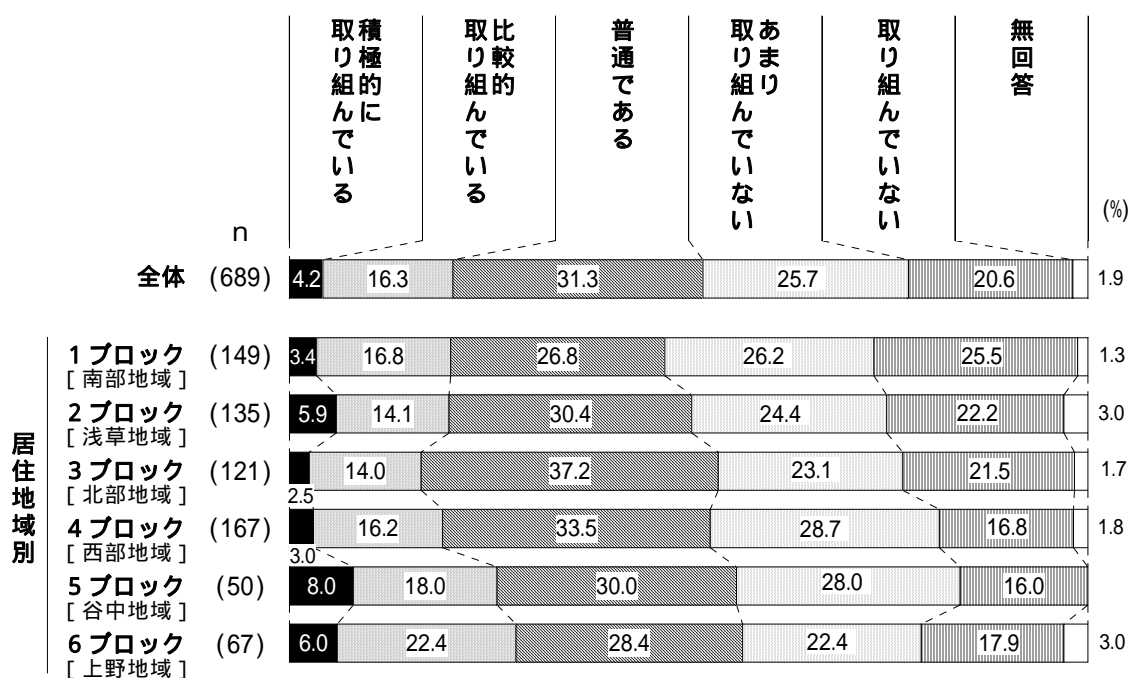


生涯学習への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》(「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」の合計)は20.5%で、「普通である」(31.3%)や《取り組んでいない》(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)の46.3%を下回っている。

(図表6-10)

地域別で《取り組んでいる》割合をみると、5ブロック[谷中地域](26.0%)と6ブロック[上野地域](28.4%)がやや高く、3ブロック[北部地域](16.5%)はやや低くなっている。(図表6-11)

<図表6-11> 生涯学習への取り組み 地域別



性別でみると、《取り組んでいる》割合に男女差はほとんどない。

性・年齢別で《取り組んでいる》割合をみると、女性は年齢層間の差は小さいが、男性は20歳代(28.2%)と50歳代(26.9%)で2割台後半と高く、30歳代(13.8%)と40歳代(13.7%)では1割台前半にとどまっている。また、男性の20歳代では「積極的に取り組んでいる」(18.8%)が2割弱で突出している。(図表6-12)

<図表6-12> 生涯学習への取り組み 性別/性・年齢別

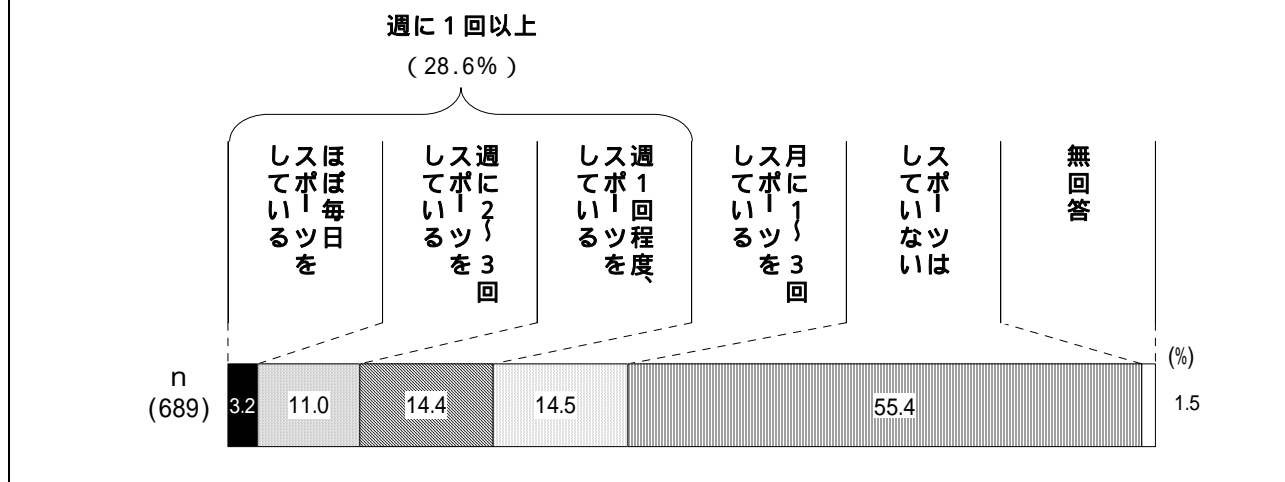


(5) スポーツの頻度

《週に1回以上》が3割弱、「スポーツはしていない」が過半数

問21 あなたは、スポーツをしていますか。(1つだけをおつけください)

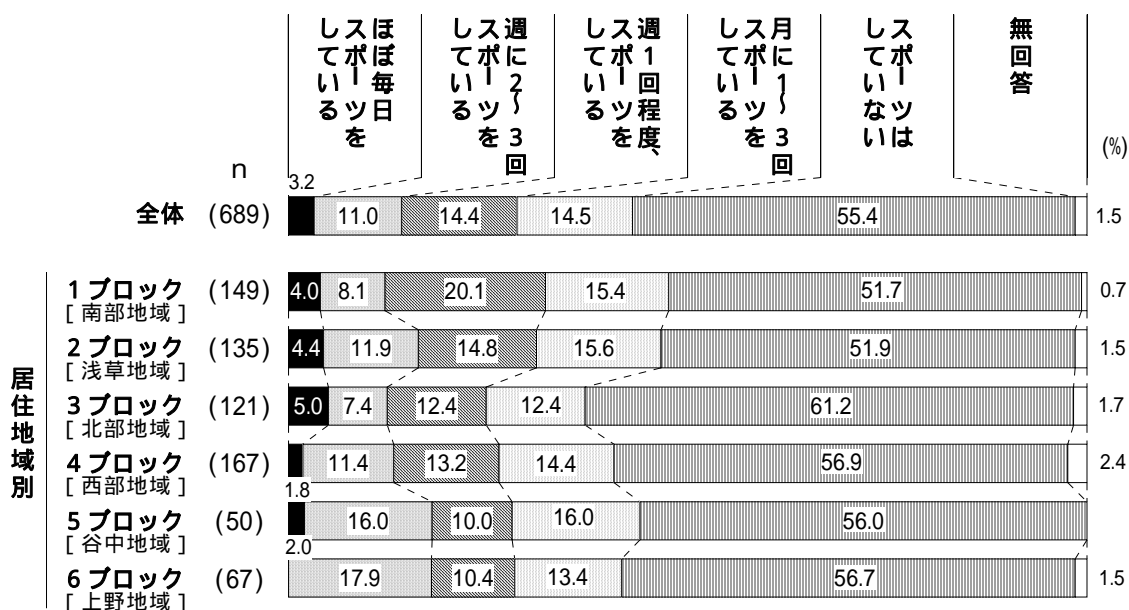
<図表6-13> スポーツの頻度



スポーツの頻度について聞いたところ、過半数が「スポーツはしていない」(55.4%)と答えている。一方「ほぼ毎日スポーツをしている」のは3.2%だけだが、《週に1回以上》(「ほぼ毎日スポーツをしている」、「週に2~3回スポーツをしている」、「週1回程度、スポーツをしている」の合計)は28.6%である。(図表6-13)

地域別でみると、《週に1回以上》の割合は1ブロック[南部地域](32.2%)と2ブロック[浅草地域](31.1%)でやや高くなっている。一方、3ブロック[北部地域]では「スポーツはしていない」(61.2%)が唯一6割を超えている。(図表6-14)

<図表6-14> スポーツの頻度 地域別



性別で見ると、「スポーツはしていない」割合は、女性（62.6%）が男性（46.6%）よりも16ポイント高くなっている。

性・年齢別で《週に1回以上》の割合をみると、男性の60歳代（50.0%）と20歳代（43.8%）の高さが際立っている。女性は70歳以上（18.4%）と20歳代（19.0%）が2割未満で特に低い。（図表6-15）

<図表6-15> スポーツの頻度 性別/性・年齢別



7. 健康づくりのための取り組み

すべての区民が、それぞれに、健康を維持し、いきいきとした日常生活を送れることが大切です。

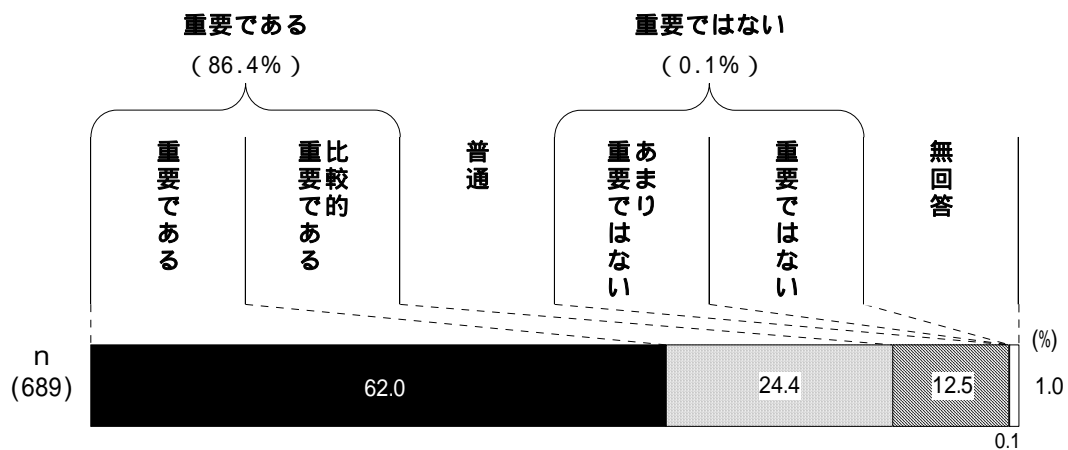
そのため、区では、誰もが生涯を通じて心と体の健康づくりに取り組めるように、生活習慣病の予防、親子の健康づくり、介護の予防、地域の健康づくり活動などを支援しています。

(1) 健康づくりについての重要度

《重要である》が8割台半ば

問22 健康づくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

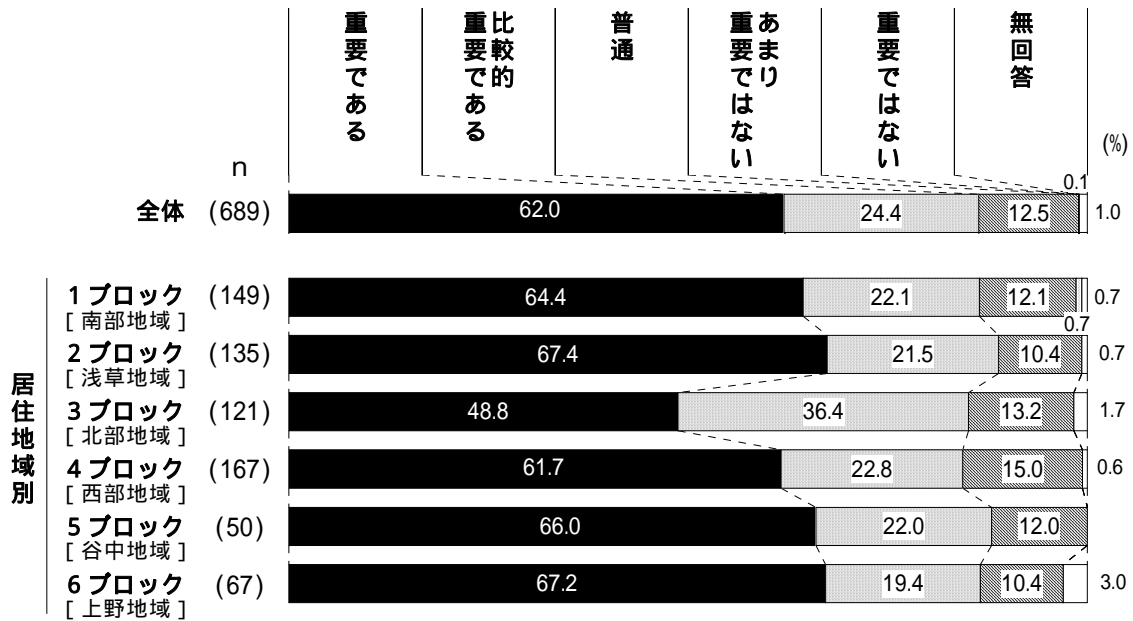
<図表7-1> 健康づくりについての重要度



健康づくりがどの程度重要かを聞いたところ、6割以上が「重要である」(62.0%)と答えている。これに「比較的重要である」(24.4%)を加えると8割台半ばが《重要である》(86.4%)と考えていることになる。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)はわずか0.1%である。(図表7-1)

地域別でみると、《重要である》割合はブロック間で差はないが、より強い肯定の「重要である」は3ブロック〔北部地域〕(48.8%)以外で6割を超えている。(図表7-2)

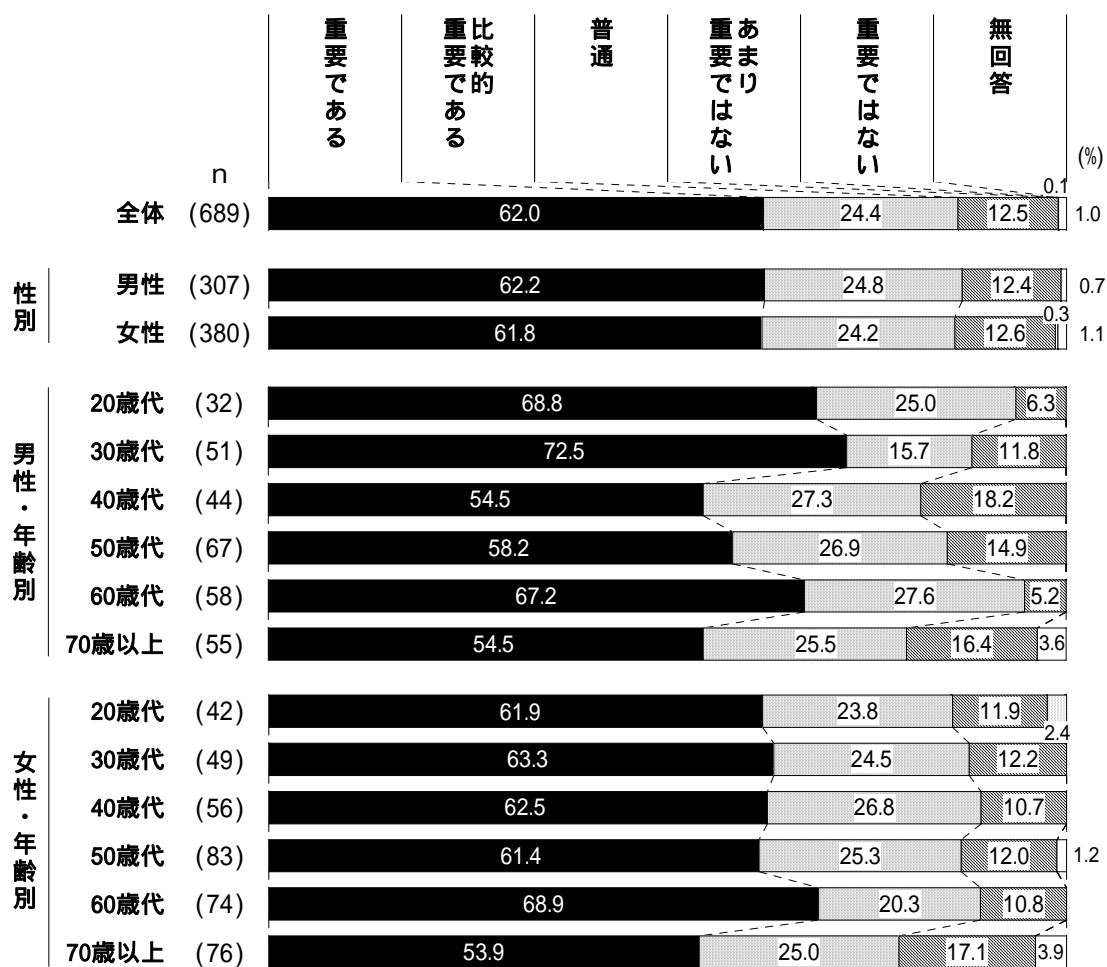
<図表7-2> 健康づくりについての重要度 地域別



性別でみると、男女間に相違は見られない。

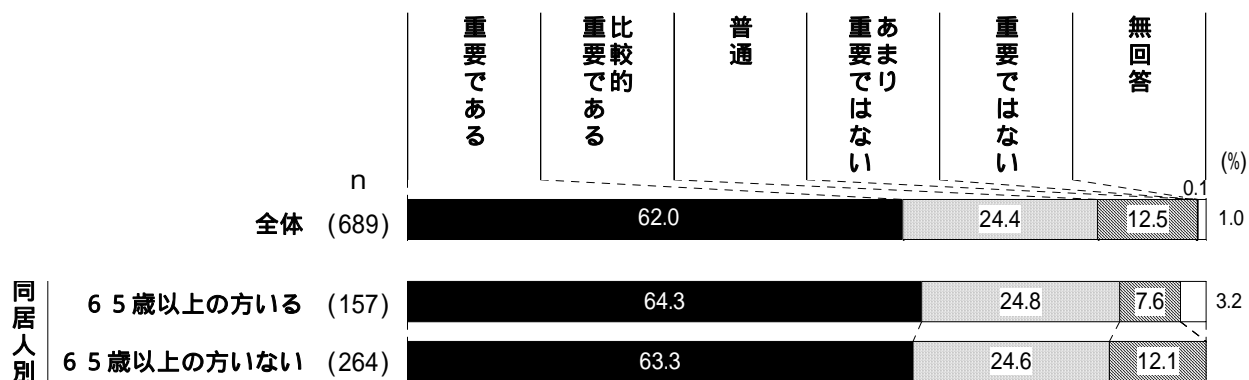
性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性の60歳代(94.8%)と20歳代(93.8%)が特に高く、男女とも70歳以上が低くなっている。(図表7-3)

<図表 7 - 3> 健康づくりについての重要度 性別/性・年齢別



同居人別でみると、高齢者の有無と重要度の関係性は見られない。(図表 7 - 4)

<図表 7 - 4> 健康づくりについての重要度 同居人別



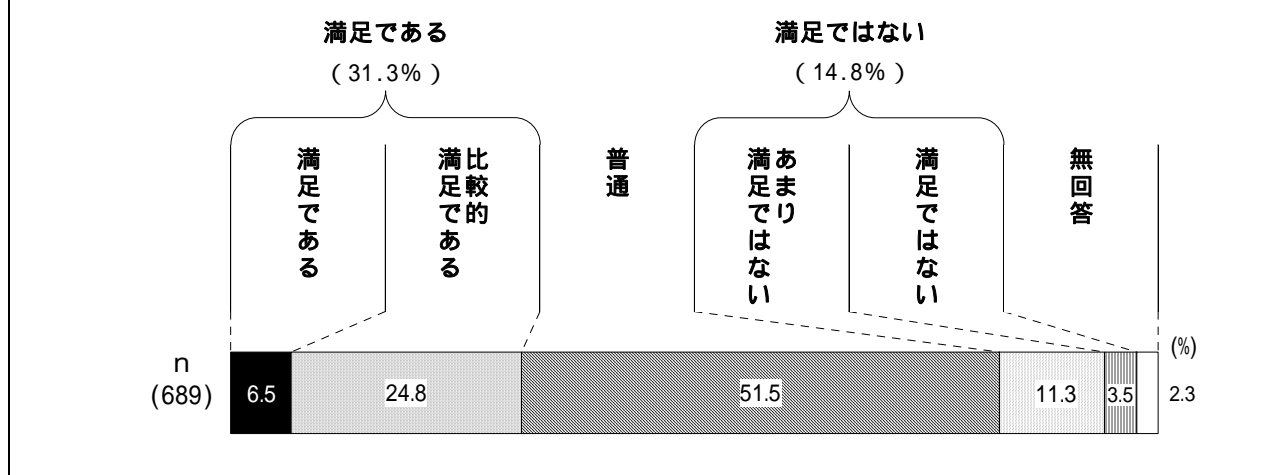
(2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度

「普通」が半数、《満足である》は3割強

問23 健康づくりのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

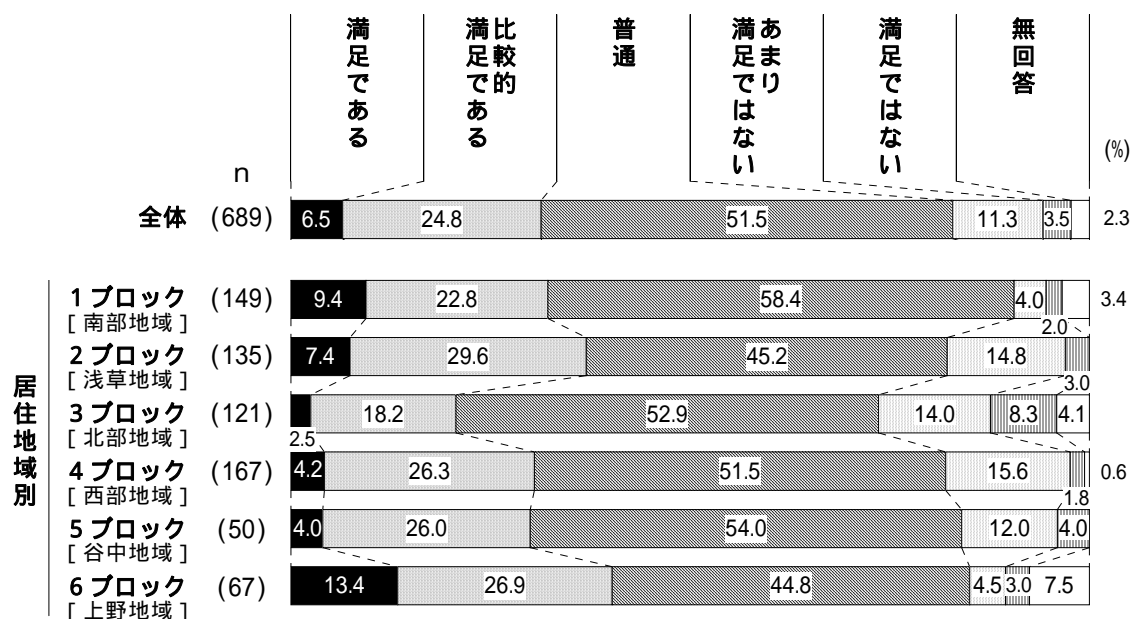
<図表7-5> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度



健康づくりのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(51.5%)がほぼ半数を占め、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は31.3%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は14.8%となっている。(図表7-5)

地域別でみると、《満足である》割合は、6ブロック[上野地域](40.3%)と2ブロック[浅草地域](37.0%)でやや高いが、3ブロック[北部地域](20.7%)では特に低く、《満足ではない》割合(22.3%)を下回っている。(図表7-6)

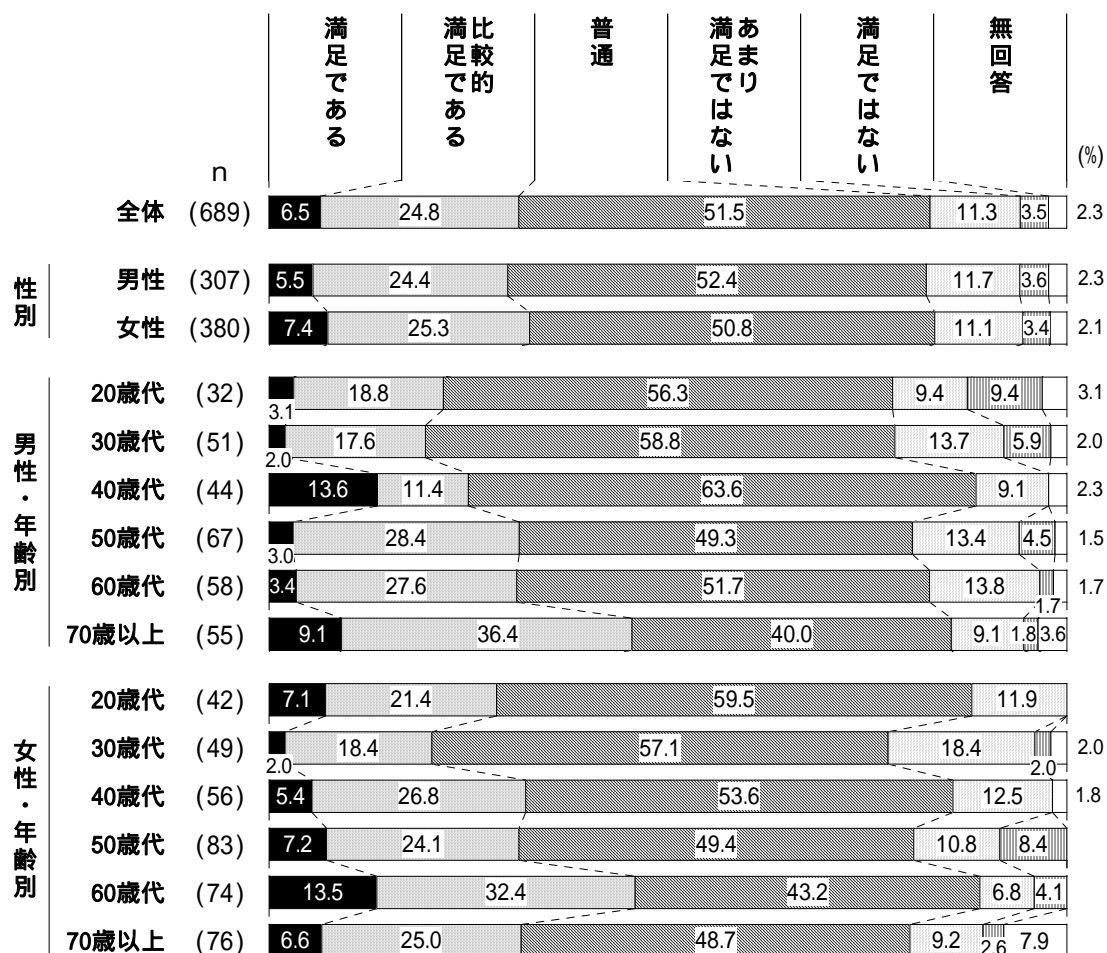
<図表7-6> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、特に大きな男女差はない。

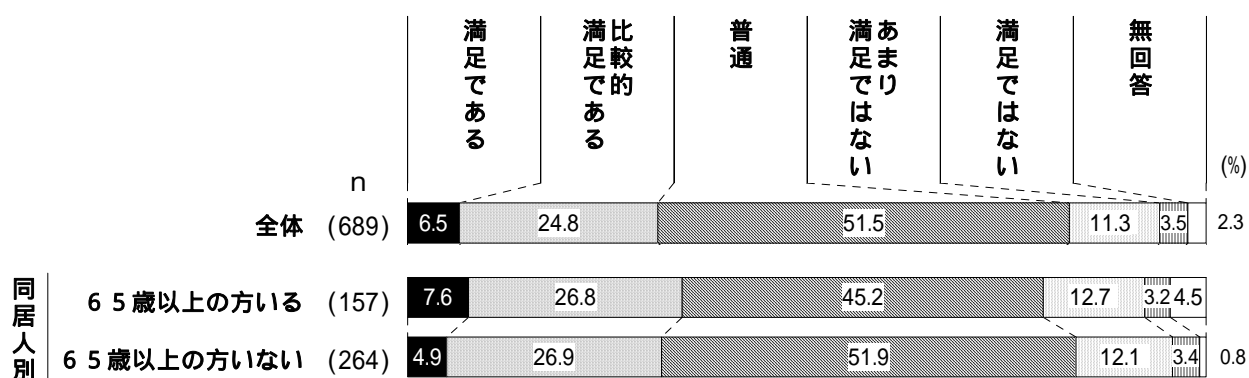
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性70歳以上（45.5%）と女性60歳代（45.9%）の高さが目立つ一方で、20歳代と30歳代は男女とも低くなっている。（図表7-7）

<図表7-7> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



同居人別でみると、65歳以上の方がいる人では「満足である」がやや多くなっているが、大きな違いは見られない。（図表7-8）

<図表7-8> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 同居人別

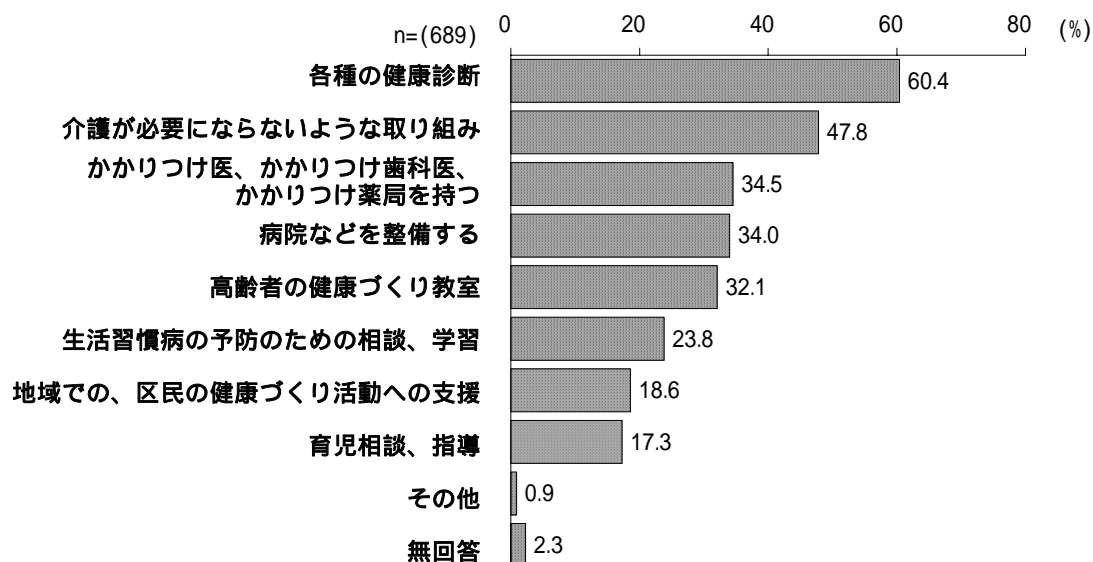


(3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの

「各種の健康診断」が6割

問24 健康づくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

< 図表 7 - 9 > 健康づくりのための取り組みとして大切なもの (複数回答)

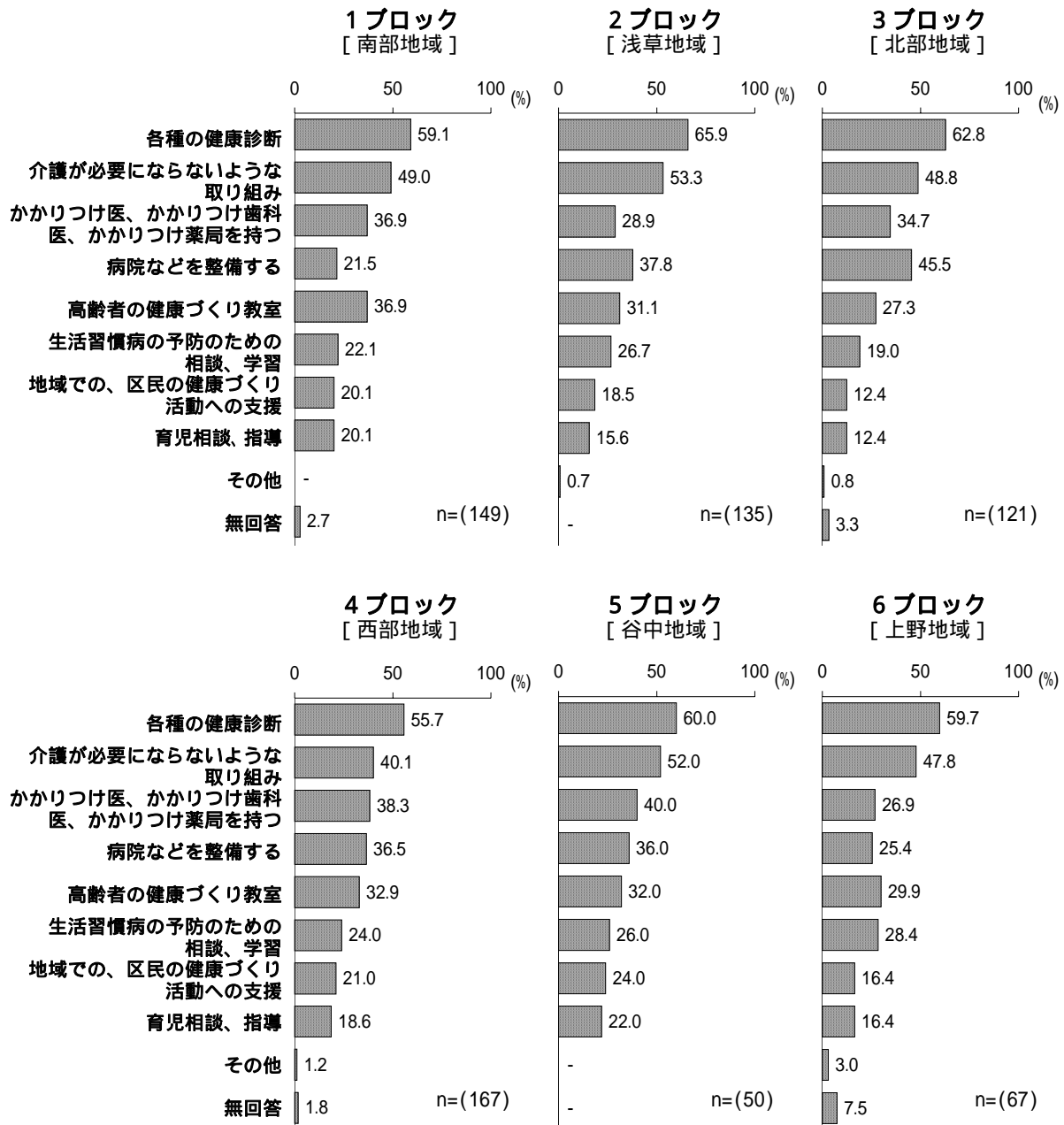


健康づくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「各種の健康診断」(60.4%) が6割、「介護が必要にならないような取り組み」(47.8%) が5割弱、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ」(34.5%)、「病院などを整備する」(34.0%)、「高齢者の健康づくり教室」(32.1%) が3割台となっている。(図表 7 - 9)

地域別でみると、「各種の健康診断」と「介護が必要にならないような取り組み」では2ブロック [浅草地域] が最も高い。「病院などを整備する」では、3ブロック [北部地域] が4割台半ばで最も高く、1ブロック [南部地域] と6ブロック [上野地域] で低くなっている。

(図表7 - 10)

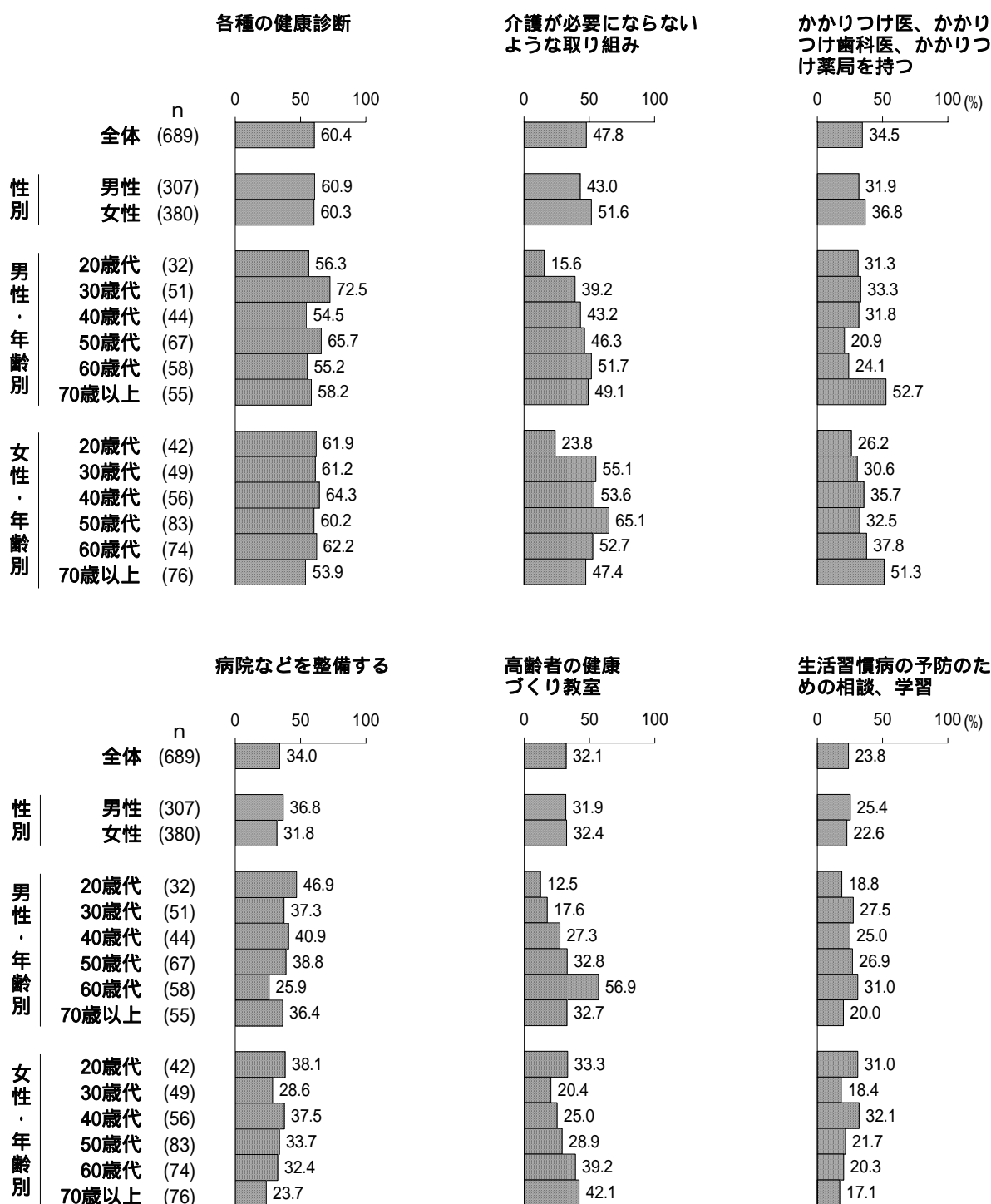
<図表7 - 10> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「介護が必要にならないような取り組み」で女性（51.6%）が男性（43.0%）を約9ポイント上回っている。

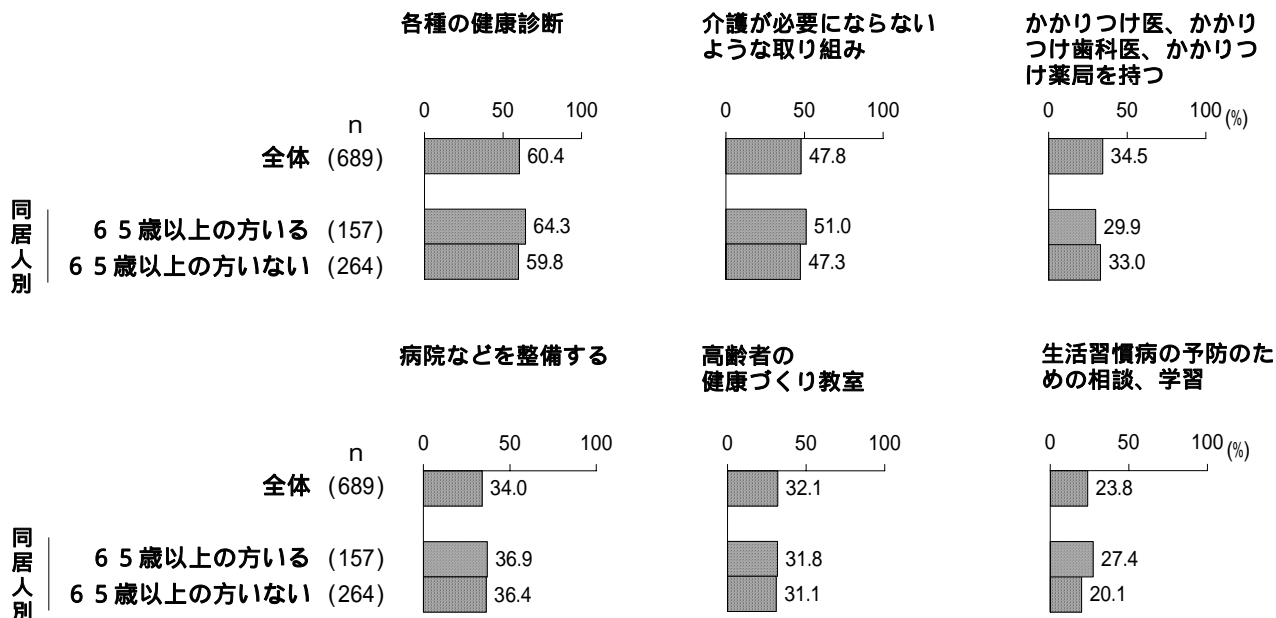
性・年齢別で見ると、「各種の健康診断」は男性30歳代（72.5%）で特に高い。「介護が必要にならないような取り組み」は男女ともに20歳代が低く、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ」では男女ともに70歳以上が高い。「高齢者の健康づくり教室」では20歳代と60歳代で男女差が大きくなっている。（図表7-11）

<図表7-11> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの
性別/性・年齢別（上位6項目）



同居人別でみると、「各種の健康診断」と「生活習慣病の予防のための相談、学習」において、高齢者と同居している人の方が高くなっている。(図表7-12)

<図表7-12> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 同居人別(上位6項目)



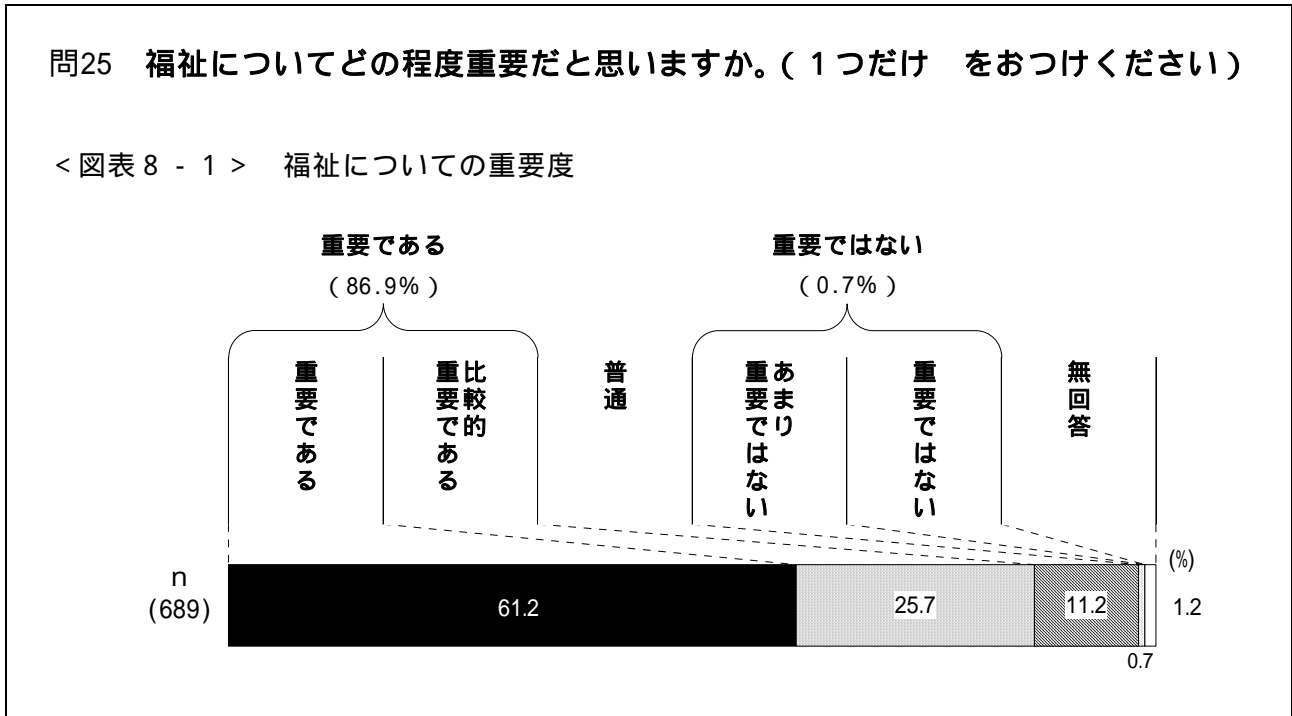
8 . 福祉のための取り組み

高齢の方、障害のある方など、すべての区民が、住みなれた地域で、安心して日常生活を送ることが大切です。

そのため、区では、総合的な相談の充実、在宅サービスや施設サービスの質と量の確保、地域の支えあいの活動への支援などを行っています。

(1) 福祉についての重要度

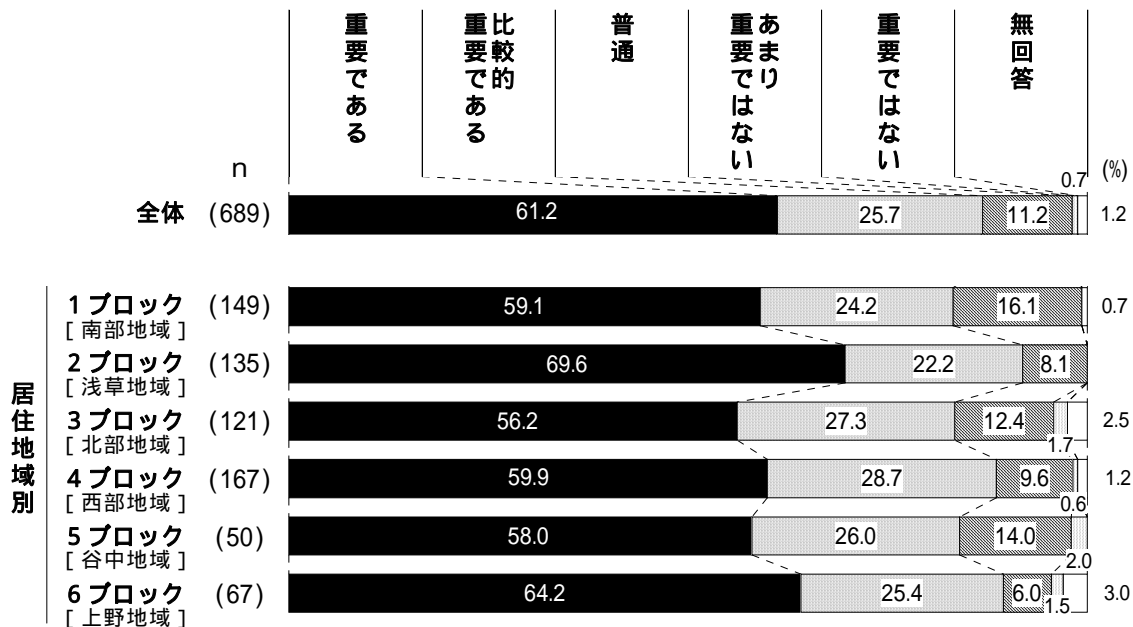
《重要である》が8割台半ば



福祉についての重要度を聞いたところ、「重要である」(61.2%)が6割を占め、これに「比較的重要である」(25.7%)を加えた《重要である》は86.9%に達している。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.7%である。(図表 8 - 1)

地域別でみると、《重要である》割合は2ブロック [浅草地域] (91.8%) でやや高く、1ブロック [南部地域] (83.3%) と3ブロック [北部地域] (83.5%)、5ブロック [谷中地域] (84.0%) でわずかに低い。(図表 8 - 2)

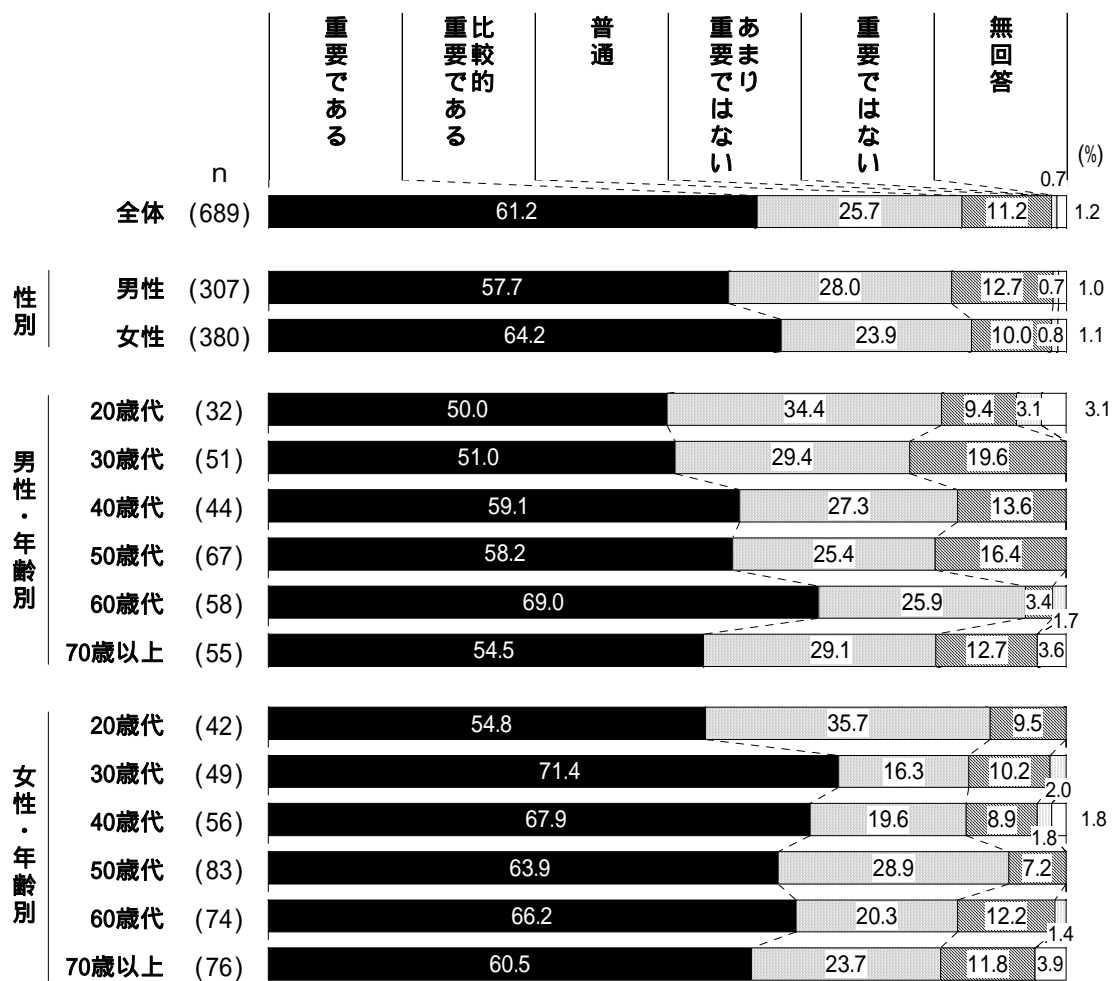
< 図表 8 - 2 > 福祉についての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》割合は男女間で大きな差は見られないが、「重要である」では女性がやや高くなっている。

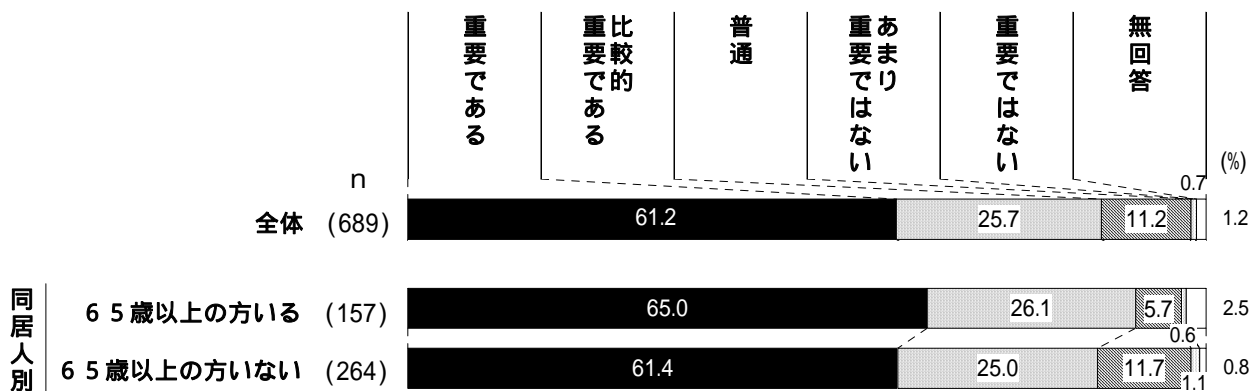
性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性 60 歳代 (94.9%) と女性 50 歳代 (92.8%) が高い一方で、男女の 20 歳代、男性の 30 歳代、70 歳以上は強い肯定の「重要である」が 5 割台前半とやや低くなっている。(図表 8 - 3)

< 図表 8 - 3 > 福祉についての重要度 性別 / 性・年齢別



同居人別でみると、《重要である》割合は、高齢者と同居している人(91.1%)が、いない人(86.4%)よりもわずかに高くなっている。(図表 8 - 4)

< 図表 8 - 4 > 福祉についての重要度 同居人別



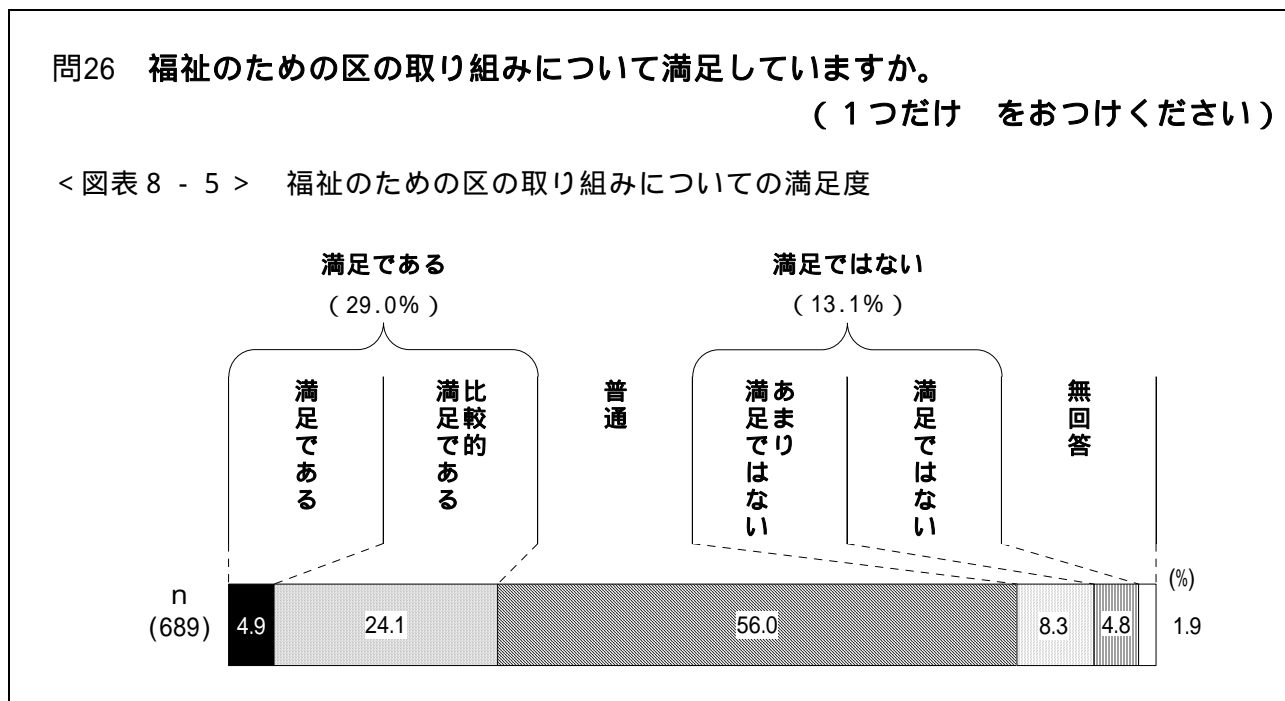
(2) 福祉のための区の取り組みについての満足度

「普通」が5割台半ば、「満足である」は3割弱

問26 福祉のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

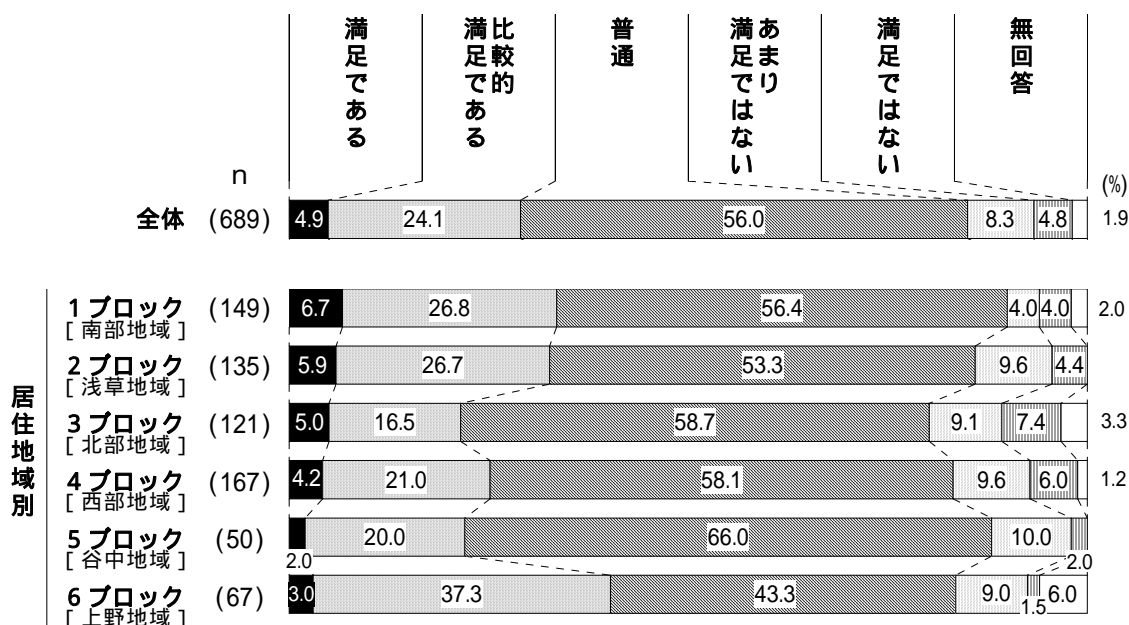
<図表8-5> 福祉のための区の取り組みについての満足度



福祉のための区の取り組みに対する満足度を聞いたところ、「普通」(56.0%)が5割台半ばで最も高く、「満足である」(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は29.0%、「満足ではない」(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は13.1%となっている。(図表8-5)

地域別でみると、「満足である」割合は6ブロック[上野地域](40.3%)で高く、3ブロック[北部地域](21.5%)や5ブロック[谷中地域](22.0%)では2割強で低い。(図表8-6)

<図表8-6> 福祉のための区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女間で特に大きな差は見当たらない。

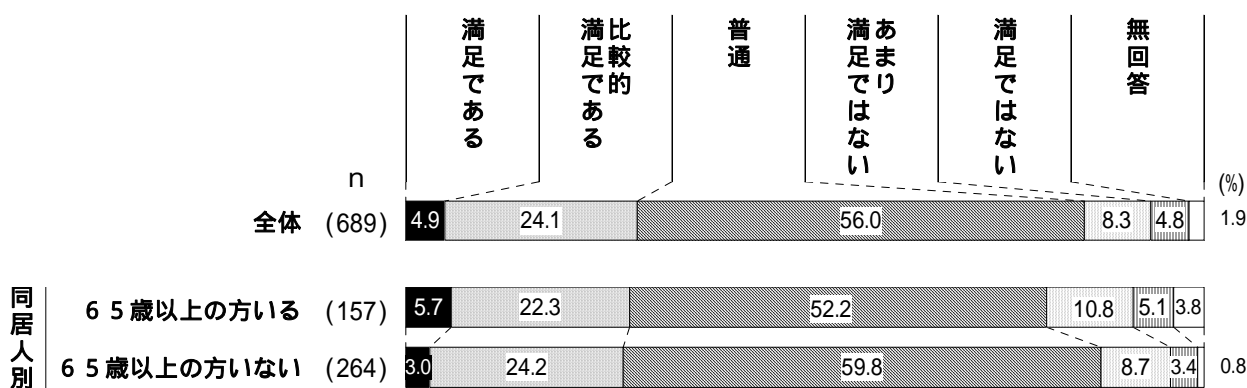
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性の70歳以上（43.7%）と40歳代（38.7%）がやや高く、男性20歳代（21.9%）、女性の30歳代（18.4%）は2割前後で低い。（図表8-7）

<図表8-7> 福祉のための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



同居人別でみると、65歳以上の方がいる人では《満足ではない》（15.9%）割合がやや高くなっている。（図表8-8）

<図表8-8> 福祉のための区の取り組みについての満足度 同居人別



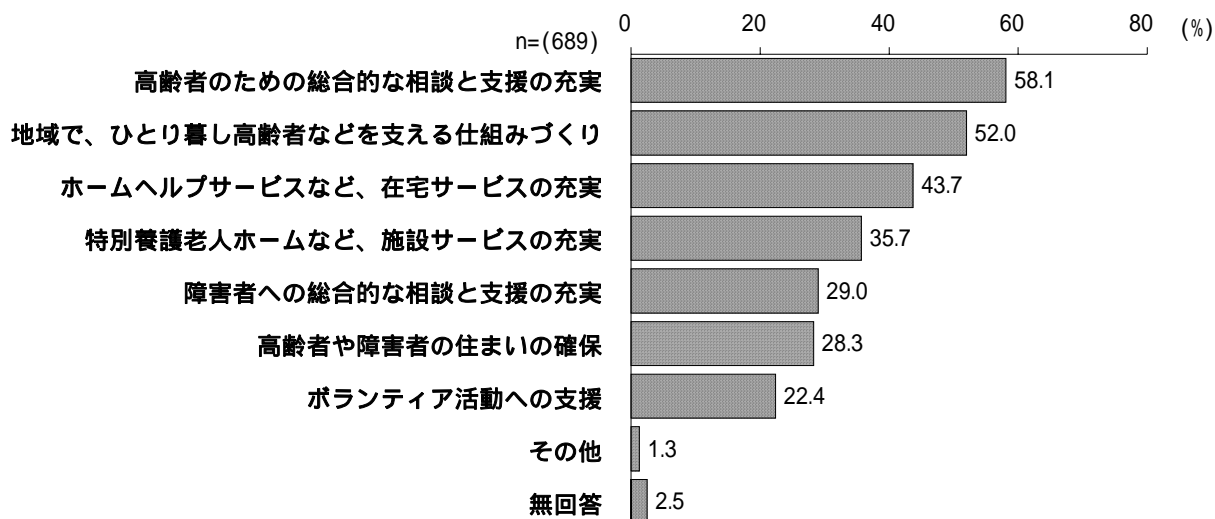
(3) 福祉のための取り組みとして大切なもの

「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」が6割弱

問27 福祉のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

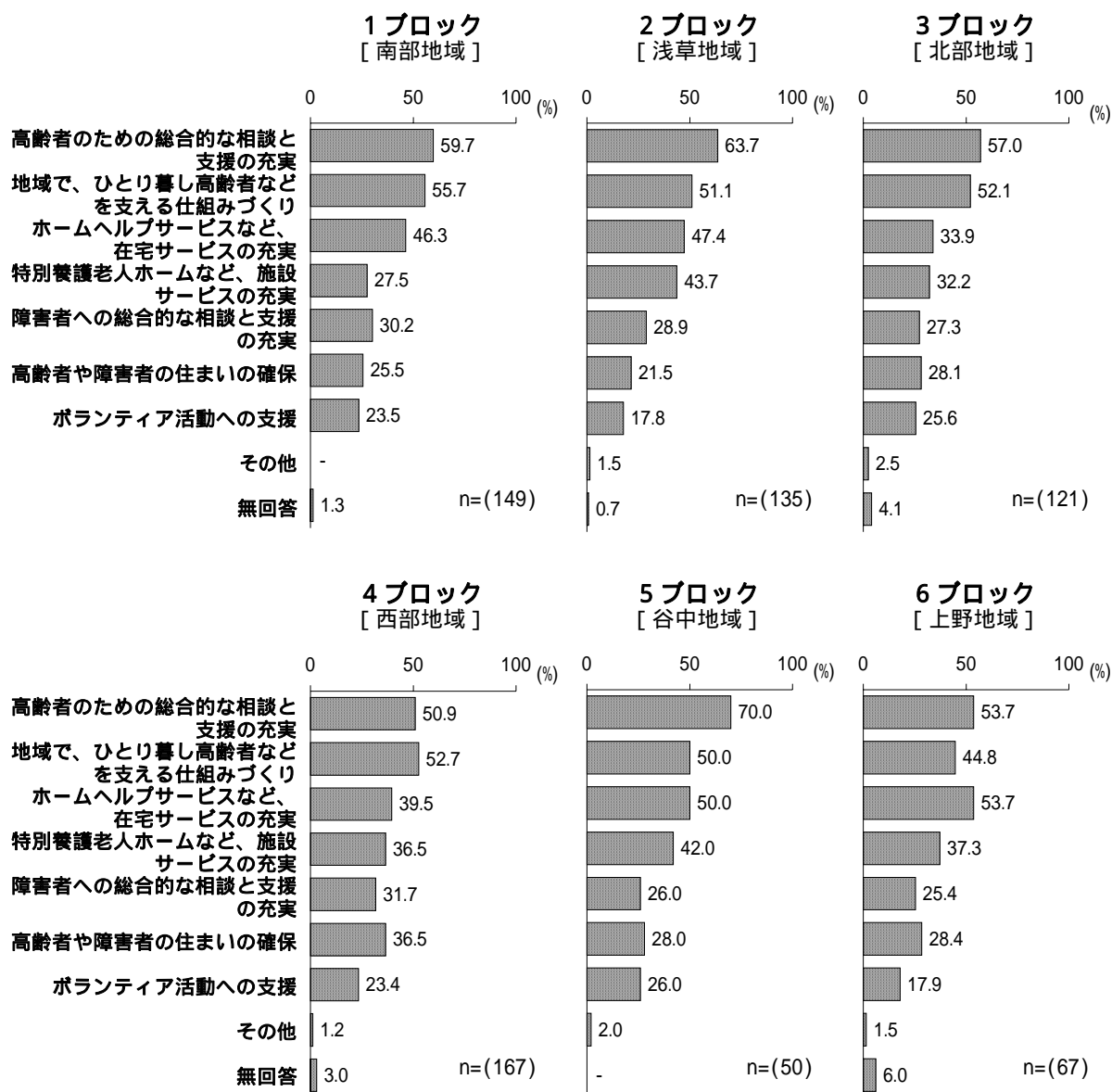
< 図表 8 - 9 > 福祉のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



福祉のための取り組みとして大切なものについて聞いたところ、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」(58.1%) が6割弱で最も高く、以下「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」(52.0%)、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」(43.7%)、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」(35.7%) の順になっている。(図表 8 - 9)

地域別でみると、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」は5ブロック[谷中地域](70.0%) が7割と高く、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」は6ブロック[上野地域](53.7%) と5ブロック[谷中地域](50.0%) が5割台となっている。「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」では2ブロック[浅草地域](43.7%) と5ブロック[谷中地域](42.0%) が4割台、「高齢者や障害者の住まいの確保」では4ブロック[西部地域](36.5%) が高くなっている。(図表 8 - 10)

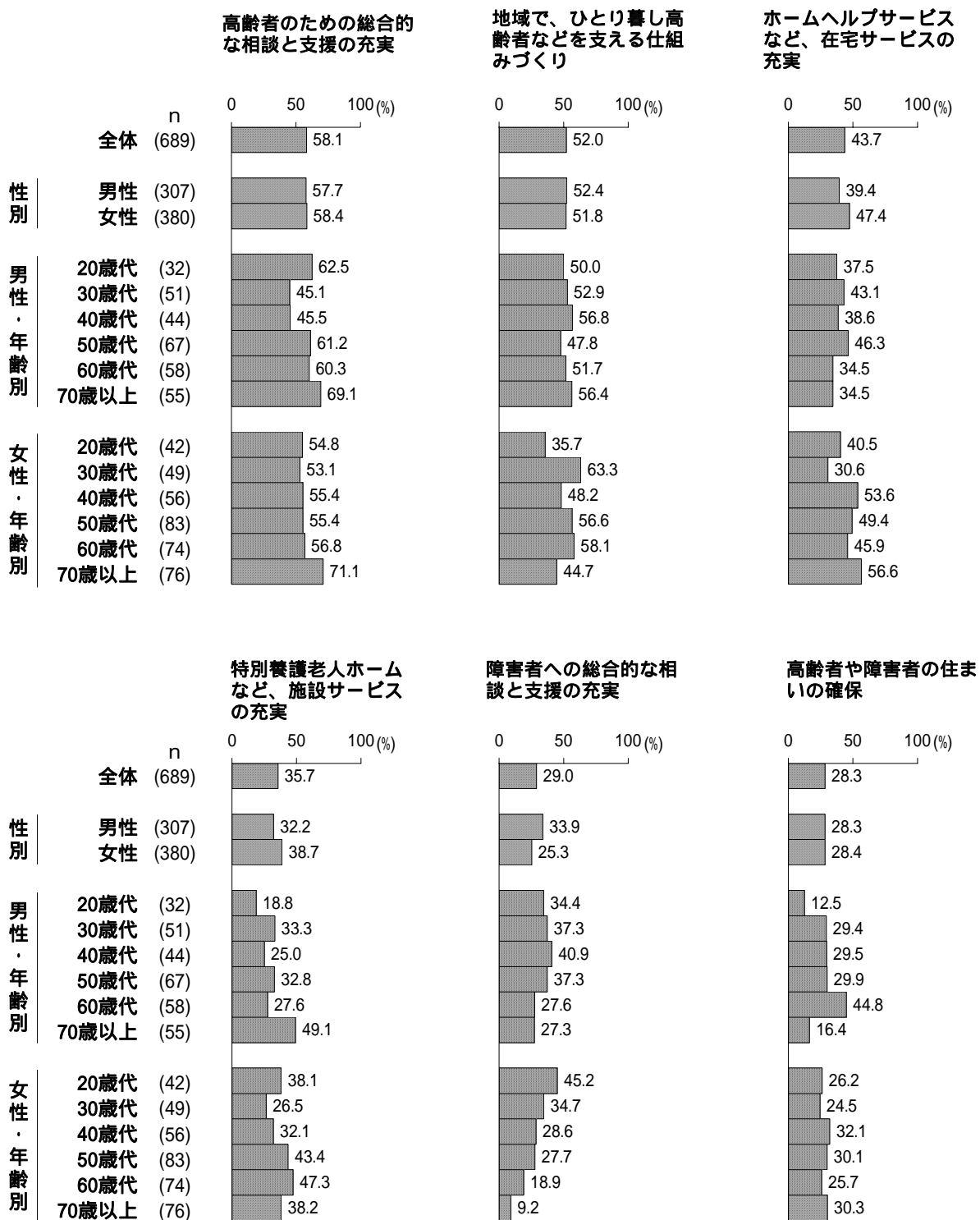
<図表 8 - 10> 福祉のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」と「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」で女性が、「障害者への総合的な相談と支援の充実」では男性がやや高くなっている。

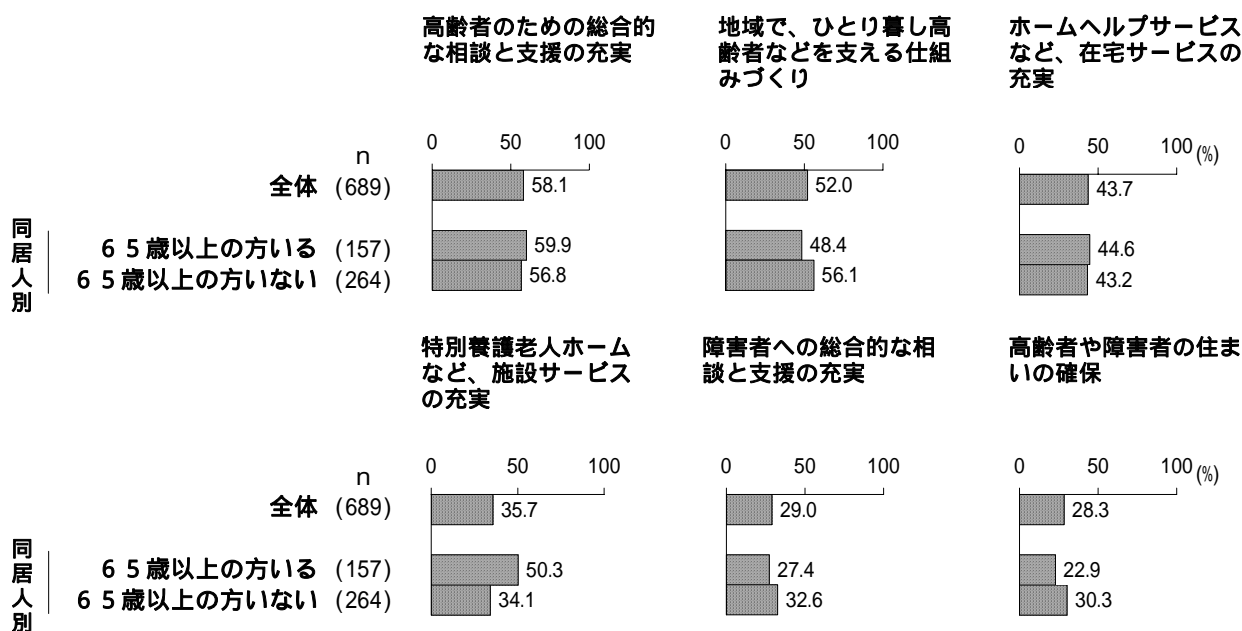
性・年齢別で見ると、「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」は男女とも70歳以上が最も高く、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」は女性30歳代(63.3%)が特に高く、女性20歳代(35.7%)との差が大きい。「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」では女性の70歳以上(56.6%)と40歳代(53.6%)で5割を超えている。「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」では男性70歳以上(49.1%)、女性の60歳代(47.3%)と50歳代(43.4%)が4割を超え、「障害者への総合的な相談と支援の充実」では女性は若年層ほど高くなっている。「高齢者や障害者の住まいの確保」では男性60歳代(44.8%)の高さが目立っている。(図表8-11)

<図表 8 - 1 1 > 福祉のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位 6 項目)



同居人別でみると、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」と「高齢者や障害者の住まいの確保」では、高齢者がいない人の方がやや高いが、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」では高齢者と同居している人の方が圧倒的に高くなっている。(図表8-12)

<図表8-12> 福祉のための取り組みとして大切なもの 同居人別(上位6項目)



9 . 子育てのための取り組み

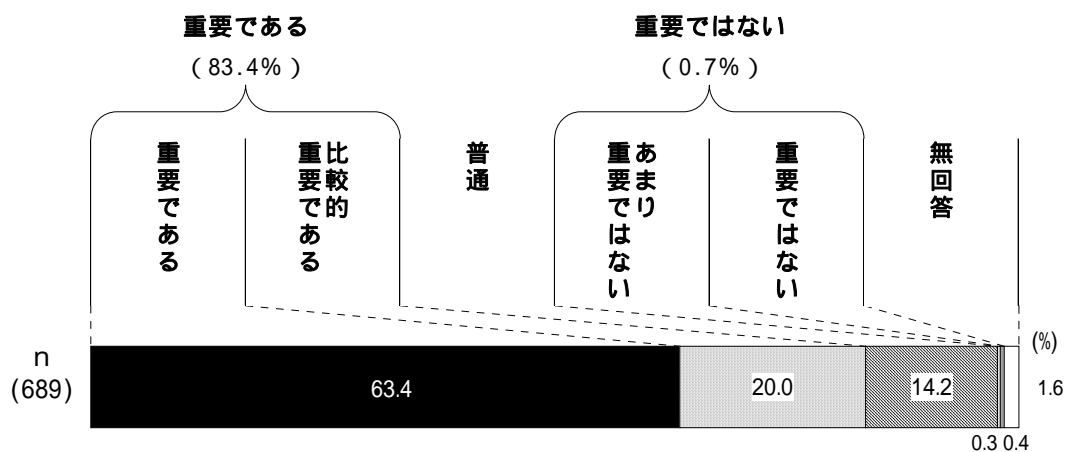
少子化が進行する中、家庭や地域での子育てを積極的に支援していくことが大切です。
そのため、区では、若い世代の育児不安の解消、地域での子育て支援、保育園の整備、子どもの医療費の助成などを行っています。

(1) 子育てについての重要度

《重要である》が8割以上

問28 子育てについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ をおつけください)

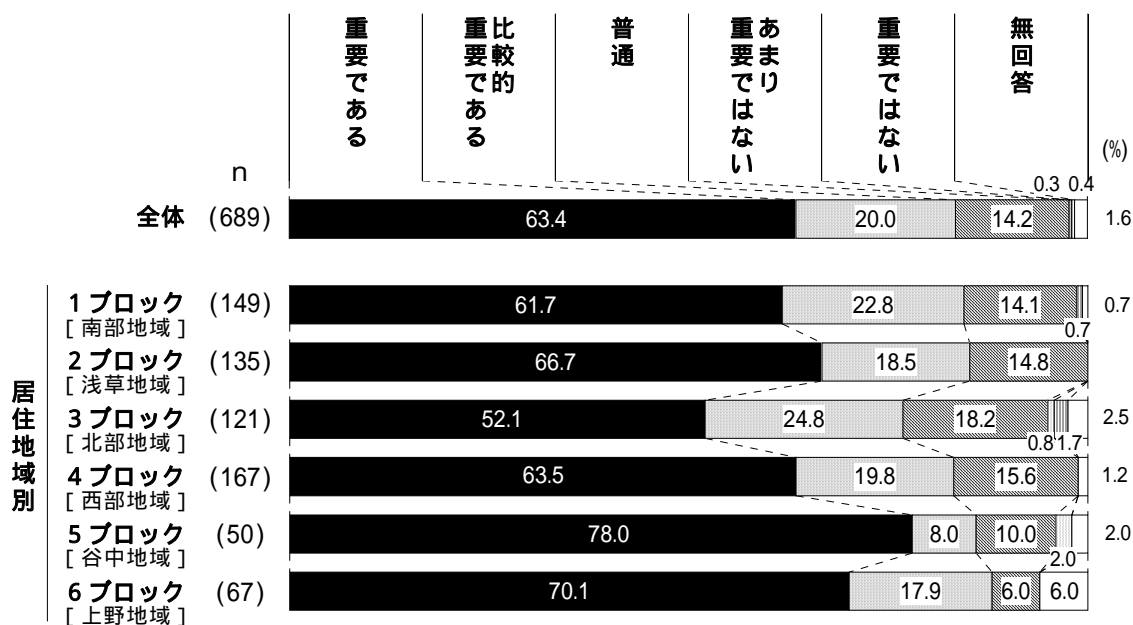
< 図表 9 - 1 > 子育てについての重要度



子育てについての重要度を聞いたところ、「重要である」(63.4%)が6割以上を占め、これに「比較的重要である」(20.0%)を加えた《重要である》は83.4%となる。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.7%である。(図表9-1)

地域別でみると、《重要である》割合は3ブロック [北部地域] (76.9%) でやや低い。5ブロック [谷中地域] と6ブロック [上野地域] は強い肯定の「重要である」が7割を超え、高くなっている。(図表9 - 2)

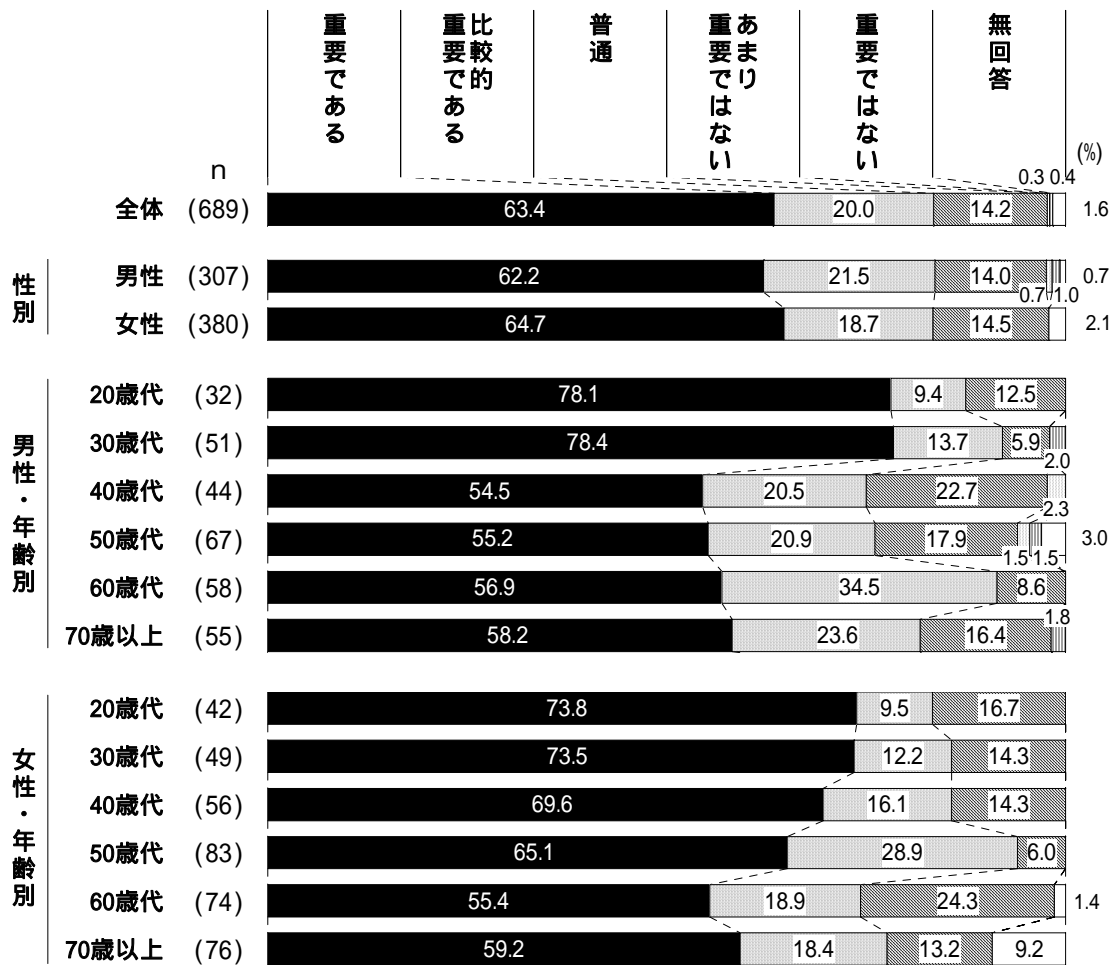
<図表9 - 2> 子育てについての重要度 地域別



性別でみると、男女間に目立った違いはない。

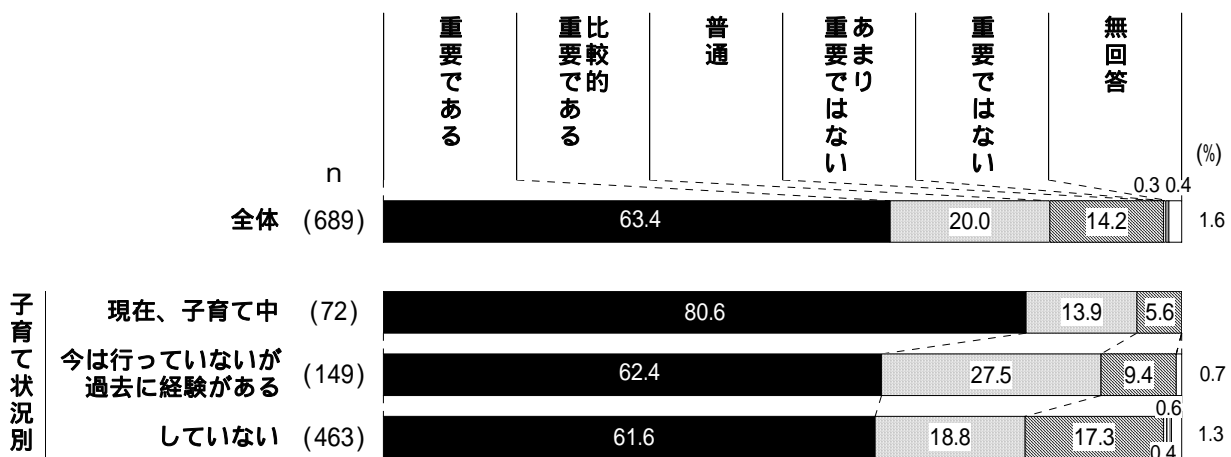
性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性の30歳代(92.1%)と60歳代(91.4%)、女性50歳代(94.0%)は9割を超えている。一方、男性の40歳代(75.0%)と50歳代(76.1%)、女性の60歳代(74.3%)と70歳以上(77.6%)は7割台にとどまっている。(図表9 - 3)

<図表 9 - 3> 子育てについての重要度 性別 / 性・年齢別



子育て状況別で見ると、《重要である》割合は、現在、子育て中の人（94.5%）が最も高く、今は行っていないが過去に経験がある人が 89.9%、していない人は 80.4%である。また、現在、子育て中の人、強い肯定の「重要である」（80.6%）が8割を超えている点にも特徴がある。（図表 9 - 4）

<図表 9 - 4> 子育てについての重要度 子育て状況別



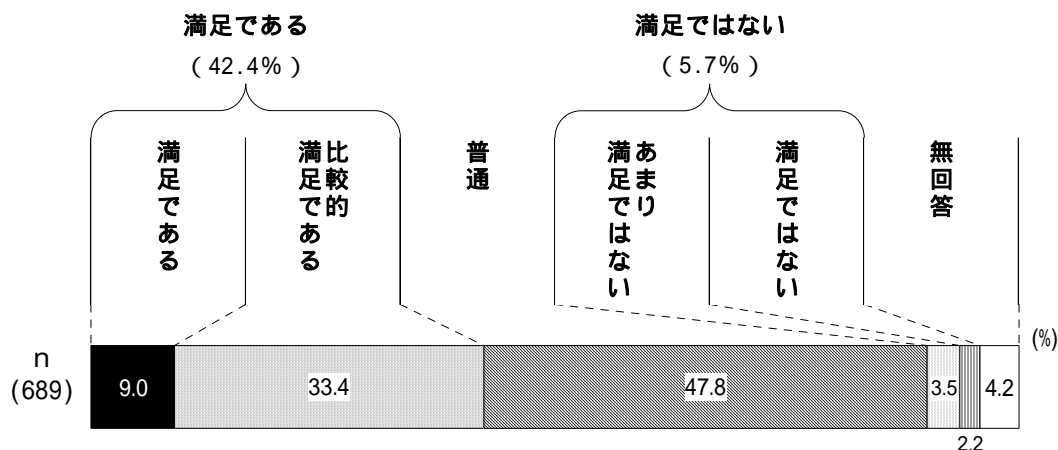
(2) 子育てのための区の取り組みについての満足度

「普通」が5割弱、「満足である」が4割強

問29 子育てのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

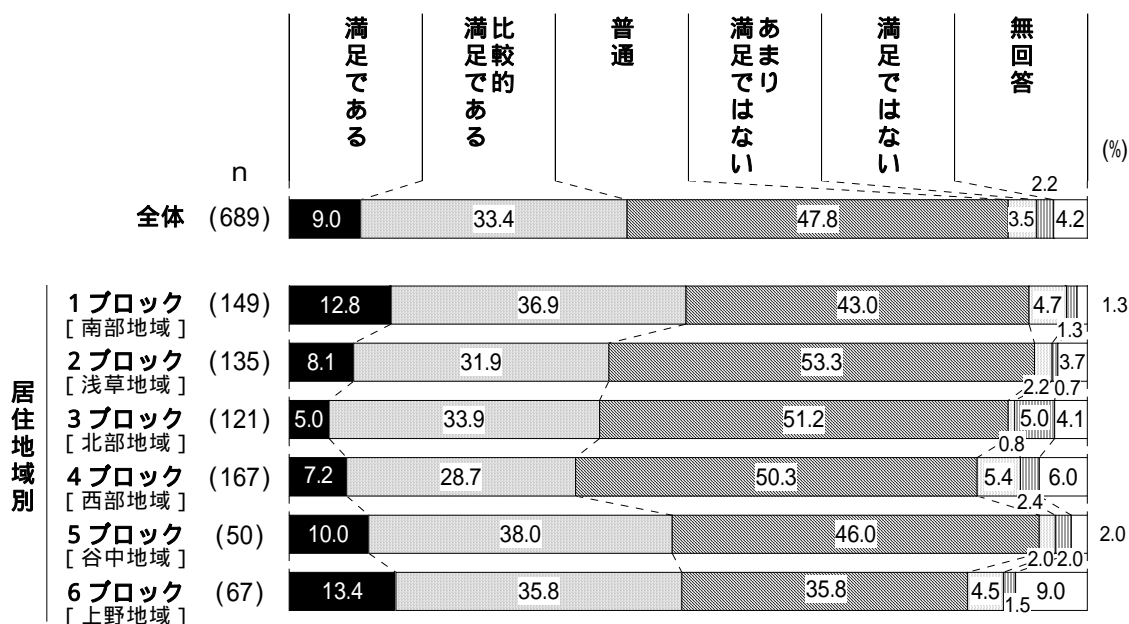
<図表9-5> 子育てのための区の取り組みについての満足度



子育てのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(47.8%)が半数近く、「満足である」(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は42.4%、「満足ではない」(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は5.7%となっている。(図表9-5)

地域別でみると、「満足である」割合は1ブロック[南部地域](49.7%)、6ブロック[上野地域](49.2%)、5ブロック[谷中地域](48.0%)で高く、4ブロック[西部地域](35.9%)で低い。(図表9-6)

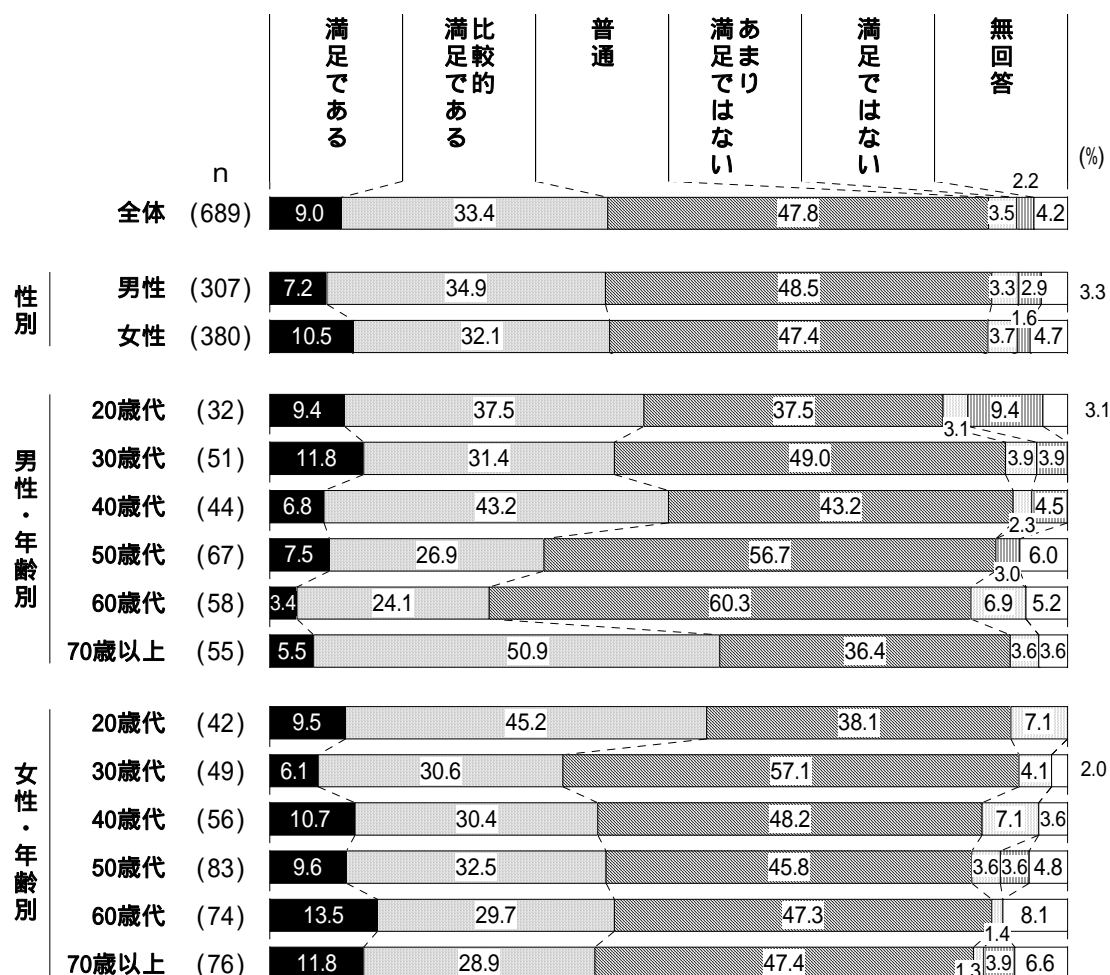
<図表9-6> 子育てのための区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女の間に大きな差は見られない。

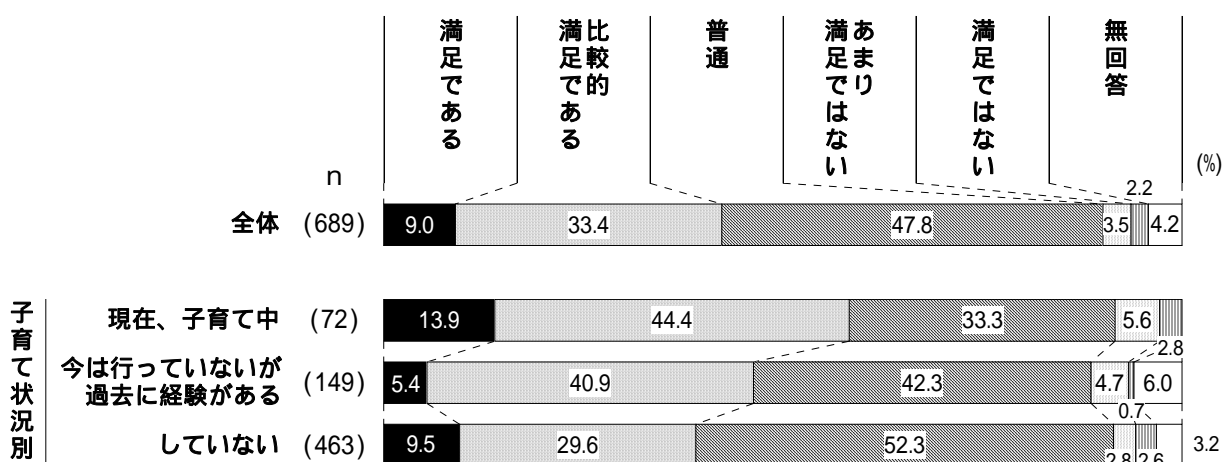
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性は70歳以上(56.4%)が特に高く、60歳代(27.5%)と50歳代(34.4%)が低い。女性は20歳代(54.7%)が5割を超えて高くなっている。(図表9-7)

<図表9-7> 子育てのための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



子育て状況別でみると、《満足である》割合は、現在、子育て中の人(58.3%)が最も高く、次いで、今は行っていないが過去に経験がある人(46.3%)、していない人(39.1%)の順になっている。(図表9-8)

<図表9-8> 子育てのための区の取り組みについての満足度 子育て状況別



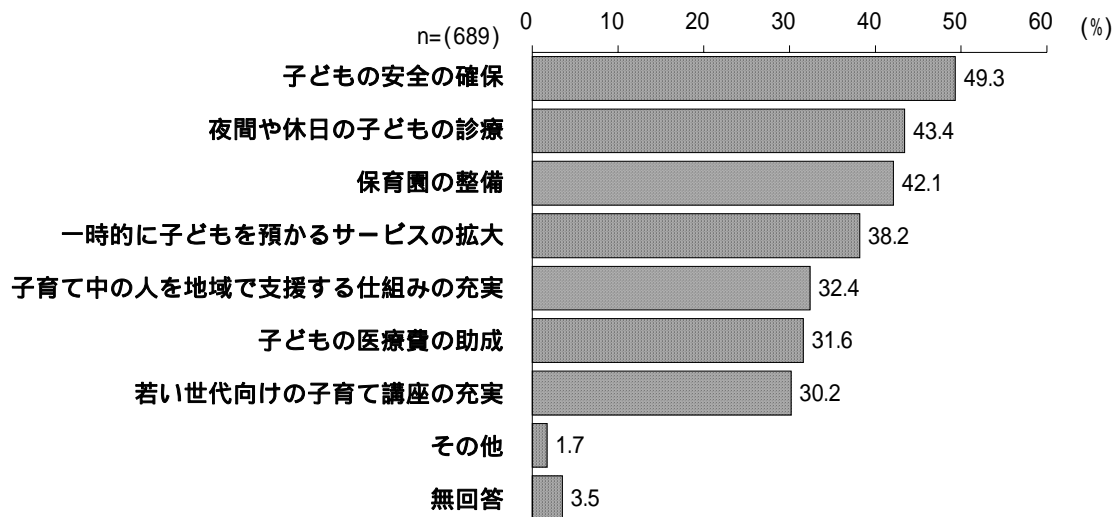
(3) 子育てのための取り組みとして大切なもの

「子どもの安全の確保」が5割弱

問30 子育てのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

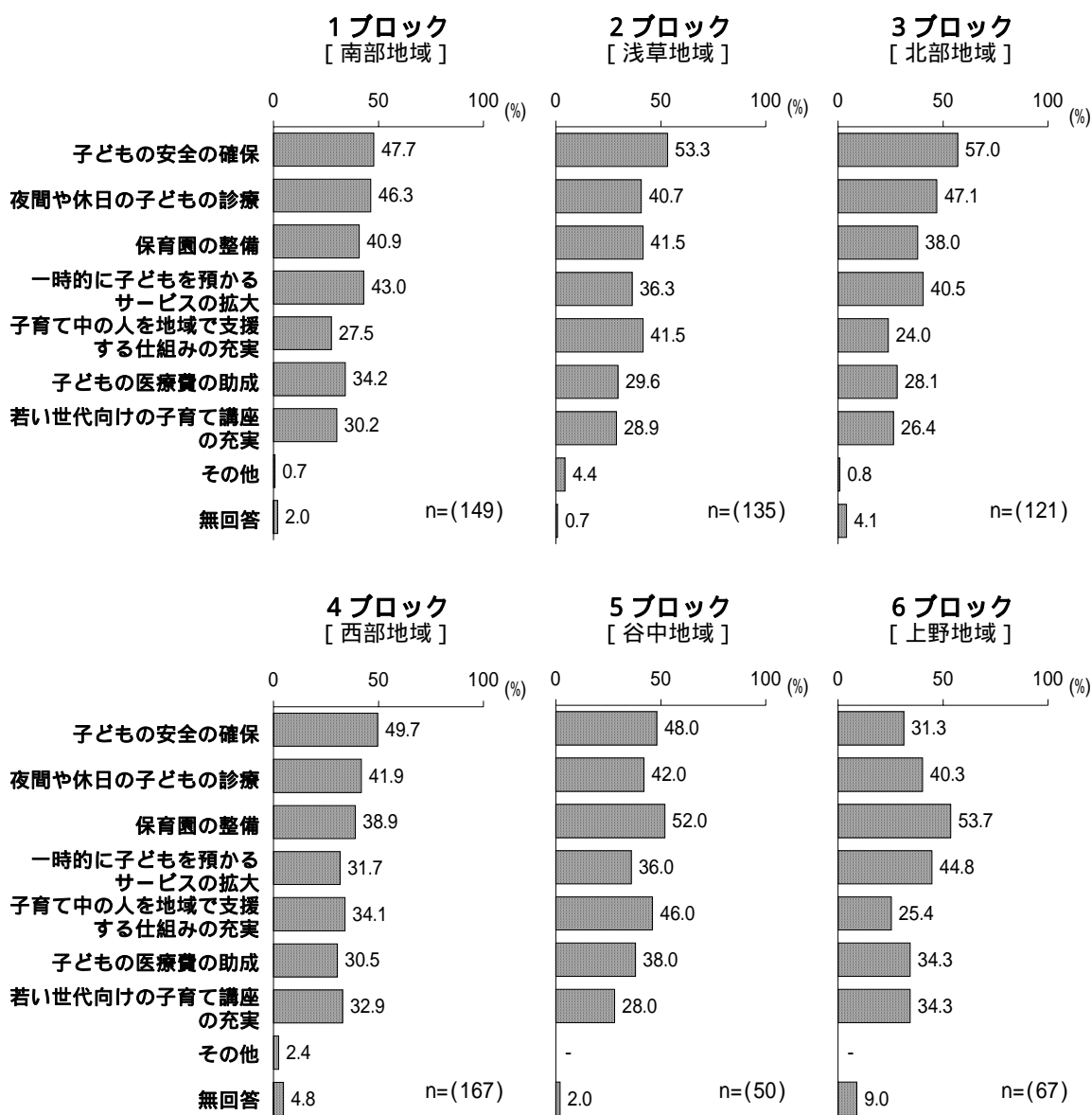
< 図表 9 - 9 > 子育てのための取り組みとして大切なもの (複数回答)



子育てのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「子どもの安全の確保」(49.3%) が5割弱で最も高く、「夜間や休日の子どもの診療」(43.4%)、「保育園の整備」(42.1%)、「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」(38.2%) 等がこれに続いている。(図表 9 - 9)

地域別でみると、「子どもの安全の確保」は3ブロック[北部地域](57.0%)で最も高く、2ブロック[浅草地域](53.3%)も5割を超えている。「保育園の整備」は6ブロック[上野地域](53.7%)と5ブロック[谷中地域](52.0%)が特に高い。「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」は6ブロック[上野地域](44.8%)や1ブロック[南部地域](43.0%)が高くなっている。「子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実」は5ブロック[谷中地域](46.0%)と2ブロック[浅草地域](41.5%)が4割を超えている。(図表9-10)

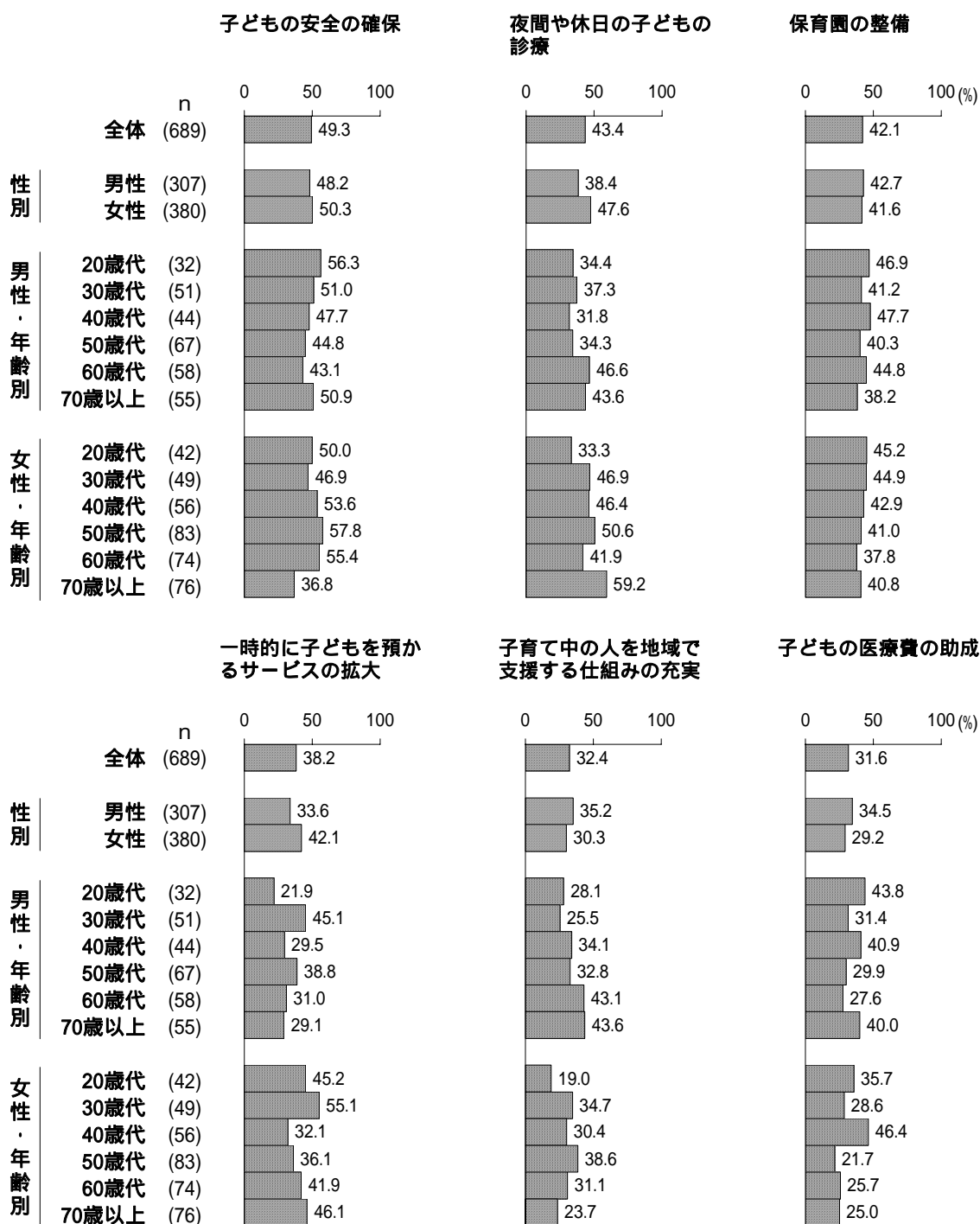
<図表9-10> 子育てのための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「夜間や休日の子どもの診療」と「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」は女性が、「子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実」と「子どもの医療費の助成」では男性がやや高い。

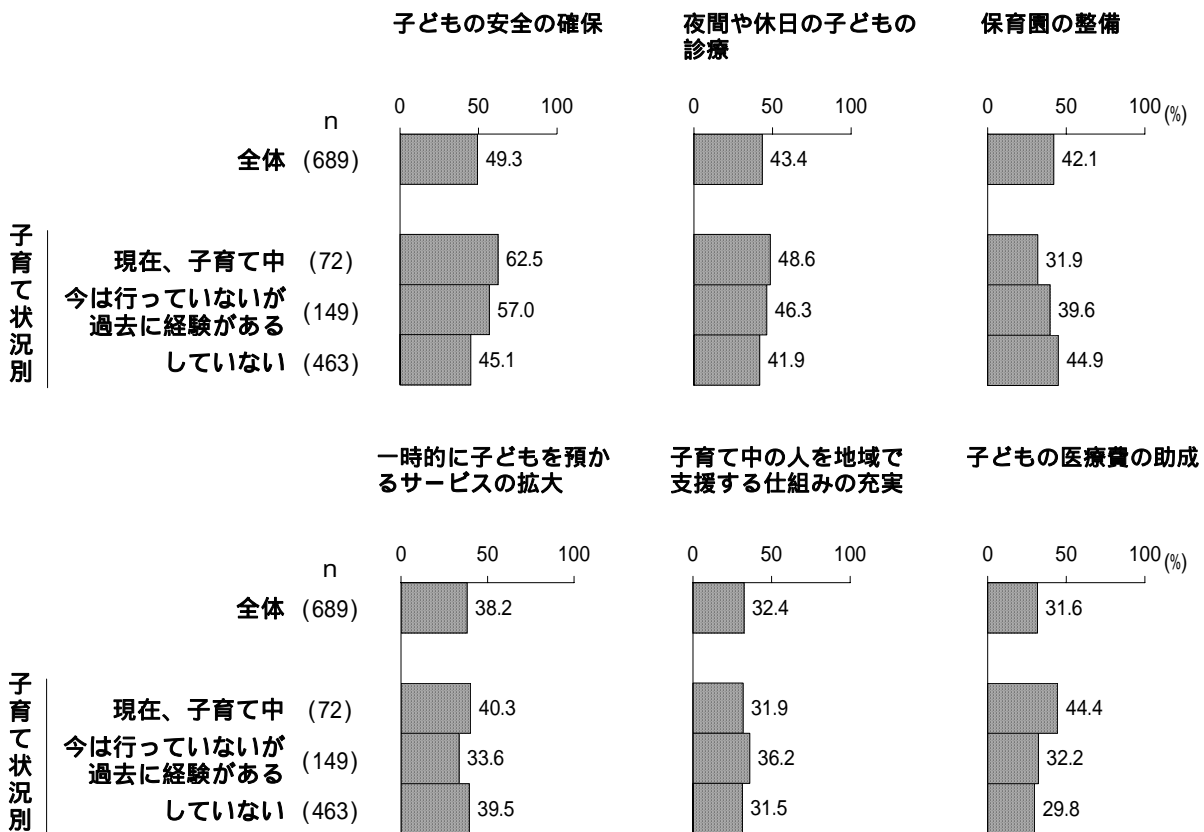
性・年齢別で見ると、「子どもの安全の確保」は男性 20 歳代（56.3%）や女性 50 歳代（57.8%）で高く、「夜間や休日の子どもの診療」は女性 70 歳以上（59.2%）で特に高い。「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」は女性 30 歳代（55.1%）が 5 割台半ばで高い。「子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実」は 60 歳以上の男性で、「子どもの医療費の助成」は男性 20 歳代（43.8%）や女性 40 歳代（46.4%）でそれぞれ高くなっている。（図表 9 - 1 1）

<図表 9 - 1 1> 子育てのための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位 6 項目)



子育て状況別でみると、「子どもの安全の確保」、「夜間や休日の子どもの診療」、「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」、「子どもの医療費の助成」では現在、子育て中の人が高い。しかし、「保育園の整備」は子育てをしていない人(44.9%)が最も高く、現在、子育て中の人(31.9%)と13ポイントの差がある。(図表9-12)

<図表9-12> 子育てのための取り組みとして大切なもの 子育て状況別(上位6項目)

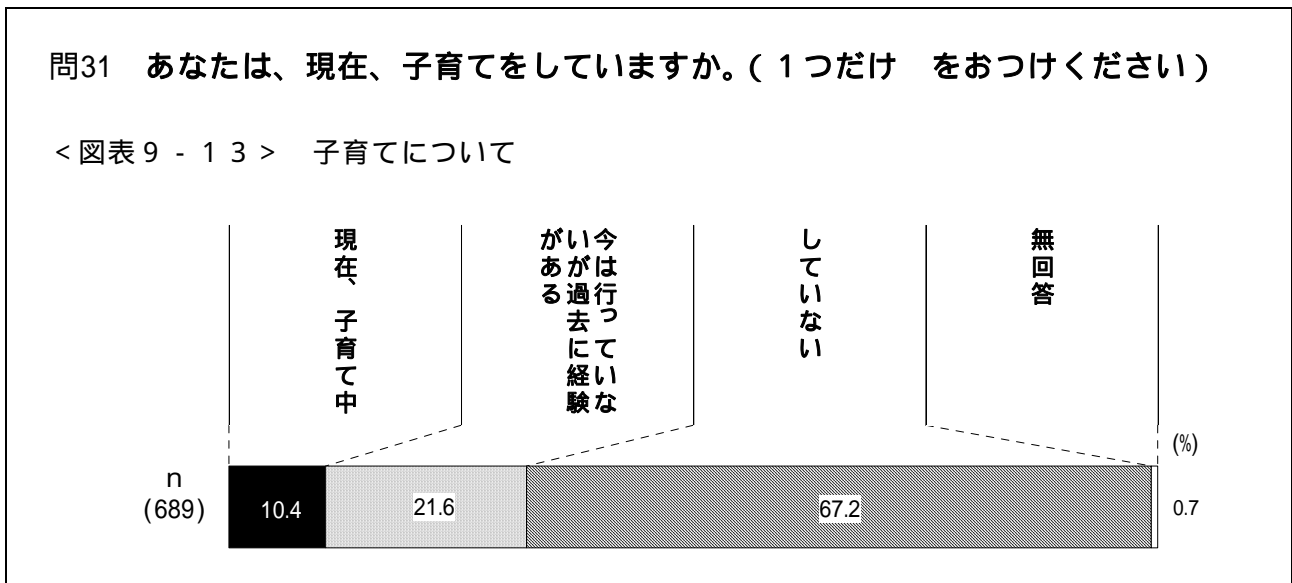


(4) 子育てについて

「現在、子育て中」は1割

問31 あなたは、現在、子育てをしていますか。(1つだけをおつけください)

<図表9-13> 子育てについて

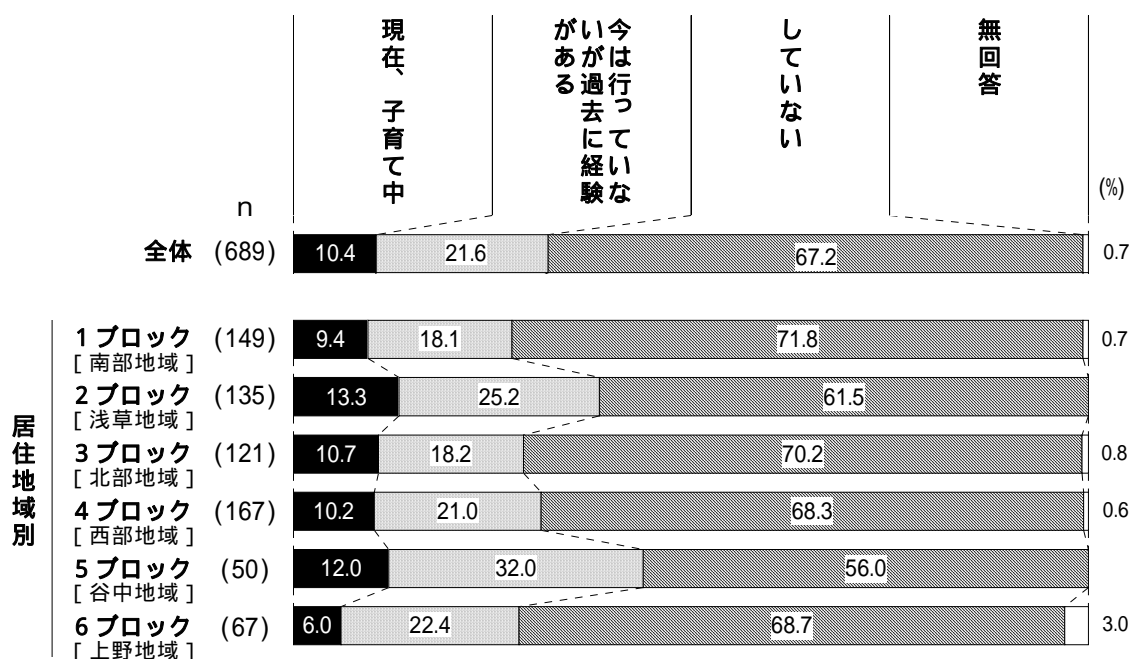


子育てについて聞いたところ、「現在、子育て中」(10.4%)は1割、「今は行っていないが過去に経験がある」(21.6%)は2割強で、「していない」(67.2%)が大半を占めている。

(図表9-13)

地域別でみると、「現在、子育て中」は6ブロック[上野地域](6.0%)で特に低い。2ブロック[浅草地域]と5ブロック[谷中地域]は、「現在、子育て中」と「今は行っていないが過去に経験がある」の両方とも高くなっている。(図表9-14)

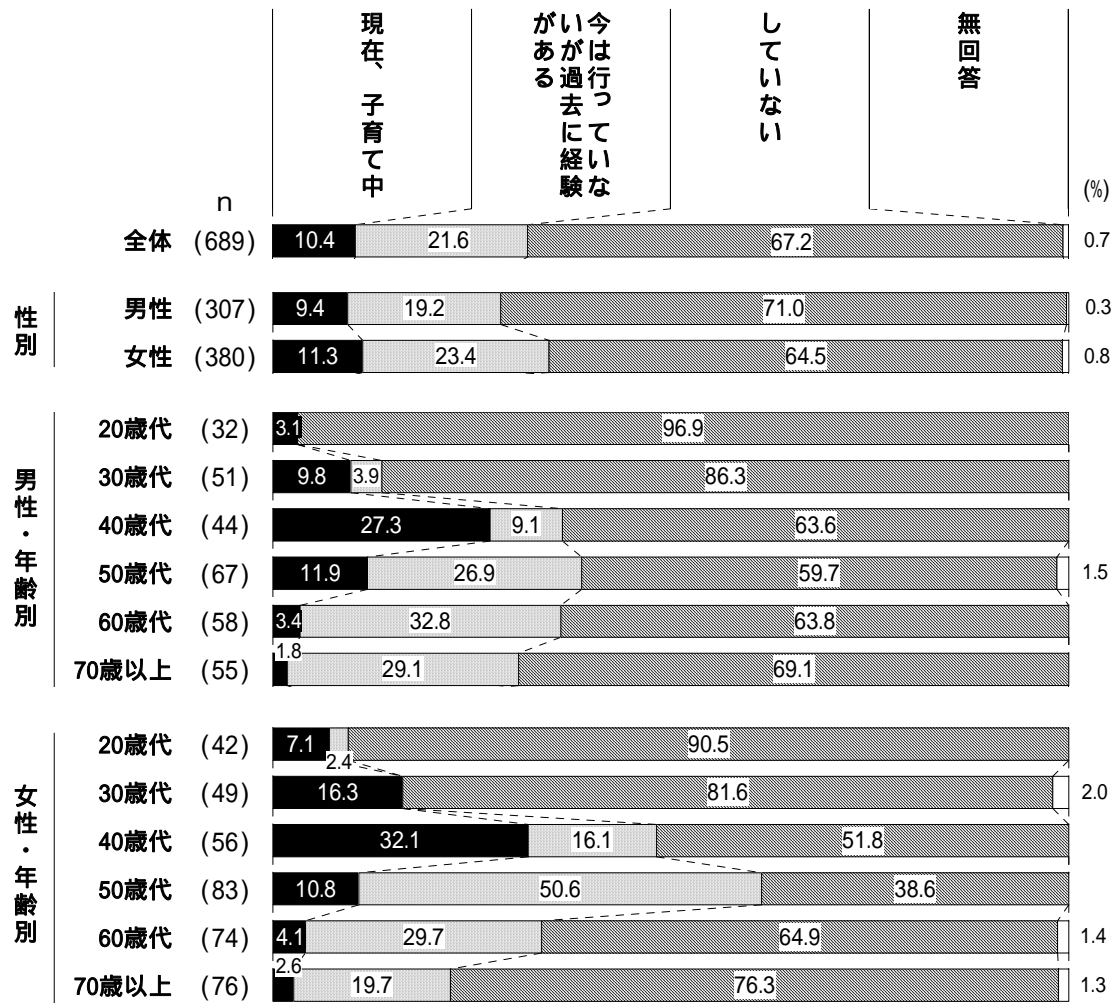
<図表9-14> 子育てについて 地域別



性別でみると、「現在、子育て中」および「今は行っていないが過去に経験がある」は女性がわずかながら男性よりも高い。

性・年齢別でみると、「現在、子育て中」は男女ともに40歳代が最も高く、男性は50歳代(11.9%)、30歳代(9.8%)がこれに次いでいるが、女性は30歳代(16.3%)、50歳代(10.8%)の順である。(図表9-15)

<図表9-15> 子育てについて 性別/性・年齢別

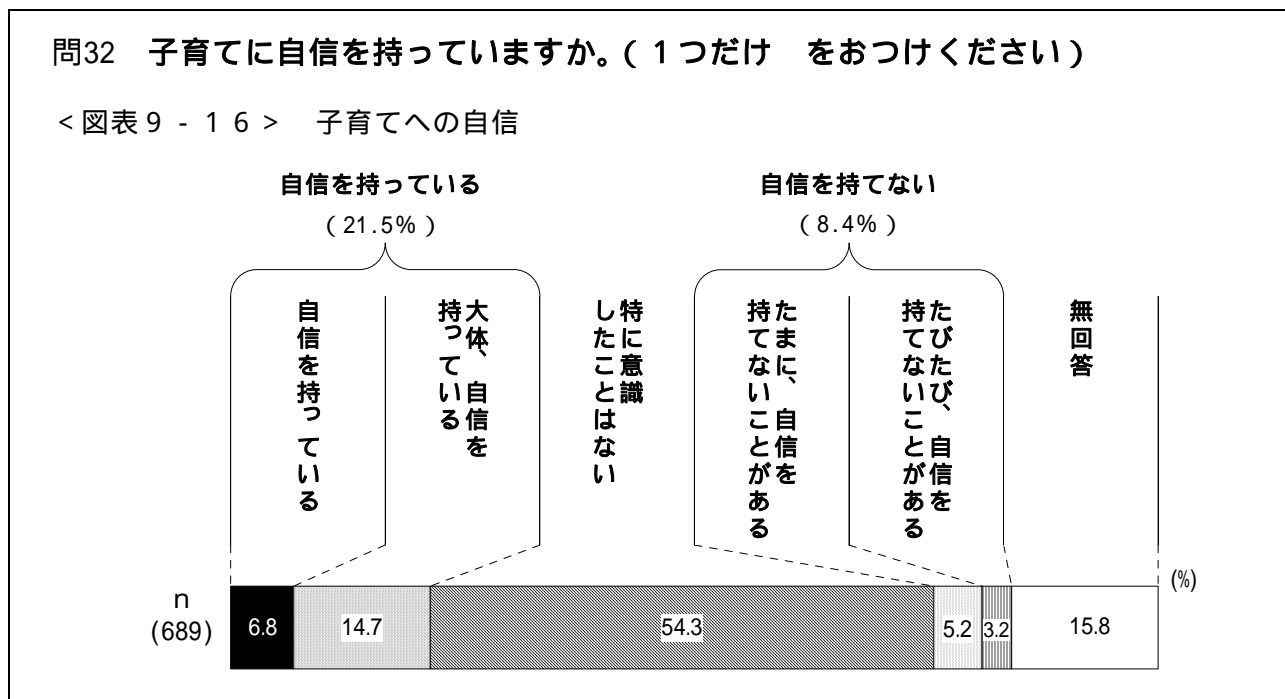


(5) 子育てへの自信

《自信を持っている》が2割、過半数は「特に意識したことはない」

問32 子育てに自信を持っていますか。(1つだけをおつけください)

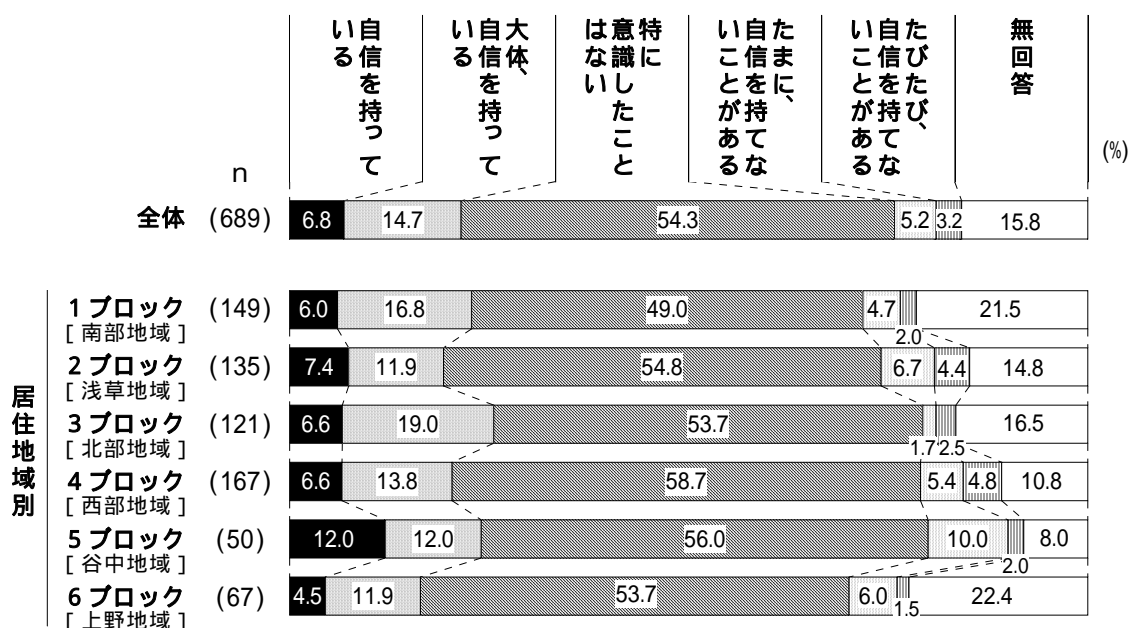
<図表9-16> 子育てへの自信



子育てへの自信について聞いたところ、「特に意識したことはない」(54.3%)が過半数を占めている。《自信を持っている》(「自信を持っている」と「大体自信を持っている」の合計)は21.5%、《自信を持ってない》(「たびたび自信を持ってないことがある」と「たまに自信を持ってないことがある」の合計)は8.4%である。(図表9-16)

地域別でみると、《自信を持っている》割合は、3ブロック[北部地域](25.6%)が最も高く、5ブロック[谷中地域](24.0%)がこれに次いでいる。5ブロック[谷中地域]は強い肯定の「自信を持っている」が12.0%と高い点に特徴がある。6ブロック[上野地域](16.4%)では《自信を持っている》割合が低くなっているが、無回答(22.4%)の高さに注意を要する。(図表9-17)

<図表9-17> 子育てへの自信 地域別



性別でみると、《自信を持っている》割合は男女間で大きな差はないが、女性は無回答（18.9%）が2割近くで高くなっている。

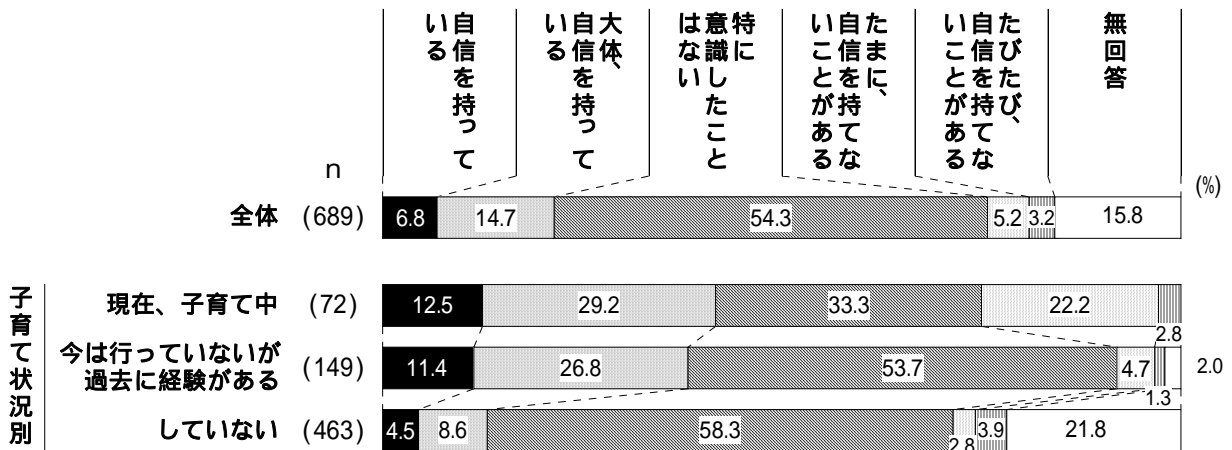
性・年齢別で《自信を持っている》割合をみると、男性は30歳代（11.8%）と50歳代（16.5%）が特に低く、女性は20歳代から40歳代までが特に低くなっている。この年代の女性は無回答がいずれも2割を超えている。（図表9 - 18）

<図表9 - 18> 子育てへの自信 性別/性・年齢別



子育て状況別でみると、《自信を持っている》割合は、現在、子育て中の人（41.7%）と今は行っていないが過去に経験がある人（38.2%）でほとんど差はなく、していない人（13.1%）を大きく上回っている。一方、《自信を持ってない》割合は、現在、子育て中の人（25.0%）の高さが目立っている。（図表9 - 19）

<図表9 - 19> 子育てへの自信 子育て状況別



10 . 教育のための取り組み

子どもたちが、こころざしを抱き、夢や希望をもち、これからの時代を自らの力でたくましく生きることのできる教育が大切です。

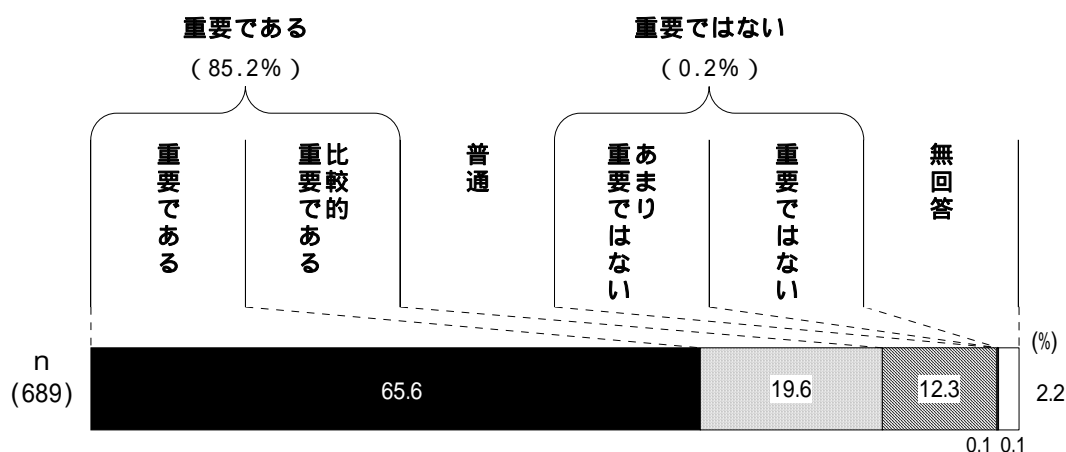
そのため、区では、基礎学力の向上、心と体の育成、学校施設の整備、学校と家庭・地域との連携などを行っています。

(1) 教育の重要度

「重要である」が6割台半ば

問33 教育についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

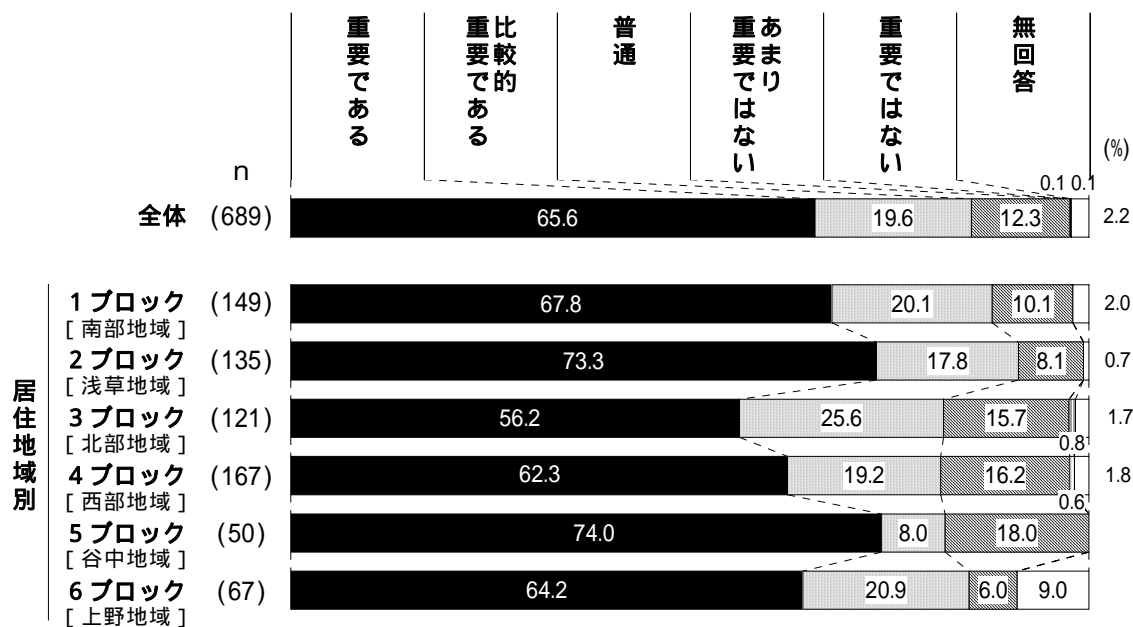
<図表10-1> 教育の重要度



教育の重要度を聞いたところ、「重要である」(65.6%)が6割台半ばを占め、「比較的重要な」(19.6%)を加えた《重要である》は85.2%になる。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.2%である。(図表10-1)

地域別でみると、《重要である》割合は2ブロック [浅草地域] (91.1%) が唯一9割を超えており、1ブロック [南部地域] (87.9%) と6ブロック [上野地域] (85.1%) がこれに続いている。
(図表10-2)

<図表10-2> 教育の重要度 地域別

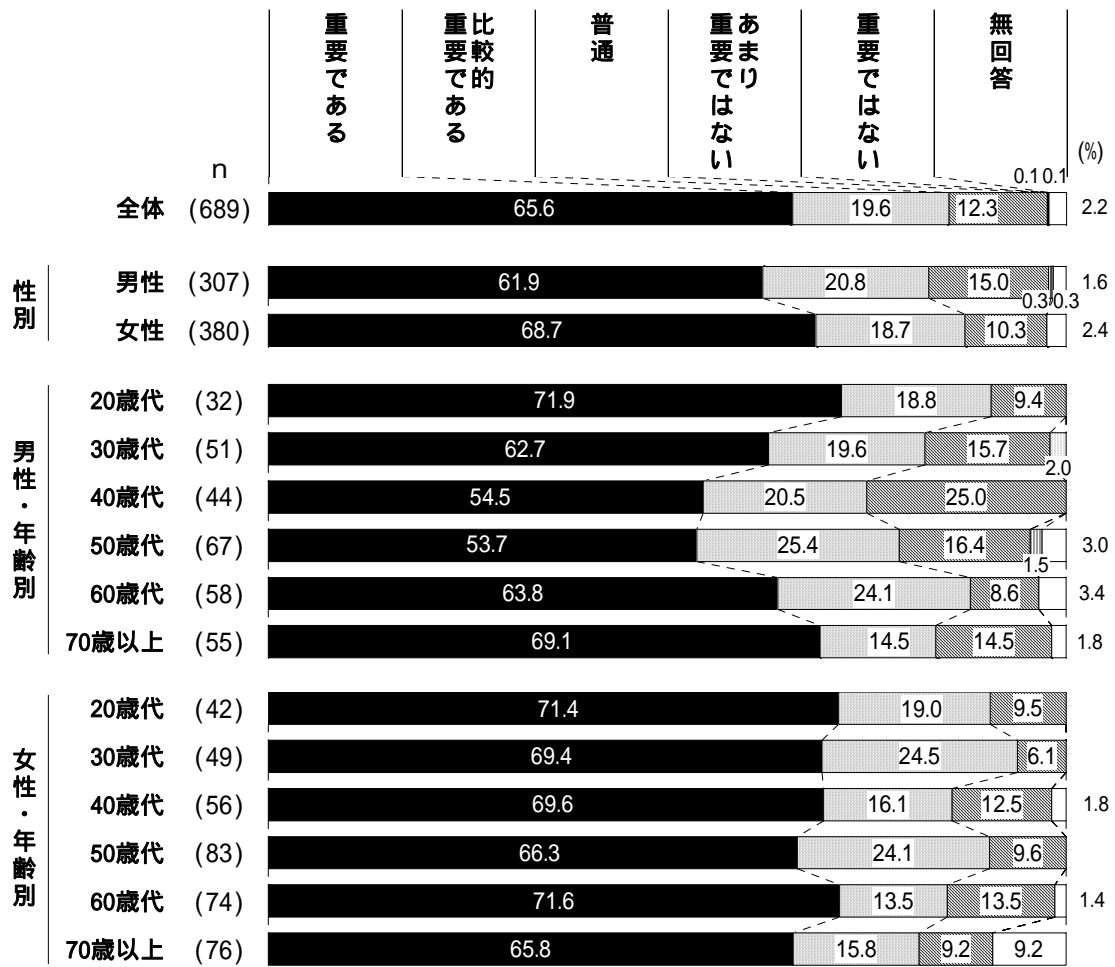


性別でみると、《重要である》割合は女性 (87.4%) が男性 (82.7%) をわずかに上回っている。

性・年齢別で《重要である》割合をみると、40歳代、50歳代の男性で低くなっている。

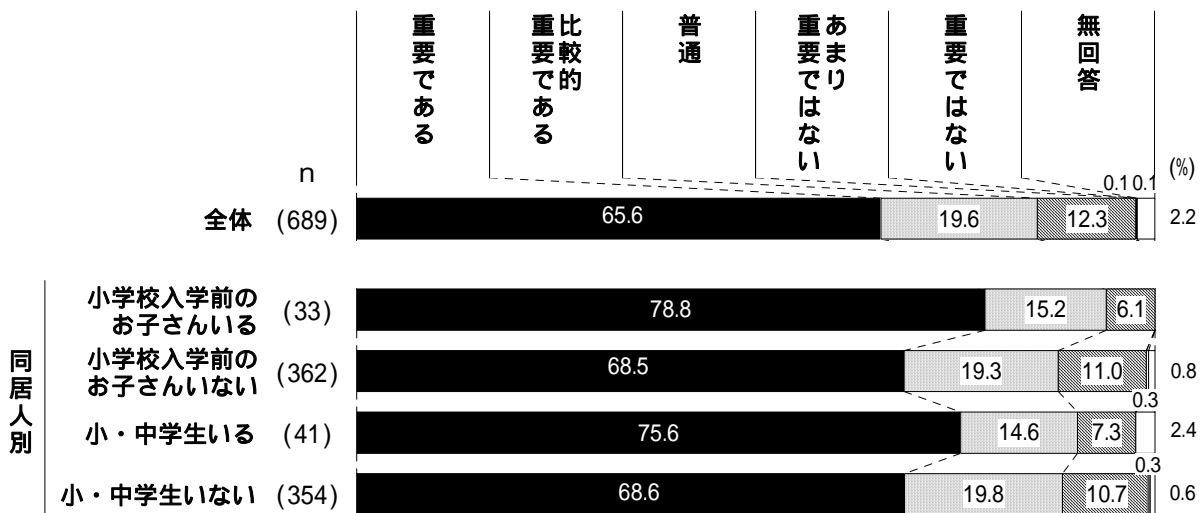
(図表10-3)

<図表10-3> 教育の重要度 性別/性・年齢別



同居人別でみると、小学校入学前のお子または小・中学生がいる場合は、いない場合よりもそれぞれ《重要である》割合がやや高くなっている。(図表10-4)

<図表10-4> 教育の重要度 同居人別



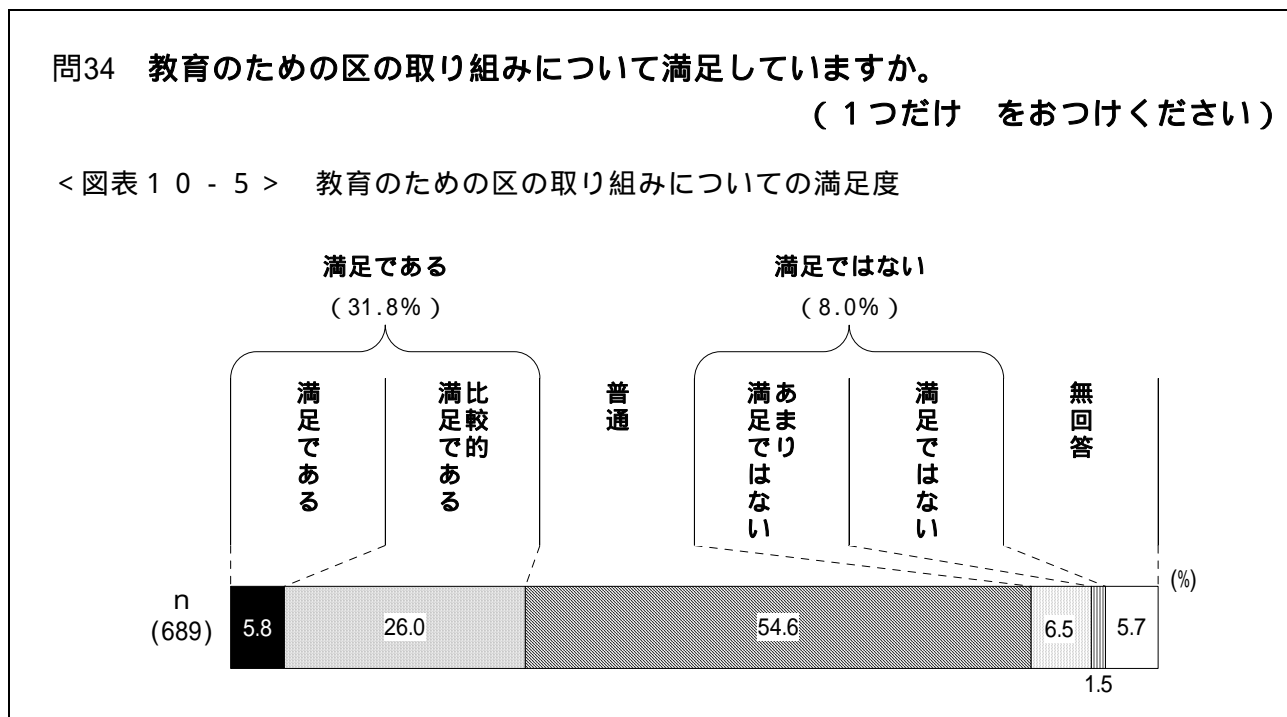
(2) 教育のための区の取り組みについての満足度

「普通」が5割台半ば、《満足である》は3割強

問34 教育のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

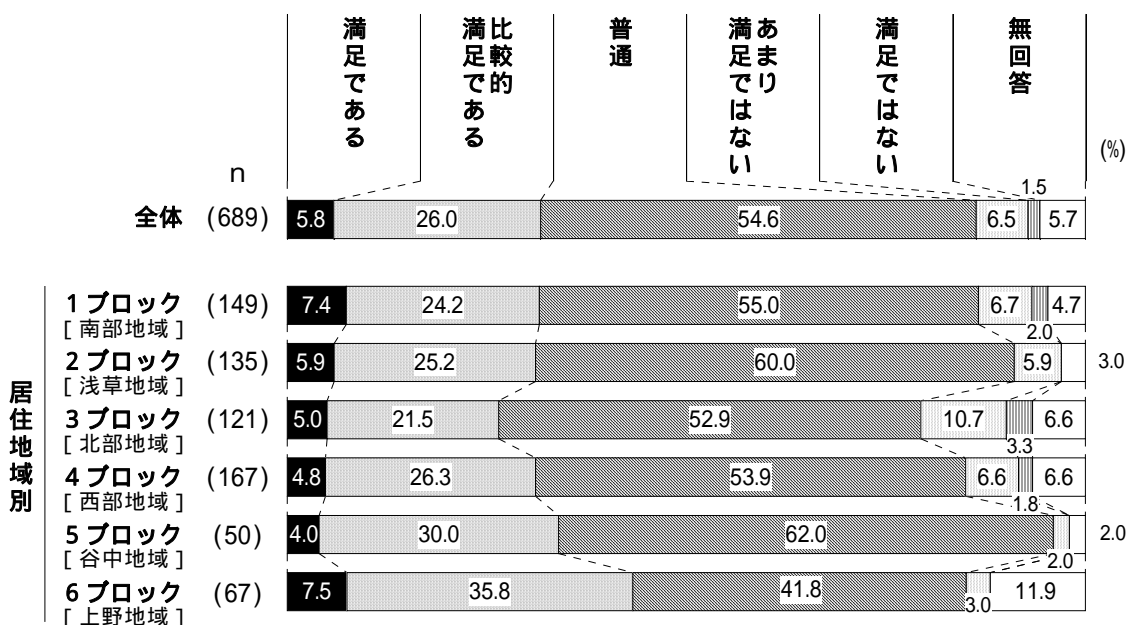
<図表10-5> 教育のための区の取り組みについての満足度



教育のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(54.6%)が5割台半ばと高く、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は31.8%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は8.0%となっている。(図表10-5)

地域別でみると、《満足である》割合は6ブロック[上野地域](43.3%)が唯一4割を超え高い。一方、3ブロック[北部地域](26.5%)は唯一3割未滿となっている。(図表10-6)

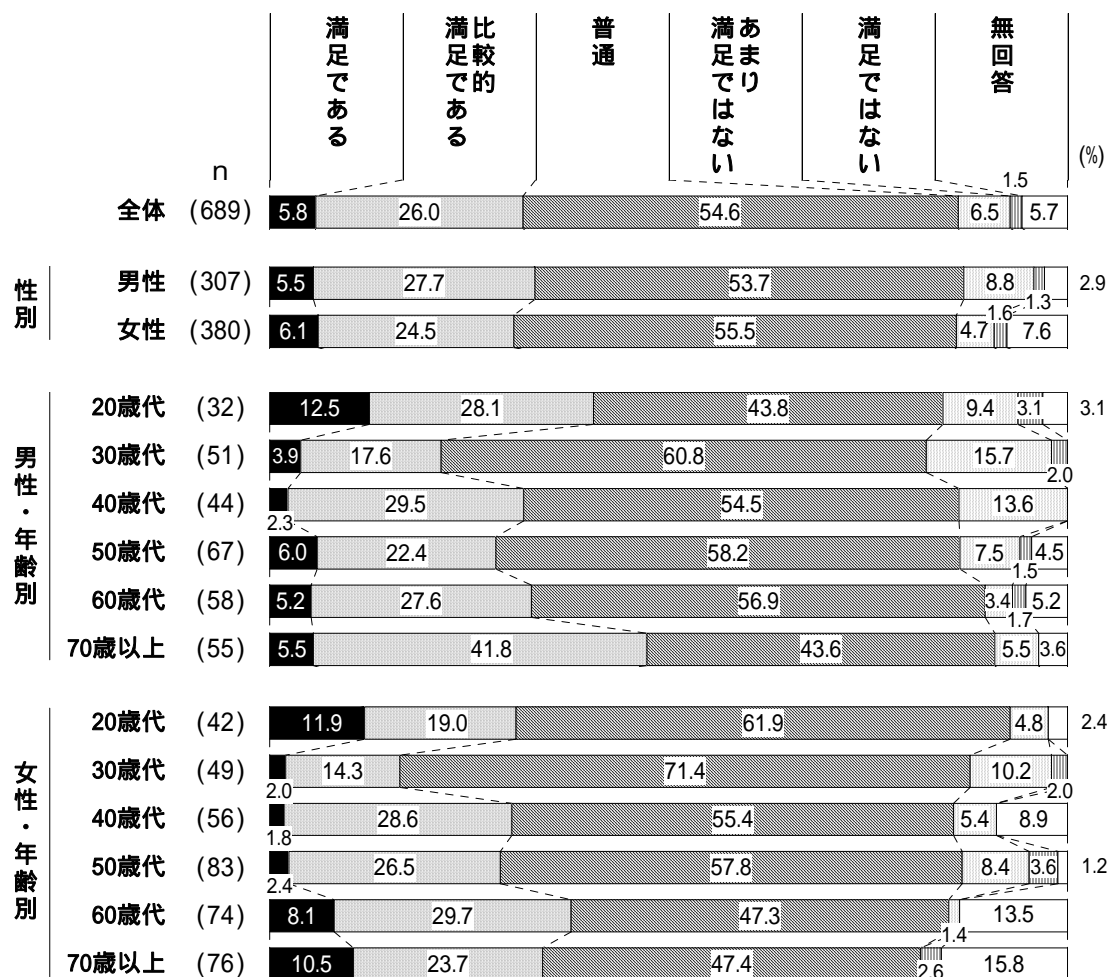
<図表10-6> 教育のための区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女間で目立った違いはない。

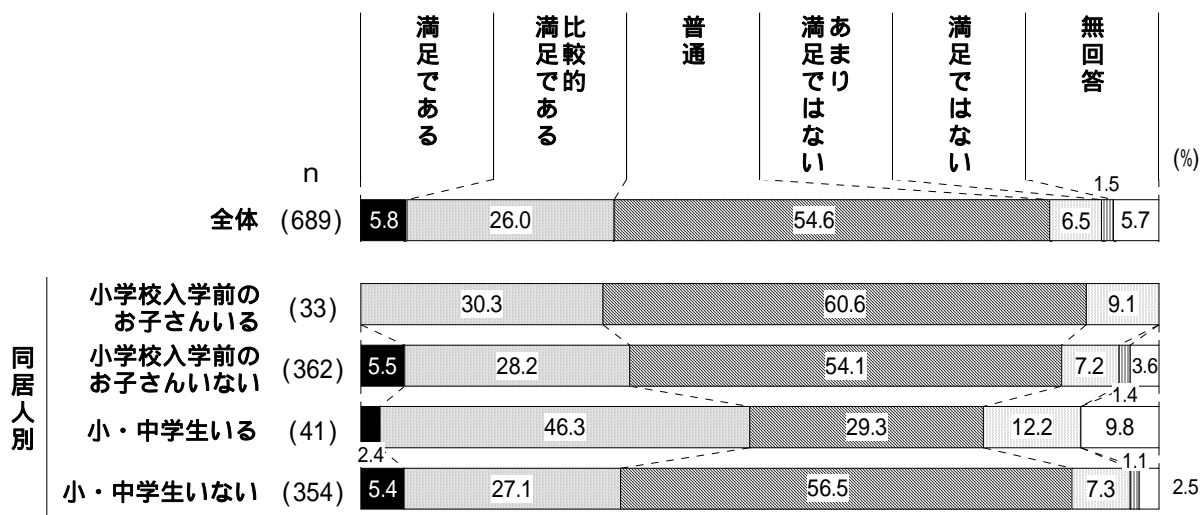
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男女ともに 30 歳代の低さが際立っている。男性は 20 歳代(40.6%)と 70 歳以上(47.3%)が高く、女性は 60 歳代(37.8%)がやや高くなっている。
(図表 10 - 7)

<図表 10 - 7> 教育のための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



同居人別でみると、小学校入学前の子どもの有無では、《満足である》割合に影響があまりない。一方、小・中学生がいる人（48.7％）は、いない人（32.5％）よりも《満足である》割合が高くなっている。（図表10-8）

<図表10-8> 教育のための区の取り組みについての満足度 同居人別



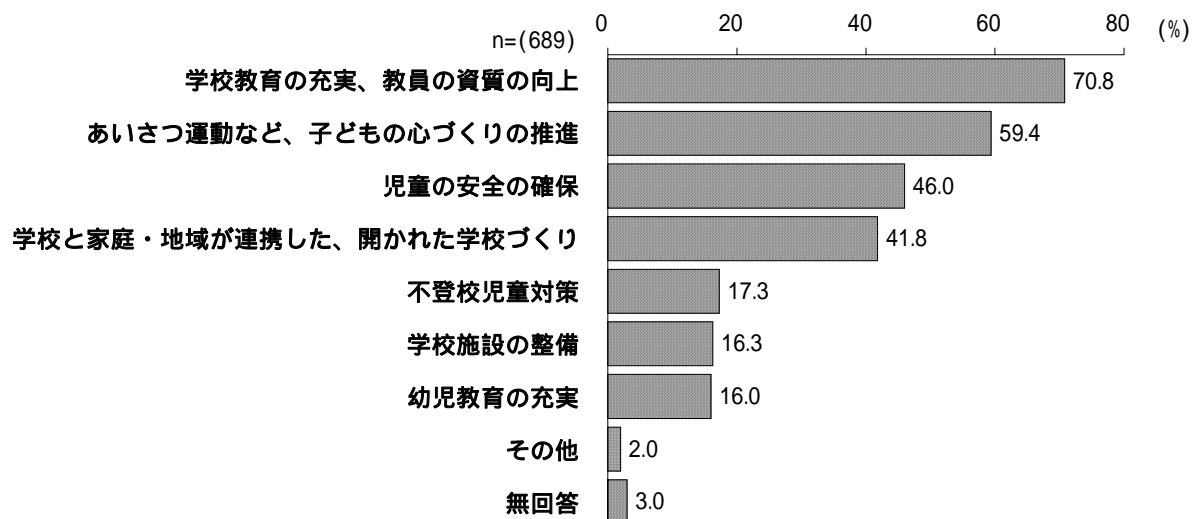
(3) 教育のための取り組みとして大切なもの

「学校教育の充実、教員の資質の向上」が7割

問35 教育のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

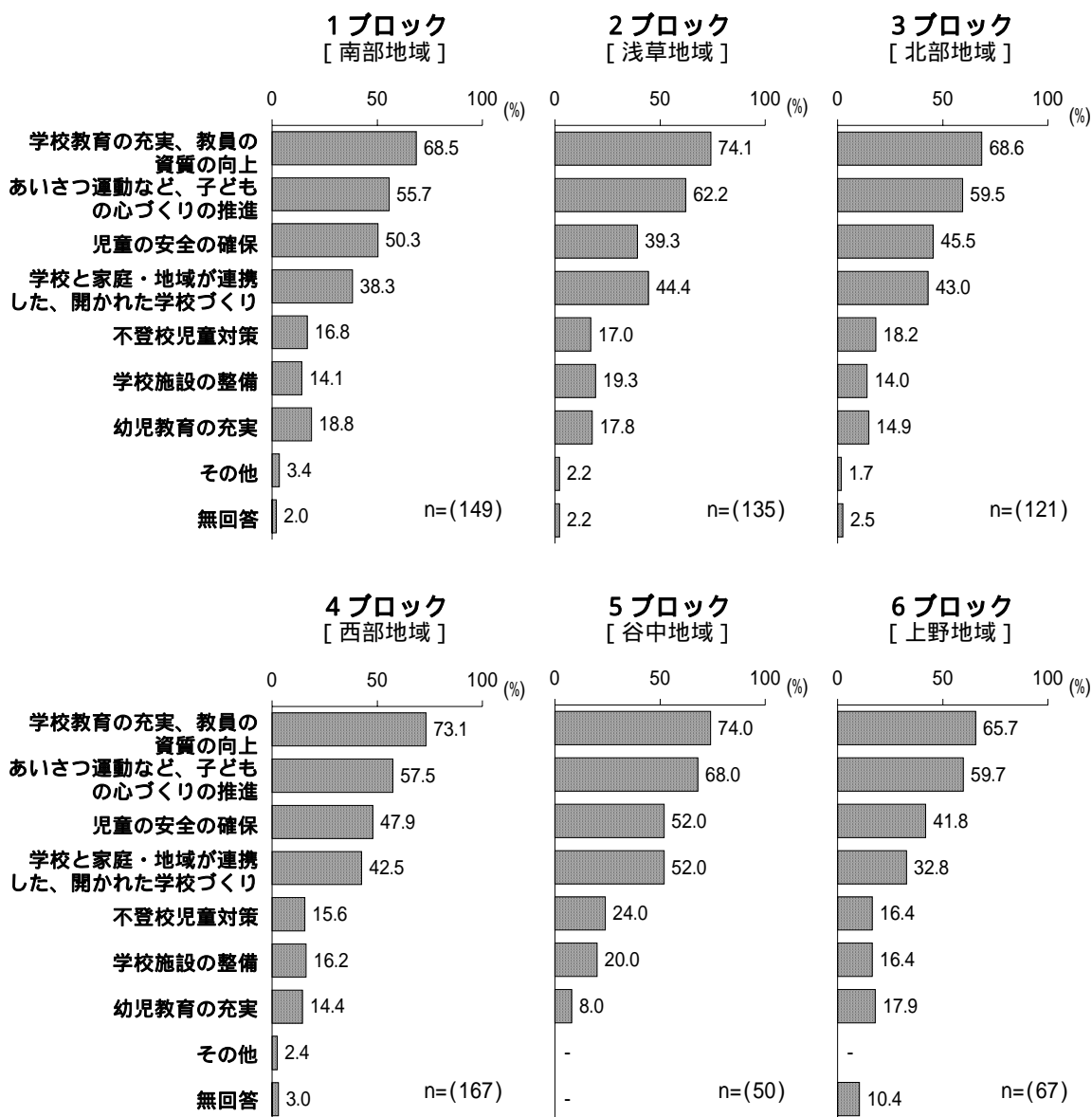
< 図表 1 0 - 9 > 教育のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



教育のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「学校教育の充実、教員の資質の向上」(70.8%)が7割で最も高く、「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」(59.4%)が6割、「児童の安全の確保」(46.0%)と「学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり」(41.8%)が4割台となっている。(図表10-9)

地域別でみると、5ブロック[谷中地域]が「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」で68.0%、「児童の安全の確保」で52.0%、「不登校児童対策」で24.0%といずれも高いが目立っている。(図表10-10)

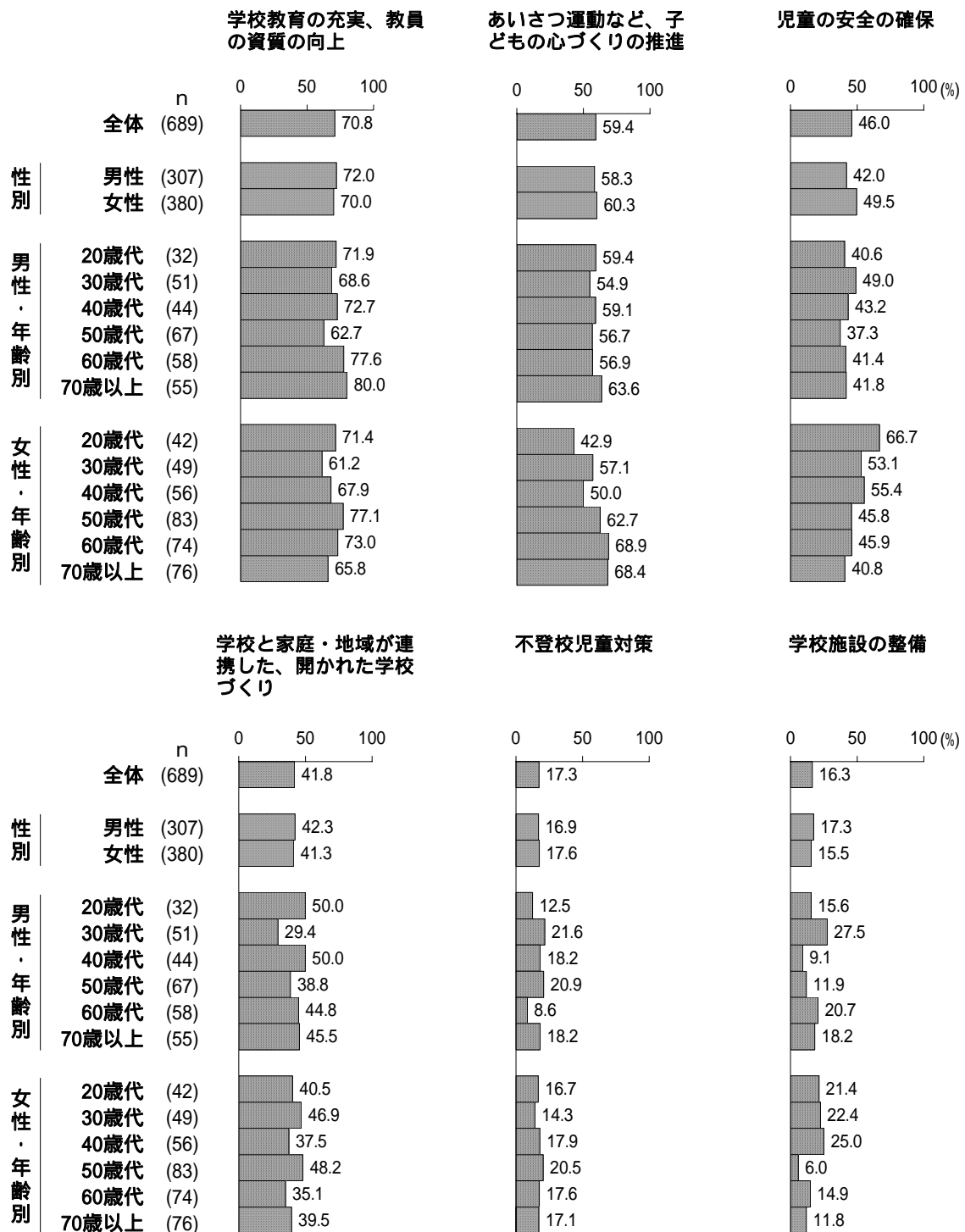
<図表10-10> 教育のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「児童の安全の確保」で女性（49.5％）が男性（42.0％）を 7.5 ポイント上回っている。

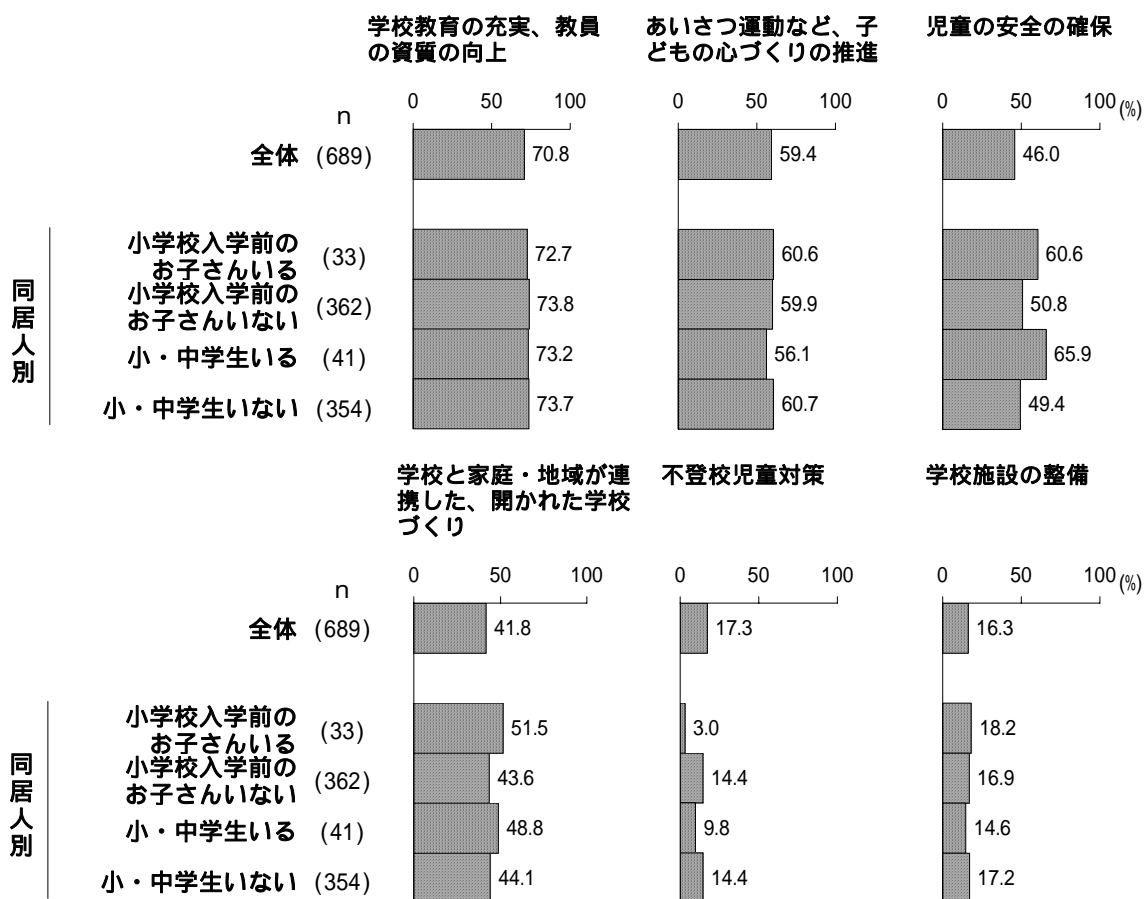
性・年齢別で見ると、「学校教育の充実、教員の資質の向上」は、男性の 60 歳代（77.6％）と 70 歳以上（80.0％）、女性 50 歳代（77.1％）で高く、「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、女性の 60 歳代（68.9％）と 70 歳以上（68.4％）で高い。一方、「児童の安全の確保」は女性 20 歳代（66.7％）で特に高くなっている。（図表 10 - 11）

<図表 10 - 11> 教育のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別(上位 6 項目)



同居人別でみると、「児童の安全の確保」と「学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり」は小学校入学前のお子さんがいる人や小・中学生がいるの方が、いない人よりも高くなっている。(図表10-12)

<図表10-12> 教育のための取り組みとして大切なもの 同居人別(上位6項目)



11. パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み

本区は、支えあいの地域性があり、地域での活動が盛んです。また、社会では、ボランティアやNPO（非営利の社会貢献活動団体）の活動が増加しています。

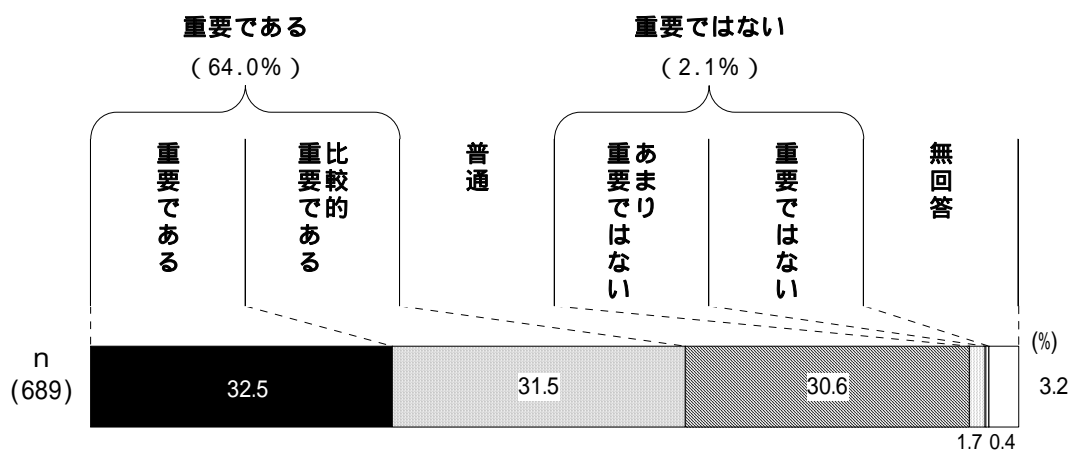
地域の課題の解決のため、区民一人ひとりと、区、企業などが協力関係を深めていくことが大切で、そのため、区では、区政やまちづくり活動への参加の拡大、NPOなどとの協働の促進などに取り組んでいます。

（1）パートナーシップについての重要度

《重要である》が6割台半ば

問36 パートナーシップ（区民と区との協力関係）についてどの程度重要だと思いますか。（1つだけをおつけください）

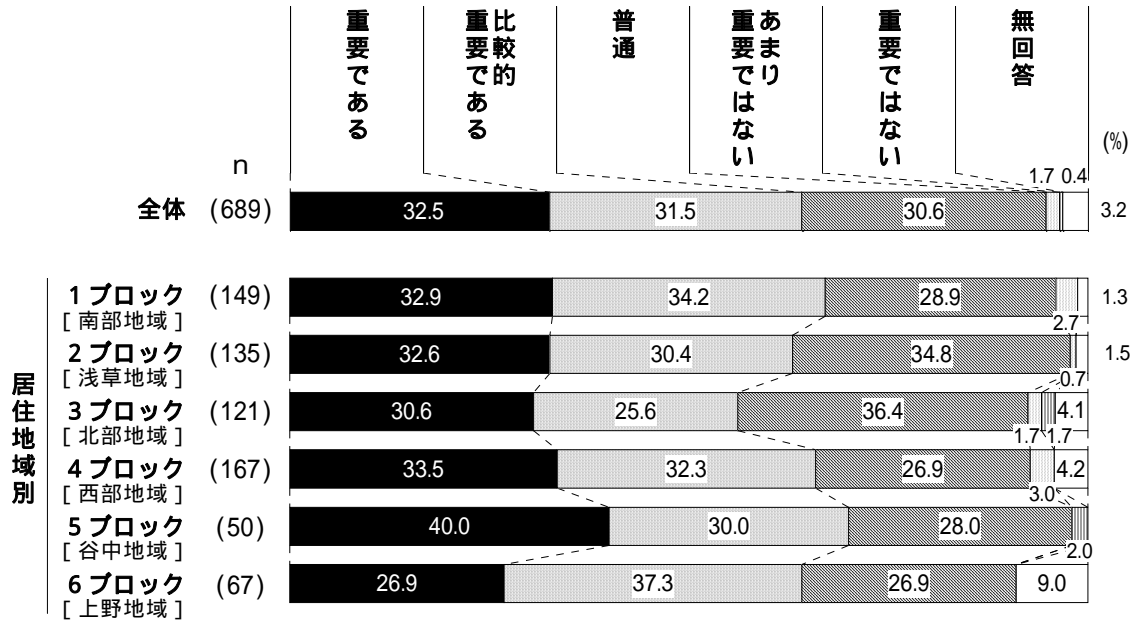
<図表11-1> パートナーシップについての重要度



パートナーシップの重要度を聞いたところ、「重要である」（32.5%）、「比較的である」（31.5%）、「普通」（30.6%）がほぼ同率となっている。《重要である》（「重要である」と「比較的である」の合計）は64.0%を占め、《重要ではない》（「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計）は2.1%である。（図表11-1）

地域別でみると、《重要である》割合は5ブロック [谷中地域] (70.0%) でやや高く、3ブロック [北部地域] (56.2%) でやや低くなっている。(図表 1 1 - 2)

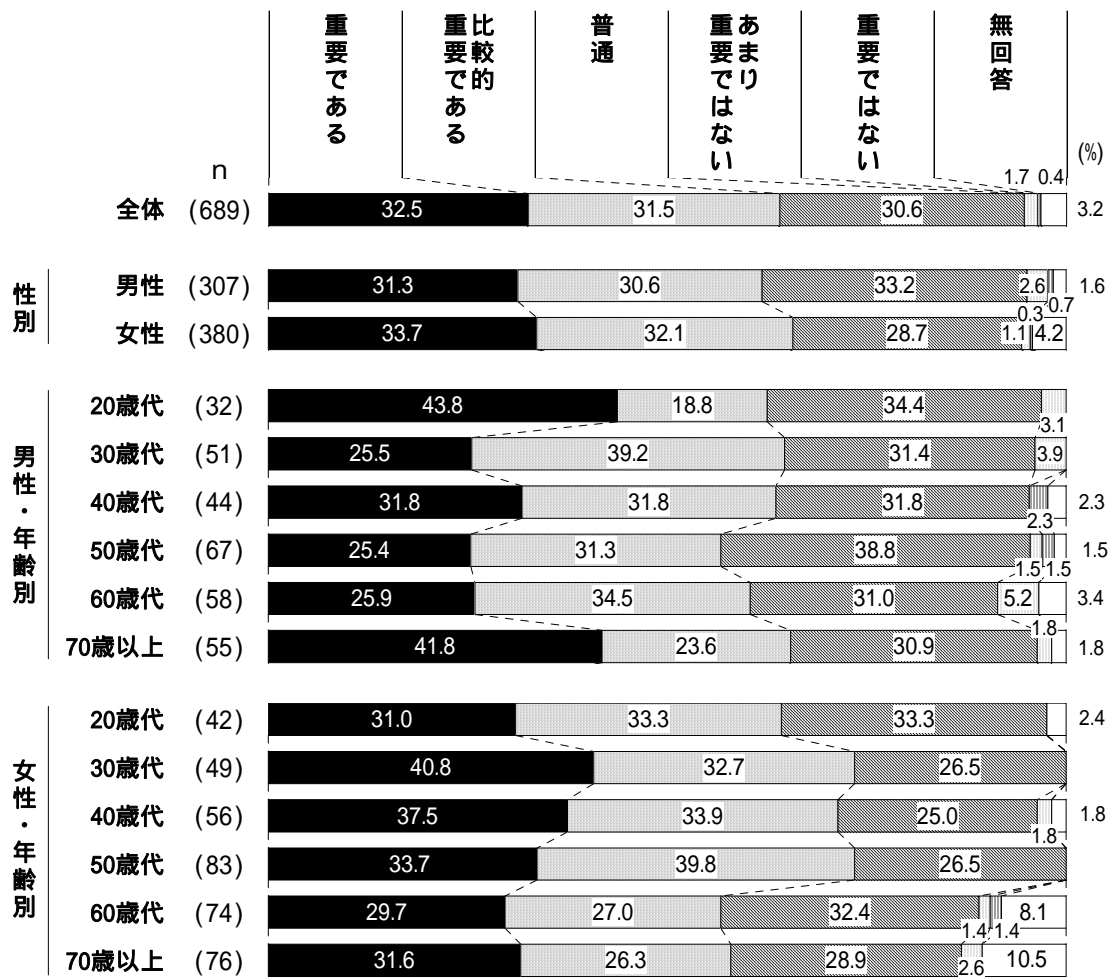
< 図表 1 1 - 2 > パートナーシップについての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》割合は女性 65.8%、男性 61.9% で、わずかながら女性が高くなっている。

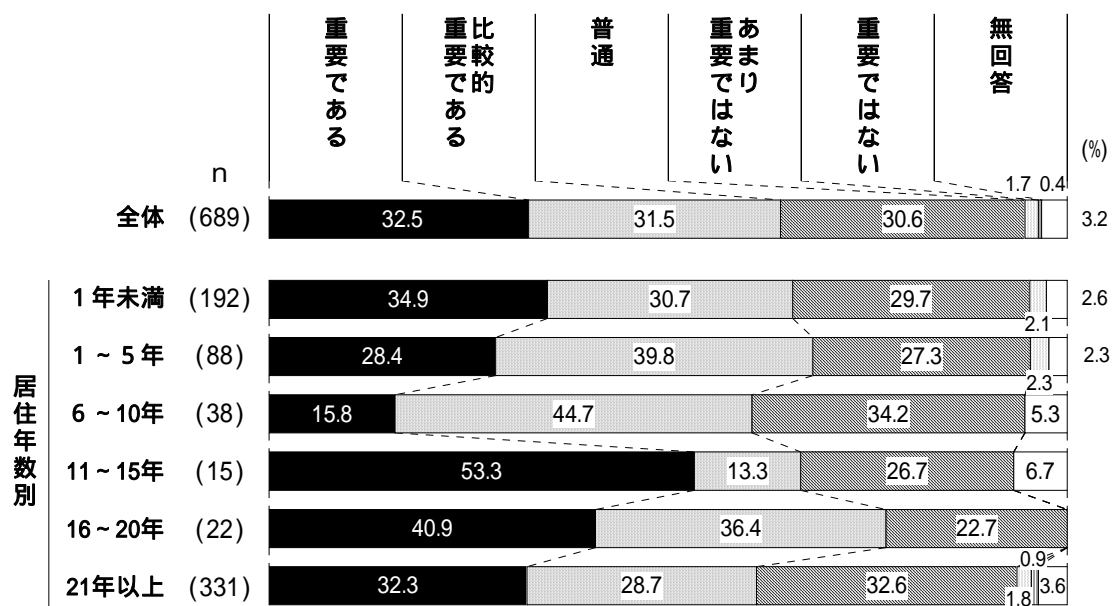
性・年齢別で《重要である》割合をみると、女性は30歳代 (73.5%)、40歳代 (71.4%)、50歳代 (73.5%) で7割を超え、高くなっている。(図表 1 1 - 3)

<図表 1 1 - 3> パートナーシップについての重要度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、《重要である》割合と居住年数との関係は見出しにくい。(図表 1 1 - 4)

<図表 1 1 - 4> パートナーシップについての重要度 居住年数別

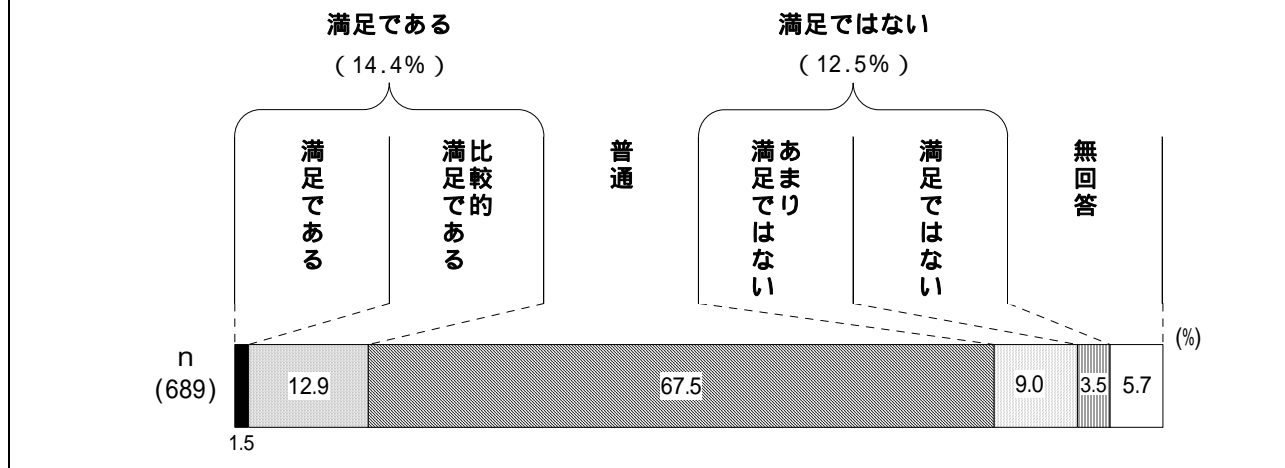


(2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度

《満足である》は1割台半ば、3人に2人は「普通」

問37 パートナーシップのための区の取り組みについて満足していますか。
(1つだけをおつけください)

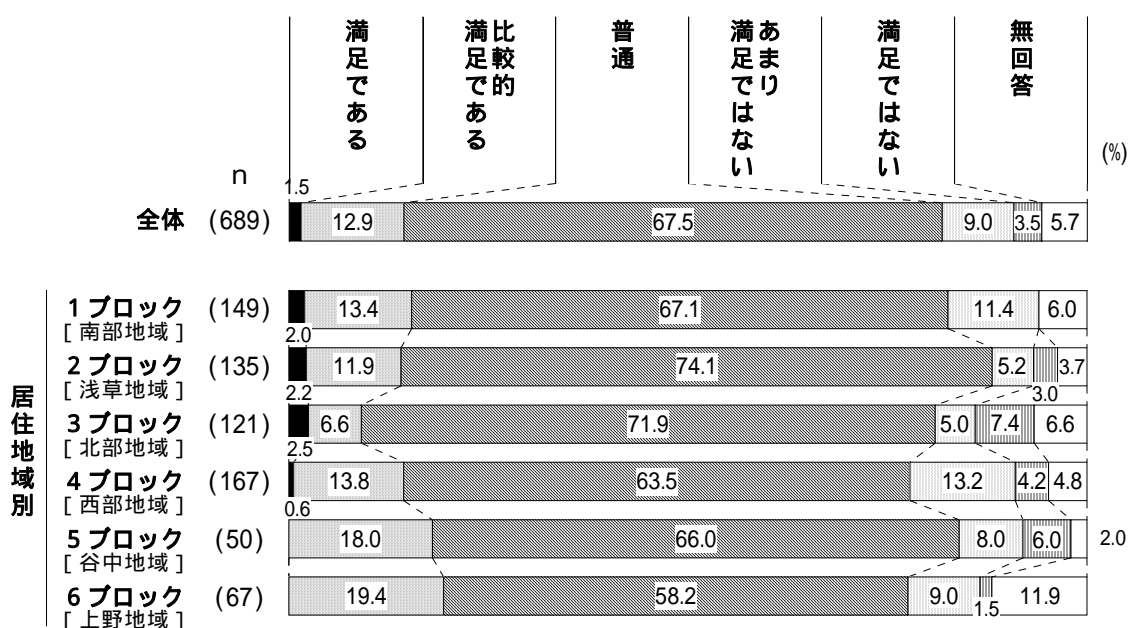
<図表11-5> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度



パートナーシップのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(67.5%)が7割弱と高く、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は14.4%となっている。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は12.5%で《満足である》とほぼ同率である。(図表11-5)

地域別でみると、《満足である》割合は6ブロック[上野地域](19.0%)が最も高く、《満足ではない》(10.5%)を約9ポイント上回る。一方、3ブロック[北部地域](9.1%)と4ブロック[西部地域](14.4%)は、《満足である》が《満足ではない》よりも低くなっている。(図表11-6)

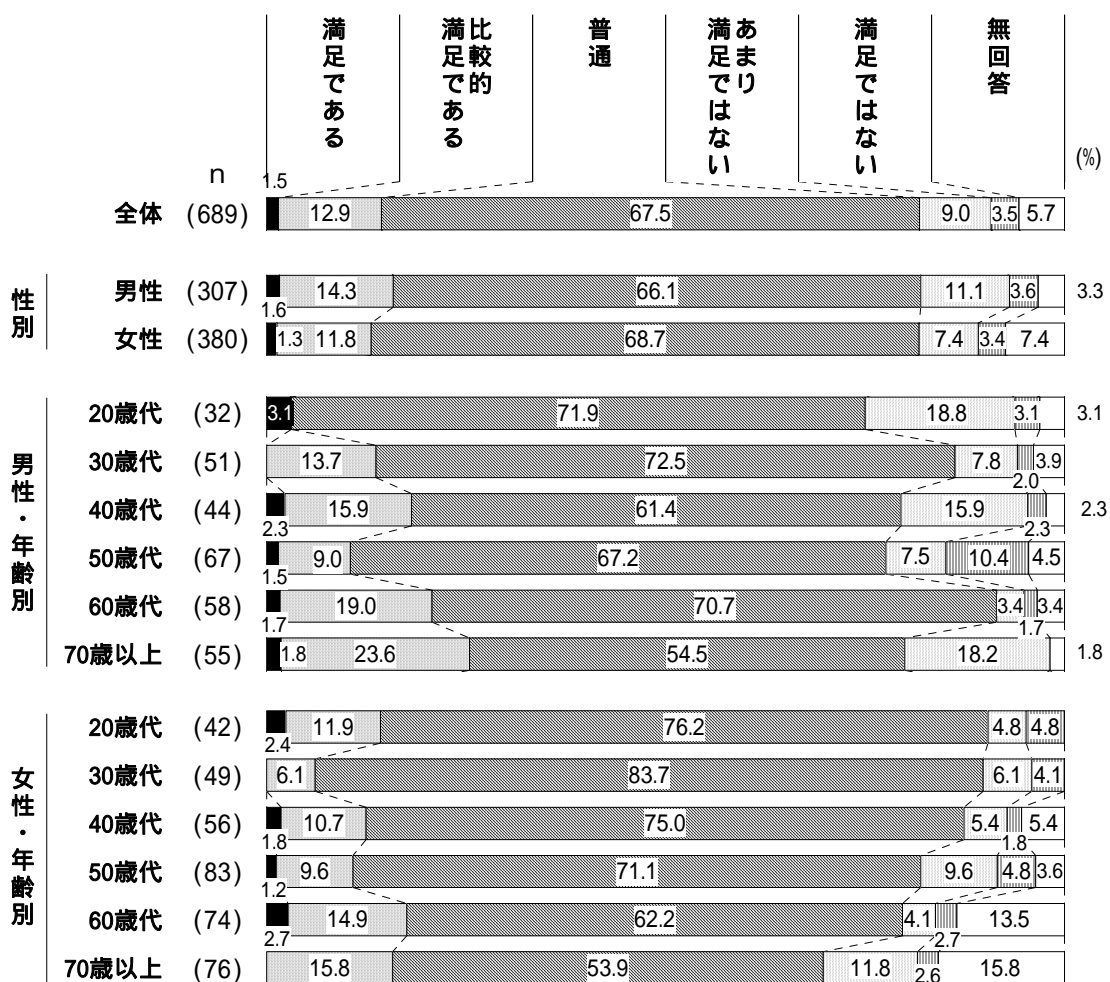
<図表11-6> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 地域別



性別で見ると、男女間で大きな差はない。

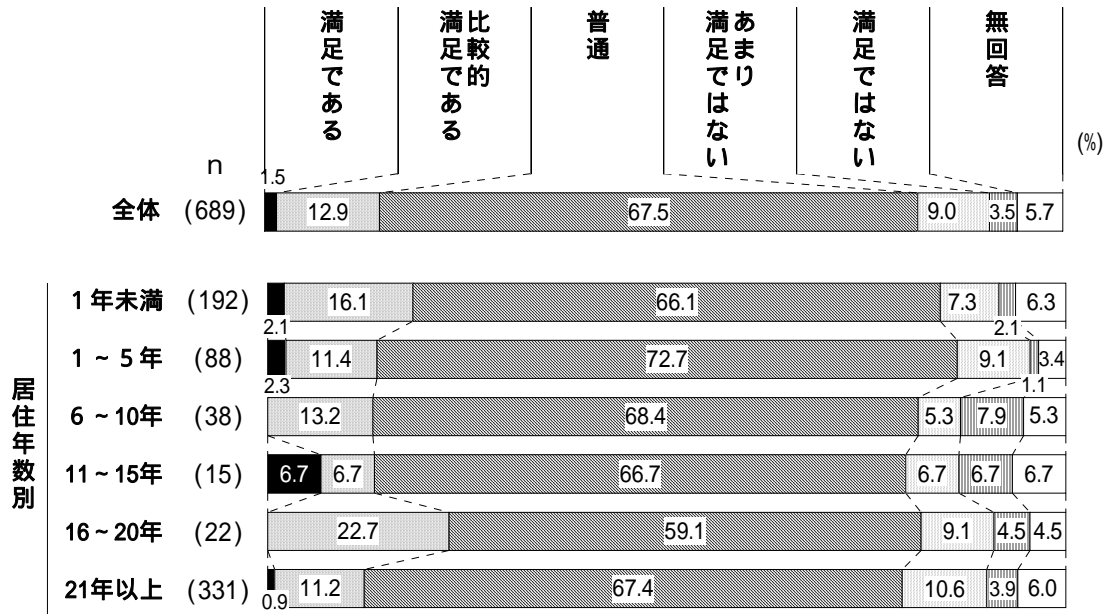
性・年齢別で《満足である》割合をみると、男性の70歳以上（25.4%）と60歳代（20.7%）が2割以上で高いが、70歳以上の場合は《満足ではない》も18.2%と高くなっている。一方、男性20歳代（3.1%）と女性30歳代（6.1%）は特に低く、男性20歳代は《満足ではない》（21.9%）との差が大きくなっている。（図表11-7）

<図表11-7> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、満足度との関係は希薄である。《満足である》割合は「21年以上」(12.1%)よりも「1年未満」(18.2%)がやや高くなっている。(図表11-8)

<図表11-8> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 居住年数別

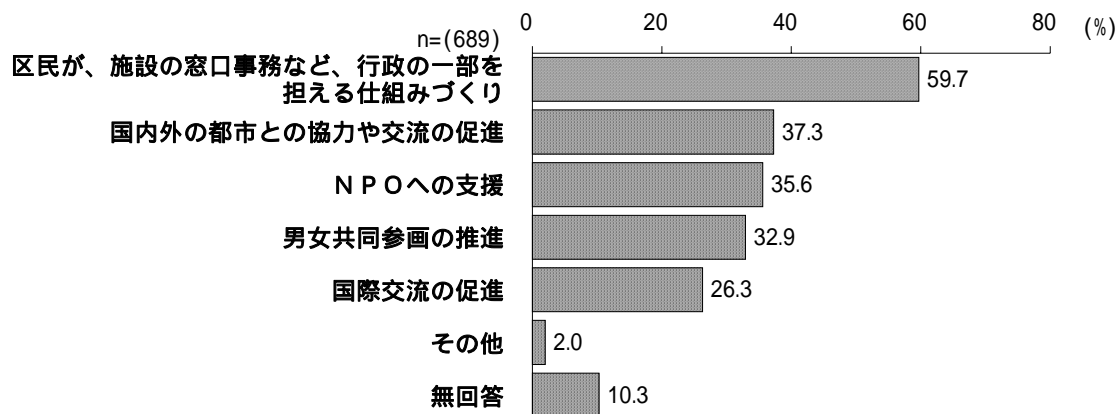


(3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの

「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」が6割

問38 パートナーシップのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで をおつけください)

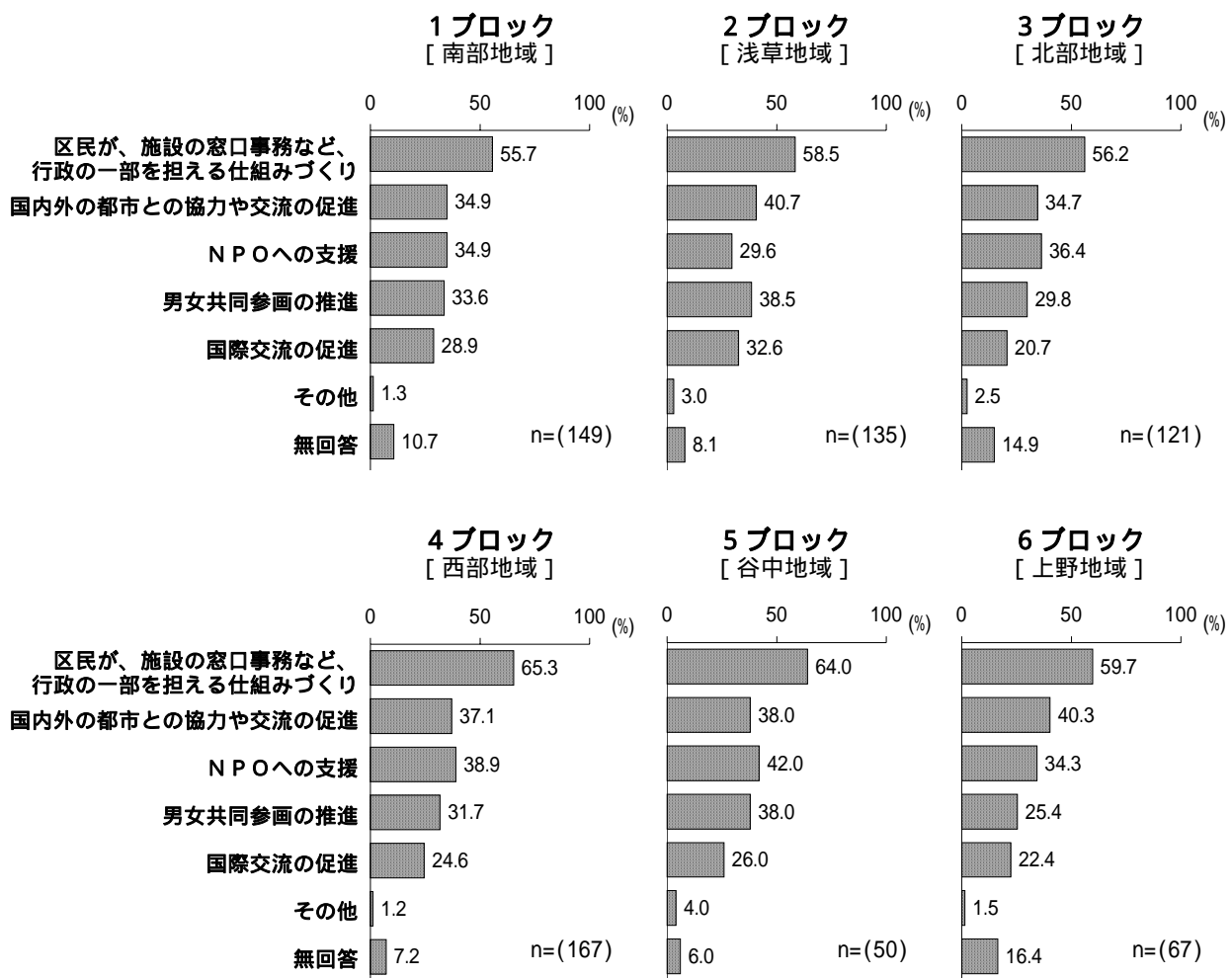
<図表11-9> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



パートナーシップのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」(59.7%)が6割から選ばれ、特に高くなっている。以下、「国内外の都市との協力や交流の促進」(37.3%)、「NPOへの支援」(35.6%)、「男女共同参画の推進」(32.9%)の順になっている。(図表11-9)

地域別でみると、「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」は、4ブロック [西部地域] (65.3%) と5ブロック [谷中地域] (64.0%) では6割を超えている。「NPOへの支援」では5ブロック [谷中地域] が、「男女共同参画の推進」では2ブロック [浅草地域] と5ブロック [谷中地域] が、「国際交流の促進」では2ブロック [浅草地域] がやや高くなっている。(図表11-10)

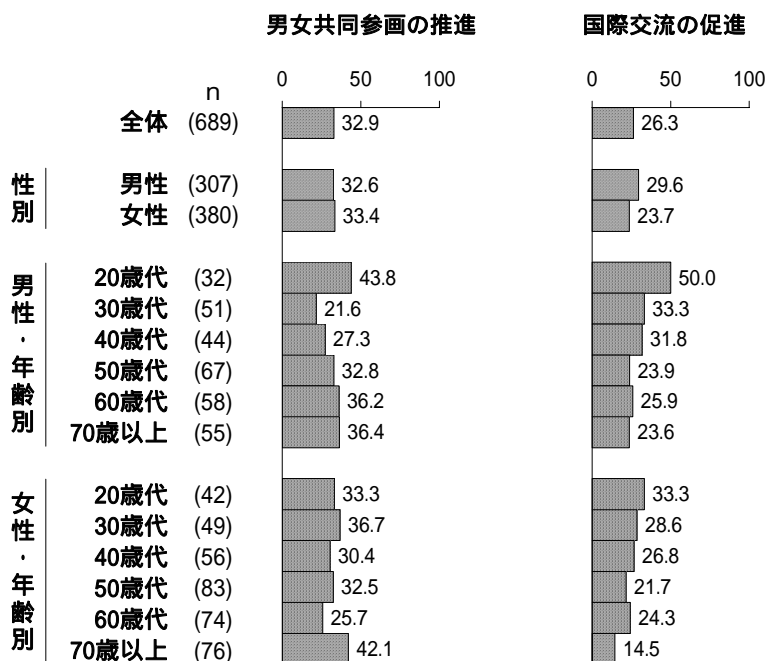
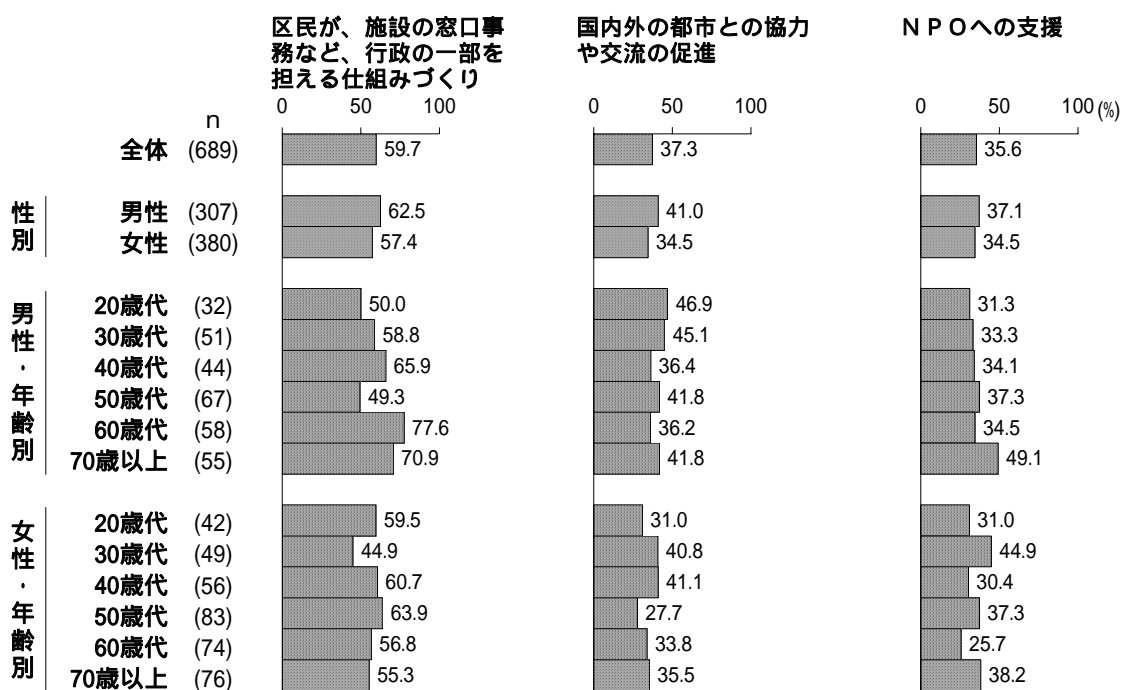
<図表11-10> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 地域別



性別でみると、「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」、「国内外の都市との協力や交流の促進」、「国際交流の促進」で男性が女性よりもやや高くなっている。

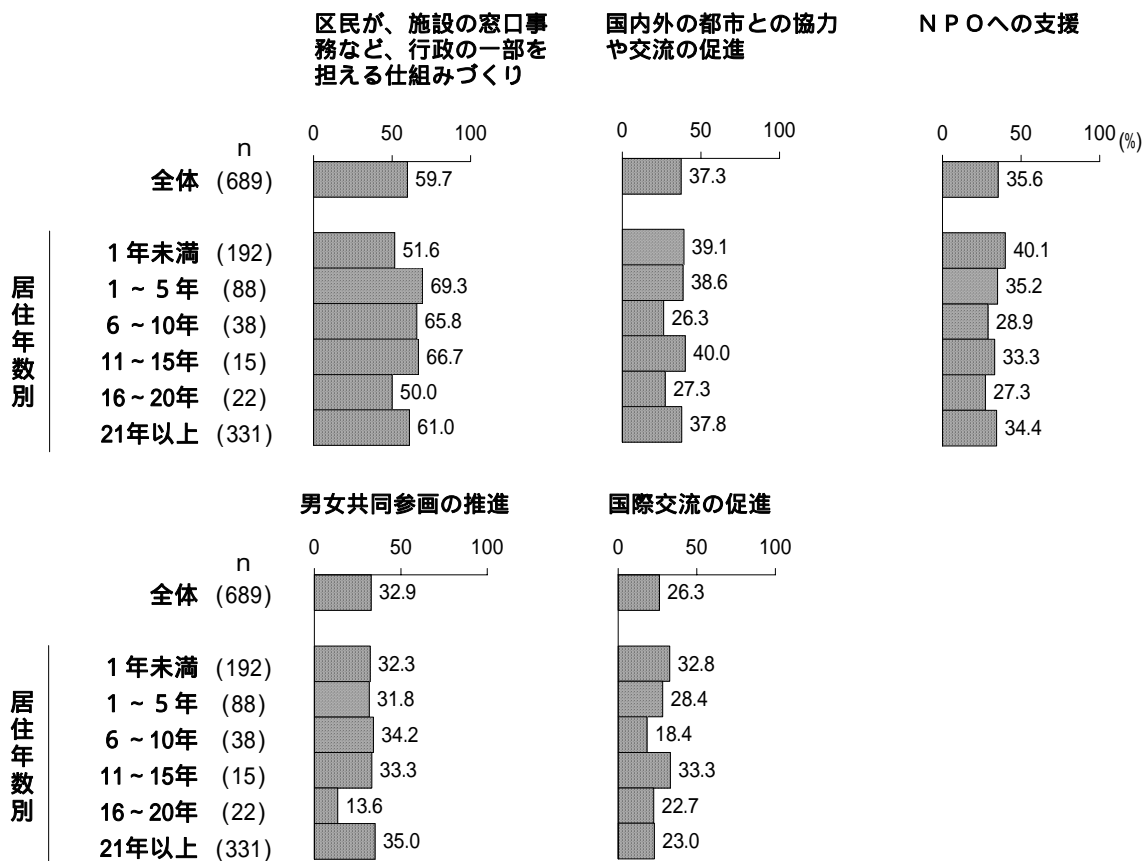
性・年齢別でみると、「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」は男性の60歳代(77.6%)と70歳以上(70.9%)で7割を超えている。「国内外の都市との協力や交流の促進」は男性の20歳代(46.9%)と30歳代(45.1%)で高く、「NPOへの支援」は男性の70歳以上(49.1%)と女性の30歳代(44.9%)で高い。「男女共同参画の推進」は男性20歳代(43.8%)と女性70歳以上(42.1%)で4割を超えている。「国際交流の促進」は男女とも若年齢層ほど高い傾向があり、男性20歳代(50.0%)では5割に達している。(図表11-11)

<図表 1 1 - 1 1 > パートナーシップのための取り組みとして大切なもの
性別 / 性・年齢別 (上位 5 項目)



居住年数別でみると、「区民が、施設の窓口事務など、行政の一部を担える仕組みづくり」は1年以上15年以下の各層で6割台半ばを超えて高い。「国内外の都市との協力や交流の促進」と「国際交流の促進」では居住年数が11～15年で最も高くなっている。一方、「NPOへの支援」では1年未満が最も高い。(図表11-12)

<図表11-12> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 居住年数別(上位5項目)

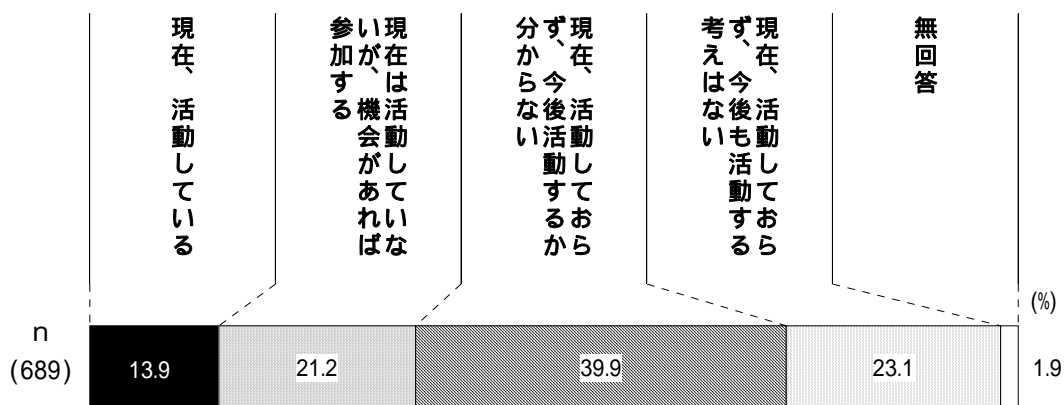


(4) 地域の活動の状況と今後の活動予定

3 割台半ばが活動の意思を持っている

問39 あなたは、地域の活動（町会やPTAなど）をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。（1つだけをおつけください）

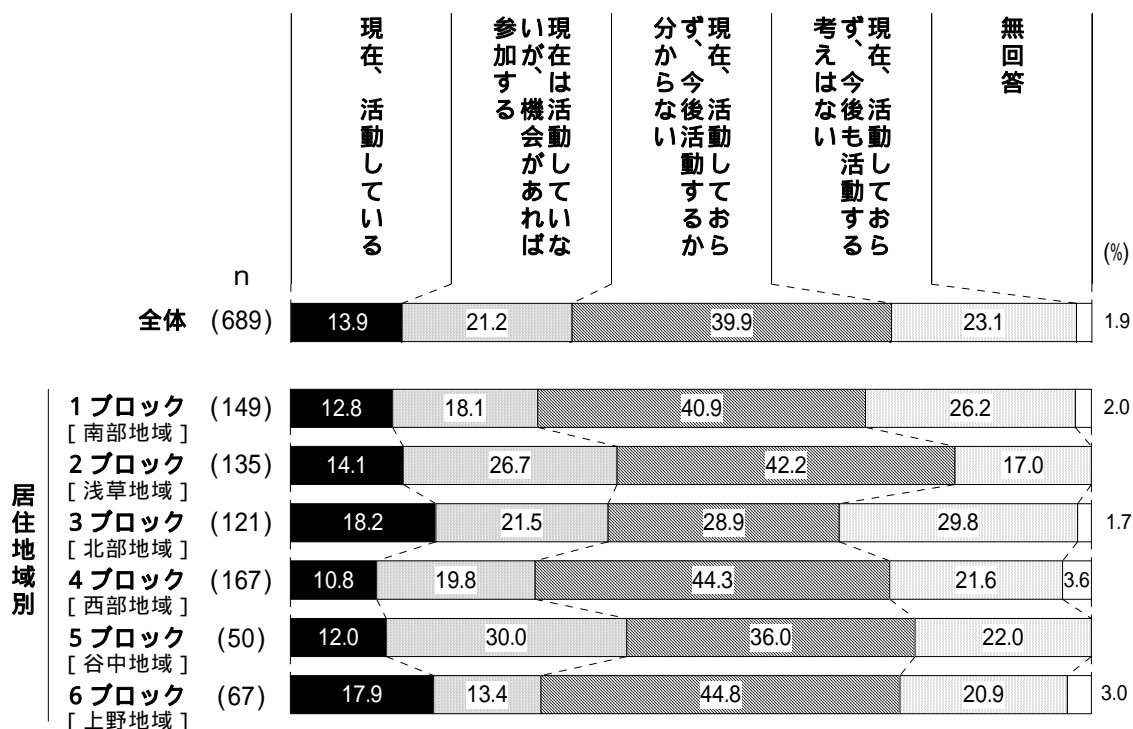
< 図表 1 1 - 1 3 > 地域の活動の状況と今後の活動予定



地域の活動の状況と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」が 13.9%、これに「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(21.2%) を加えると、35.1%が活動の意思を持っていることになる。一方、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」は 23.1%となっている。(図表 1 1 - 1 3)

地域別でみると、「現在、活動している」割合が高いのは3ブロック〔北部地域〕(18.2%)と6ブロック〔上野地域〕(17.9%)であり、活動の意思を持っている割合は5ブロック〔谷中地域〕(42.0%)と2ブロック〔浅草地域〕(40.8%)で4割を超えている。(図表11-14)

<図表11-14> 地域の活動の状況と今後の活動予定 地域別

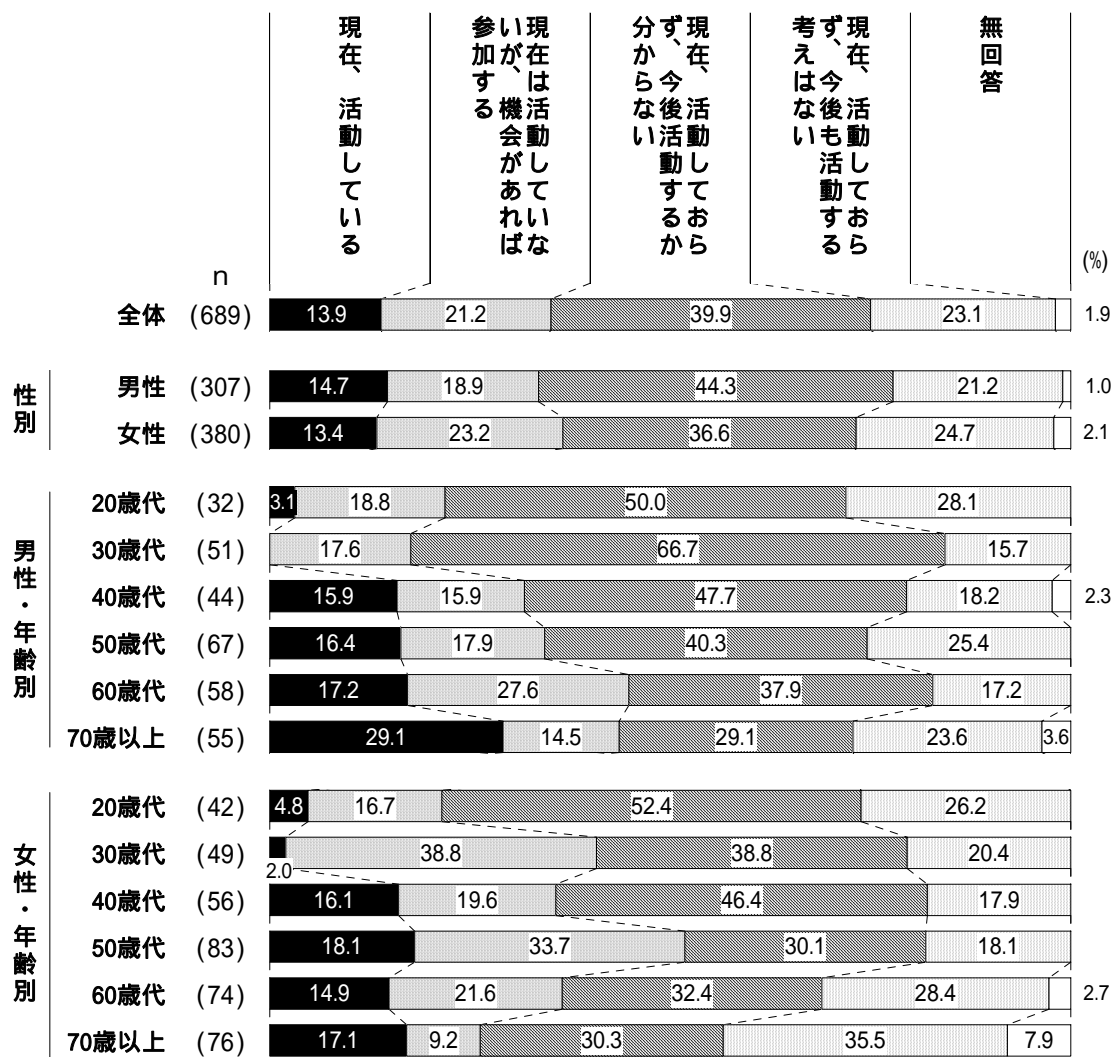


性別で見ると、男女間で特に大きな差はない。

性・年齢別で見ると、「現在、活動している」のは男性70歳以上(29.1%)で特に高い。活動の意思を持っている割合は、男性の60歳代(44.8%)と70歳以上(43.6%)、女性の30歳代(40.8%)と50歳代(51.8%)で4割を超えている。一方、男性の20歳代(21.9%)と30歳代(17.6%)、女性の20歳代(21.5%)と70歳以上(26.3%)は活動の意思を持つ割合が低くなっている。

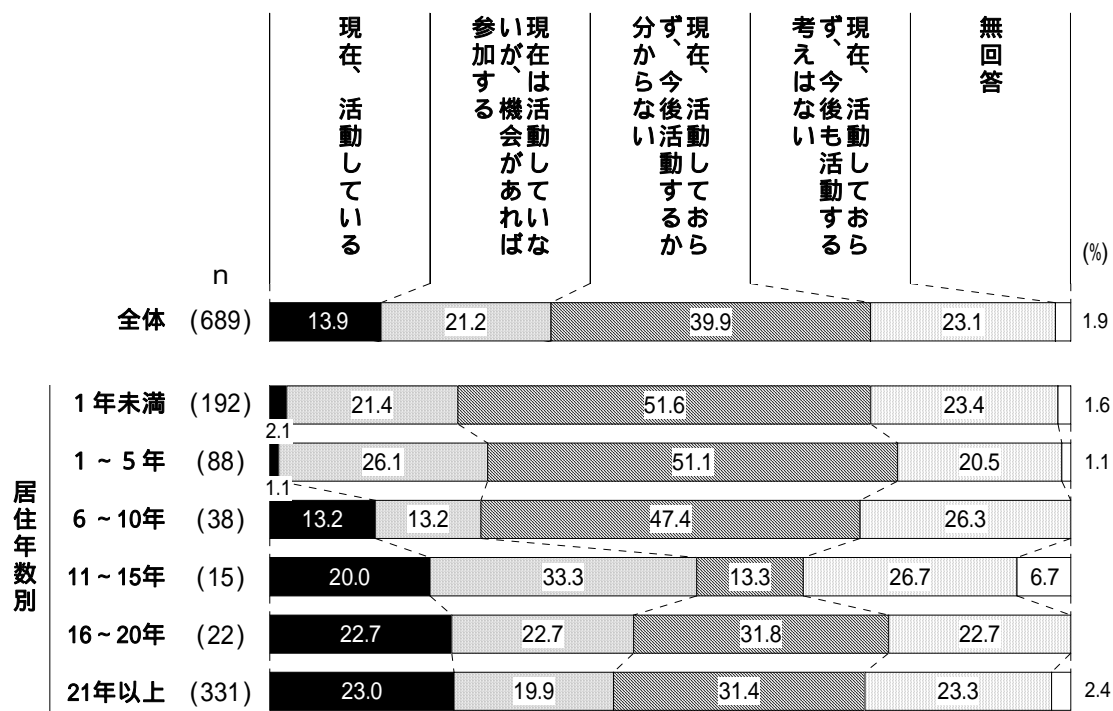
(図表11-15)

<図表11-15> 地域の活動の状況と今後の活動予定 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、「現在、活動している」割合は21年以上（23.0%）で最も高い。また、「現在、活動している」と「現在は活動していないが、機会があれば参加する」を合わせた参加の意向の割合は、10年以下で低く、11年以上で高いのが目立っている。（図表11-16）

<図表11-16> 地域の活動の状況と今後の活動予定 居住年数別

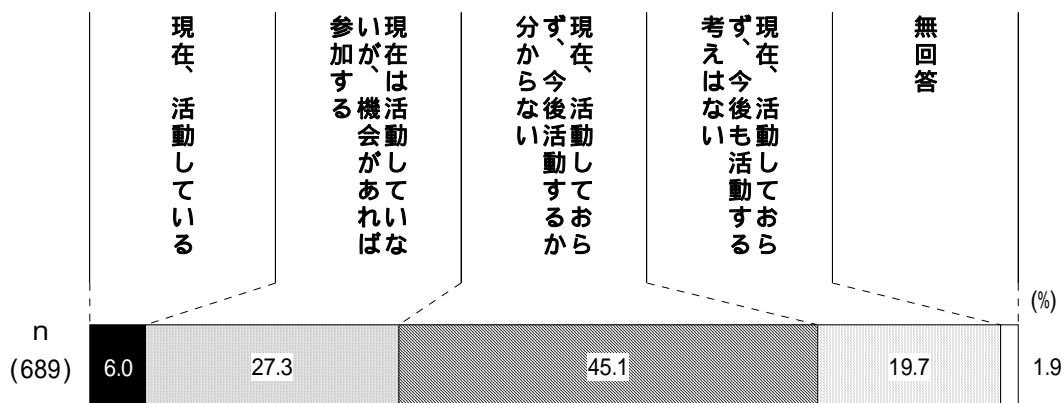


(5) ボランティアやN P O活動と今後の活動予定

3割強が活動の意思を持っている

問40 あなたは、ボランティアやN P O活動をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。
(1つだけ をおつけください)

< 図表 1 1 - 1 7 > ボランティアやN P O活動と今後の活動予定

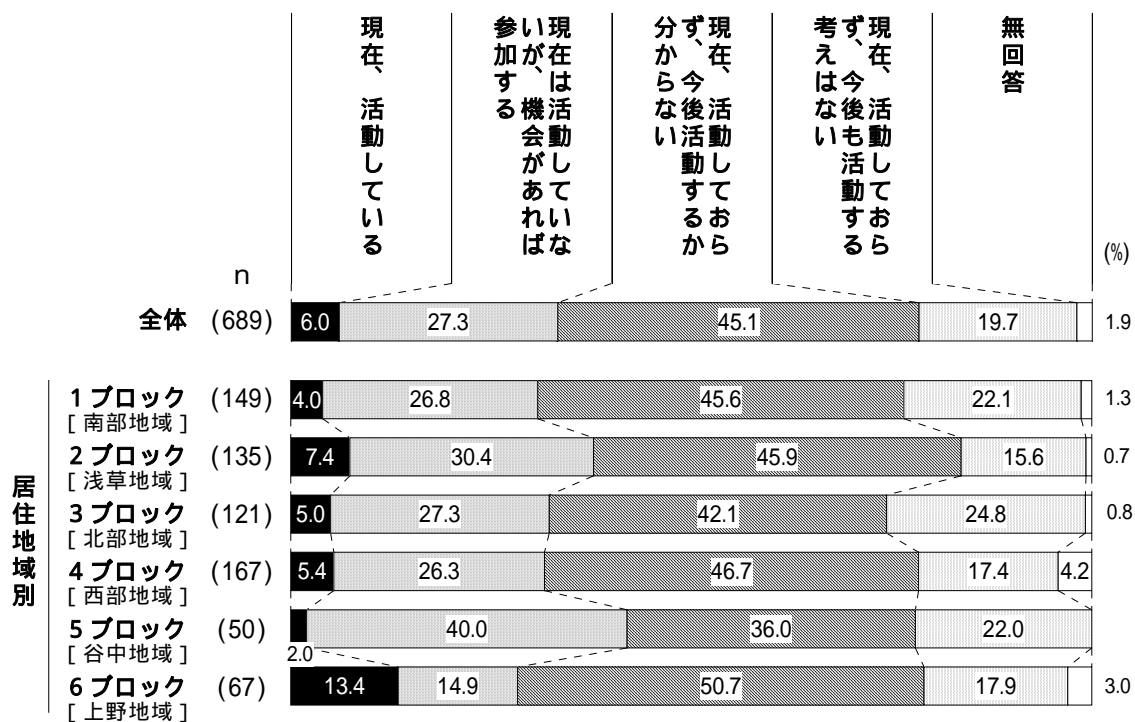


ボランティアやN P O活動と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」のは6.0%、「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(27.3%)をこれに加えると、33.3%が活動の意思を持っていることになる。また、「現在、活動しておらず、今後活動するか分からない」は45.1%、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」は19.7%となっている。

(図表 1 1 - 1 7)

地域別でみると、「現在、活動している」割合は6ブロック[上野地域](13.4%)が最も高いが、活動の意思を持っている割合では28.3%で最も低い。活動の意思は、5ブロック[谷中地域](42.0%)および2ブロック[浅草地域](37.8%)で4割前後と高くなっている。
(図表11-18)

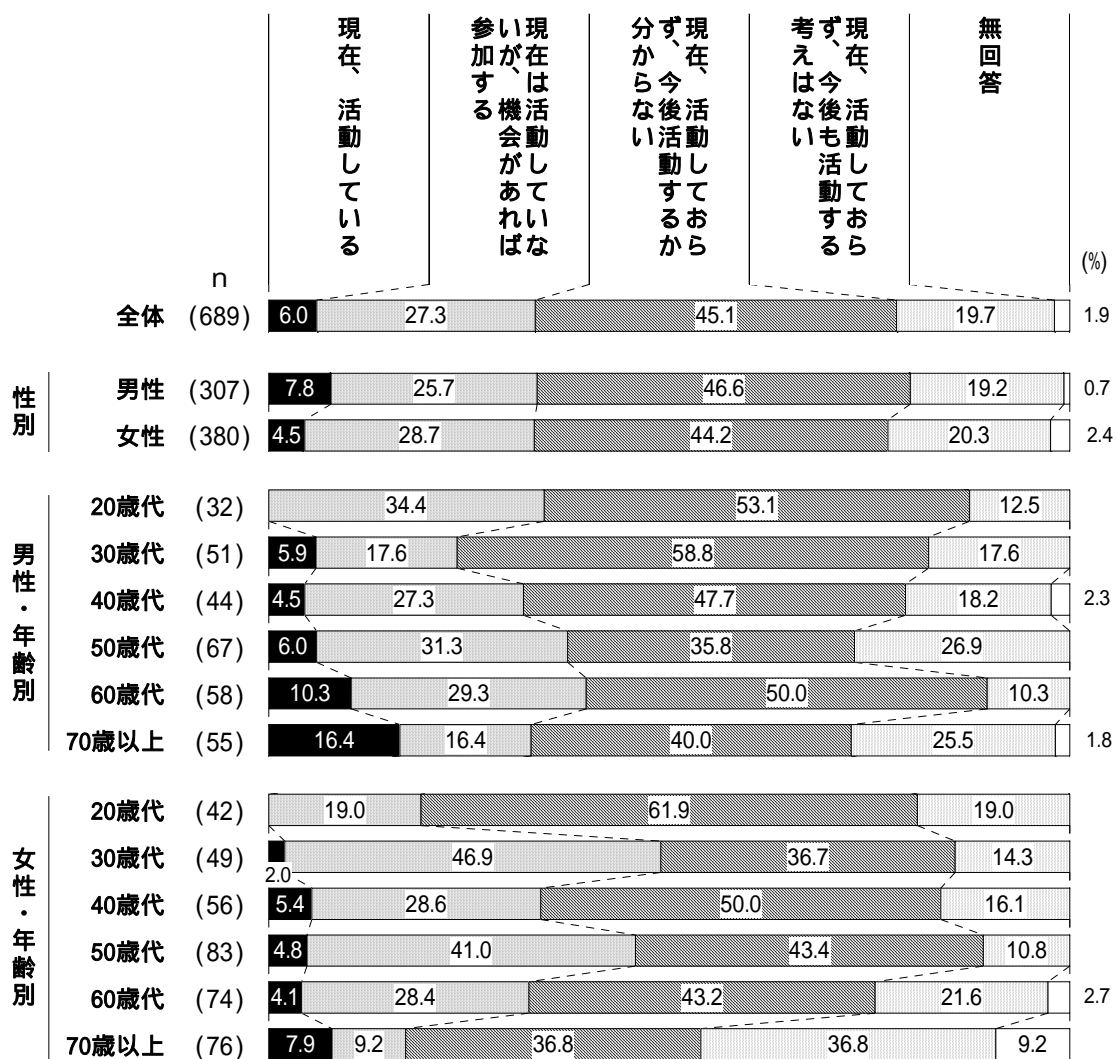
<図表11-18> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 地域別



性別でみると、「現在、活動している」割合は男性のほうがやや高くなっている。

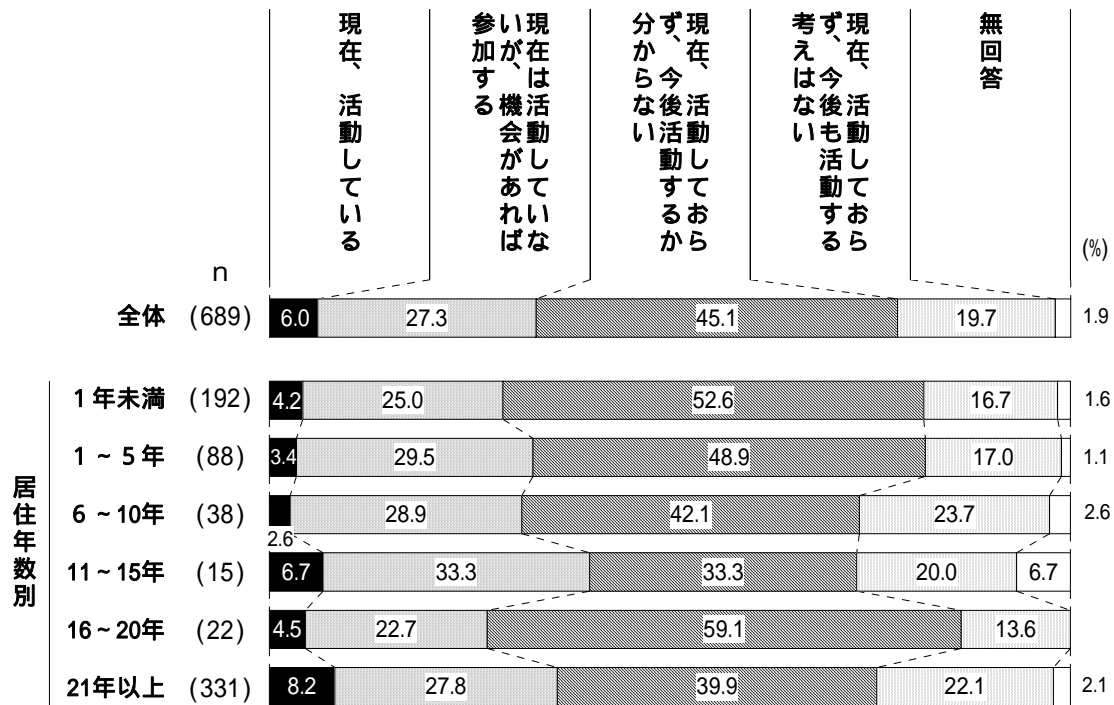
性・年齢別でみると、男性は高い年齢層ほど「現在、活動している」割合が高い傾向にある。女性は男性に比べて活動の意思を持っている割合の年代差が大きい。30歳代（48.9%）や50歳代（45.8%）では4割を大きく超えているが、20歳代（19.0%）や70歳以上（17.1%）では2割未満となっている。（図表11-19）

<図表11-19> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 性別/性・年齢別



居住年数別でみると、「現在、活動している」割合は21年以上(8.2%)で最も高くなっている。
 (図表11-20)

<図表11-20> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 居住年数別



1 2 . 行政経営のための取り組み

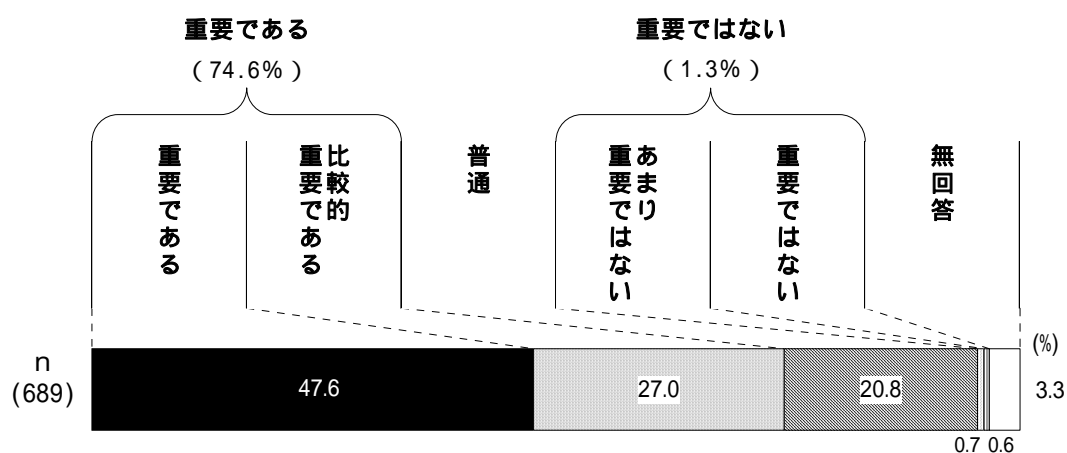
国全体で行政改革が進められています。本区も行政改革を進めてきました。今後、区民に満足していただける行政サービスを提供していくためには、限られた財源や人員を、より効果的・効率的に活かしていく行政が必要です。そのため、区では、施策や事業の不断の見直し、健全な財政の推進、職員数の削減、そして行政の外部からのチェックなど、行政経営の取り組みを進めています。

(1) 行政経営についての重要度

《重要である》が7割台半ば

問41 行政経営についてどの程度重要だと思いますか。(1 つだけ をおつけください)

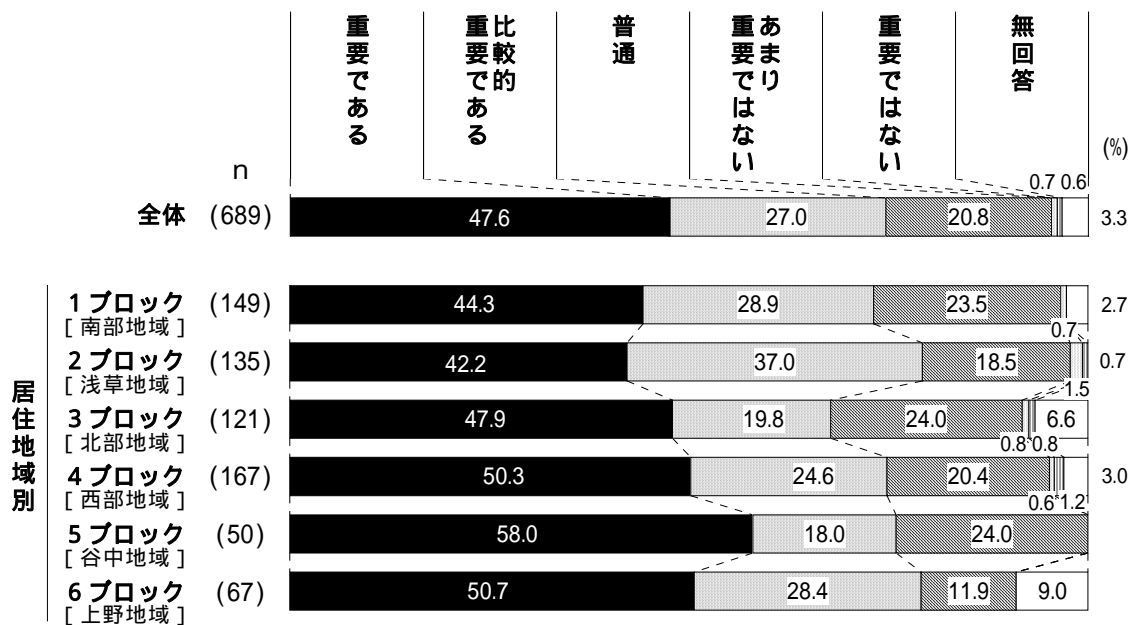
< 図表 1 2 - 1 > 行政経営についての重要度



行政経営についての重要度を聞いたところ、半数近くが「重要である」(47.6%)と答えている。これに「比較的重要な」(27.0%)を加えた《重要である》は74.6%を占める。「普通」は20.8%、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.3%となっている。(図表12-1)

地域別でみると、《重要である》割合は2ブロック〔浅草地域〕(79.2%)と6ブロック〔上野地域〕(79.1%)で8割近くと高いが、3ブロック〔北部地域〕(67.7%)では7割未滿となっている。
 (図表12-2)

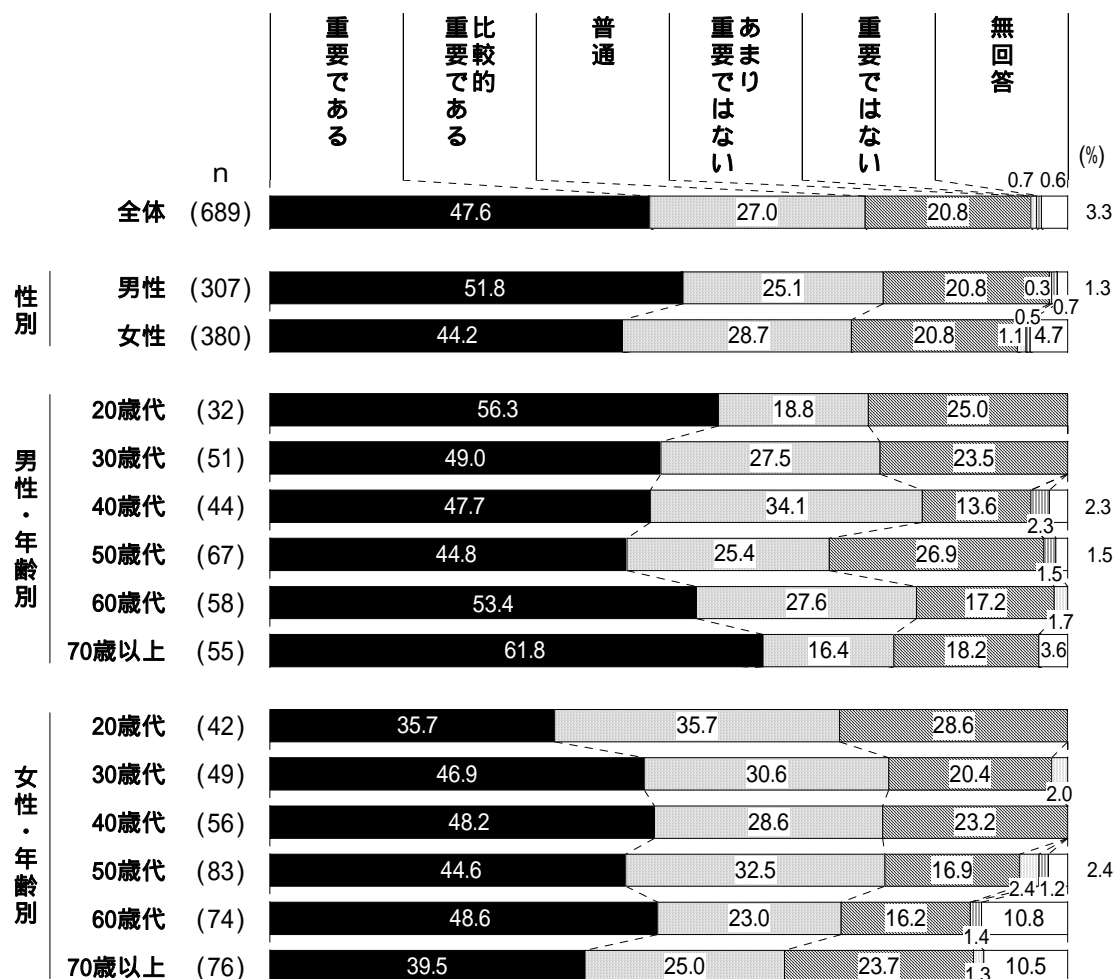
<図表12-2> 行政経営についての重要度 地域別



性別でみると、《重要である》割合は、男性（76.9%）が女性（72.9%）をわずかに上回る。

性・年齢別で《重要である》割合をみると、男性の40歳代（81.8%）と60歳代（81.0%）で8割を超えている。一方、男性では50歳代（70.2%）、女性では70歳以上（64.5%）がやや低くなっている。（図表12-3）

<図表12-3> 行政経営についての重要度 性別/性・年齢別



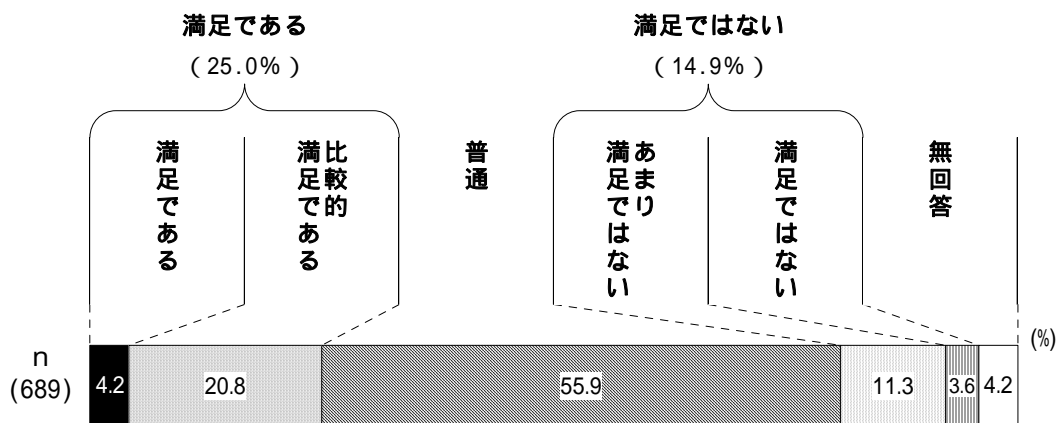
(2) 行政経営のための区の取り組みについての満足度

《満足である》が2割台半ば、「普通」が5割台半ば

問42 行政経営のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

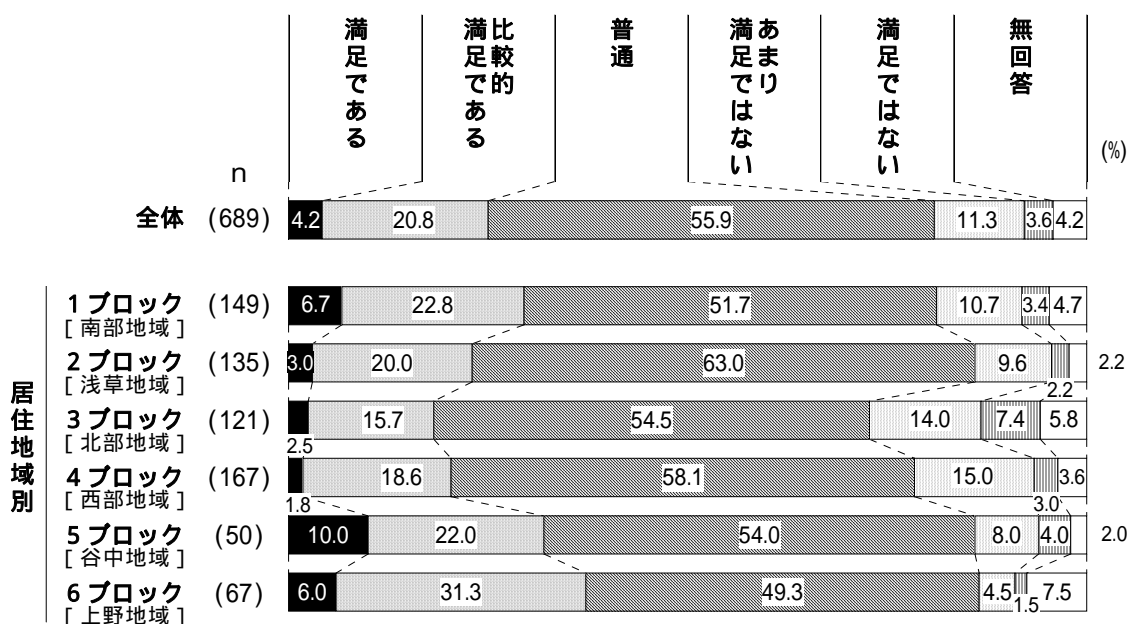
<図表12-4> 行政経営のための区の取り組みについての満足度



行政経営のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(55.9%)が5割台半ば、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は25.0%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は14.9%となっている。(図表12-4)

地域別でみると、《満足である》割合は、6ブロック[上野地域](37.3%)と5ブロック[谷中地域](32.0%)では3割を超えている。一方、3ブロック[北部地域](18.2%)は唯一2割未満となっている。(図表12-5)

<図表12-5> 行政経営のための区の取り組みについての満足度 地域別



性別でみると、男女間で特に大きな差はない。

性・年齢別で《満足である》割合をみると、男女とも70歳以上、男性の40歳代(36.4%)と60歳代(29.3%)がやや高く、男女とも30歳代が最も低くなっている。男女の50歳代は《満足ではない》が高く、《満足である》とほぼ同率になっている。(図表12-6)

<図表12-6> 行政経営のための区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別



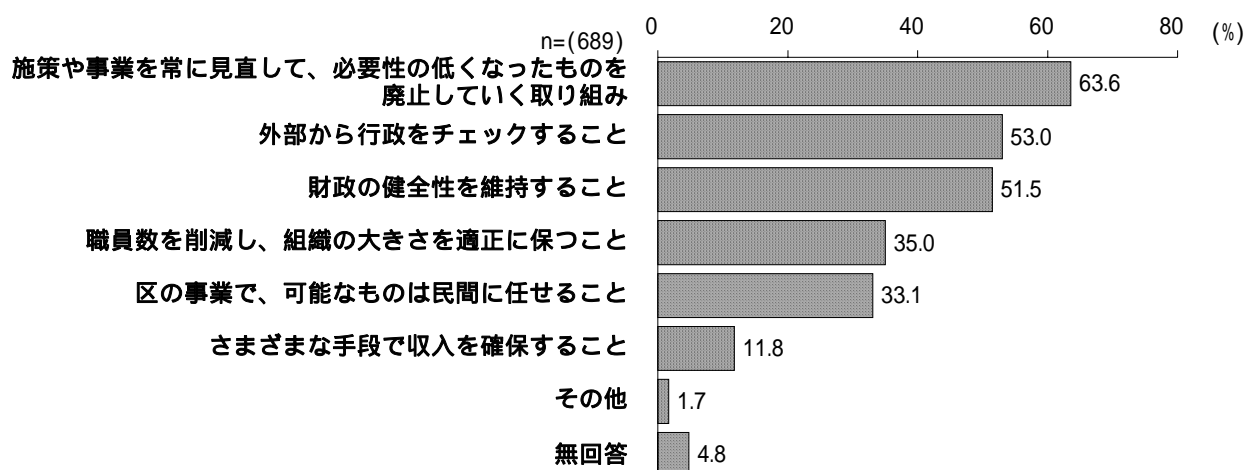
(3) 行政経営のための取り組みとして大切なもの

「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」が6割強

問43 行政経営のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

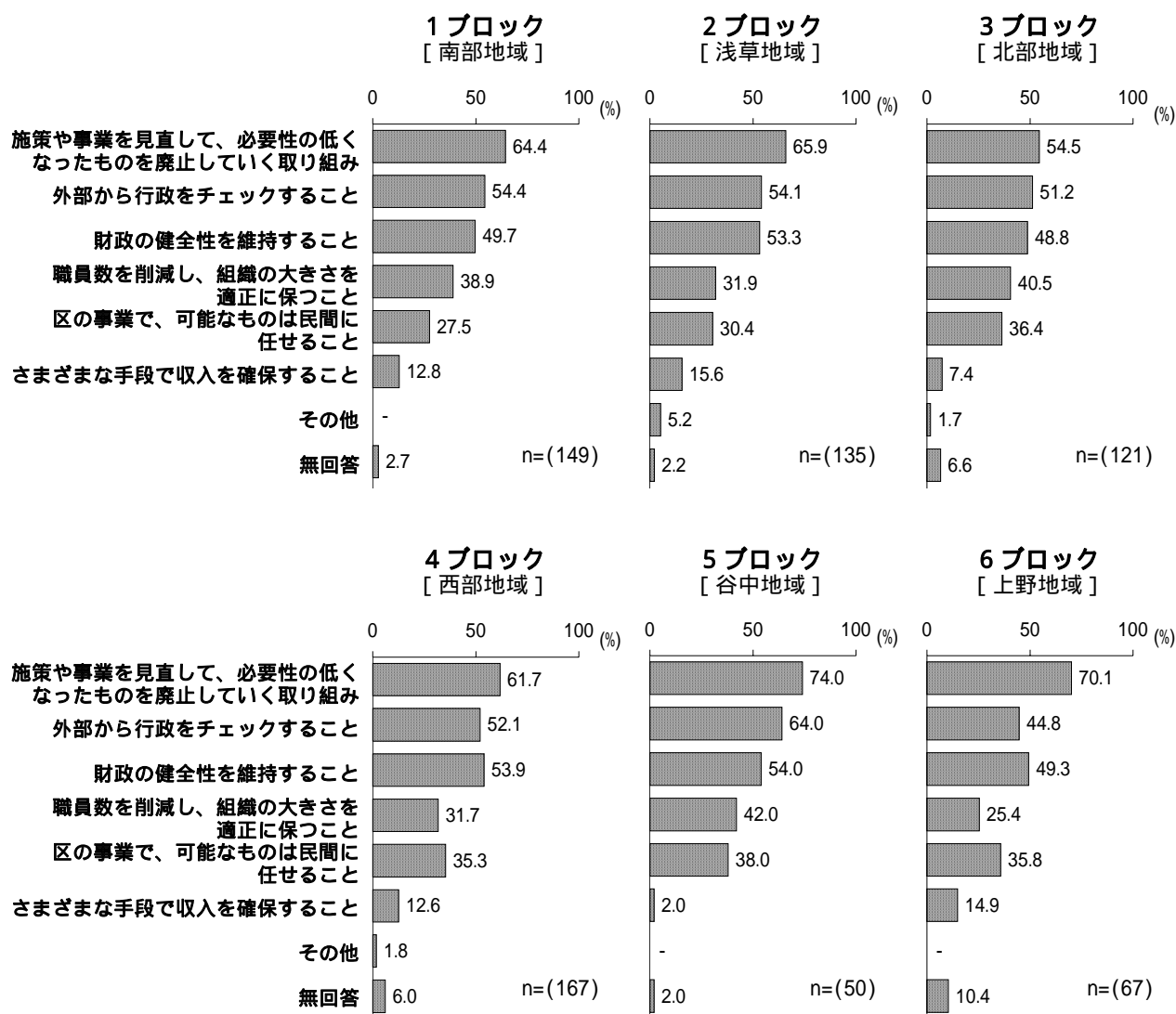
< 図表 1 2 - 7 > 行政経営のための取り組みとして大切なもの (複数回答)



行政経営のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」(63.6%)が6割強から選ばれている。次いで「外部から行政をチェックすること」(53.0%)と「財政の健全性を維持すること」(51.5%)が5割強、「職員数を削減し、組織の大きさを適正に保つこと」(35.0%)と「区の事業で、可能なものは民間に任せること」(33.1%)が3割台で続いている。(図表12-7)

地域別でみると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」は5ブロック[谷中地域](74.0%)と6ブロック[上野地域](70.1%)で7割を超えている。5ブロック[谷中地域]は、他に「外部から行政をチェックすること」、「財政の健全性を維持すること」、「職員数を削減し、組織の大きさを適正に保つこと」、「区の事業で、可能なものは民間に任せること」においても高い数字を示している。(図表12-8)

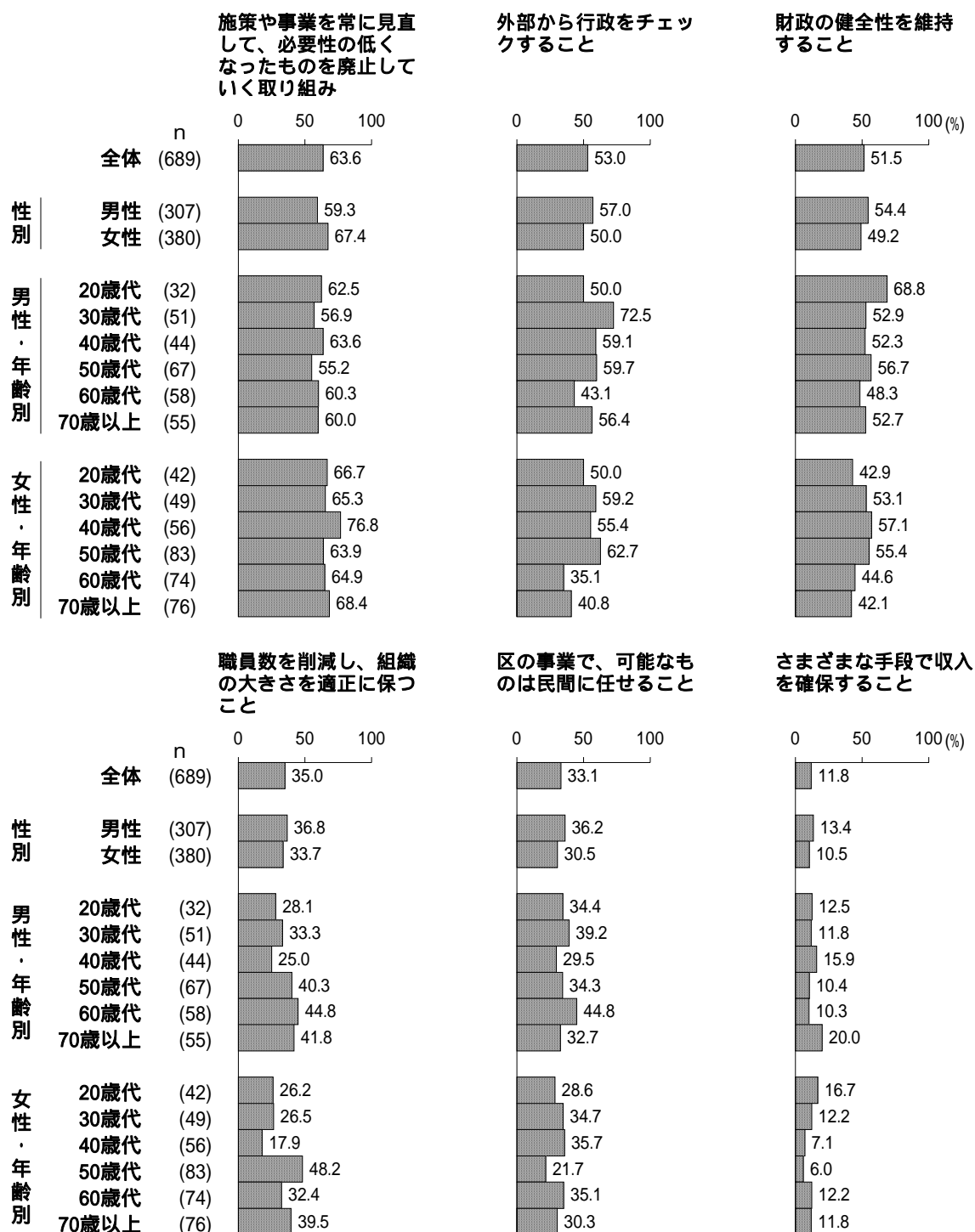
< 図表 1 2 - 8 > 行政経営のための取り組みとして大切なもの 地域別



性別で見ると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」では女性（67.4%）が男性（59.3%）を約8ポイント上回るが、他の項目では男性の方がやや高くなっている。

性・年齢別で見ると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」では女性40歳代（76.8%）が7割台半ばで特に高く、「外部から行政をチェックすること」では男性30歳代（72.5%）と女性50歳代（62.7%）、「財政の健全性を維持すること」では男性20歳代（68.8%）がそれぞれ高くなっている。また、「職員数を削減し、組織の大きさを適正に保つこと」では女性50歳代（48.2%）と男性60歳代（44.8%）が高く、「区の事業で、可能なものは民間に任せること」でも男性60歳代（44.8%）が高い。（図表12-9）

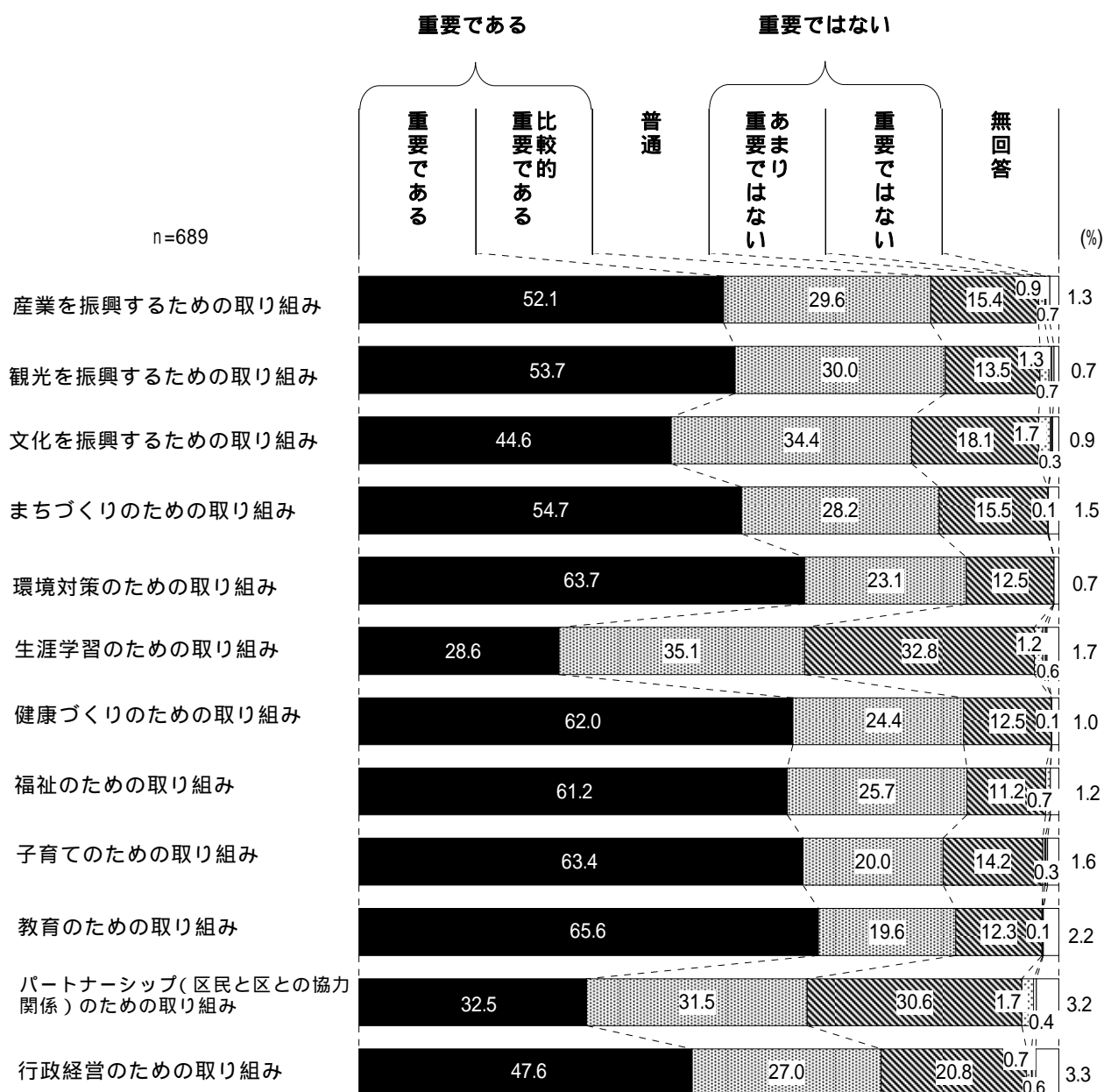
<図表12-9> 行政経営のための取り組みとして大切なもの 性別/性・年齢別(上位6項目)



【重要度と満足度の項目間比較】

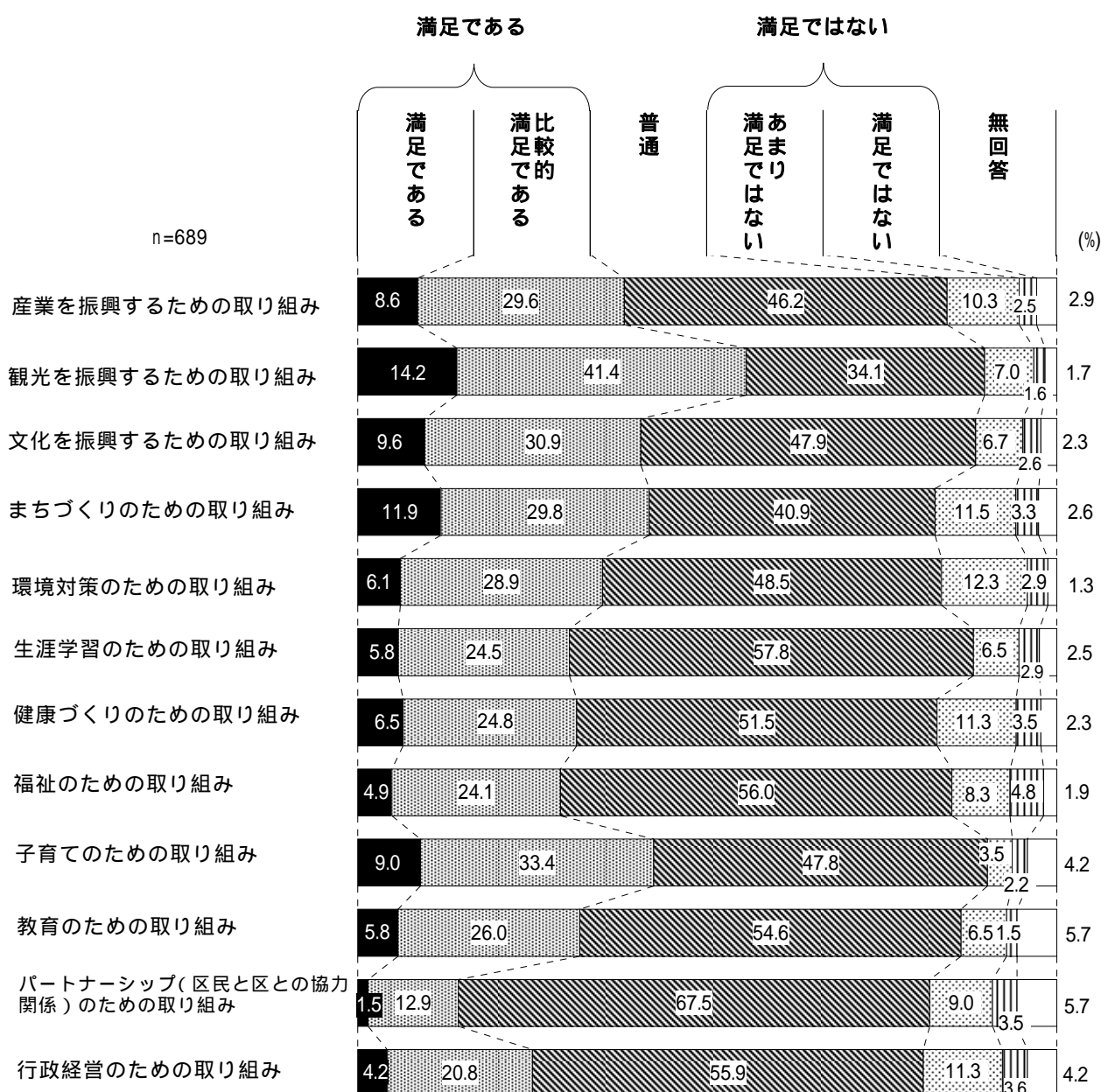
各項目の重要度を比較すると、「重要である」の割合が最も高かったのは＜教育のための取り組み＞（65.6%）となっている。また「重要である」と「比較的重要である」を合わせた重要であるをみると、＜福祉のための取り組み＞（86.9%）、＜環境対策のための取り組み＞（86.8%）、＜健康づくりのための取り組み＞（86.4%）、＜教育のための取り組み＞（85.2%）などが8割台半ばを超えて特に高くなっている。（図表12-10）

<図表12-10>重要度の項目間比較



各項目の満足度を比較すると、「満足である」と「比較的満足である」を合わせた肯定的評価満足である は<観光を振興するための取り組み>(55.6%)で最も高く過半数を占めている。また<子育てのための取り組み>(42.4%)、<まちづくりのための取り組み>(41.7%)、<文化を振興するための取り組み>(40.5%)でも4割を超えて高くなっている。(図表12-11)

<図表12-11> 満足度の項目間比較



【重要度と満足度の相関】

各項目の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「重要(満足)である」} \times 2 \text{点}) + (\text{「比較的重要(満足)である」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) + \{ \text{「あまり重要(満足)ではない」} \times (-1 \text{点}) \} + \{ \text{「重要(満足)ではない」} \times (-2 \text{点}) \}}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

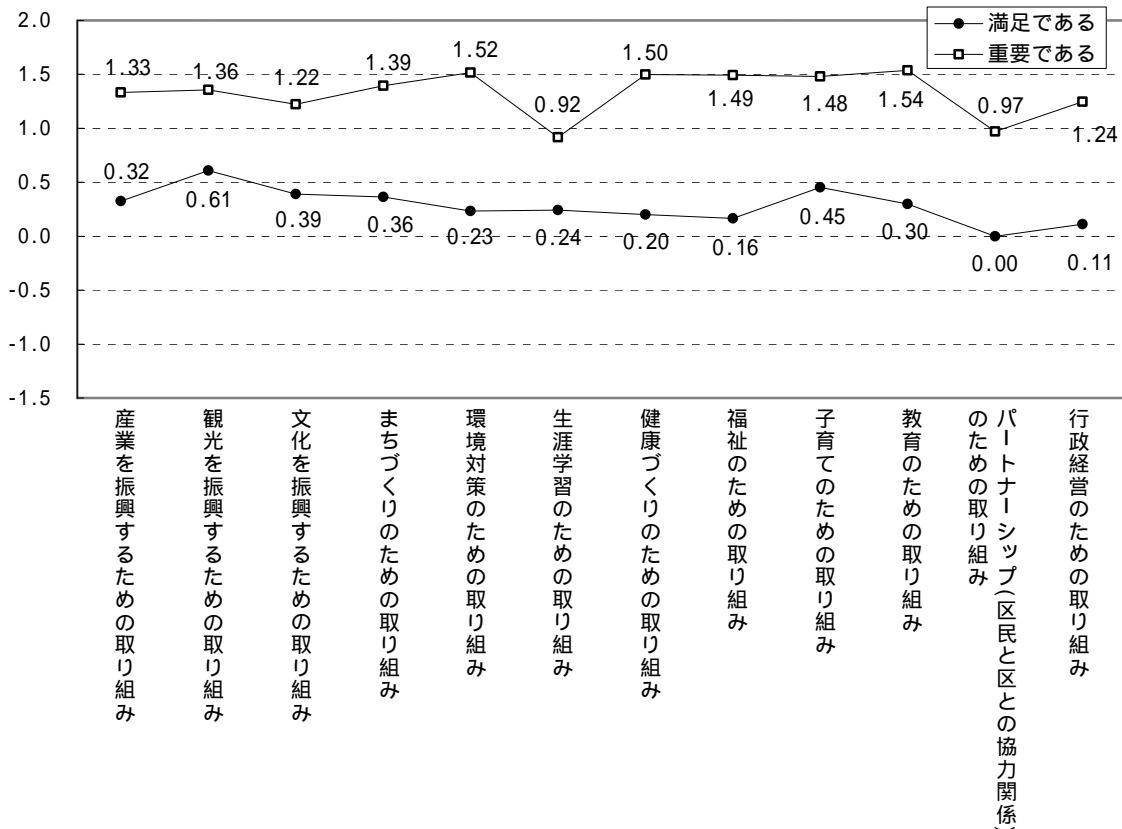
この算出方法では、評価点は - 2.00 点 ~ 2.00 点の間に分布し、0.00 点が中間点であり、2.00 点に近いほど評価は良く、逆に - 2.00 点に近いほど評価が悪いということを表す。

結果は図 1 2 - 1 2 のとおり、重要度では「教育のための取り組み」(1.54) が最も高く、「環境対策のための取り組み」(1.52) と「健康づくりのための取り組み」(1.50) が 1.5 ポイント台で続いている。

満足度では、「観光を振興するための取り組み」(0.61) と「子育てのための取り組み」(0.45) がやや高い。一方で、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」(0.00) や「行政経営のための取り組み」(0.11)、「福祉のための取り組み」(0.16) では低くなっている。

重要度と満足度の差を見ると、「福祉のための取り組み」(1.33 ポイント差)、「健康づくりのための取り組み」(1.30 ポイント差)、「環境対策のための取り組み」(1.29 ポイント差)などで幅が広がっており、希望と現状の差が現われている。(図表 1 2 - 1 2)

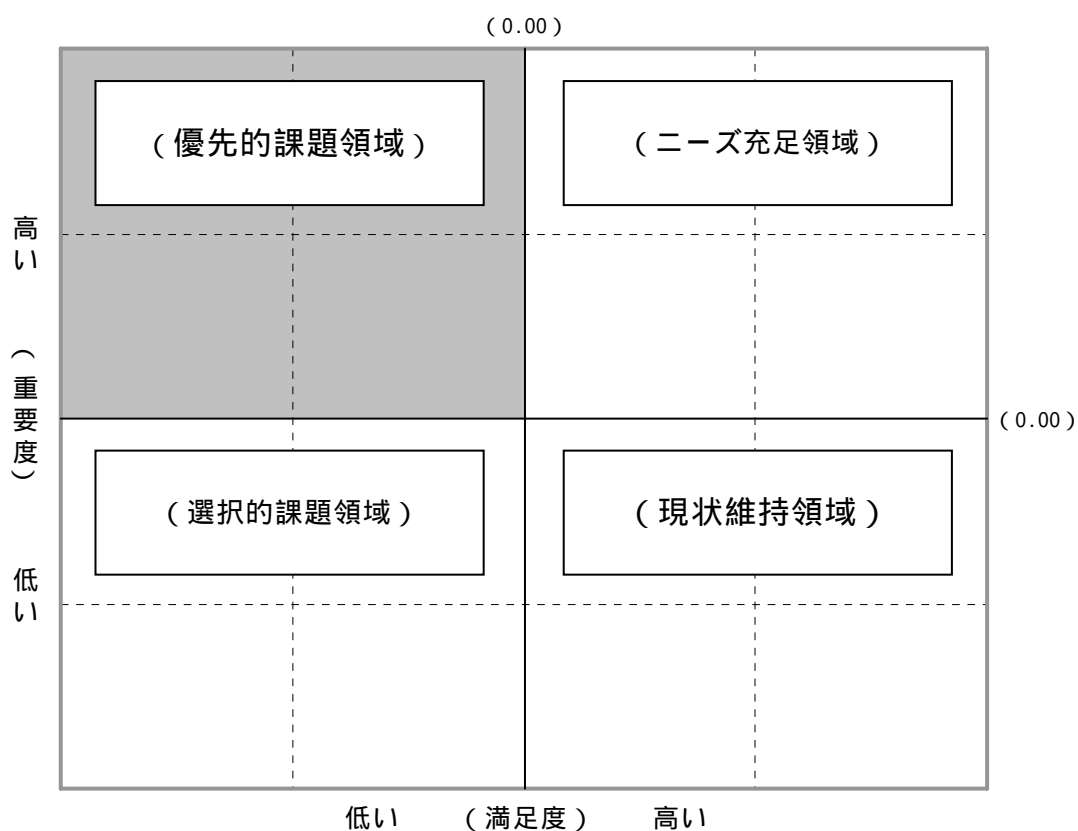
<図表 1 2 - 1 2> 区の取り組みの満足度と重要度 全体



次に、12項目の各「満足度」と「重要度」の2つの得点を用い、散布図を作成した。縦軸は“重要度”、横軸は“満足度”を表し、それぞれの基準値(0.00)で4つの領域に分けている。

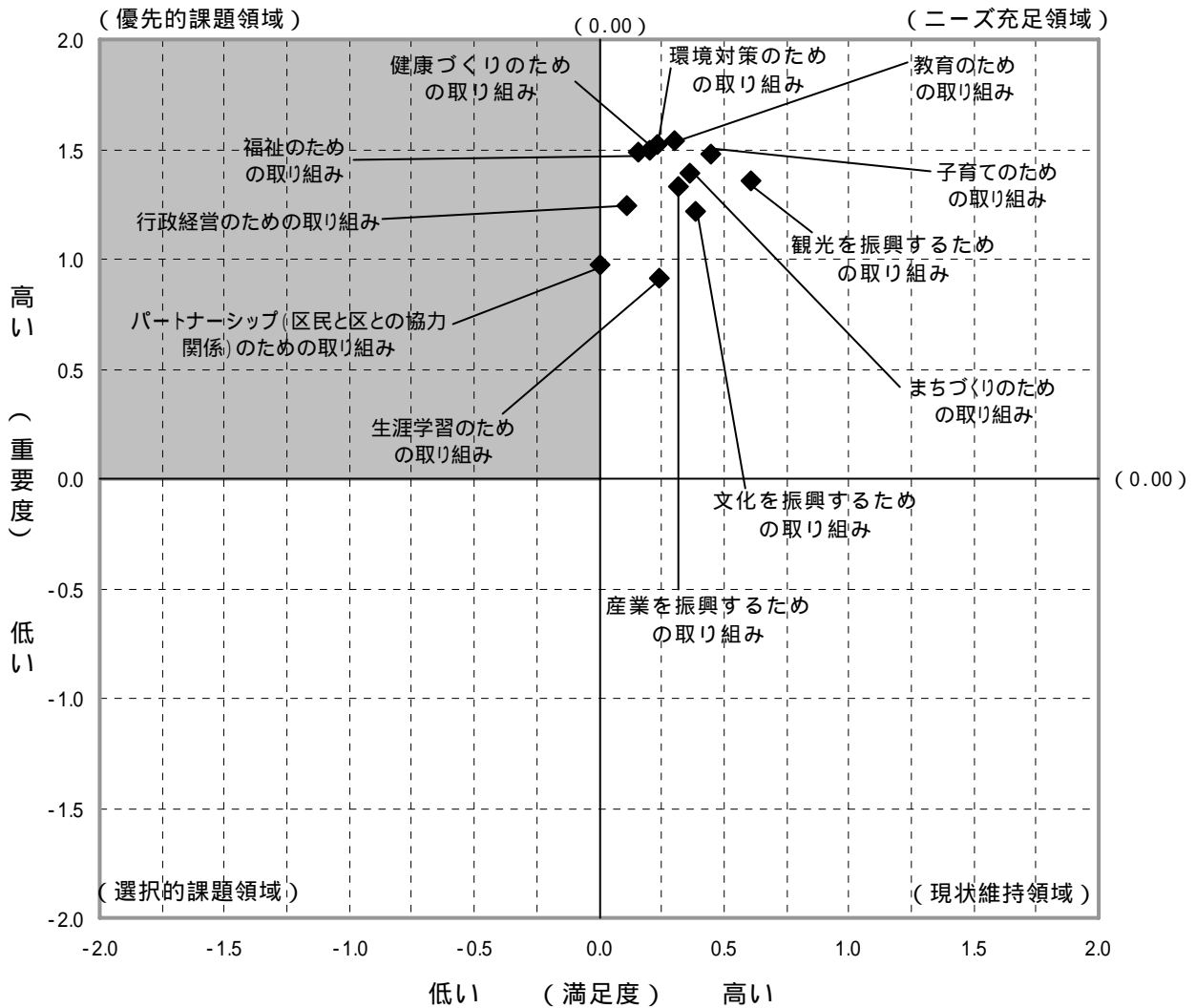
さらに、満足度が高く重要度も高い領域を<ニーズ充足領域>、満足度が低く重要度が高い領域を<優先的課題領域>、満足度が低く重要度も低い領域を<選択的課題領域>、満足度が高く重要度が低い領域を<現状維持領域>としている。網掛けされている<優先的課題領域>内の項目が、最も優先的に取り組むべき項目と考えられる。

なお、ここでの領域は基準値(0.00)で分けているため、項目間で相対的にみているものではなく、絶対的評価となっている。



全体で見ると、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が満足度の基準値（0.00）の上であり、唯一＜優先的課題領域＞に掛かっている。その他の項目はすべて＜ニーズ充足領域＞内にあるが、「行政経営のための取り組み」や「福祉のための取り組み」、「健康づくりのための取り組み」などは、＜優先的課題領域＞の近くに位置している。（図表12-13）

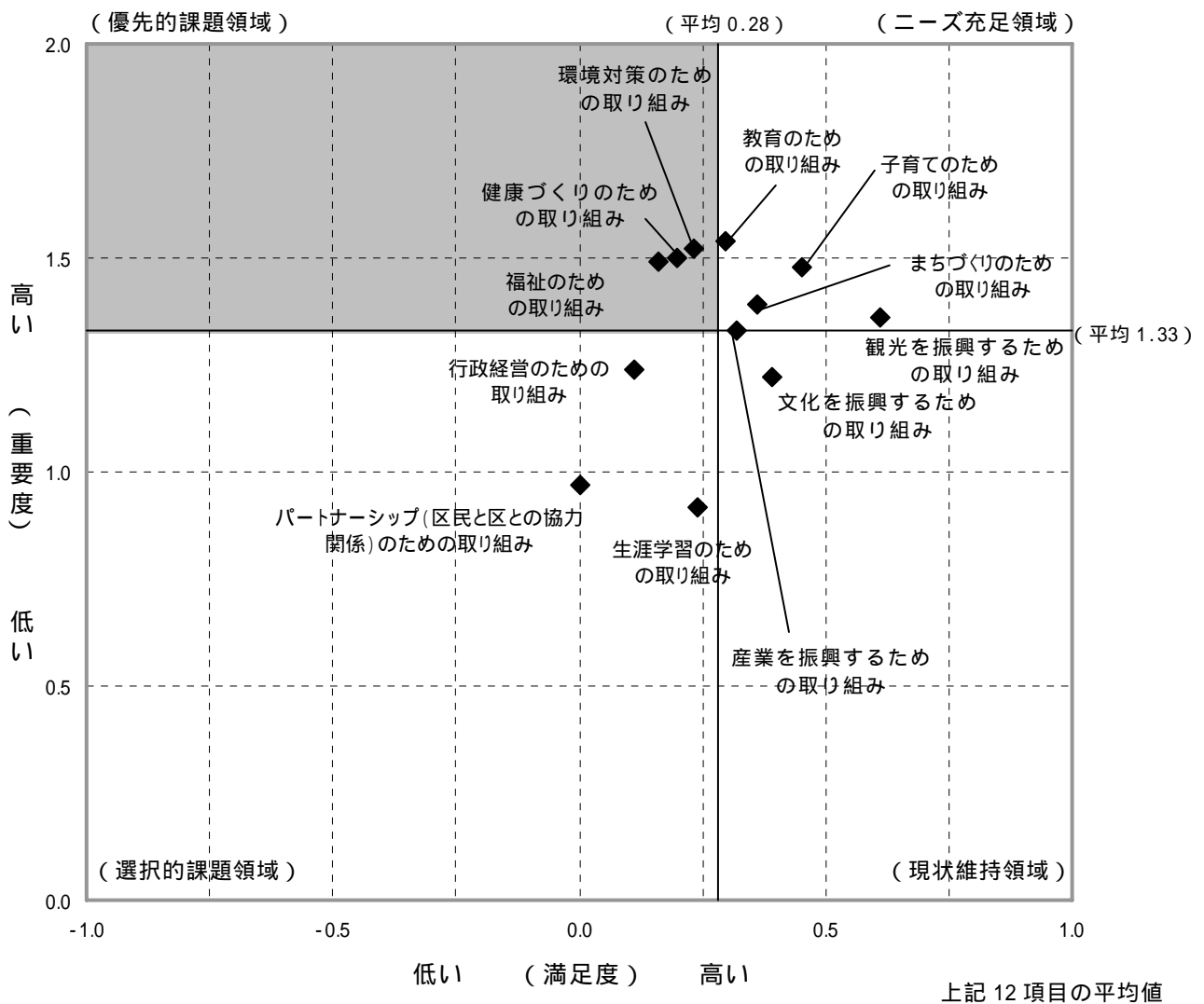
＜図表12-13＞重要度と満足度の相関（全体）



前頁では、各項目の位置関係を 0.00 を基準値とした絶対的評価の領域で表していたが、ほとんどの項目が<ニーズ充足領域>に入っていたため項目間の違いがはっきりとはみられない。そこで、項目間の相対的な評価を行うために、ここからは基準値(0.00)ではなく、「重要度」と「満足度」の平均値を基準に4つの領域に分けて分析を行う。なお、図表を拡大するために重要度を 0.00~2.00、満足度を -1.00~1.00 の範囲で表示している。

12項目の平均値を基準に見ると、<優先的課題領域>には「福祉のための取り組み」、「健康づくりのための取り組み」、「環境対策のための取り組み」の3つが入っている。一方、<選択的課題領域>には「行政経営のための取り組み」、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」、「生涯学習のための取り組み」が入っている。(図表12-14)

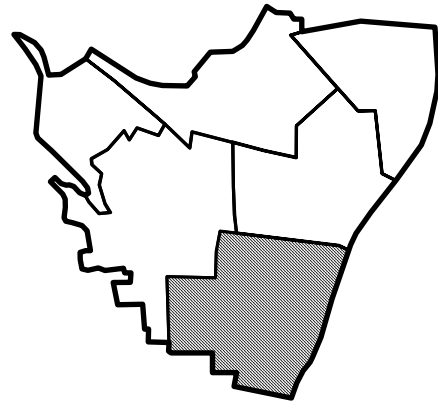
<図表12-14>重要度と満足度の相関(全体)



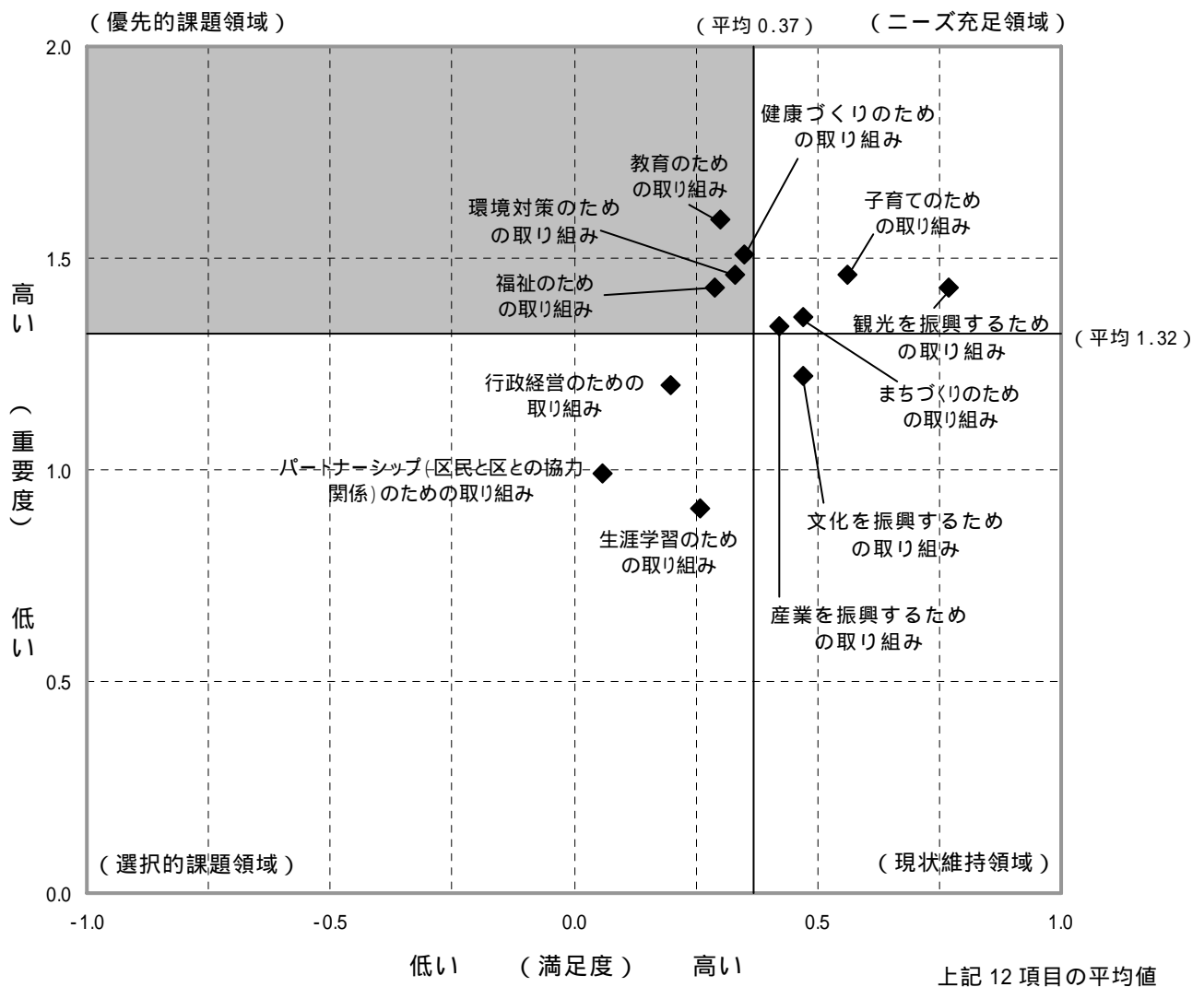
【1ブロック [南部地域]】

1ブロック [南部地域] でみると、「福祉のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「教育のための取り組み」、「健康づくりのための取り組み」が優先して取り組むべき項目となっている。また、選択的課題としては「パートナーシップ(区民と区との協力関係)の取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「生涯学習のための取り組み」が上がっている。

(図表12-15)

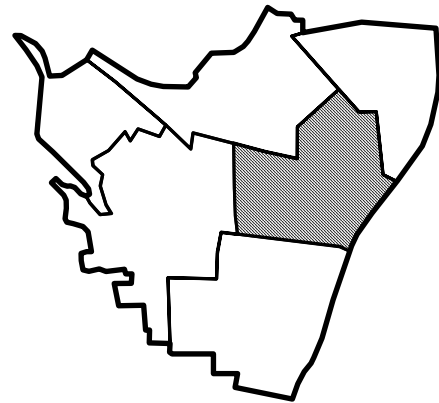


<図表12-15> 重要度と満足度の相関 (1ブロック [南部地域])

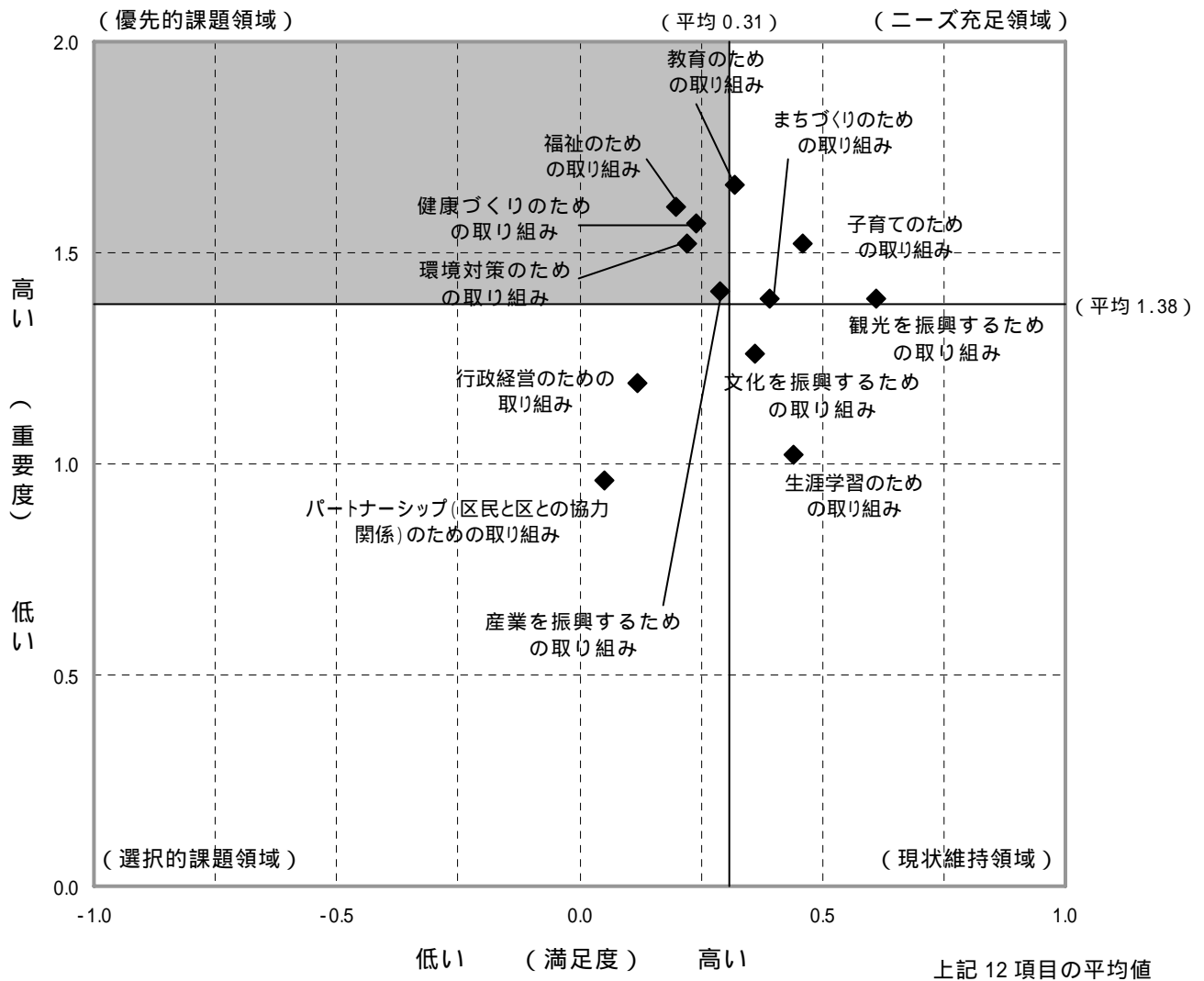


【 2ブロック [浅草地域]】

2ブロック [浅草地域]では、「福祉のための取り組み」と「環境対策のための取り組み」、「健康づくりのための取り組み」と「産業を振興するための取り組み」が優先的に取り組むべき項目として上がっている。「教育のための取り組み」も＜優先的課題領域＞に近くなっている。一方、＜選択的課題領域＞には「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」と「行政経営のための取り組み」が入っている。（図表12-16）

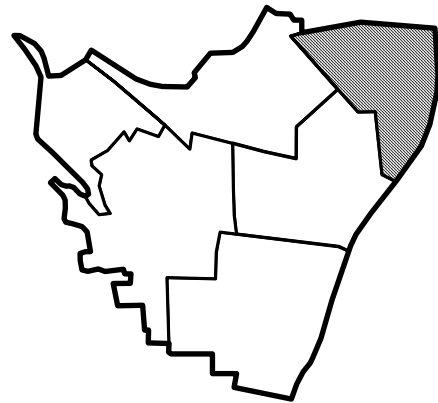


<図表12-16>重要度と満足度の相関（2ブロック [浅草地域]）



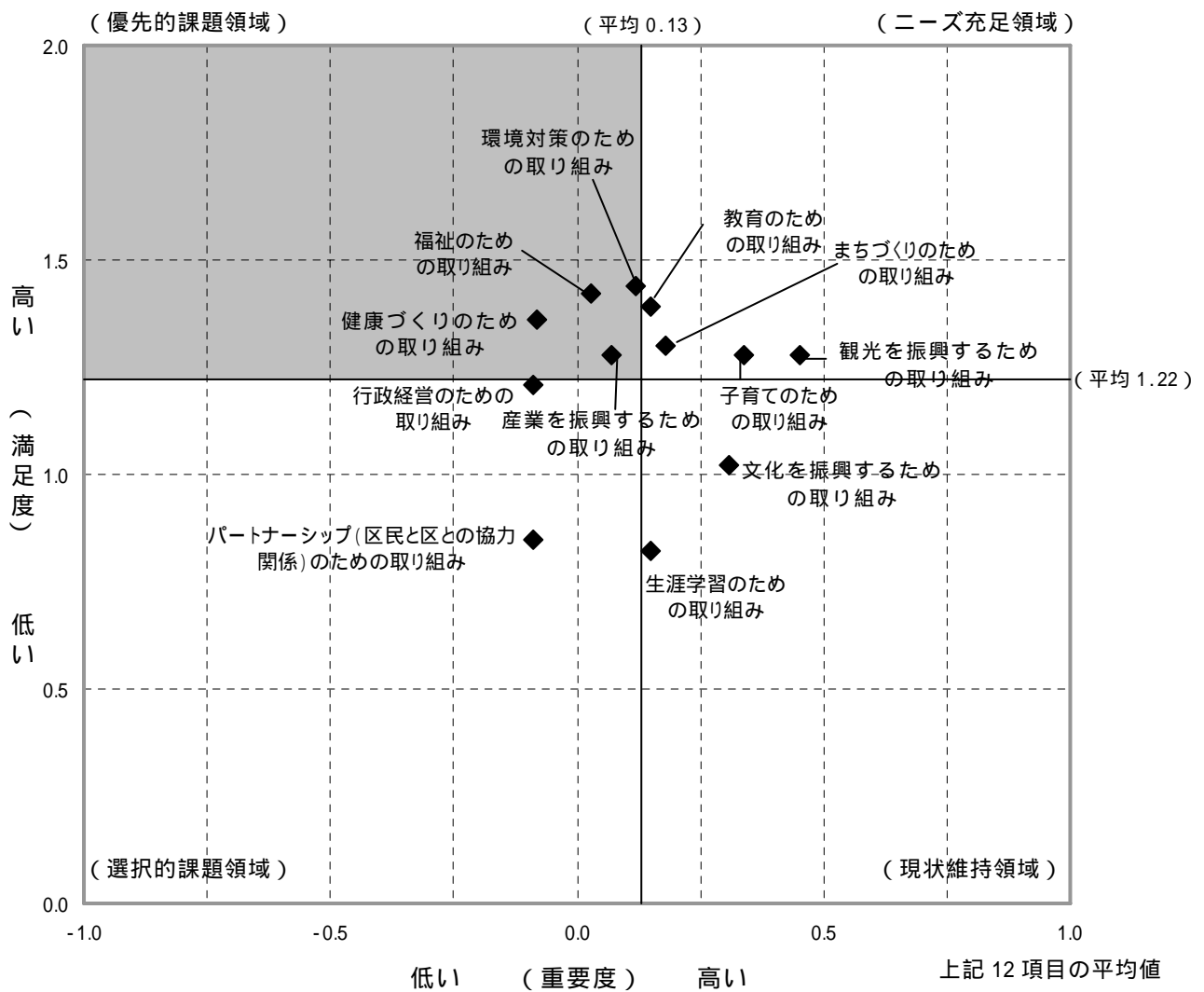
【3ブロック [北部地域]】

3ブロック [北部地域] でみると、「健康づくりのための取り組み」、「福祉のための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」、「環境対策のための取り組み」の4つが優先的に取り組むべき項目となっている。また、「行政経営のための取り組み」と「教育のための取り組み」も<優先的課題領域>の近くに位置している。<選択的課題領域>には「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」と「行政経営のための取り組み」が入っている。



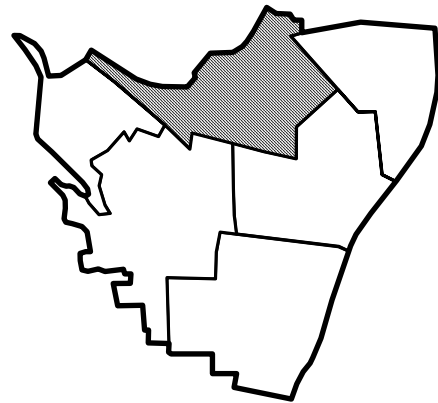
(図表12-17)

<図表12-17> 重要度と満足度の相関 (3ブロック [北部地域])



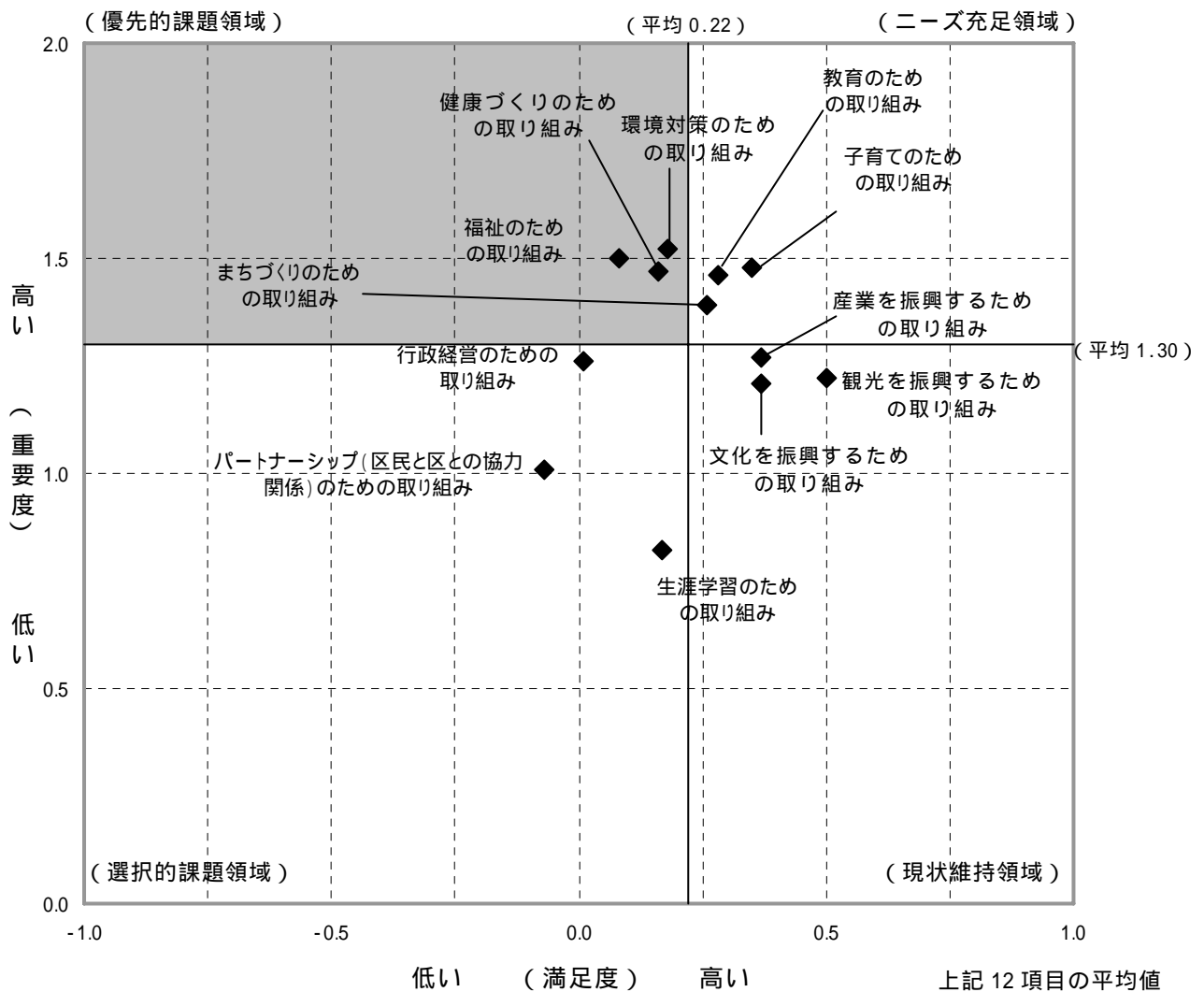
【 4 ブロック [西部地域] 】

4 ブロック [西部地域] でみると、優先的に取り組むべき項目としては「福祉のための取り組み」と「健康づくりのための取り組み」、「環境対策のための取り組み」の3つがあげられる。また、「行政経営のための取り組み」と「まちづくりのための取り組み」も＜優先的課題領域＞に近くなっている。一方、＜選択的課題領域＞には「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」と「行政経営のための取り組み」、「生涯学習のための取り組み」が入っている。



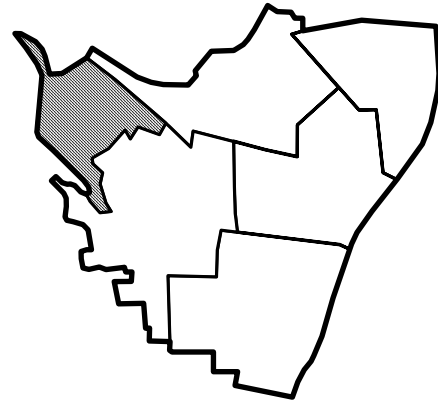
(図表 1 2 - 1 8)

< 図表 1 2 - 1 8 > 重要度と満足度の相関 (4 ブロック [西部地域])

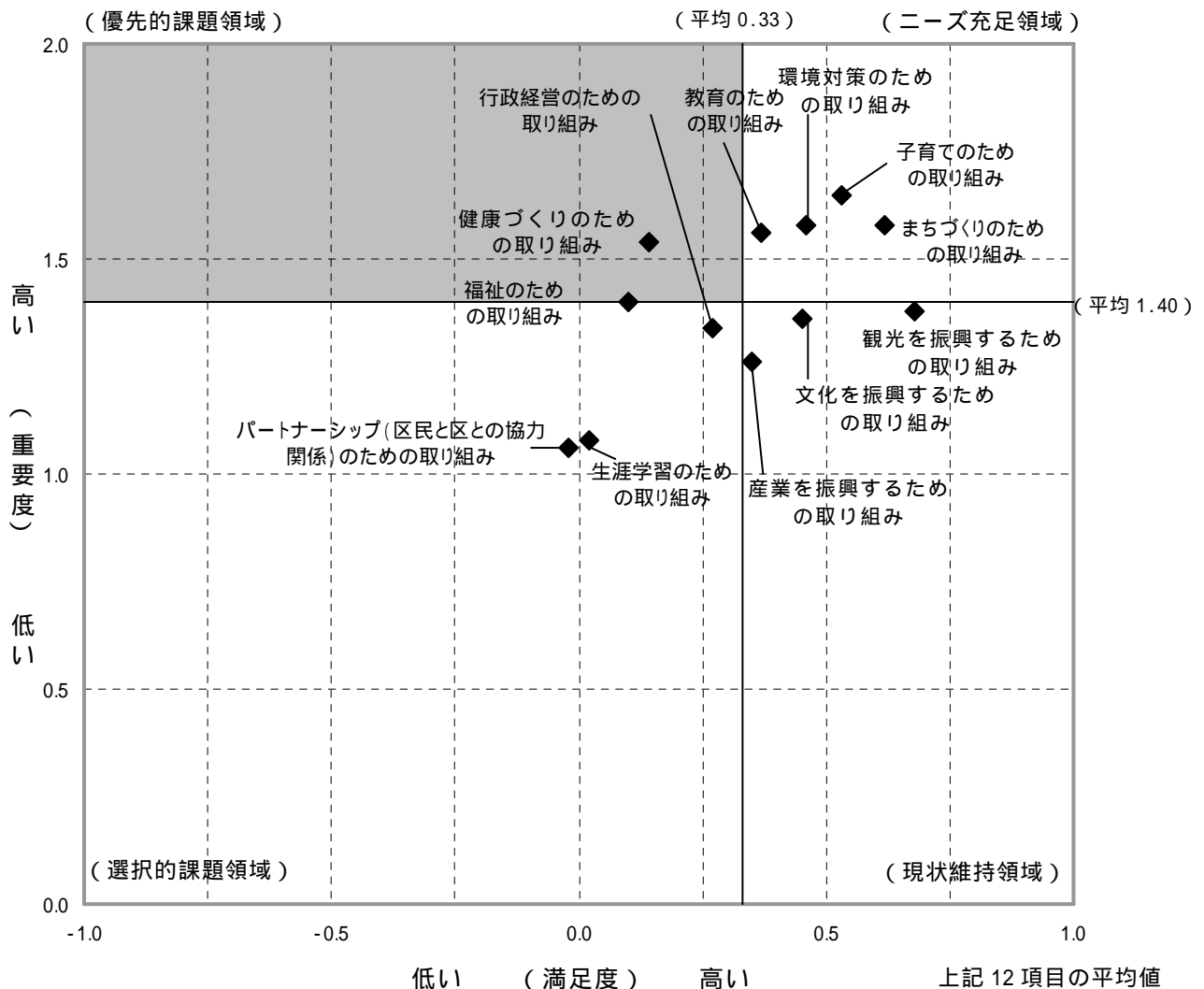


【5ブロック [谷中地域]】

5ブロック [谷中地域] でみると、「福祉のための取り組み」と「健康づくりのための取り組み」が優先的に取り組むべき項目としてあげられている。また、「行政経営のための取り組み」と「教育のための取り組み」も<優先的課題領域>の近くに位置している。<選択的課題領域>には、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」と「生涯学習のための取り組み」が入っている。(図表12-19)

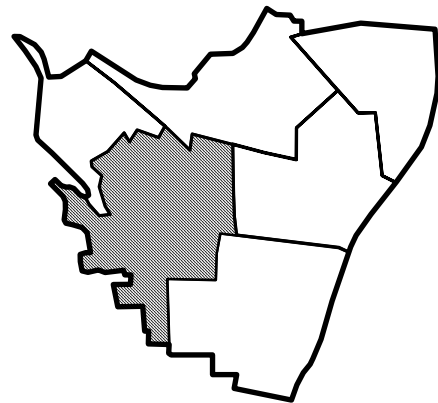


<図表12-19>重要度と満足度の相関(5ブロック [谷中地域])

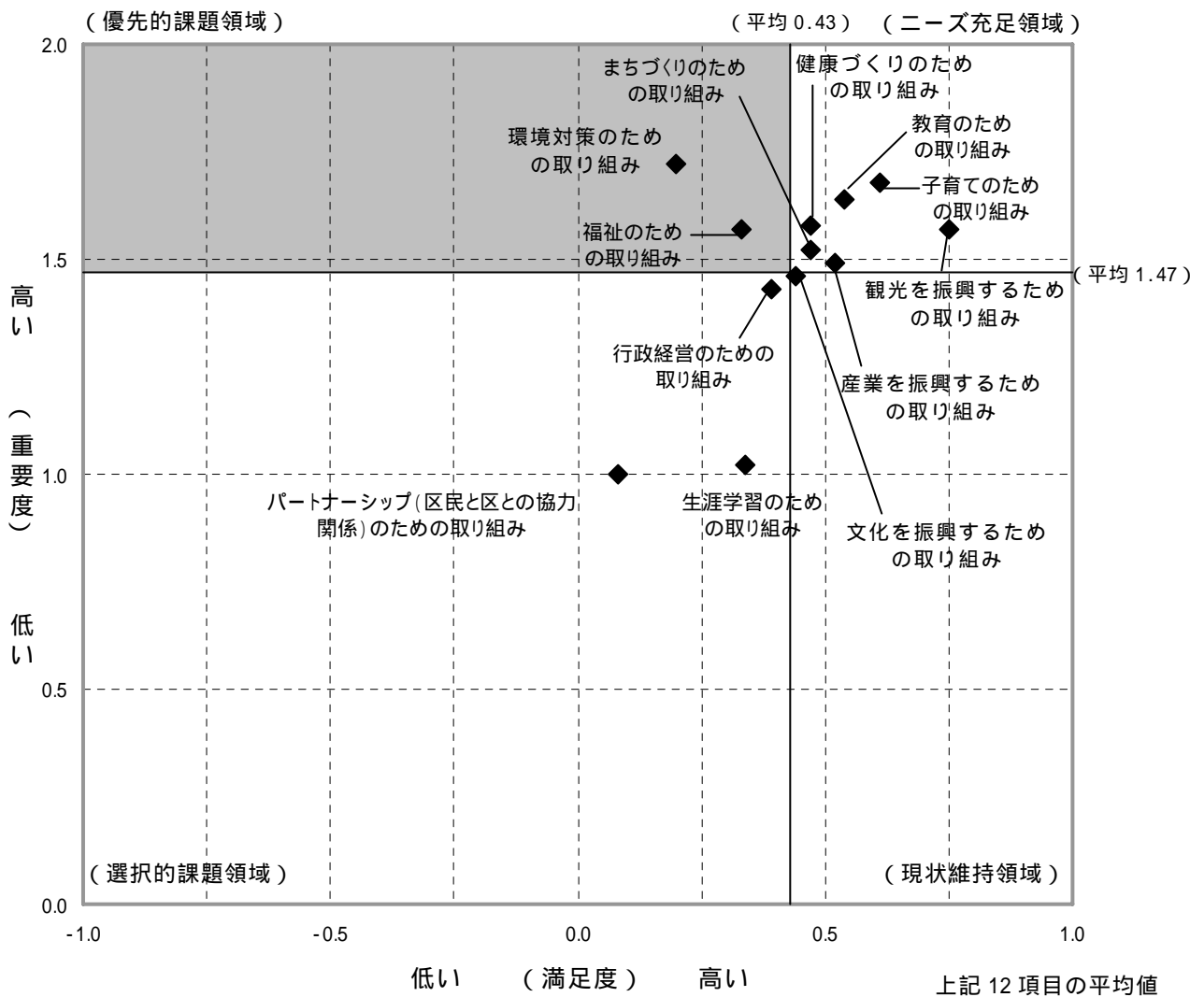


【6ブロック [上野地域]】

6ブロック [上野地域] でみると、「環境対策のための取り組み」と「福祉のための取り組み」の2つが優先的に取り組むべき項目となっている。また、「行政経営のための取り組み」と「文化を振興するための取り組み」、「まちづくりのための取り組み」と「健康づくりのための取り組み」も＜優先的課題領域＞の近くに位置している。＜選択的課題領域＞には「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」と「生涯学習のための取り組み」が入っている。(図表12-20)



<図表12-20> 重要度と満足度の相関 (6ブロック [上野地域])



1 3 . 施策の優先順位について

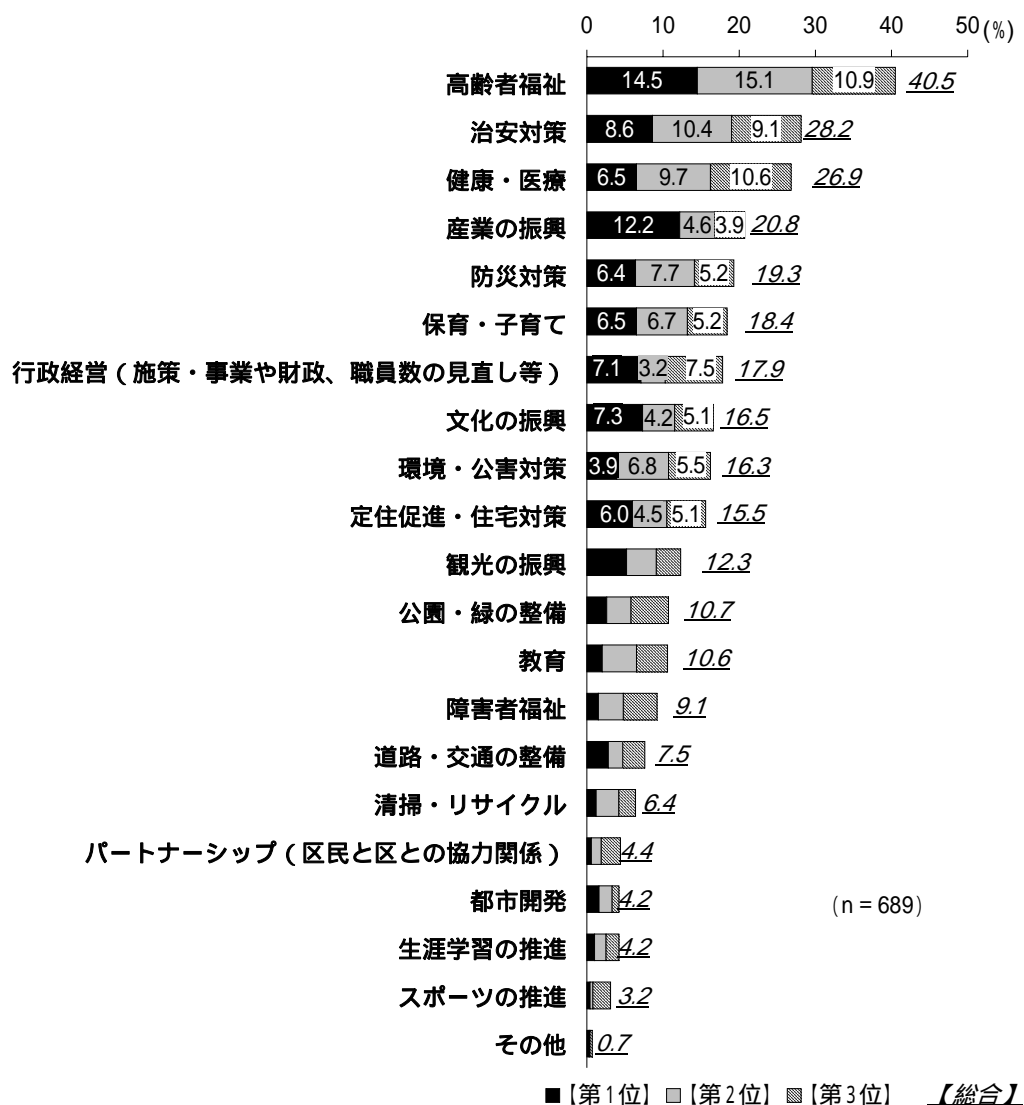
最後に、あらためて、全体を通して、今後、区が力を入れていくべきとお考えの施策について、優先順位をお伺いします。

(1) 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策

「高齢者福祉」が4割でトップ

問44 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策を第1位から第3位まで選んで、数字を下の欄内にご記入ください。

< 図表 1 3 - 1 > 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策（複数回答）

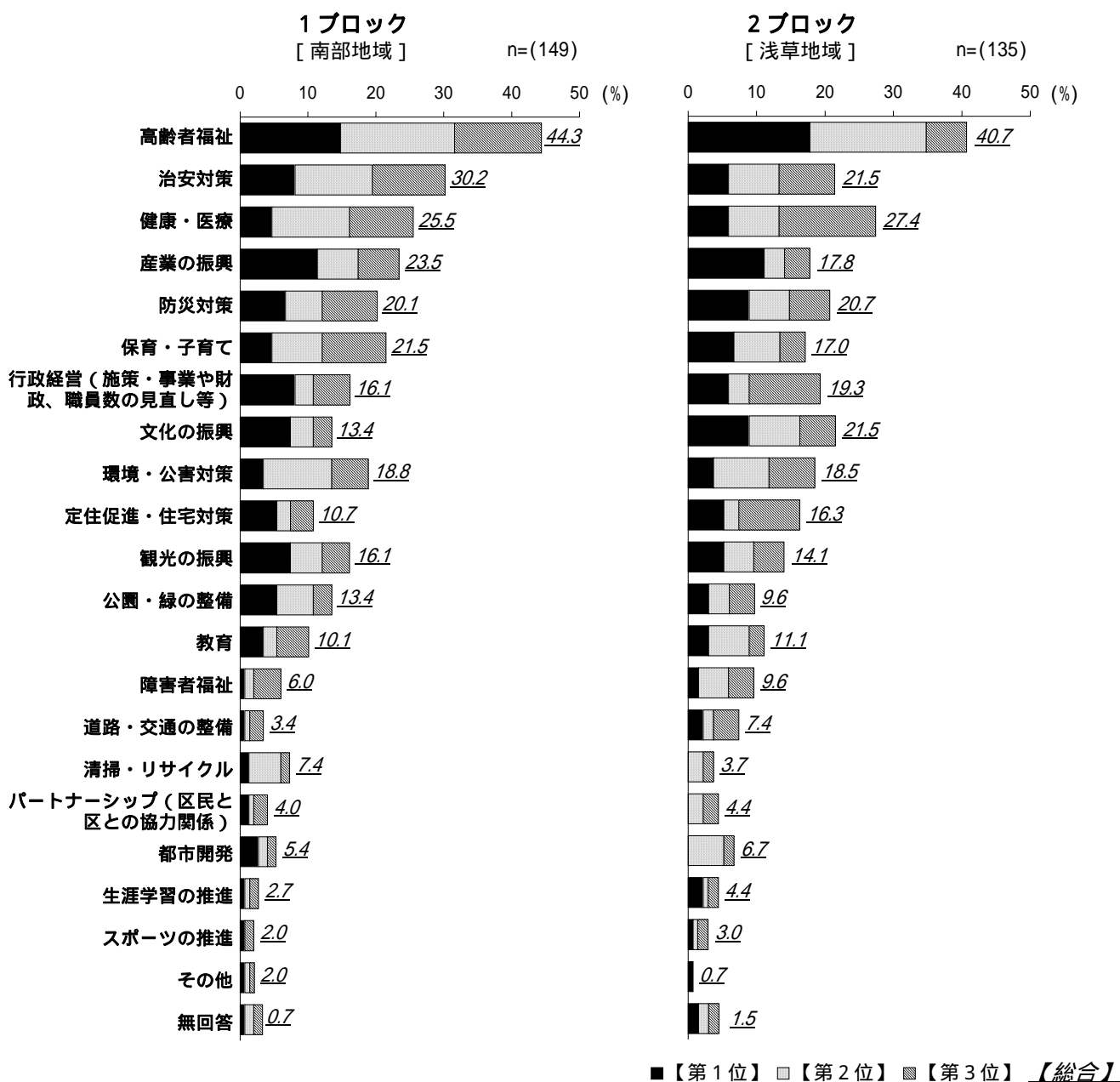


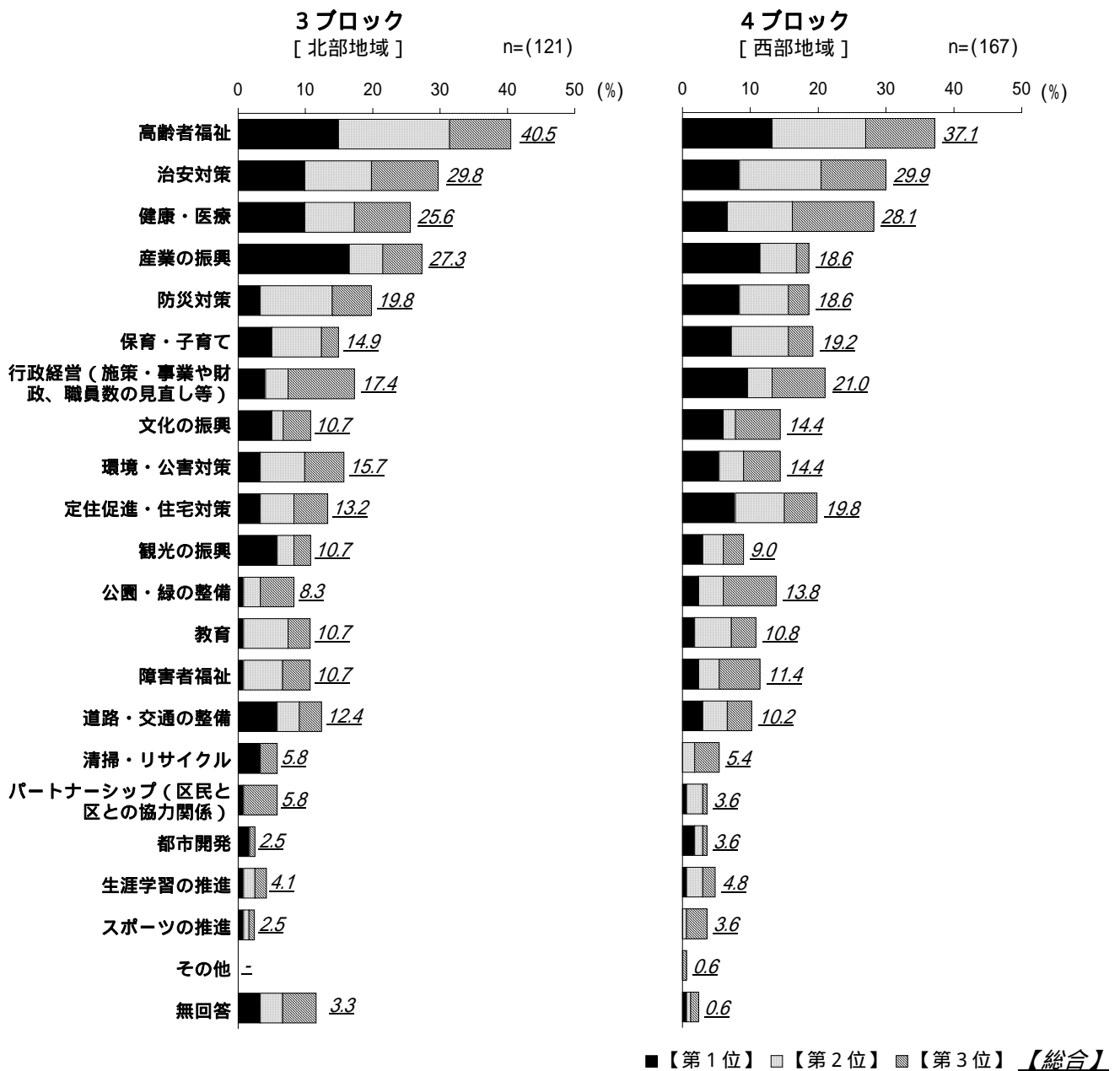
今後、区が優先的に力を入れていくべき施策について聞いたところ、「高齢者福祉」(40.5%)が4割で最も高く、「治安対策」(28.2%)と「健康・医療」(26.9%)が2割台半ばを超えて続いている。(図表13-1)

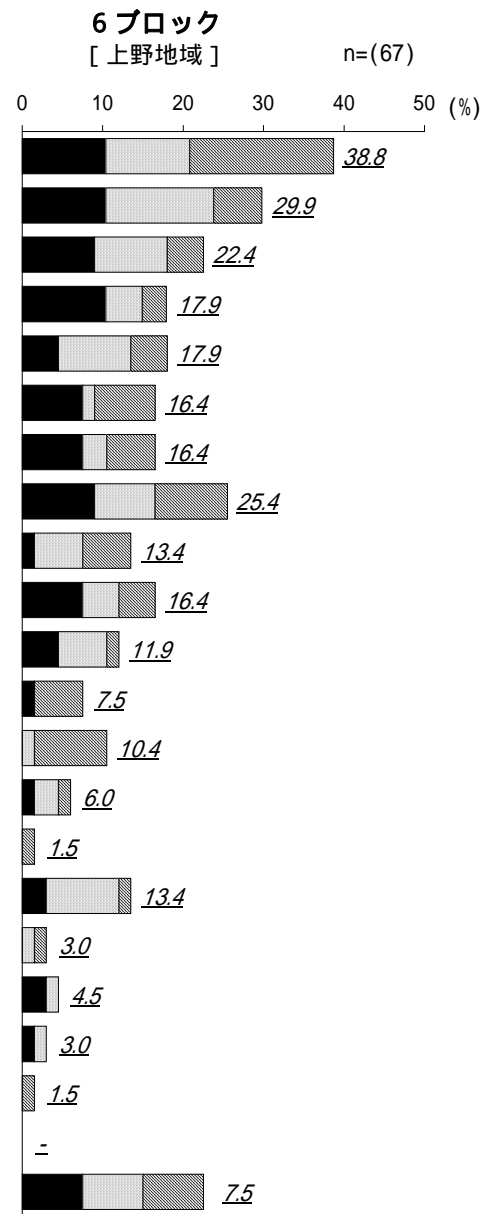
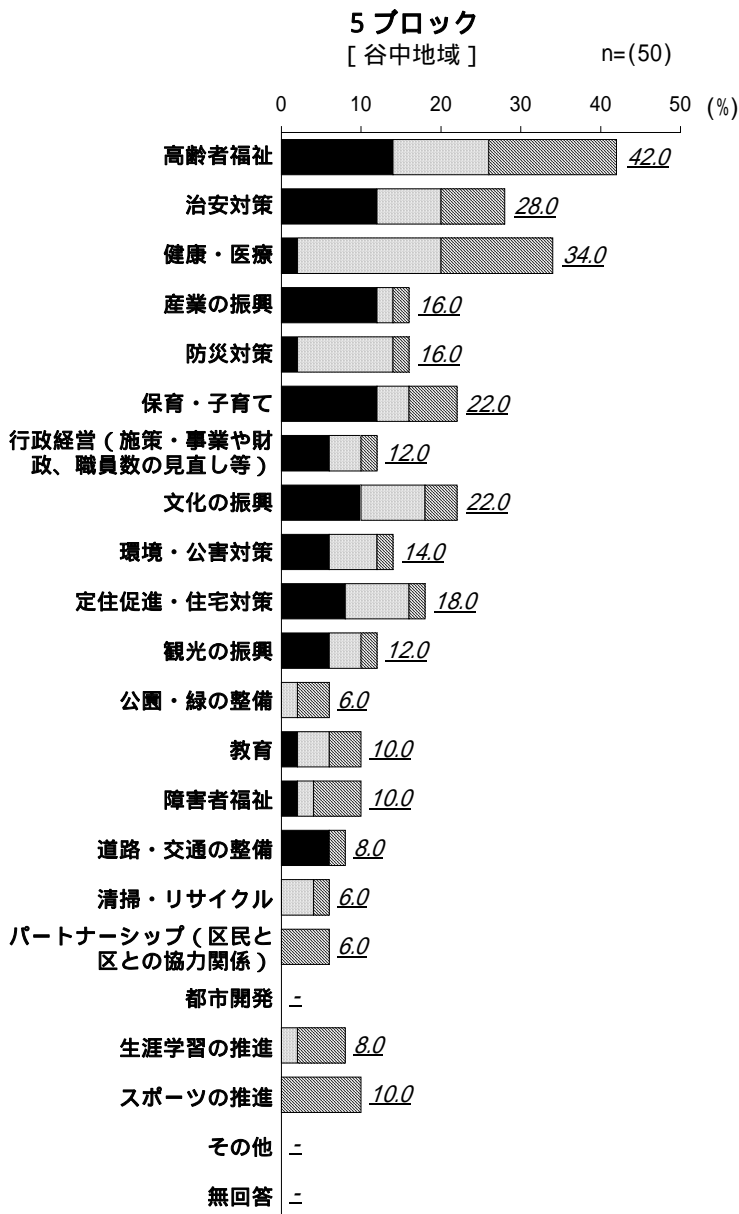
地域別でみると、「高齢者福祉」では1ブロック[南部地域](44.3%)が4割台半ばでやや高くなっている。

「治安対策」では2ブロック[浅草地域](21.5%)が2割強でやや低いものの、他のブロックでは3割前後となっている。「健康・医療」では5ブロック[谷中地域]が34.0%で高いが目立つ。「産業の振興」では、3ブロック[北部地域](27.3%)と1ブロック[南部地域](23.5%)が、「保育・子育て」では5ブロック[谷中地域](22.0%)と1ブロック[南部地域](21.5%)がそれぞれ高くなっている。(図表13-2)

<図表13-2> 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 地域別





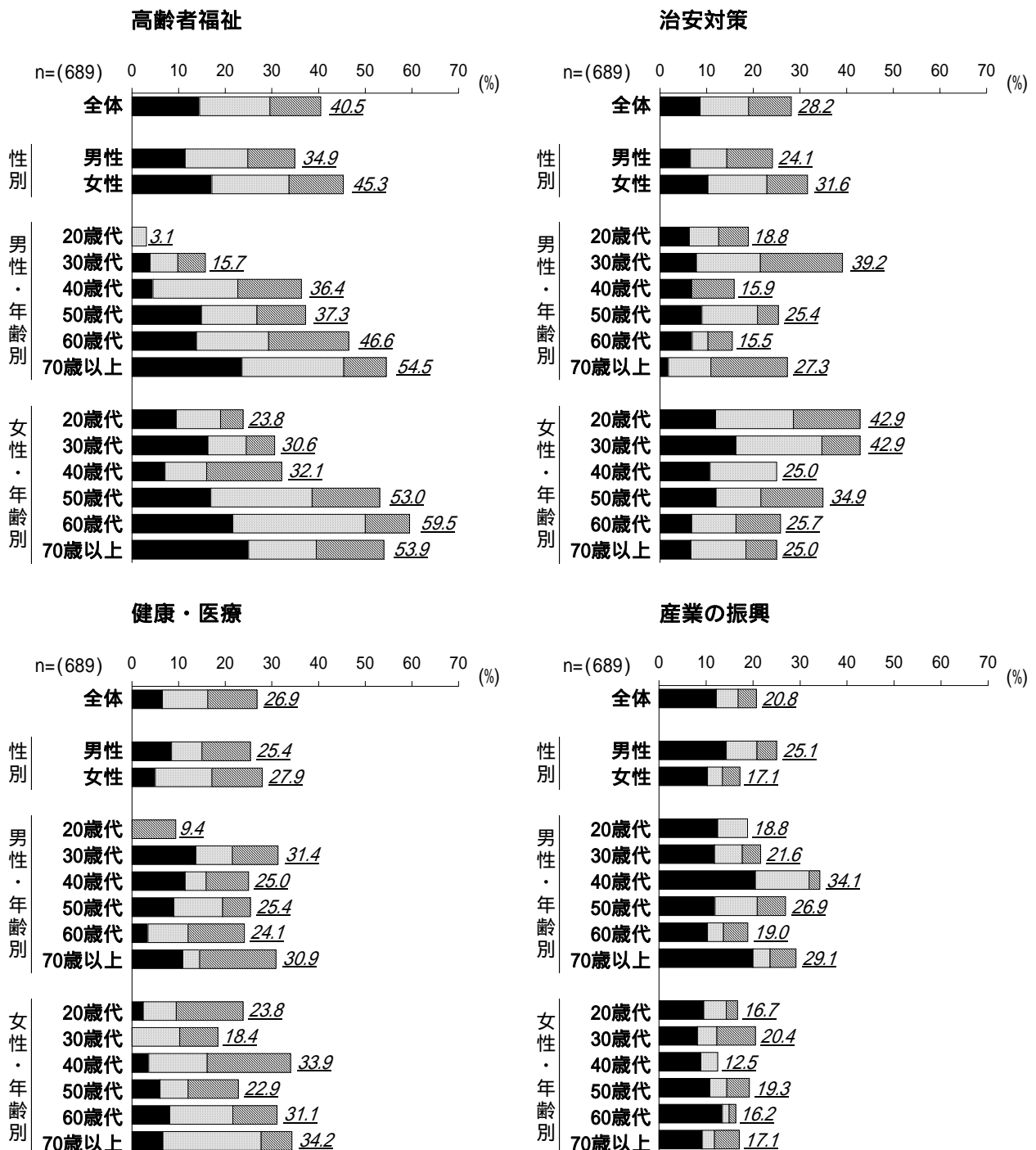


■【第1位】 □【第2位】 ▨【第3位】 【総合】

性別で見ると、上位6項目のうち、「産業の振興」を除く5項目で女性の割合が男性を上回っている。特に「高齢者福祉」では女性の方が10ポイント以上高い。

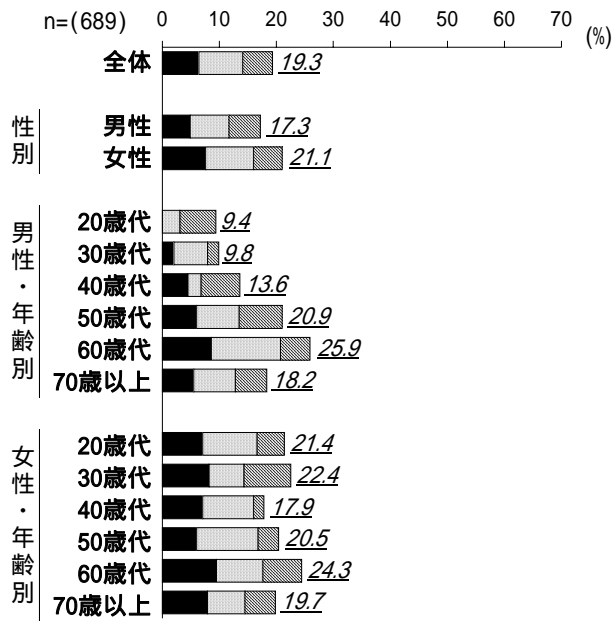
性・年齢別で見ると、「高齢者福祉」では男女ともに20歳代で最も低く、年齢が高くなるにつれて、割合も高くなる傾向にある。一方、「保育・子育て」では逆に男女とも20歳代で最も高く、年齢が高くなるにつれて割合が低くなっている。「治安対策」では女性の20～30歳代で4割を超えて高くなっているのが目立ち、男性でも30歳代では39.2%で高い。「産業の振興」では男性40歳代(34.1%)の高さが際立っている。(図表13-3)

<図表13-3> 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 性別/性・年齢別(上位6項目)

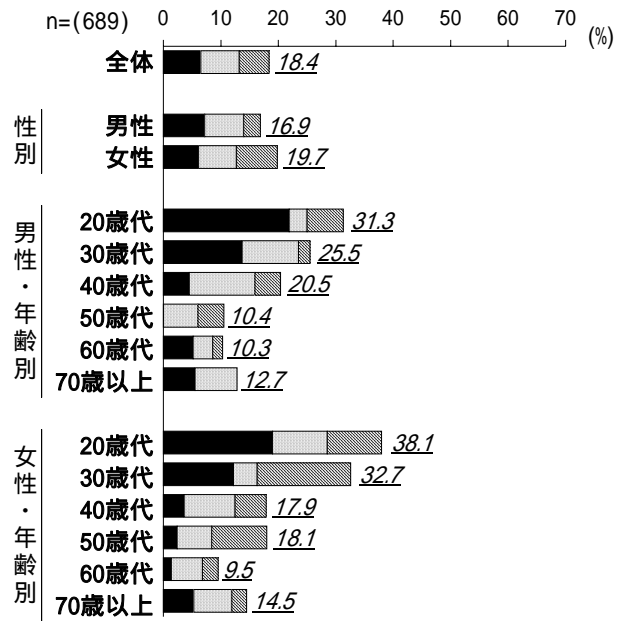


■【第1位】 □【第2位】 ▨【第3位】 【総合】

防災対策



保育・子育て



■【第1位】 □【第2位】 ▨【第3位】 【総合】

14. 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

記入率は30.2%

問45 最後に、区政全般について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

アンケートの最後に区に対する意見、要望を自由記入形式で求めたところ、208人（30.2%）の方からの記入があった。

以下は記入内容を分類し表にまとめたものである。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は288件となる。

寄せられた意見・要望については、アンケート結果とともに、今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただく。

大分類	小分類	件数
産業の振興に関すること	産業	3件
観光の振興に関すること	観光	11件
文化の振興に関すること	文化	8件
まちづくりに関すること	まちづくり	77件
	交通	
	自転車	
	道路	
	住宅	
	駐車場	
	安全安心	
	景観	
	公園	
環境対策に関すること	環境	20件
	清掃	
	喫煙	
生涯学習に関すること	生涯学習	3件
	図書館	
健康づくりに関すること	医療	2件
福祉に関すること	高齢者福祉	34件
	障害者福祉	
	介護	
	ホームレス	
子育てに関すること	子育て	3件
教育に関すること	教育	3件
パートナーシップに関すること	男女共同参画	1件
行政経営に関すること	行政経営	8件
本調査に関すること	本調査	10件
その他区政又は区に関すること	区職員	105件
	広報	
	窓口サービス	
	区政全般	
	その他	
合計		288件

続いて、各項目ごとに主な意見を紹介する。(原則として、寄せられた意見・要望を原文のまま掲載する。)

産業の振興に関して

【産業】

- ・ 生まれてから、25~6年、台東区に居住していました。去年から又、こちらにお世話になっています。住みやすい町だと思っています。商店街のシャッターの閉まる時間が早いと思う。8:00PM 過ぎには、ほとんど閉まっています。新仲見世のところ、ホームレスの人達の対策も考えていかなければいけません。
- ・ より活気ある町になる様、産業のバックアップが必要である。

観光の振興に関すること

【観光】

- ・ 浅草の一部だけが元気じゃだめです。全体が元気になる様に考えて下さい。仲見世と観音様がもっと人を集客する工夫をした方がいい。朝、昼の集客だけでなく、夜ももう少し人を集める方法を。
- ・ 浅草・上野等は、観光地として他の観光地に比べると、にぎわい方が寂しい。
- ・ 観光の振興はとても良い事だと思います。しかし、パチンコ店、ゲーム店等が多くあり、児童の育成に不安があります。
- ・ 道路が汚い。徹底した禁煙の街にするべきである。放置自転車も禁止すべきである。とにかく行政にて決めたら、徹底した実施をすること。観光の振興に取り組むために、一番最初にすべきである。街が汚くては、観光の振興に重要性は感じられない。
- ・ 隅田川花火大会は混雑がひどく、よそから来た人はあまりの人の多さに二度と行かないと嘆いていました。もっとスムーズに鑑賞できる工夫はないでしょうか？
- ・ 観光とは『光を見る』ことだそうです。台東区は昔からの伝統のあるすばらしい街だと思いますが、大事なのは、清々しく美しい街であること、そして人を呼び込める産業があれば、街は自然と繁栄していくのではないかと思います。騒がしい、ごちゃごちゃしたところも含めてこそ、下町浅草なのではないでしょうか・・・。もう少し美しくなっても良いのではないかと思います。すばらしい街づくりに期待しております。

文化の振興に関すること

【文化】

- ・ 区として良質な文化を育てたい。
- ・ 私は台東区に来ていい街だと思っています。美術(上野都美術館)が大好きで、隅田川のほとりを良く歩きます。きれいになり、歩くのが、楽しくなりました。それに夏の花火大会は最高です。特に浅草の街の伝統的な行事をよりPRに努め、いつまでも充実したものにしてもらいたいと思います。出来るだけ文化交流に役立ちたいと思います。

- ・ 生まれ育ったこの台東区を愛し、発展を願い、この区、この町の人情を大切にすべきである。住み良い、にぎわいのある上野・浅草を育てて、文化、教養のあふれた台東区を再生、発展して行ったらと思う。文化・芸能 etc・・・この様に持駒豊かな区は、23 区中に誇れるものであると思う。
- ・ 台東区は他区にない観光、文化面における資産、遺産の宝庫を所有している特別区ではないでしょうか。同時に、諸々の地場産業もあり、是等を如何に活性化させるのか。官民一体となり、他区の追随を許さない誇れる台東区を守り、育てあげて欲しいと思います。

まちづくりに関すること

【まちづくり】

- ・ マンション等高層ビルの建築で、見た目は街が整理されたように考えるのだろうが、その間に小さな住まいがあることも忘れないでほしい。昨年見えていた花火が土手通りからでも見えづらくなった。
- ・ 台東区に居住して5年ほどになりますが、最近は表通りだけでなく、表から内側に入ったところにもマンションが建てられています。マンションに住んではいますが、マンションだらけになって、どんどんつまらない街になっているようです。
- ・ 花のお江戸、そして東京には歴史、文化、伝統が一杯詰まっています。東上野周辺、旧吉原周辺を洗練された街に活性化して下さい。渋谷、青山を超えた、粋で、歴史、文化、伝統に裏打ちされた住宅と商店街が同居する台東区になる事を期待致します。
- ・ 台東区は浅草、上野、浅草橋、御徒町など、それぞれ個性豊かで魅力ある町が点在する。観光PRも大切だが、まずは台東区住民がこの下町情緒豊かな町に満足し、又、その喜びを大切に守って行くことが重要だと思う。台東区が好きになるような町作り、台東区ならではの取組が充実すれば、町は活性化し、個性豊かなものとなり、それが他から訪れる人々へのPRとなる。今までの台東区の取組には満足しているが、一層の努力を期待します。
- ・ 浅草六区の整備を進めてほしい。
- ・ 最近、転居してきました。台東区には文化・伝統的な地域もありますが、23区の中では、あまり“住みたい街”として認識されていないようです。古い地域にはコミュニティのような感覚が残っているようにも思うので、それを生かし、きれいな街、安全な街になれば、活気も自然と出てくるのではないのでしょうか。街が汚い。古いからではなく、手入れされていないからのように思えます。
- ・ 区政全般を理解していないので、学習の機会（講座など）があると良い。転入してきた側として、元から居住している地域の方との交流の場が少なく、溶け込めないところがある。転入し住み続けようとする方も多くいるはずですが、せっかく転入してきても、その方々が住み続けていかなければ発展はないので、元々の方々のことばかりでなく、公平に考えていただきたいと思います。むしろ、区の将来を考えると、新しく住民となった方々で活性化してほしいと思います。今の現状は、転入側からみて、本当に住み続けたいか？「NO」ではないのでしょうか。
- ・ 歴史的、文化的な街並みがあり、史跡や寺社が多く、観光資産に恵まれていると思います。新しくすることも場合によっては良いが、古いものを残し、国内外に知名度を持ち、観光、文化、人情で評価され、活性のある町になって頂きたいと個人的に思います。

- ・ 引越してまだ3ヶ月ですが、昔の街並みにひかれて、前から住みたいと思っていました。でも、近年のすさまじい都市開発がここまで来ているとは、とても残念です。その勢いで下町らしい情緒や人情が失われるのを、とても危惧しています。マンションを建てれば、それだけ人口も増え、税金も増えますが、長期的な視点で他の地域にない特色を大切に、住みたい街、観光で訪れたい街にする方が賢明ではないでしょうか。近所の銭湯が2件も廃業になり、駐車場跡になったのが残念でなりません。経済的に非効率でも残していかなくてはならないものがあります。それが行政の役割です。
- ・ 昭和30年代に上京して住んだのは、谷中初音町夜店通りの所だった。台東区は住みよい楽しい所だと思いました。谷中銀座など。それから他県を転々として、下町台東に60才代の末に戻ってきて、時々谷中まで歩いて行きます。台東区がんばれと願っています。ずっと住んでいたい。
- ・ 下町の根岸が一番好きです。これからも住み良い町であります様、期待致しています。
- ・ 税金を上げる為なのか、あちこちで高層マンションが建てられています。ワンルームマンションみたいに、一時的に入居する人達のマンションなどの許可は、少し検討して頂きたい(放置自動車が、歩道を占領したり、ごみ出しのだらしなさ!)。近くの介護センターの車椅子の老人達も安心して歩くことも出来ません。観光にばかりに力を入れている台東区に少し辟易・・・。こんな理由で転居する人も多いのでは?花火大会に力を入れるなら、半径何m以内の高いビルを建設するのを制限して、より多くの人が見られるようにしてあげてください。
- ・ 台東区のマンションが多くなっているが、日照が少なくなる。8F建てまでとか、もう少し、低くしてほしい。

【交通】

- ・ めぐりんの停留所が谷中銀座の近くになく、(千駄木駅にはあるのに・・・)とても不便という事を、台東区以外の方にもよく言われるので、検討願えればと思います。
- ・ 都バス東42乙の本数を、朝と夕方、夜にかけて、本数を増やして下さい。最近、マンションが増えて、利用者が増えていると思います。
- ・ 橋場地区の交通の便が悪いです。バスが少ないですし、めぐりんが通っていないことも不満です。もう少しバスを増やすことを考えてください。
- ・ バスの件、秋葉原行きが少なくなり困っています。又、めぐりんは、一方通行なので両方向だと助かります。今戸地区、北部は陸の孤島の様です。
- ・ 日比谷線入谷駅の階段の風圧がとても強く、お年寄りなどは特に危険を感じます。何とか改善していただけたらと常々思います。
- ・ 高齢化に向かって、地下鉄、駅等のエスカレーターの設置などに取り組んでほしい。老人大国になっていく事は確実なのだから、障害者の方も含めた町づくりをお願いします。

【自転車】

- ・ 歩道上を自転車が猛スピードで走るの危険。せめて、傘をさして自転車に乗るのは禁止してほしい。

- ・ 駐輪は少し良かった感じだが、駐車の仕方と、自転車が歩行者専用の歩道を通行している点について検討してほしい。
- ・ 「めぐりん」が増えてうれしいです!!自転車の駐輪場をもっと増やして下さるといいですね。
- ・ 浅草駅の放置自転車がひどい。ルールを徹底してほしい。
- ・ 隅田公園自転車駐輪場について。まず、荒川区のように24時間出し入れ可能にすべきである。仕事や娯楽の多様化により、深夜利用する人も増え、大変不便である。深夜に関しては、放置を容認しているとは思えない。利便性を向上させて欲しい。次に、駐輪場の容量が限界に達している。通路に一日利用の自転車があふれ、すれ違うには困難を極め、万一避難する事態が発生した場合、非常に危険である。いつ事故が起きてもおかしくない状況である。駐輪場に関しては、直ちに抜本的な改善策が必要である。

【道路】

- ・ 台東区は昔からの町並が多いせいか、幹線道路以外は歩道が狭く、人間一人の幅しかない所もあります。自転車とすれ違う時は危険ですし、史跡めぐりの観光客も多い区ですから、歩きやすい道路にしてほしいと思います。
- ・ 歩道など段差が多くベンチが少ない。高齢者が多い台東区なので、入念に調査して整備してほしい。
- ・ この一年の間に行った区の工事、水道管の埋設の後の歩道復元工事等の見直しを充分やってもらいたい。家の前に水が溜まってしまっている。苦言を申し上げたい。
- ・ 自分は自転車に乗って車道に出ているが、いつも「危険だな」と思う。自転車用道路も主要部だけでも増えてほしいと思う。
- ・ 商店街で営業しています。近頃、飲食店の看板が通り半分迄、出て来ています。会で注意を行っていますが、中々下げる事をしてくれません。時に警察からもパトロールが有りますが、其の時だけで30分も過ぎれば元通りに出ています。頭の痛い事と思います。
- ・ 町を歩いていると、古い家屋や閉鎖されている会社、店舗が目につきます。街に活気がない様な気がします。歩いて楽しい街並が良いと思います。あと、街路樹の根元や道路に面した民家や、家の前の小さな植え込みや花壇は、木が大きくなりすぎたり、手入れがされていなかったりで、歩くのに少し迷惑ですし、見苦しさを感じます。まだ住み始めて日も浅いので、歩く範囲も三輪・入谷・鶯谷近辺です。時間がかかると思いますが、住みやすい区にしていくことを期待しています。

【住宅】

- ・ 台東区は家賃が高額で、低所得者（高齢・障害・母子家庭）が住みづらいのが現状です。20年以上、台東区に居住している方達を優先するなど、住宅確保ができると、長く居住できてありがたい限りです。
- ・ 台東区はとても雰囲気がよく住みたいと思いますが、住宅事情等を考えると少し気が引けます。

- ・ 若い人が住めるようにもっと住宅のことを考えてほしいと思います。台東区は、もっともっと若い人が住めるような区にしないと、お年寄りの人ばかりになって、支えていく人がいなくなります。
- ・ 他の区にあるような区営住宅はないのですか？低所得者にとって住まいの問題は大変深刻です。住宅補助があるようですが、それでも、賃料が高いと思う。ずっと住み続けたくても住めない。
- ・ 区内にもっともっと人が住める様に、家賃などを下げて、活力ある区にしてほしい。

【駐車場】

- ・ 自動車、自動二輪、自動車用の駐車場、駐輪場をもっと増やすべきである。少なくともバイク用は早急に増やすべきである。
- ・ 上野広小路地下駐車場建設に反対する。莫大な区税の無駄である。

【安全安心】

- ・ 鶯谷駅周辺は、学校の登下校コースがあります。子供達が多く行き来する近くで、車の送迎が頻繁に行われ、風俗関係の事務所は増加、新しい店がオープンなど、環境悪化を何とかして頂きたいです。
- ・ 私は台東区で生まれ、そして育てられてきました。大好きな台東区がよりよくなる事が一番の願いです。子どもたちを守る事が出来る政策をもっともっと強化して下さい。
- ・ ホテル街のマンションに住んでいますが、車がスピードをさげず、道もせまいのによその区の人がわがもの顔で通ります。それを見逃しているのがわからない。ホテルを経営している人の生活もあるかも知れないが、最近とみに車が多い。環境が悪すぎる。
- ・ 暴力団の追放に力を入れてほしい！

【景観】

- ・ 街並の景観がゴミゴミしている。ライト、建造物、公園に工夫が必要では？倉敷の再生を参考にしてみようか。
- ・ 緑地を増やす等の環境対策と、古い街並の景観を復元する事ももう少し推進して欲しい。
- ・ 景観・環境面では、建物が無計画に建っていく状況である。
- ・ 電柱の乱立が気になるので、地中に入れる計画を早くしてほしいです。
- ・ 高層ビルが乱立して景観が損なわれない様、きちんとした条例を制定して欲しい。

【公園】

- ・ 年少者（小児）の遊び場、例えば自由に行動して良い芝生等を考えるべきである。
- ・ 何の為なのか、どういう目的で作られたのかわからない様な中途半端な公園が多い。結局、あまり人が利用していない。最も公園を利用する幼児や小学生（それからお年寄り）が満足できる公園であって欲しいと願います。

【防災】

- ・ 文化や、昔ながらの町を残す事は、とても大事な事だと思いますが、防災面に対しては、心配な所が多いです。まず、道が狭いし、ごちゃごちゃしていて、大きな地震、水害の事も心配です。
- ・ 関東大震災への準備を怠らないように。見てくれではなく、実質を準備するようにしてほしい。

環境対策に関すること

【環境】

- ・ このごろ土地の空いている所にマンションが建ち、緑がどんどん少なくなっていく気がします。もっと自然を残し、夏の暑さ対策を考えて下さい。
- ・ 最近、家の周りに鳩が多く、フンで屋根が真っ白になっている家もあります。植木の花や実を荒らされ、あの多さを見ると、鳥インフルエンザの元にならないかと心配です。近所の老人とかアパートの単身者の人などが、毎日エサをやっているのを見かけます。決まってその人達の家や隣の家はフンで真っ白です。私も見かけると注意しますが、区でなんとかならないでしょうか？
- ・ 夜間の騒音、特に大型車両の交通、オートバイの交通が夜間の睡眠のさまたげで不眠症になった。その他、夜間の明る過ぎる街灯と騒音が不眠症とストレスでつらい。
- ・ 観光も文化も、まずは清掃が出発点です。“悪臭がする街”は国際舞台には立てません。行政と区民が一体となって“きれいな街”にしませんか。
- ・ 隅田川の水質を改善してほしい。
- ・ 都市空間の癒し効果がある環境が大事である。建物の色、水、緑地、空間など考えてほしい。

【清掃】

- ・ 無駄を省いて効率のよい行政に努めてもらいたい。ゴミについては、以前住んでいるところより、分別が進んでいない。台東区は幸い、美術館・公園等、すでに恵まれているので、ソフトの充実に努めてもらいたい。お金を使わず、知恵を使ってもらいたい。
- ・ ゴミ回収の時間帯の設定が不適切である。福岡市の様に、夜の回収にすべきである。

【喫煙】

- ・ たばこの吸殻で町も汚い。歩きながら吸っている人がいても警官も注意していないようです。
- ・ 区内すべての公共施設は分煙ではなく、全館禁煙を実施して下さい。有名無実の分煙は無意味です。
- ・ 調査票には環境・健康・・・とあるが、「歩きたばこ・・・」の表現・記述がない。交差点の歩道の上に“表示”しているだけで、歩きたばこが一向に減っていない。

生涯学習に関すること

【生涯学習】

- ・ 循環バス東西めぐりんが開通して、浅草までの道が便利になった。子供の遊び場、小さくてもきれいな公園などが他区と比べて少ないように思う。箱物の立派な施設は区には必要ない代わりに、気軽にスポーツを楽しめる施設を充実して欲しい。

福祉に関すること

【高齢者福祉】

- ・ 人に優しい区政を望みます。安心して生活、人生を送れる支援として、妊娠・出産・育児・障害・疾病・高齢・失業・住宅等々、サービス・経済両方のサポートが必要だと思います。義母が認知症グループホームに入っており、月 18 万円から、おむつ代・おこづかい等入れると、20 万円かかる。工夫して費用を出している。一般的な世帯が無理なく出せる金額ではない。これでは、本当にグループホームのケアが必要な人が経済的理由により利用できなくなり、これでは何のための福祉か疑問を持つ。一人一人の生活を大事にできる取り組みを望みます。
- ・ せっかくの古き良き雰囲気をもった土地ですので、もっと沢山の高齢者の方々が仕事をして活躍していただける場を区として募集・提供して頂きたいと思います。同時に、私達若い世代では知らない様な伝統的な職業や技術なども知れる場（講習・研修みたいなものでもの）をつくって頂けると興味を持つきっかけにつながると思います。

【障害者福祉】

- ・ 弟が障害者のため、働く場所の確保や社会活動に参加しやすい雰囲気（体制）をつくっていただきたいです。

【介護】

- ・ 介護する人を支援してほしいです。
- ・ 年金と介護保険制度を充実し、将来安心して、誰もが住みたいと思える区にしてもらいたい。
- ・ 昔の区役所の横柄さを思うと、随分、愛想はよくなった。高齢者の事では、非常によくやってもらっています。感謝。欲を言えば、初めて紹介してもらった介護会社は最低だった。介護サービスの会社には、目を光らせておいてほしい。老人だけの家で、一体、何が行われているのか不安だ。ひどい人は、本当にひどい。

【ホームレス】

- ・ 全般的に良く区政を行っていると思います。ですが、リバーサイドのホームレスの問題とか、まだまだ区として行って欲しいと思います。
- ・ 町なかの小さな公園などにテントを張るホームレスに対する方策も講じてほしい。マイホーム並の道具、犬を飼っている人もいる。他区から転居してきて、特に感じたことです。

- ・ ブルーハウスを撤去すべきである。区の施設に入れて、仕事を与えるべきである。観光都市の恥であり、これではリピーターは来ない。
- ・ 役所の係は、ホームレス一人ひとりの名前を覚えるくらい親身にやってほしい。
- ・ ホームレス対策も必要だと思います。浅草のような観光地の駅にホームレスが沢山いるのは、やはり気持ちの良いものではありません。
- ・ 東京都外から引越してきたが、台東区には、満足しているが、ホームレスの数には驚いており、今後、観光、産業の振興を進めていくには、状況の改善をお願いしたい。特にアーケード街での就寝は、観光客等には、非常に不愉快な印象を与えている。
- ・ 台東区は、福祉について再考すべきである。公園等の居住者への対策は難しいが、人間として対応してほしい。
- ・ 隅田川の水辺のブルーシートのホームレスの件、何とかありませんか。とても一人でゆっくりと歩けません。区民が夏の散歩道として活用出来ないのは問題です。税金の無駄遣いだと思います。

子育てに関すること

【子育て】

- ・ 高齢者が多くなっている現在、子供を育てる事とその親の教育がとても欠けているので、子育てに関する相談を気軽にできる場所が必要、重要だと思います。これからの10年~20年後が心配です。
- ・ 子供を育てる地域環境でないため、結婚後は移転するつもりである。街は嫌いではないが、生活に不便を感じている。緑が少ない。一戸建がなく、休みの日がもの淋しい街になる。子供を育てやすい街づくりを希望する。
- ・ 若い夫婦が安心して働ける様な施設（子供を預ける所、小児病院）を設置することが、台東区に活力を生むと思います。

教育に関すること

【教育】

- ・ 子供達が他人と挨拶出来るように、大人が皆、きちんと挨拶しましょう。

行政経営に関すること

【行政経営】

- ・ 役所内での部署毎の連携をきちんととって欲しい。
- ・ 職員数を削減すべきである。
- ・ 税金を納めている者として、自分の大切なお金が適正にかつ、有効に使用されているか非常に気になります。例えば、区の職員は、必要性の少ない部所から、もっと必要性の高い部所（福祉など）へ配置替えをするなど、人員も有効に利用して欲しいです。
- ・ 区の組織を小さくするべきである。

- ・ NPO活動をしているが、空き施設や空き教室があれば、事務所や工房として貸してほしい。
- ・ 廃校、跡地を、地域町会に活用し、大いに町の発展につなげていただきたいと思います。

本調査に関すること

【本調査】

- ・ このアンケートは、台東区が行った実績のあるものしか列挙されていません。区として今後行うべき課題があるものと思います。こうしたやり方は、やはりお役所だと感じました。もっと民間レベルの厳しさのある考え方を区民に提示して下さい。「・・・取り組んでいます。」「・・・進めています。」という表現は、具体的ではありません。当たり前前は当たり前として、もっと厳しく区の行政をとり行って下さい。
- ・ このアンケートの集約結果の公表と対応計画の公表を必ず行うこと。やらない場合には、今後協力しない。
- ・ このアンケートについて ・各項目の最初の「どの程度重要か？」という質問は必要でしょうか？（聞くまでもなく、どれも重要だと思いますが・・・） また、「 の取組をしています。満足していますか？」と言われても、実際に見たり経験したりしていないことには答えづらいです。
- ・ まだ住んで半年位だが、この調査で、区が観光やまちづくりなどのいろんな施策に取り組んでいることがわかりました。
- ・ 質問の量が多すぎる。年代によってはわからない。返答に悩む質問もあり、文面でこういう事していますと書かれても、全く実感が無いので、もう少し考えてアンケートをとるべきである。
- ・ 今回の調査について、調査そのものの実施は良いが、調査票送付時に予め返送用封筒の用意をしても良かったのではないかと。自分の場合は、自宅を2度訪問してもらい、2度目に会って調査票を渡すことができたが、訪問する相手によっては、何度足を運んでも会えないこともある。人によってはまったく協力しない人もいる。区の職員だって他に仕事があるだろうし、人件費よりも郵便料金の方が安いはず。無駄は少しでも省いてもらいたいと思う。今後、同じような調査をやる時は、このように考えている区民もいることを考慮してもらいたい。

その他区政又は区に関すること

【区職員】

- ・ 公務員の意識改革、行動改革を是非とも進めて頂きたいと思います。民間企業を経験するなど、少しでも社会に出てみれば、何か感じる（学べる）のではないのでしょうか？汗水たらして、誠実に働いているのか、ということも問いたいと思います。
- ・ 区職員の中には、規則をたてに官僚的な態度・言動で区民に接し、そのために不愉快な思いをした人がいるやに聞いている。まだ細かいことは、このほかいろいろありますが、ご検討頂ければ幸いに存じます。往年の下町の気風が失われつつあります。残念な事です。

【広報】

- ・ 区報や台東ケーブルTV以外に、区政を知る機会が普段ないのですが、区民として不安を覚えます。区役所に行くこともめったにありませんし。
- ・ 今回、この調査書を頂き、答えるにあたり、いかに何も知らなかったか、区が取り組んでいることの内容に驚いて記入いたしました。区では、もう少しPRが必要ではないかと感じました。
- ・ いろいろと取り組んでいらっしゃると思いますが、新しく入っていらっしゃる方々や若い人達には、私達、町会に入っている者と違い、伝わってない事が多い様に思います。

【窓口サービス】

- ・ 戸籍の届出などの手続きが本庁以外でも可能になると良いと思います。
- ・ 会社員は平日窓口に行くことができません。月に一回でも日曜日に窓口が開いていると、とても助かります。もしくは、月に一回位、9時頃までやってもらえると助かります。7時では、早すぎると思います。
- ・ 台東区には外国人の居住者が比較的多いと思われます。先般、外国人と同行し、区役所本庁の窓口へ届出を行った際、対応が遅く、ぞんざいであったことに落胆しました。区行政に対しては、適正な対応をされたく希望します。同行した外国人いわく、「他区の対応は親切で迅速であった」とのこと。台東区が外国人にとって住みやすい所であるよう、体制を整えて下さい。
- ・ 区役所窓口は2階以上も、1階と同様に、受付番号札を配布すべきである。
- ・ 行政サービスは24時間365日を基本とすべきだ。それは、アウトソーシングやIT化を推進すればできるはずである。
- ・ 開庁時間について、水曜日だけでなく他の曜日についても開庁時間を長くしてほしい。また、現在閉庁日である土、日曜日について、月1回でも良いので開庁してほしい。

【区政全般】

- ・ 現在住んでいる所は、住み始めた頃に比べると、商店はなくなり、病院、銀行も移転してしまった。住みやすさとは、だんだん遠くなっていくのが現状の様に思う。目先の華やかさ（朝顔市、花火大会など）よりも、地道に住人達の環境の整備、治安等に努めていただきたいと思えます。住環境や学校教育などを充実して、魅力ある町づくりをしていけば、おのずと人は集まってくるものだと思いますから。
- ・ 少子化対策を第一優先に実施すべきであり、その為には、高齢化対策も抜きにできないので、関連づけて実施して欲しい。
- ・ 産業振興、観光振興、文化振興は各企業・個人が自らの利益受益のために、各自の負担費用で行うものであって、税負担にて行うものではない。生涯学習は各個人の問題である。公共の問題に資源を投入すべきであって、私的な問題は個人負担で行うべきである。弱者救済は別に検討すれば足りる。
- ・ “民でできることは民で”というスローガンは正しいと思う。逆に、官は官でしかできないことを考えて行動してほしい。繰り返すが、行動して欲しい。やってみて具合が悪ければやめればよい。進めることが重要だ。
- ・ 区民の一人一人が、安全で自由な生活を保証されることを望んでおります。そのための協力でしたら、出来るかぎりしたいと思えます。

- ・ 高齢者が子供よりも多いという図式を少しでも減少する努力をされたい。
- ・ 今現在、住んでいる区民には住みやすく、そして「住みたい」と思われる町にして下さい。
- ・ 区は、区民の実態を、人任せにしないでしっかり捉えること。地元町会と地元区民とは、必ずしも考えは一致していない。
- ・ 子供たちが、大人を見て希望が持てるといいですね。
- ・ 結婚をして、こちらに住むようになりましたが、大変満足です。世界中の人々に、一度は訪ねたいと思わせる街作りをして下さい。
- ・ せっかく本区が持っている特有の観光・文化の振興にもっと力を入れるべきである。特色ある街づくりを行えば耳目が集まり、人が集まり景気がよくなり、又、それに対して人が集まる。それにより区民が区に誇りを持ち愛するようになれば、区を良くしていこうという動きも自発的に起こり、大きくなってゆくはずである。今でも比較的人の集まりやすい区ではあるが、それに甘えるべきではない。防犯面等、区民の不満はまだまだある。居住年数の短い区民には、なじみにくい面がある。大きな道路ばかりが多く、街に緑が少なく落ち着かない。
- ・ まだ越して来たばかりで、台東区についての知識があまりありませんが、都心に比べて人情も残っており、人の関わりがある地域だと感じています。だからこそ、人がいろんな事に協力的に取り組めると思っていますので、自身も含め、地域住民皆でいろんな事へのチャレンジをしていきたいと思えます。人が取り組む事への行政や区からの協力、支援がとても重要だと思います。
- ・ 浅草の治安は悪くないと思うが、女一人で歩くには物騒な土地もあり、一生住みたいとは思わない。また、住むだけで非常にお金がかかる場所でもある。そういった意味で住みやすい土地にしていなければ住民も増えるのではないのでしょうか？
- ・ 台東区に居住をして、まだ 10 ヶ月ぐらいですが、浅草橋は住みやすく、通勤に便利であり、休日は静かで気に入っています。神社も近くにたくさんあり、日本の良き文化に触れることができ、引越してよかったなと思っています。神社などをアピールして、台東区の良さを外部に宣伝して下さい！
- ・ 古いものを大事にすると同時に、新しい事への取組や、若い世代が安心して生活をし、活性化していくことが、区の発展につながると思います。
- ・ 働く貧困層には、行政も区政も何もしていない。仕事をしているのにも関わらず、生活保護水準以下の暮らしを送っている。努力も意欲もありながら、なぜ報われないのか。
- ・ 東京エリアにおける台東区の立地条件を最大限活かせる将来ビジョンを明示してほしい。
- ・ 銭湯の廃業が多くなっているのを、支援してあげて下さい。
- ・ 1年に1度位、区長、区議、区民を集めて座談会でも開いたらよいのではないのでしょうか？区を想う心は同じでしょうから、良い意見やすばらしいアイデアが聞けるかも知れませんね。
- ・ 高齢者が増えますが、若い人が住みやすく出来れば良いと思います。高齢者と若い人が協力できる接点が見つかれば良いと思います。

- ・ 子育てしていくには、決して良い区ではないと思う。学校の校庭はせまい。保育園の定員は少ない。家賃は高い。家族で遊べる大きな公園が少ない。あるにはあるが、ホームレスだらけで汚く、危険で、安心して遊べない。花火大会、動物園、博物館など良いものがたくさんあるのに残念だ。子供達が安心してのびのび遊べて、住宅がもっと安く手に入れば、定住者も増えると思うのだが・・・。
- ・ 住民税など税金が高い。台東区に住み続けたくても税金が高く、負担が大きい。区のスポーツ施設があんまりないので、もっと増やしてほしい。区だよりとかでも、お知らせはあるのかも知れないのでチェックしたいが、届かないので解らない。一軒ずつ配れなくても、駅とかに置いてあると便利な気がします。
- ・ 公共の仕事なので、効率優先ばかりでは困る。区民の自助努力は必要だが、区には、区民を守る意識を常に持ってほしい。財産、健康、環境、安全、まじめに生きていれば、これらを心配しなくても済むように、是非高い意識で政策を実行してほしい。
- ・ 子供達が安全で楽しめるプール、プラネタリウムや、自転車遊びの出来る場所などがあつたらと思います。家族が長く住める様に、家賃を安くしてほしい。
- ・ 若い人達が住み、子育て出来るように、安い住宅や保育園等を作ってほしい。また、高齢者も多いので、高齢者向けの施設や安い住宅を作ってほしい。子供や高齢者の人達が交流出来る緑のある公園や広場を作ってほしい。また、スーパーだけではなく、商店街を活性化してほしい。
- ・ 区施設の利用料金が高すぎる。

調查票

台東区 区民満足度調査

「台東区 区民満足度調査」へのご協力のお願い

皆さまには、日頃より区政にご協力いただきありがとうございます。

このたび「平成18年度 台東区 区民満足度調査」を実施することといたしました。

この調査は、子育て・教育、文化の充実、健康と福祉、産業振興など、区のさまざまな取り組みについて、皆さまのお考えをお聞きするものです。

調査の実施にあたりましては、区内にお住まいの満20歳以上の方から無作為に1,000名を選ばせていただきました。

調査結果はすべて個人が特定できないよう統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。是非率直なご意見をお聞かせください。

つきましては、区の職員及び区が委託する(株)サーベイリサーチセンターの調査員が7月27日から8月25日の間に訪問いたしますので、ご記入された調査票を直接お渡しください。

これによって、今後の区の取り組みを、より一層充実してまいりたいと存じますので、お忙しいところまことに恐縮ですが、お答えいただきますようお願い申し上げます。

平成18年7月

台東区長

ご回答にあたって

1. ご回答は、宛名にある**ご本人様**にお願いいたします。
2. ご回答は **網掛け部分** の説明をお読みの上、所定の欄内の数字に をつけてください。
3. ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
4. ご記入いただきましたら、訪問させていただき調査員に直接お渡しください。
5. ご不明な点など、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<調査主体> 台東区 企画財政部企画課 東京都台東区東上野4 5 6
電話：03-5246-1013(直通) 担当者 池島、遠藤

調査の具体的な問合せは、下記までお願いします。

<委託先> (株)サーベイリサーチセンター 東京都荒川区西日暮里2 40 10
電話：0120-227-244(フリーダイヤル)
担当者 中岡、道端

産業を振興するための取り組み

台東区には、さまざまな産業が集まっています。上野、浅草など、大きな商業地があります。しかし、小さな会社や商店が多く、景気などの影響を受けやすい面があります。

区では、中小企業への融資や相談などの経営への支援、地場産業や商店街の振興など、産業全体の活性化に取り組んでいます。

問1 産業の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

中小企業への融資あっせん額は256億円(16年度)で、23区第一です。

小学校跡地に、デザイナーの育成や新しいものづくりのために、「台東デザイナーズビレッジ」を作りました。

17年度は、浅草の伝法院通り商店街を、江戸の街並みに景観を整備しました。

若い人の就職支援や、後継者の育成に努めています。

問2 産業の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問3 産業の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

産業振興の取り組み	大切である (は3つまで)
1. 中小企業への融資や相談	1
2. 新しく会社を始めようとする人たちへの支援	2
3. 新しい商品を開発したりPRすることへの支援	3
4. 就労・就職への支援	4
5. 後継者の育成	5
6. 商店街の振興	6
7. 他の商業地域との連携	7
8. その他()	8

観光を振興するための取り組み

台東区には、上野、浅草という、全国的な観光地があり、さまざまな行事などで年間3,300万人を超える人たちが訪れています。

また、史跡や博物館、芸能など、豊かな観光資源があります。

この特徴を活かして、より魅力のあるまちにするため、観光コースの整備や、観光案内の充実、おもてなし運動などに取り組んでいます。

問4 観光の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区的主要な取り組みは、

観光資源を、史跡や寺社、グルメ、ショッピングなどテーマ別に観光コースとして整え、パンフレットを作り提供しています。

雷門前の文化観光センターや上野の観光案内所で、観光案内を行っています。

歴史的、文化的な街並み景観の整備に努めています。

うえの夏まつり、隅田川花火大会などを支援しています。

問5 観光の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問6 観光の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

観光の振興の取り組み	大切である (は3つまで)
1. 国内、国外へのPRの拡大	1
2. 歴史的、文化的な街並み景観の整備	2
3. 区内の観光スポットを巡るコースの整備	3
4. 外国人のための案内、ガイドなどの整備	4
5. 観光客への、区民全体でのおもてなし運動の推進	5
6. 本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用	6
7. その他()	7

文化を振興するための取り組み

台東区には、数多くの史跡や芸術、芸能など、豊かな文化資源があります。

この特徴を活かして、より豊かな生活を創っていくため、伝統的な文化の保存、新しい文化の創造、芸術家と区民の創作活動の振興などに取り組んでいます。

問7 文化の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

樋口一葉の一葉記念館を改築しています(今年11月に落成します)。

台東区の豊かな文化を広く国内外に知っていただくため、テレビや映画のロケを誘致する「フィルム・コミッション」を運営しています。

区役所1階に、区民の方に美術品を楽しんでいただけるよう、ミニ美術館(台東アートギャラリー)を設けました。東京藝術大学学生の卒業作品の中で優れたものなどを展示しています。

問8 文化の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問9 文化の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

文化の振興の取り組み	大切である (は3つまで)
1.文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存	1
2.旧町名の活用	2
3.区民が文化を学べる講座などの充実	3
4.若手芸術家、芸能家への支援	4
5.国内国外への、台東区の文化のPR	5
6.伝統的な街並みの保存、景観の向上	6
7.その他()	7

まちづくりのための取り組み

台東区は、地域ごとにまちの個性があります。

その個性を活かしたまちづくりを推進するため、台東区は、交通、土地利用などの基盤整備、街並み景観の保存、住まいの環境整備やマンション対策、防災・防犯の強化などに取り組んでいます。

問 10 まちづくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

御徒町駅前広場の整備、上野広小路地下駐車場の建設、浅草まちづくりの推進、循環バスめぐりの運行などに力を入れています。

「景観まちづくり条例」による、調和のとれた潤いのある街並みをつくっていきます。

ファミリー世帯への家賃支援やマイホーム取得の支援を行っています。

隅田公園を、梅やアジサイなど、花の名所にしていきます。

問 11 まちづくりへの区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 12 まちづくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

まちづくりの取り組み	大切である (は3つまで)
1. 街並み、景観の整備	1
2. 地域の人を中心になった まちづくり協議会の振興	2
3. マンション対策	3
4. まちの防災性の向上や災害対策の充実	4
5. 防犯活動の支援	5
6. 放置自転車対策	6
7. 駐車場の整備	7
8. 住宅取得の支援	8
9. 公園、緑の整備	9
10. その他 ()	10

環境対策のための取り組み

台東区には、上野公園、隅田川など自然的な環境があります。

一方、ごみ減量、リサイクル、地球温暖化対策など、環境問題への取り組みが強く求められています。

そのため、区では、水と緑の保全など、うるおいのある生活環境づくりと、生活様式の見直しなど、環境に配慮した社会づくりに取り組んでいます。

問 13 環境対策についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区的主要な取り組みは、

ごみ収集や資源回収の方法の改善、事業所へのごみ排出指導などに力を入れています。

リサイクルプラザを新たに(仮称)エコプラザに改め、環境学習の拠点としていきます。

小学校での環境学習に力を入れています。

地球温暖化対策のため、省エネルギーの普及などに取り組んでいます。

問 14 環境対策への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5



区役所屋上緑化モデルガーデン

問 15 環境対策のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

環境対策の取り組み	大切である (は3つまで)
1.騒音、振動などの公害防止の指導	1
2.公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備	2
3.まちの清掃などの美化活動	3
4.ごみ減量のための取り組み	4
5.リサイクルの推進	5
6.省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化や ヒートアイランド対策	6
7.環境について学べる講座などの充実	7
8.環境に配慮した日常生活ができるような支援	8
9.その他 ()	9

問 16 あなたは、電気の節約などの省エネルギーや集団回収などのリサイクル、緑の保全など、環境に配慮した行動に取り組まれていますか。

(1つだけ をおつけください)

積極的に取り 組んでいる	比較的取り 組んでいる	普通である	あまり取り 組んでいない	取り組んで いない
1	2	3	4	5

生涯学習のための取り組み

区民の一人ひとりが、心の豊かさや生きがいを、自分にあったかたちで実現していくことや、学習の成果を地域での交流やさまざまな課題解決に活かしていくことが大切です。

また、地域の課題の解決のため、さまざまな活動が行われています。

区では、区民のさまざまな学習ニーズに応えるため、生涯学習センター、図書館などの整備、多様な講座などの学ぶ機会の充実に取り組んでいます。

問 17 生涯学習についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

生涯学習センター(西浅草3-25)は生涯学習の拠点として、その中にある中央図書館を含めて、年間入館者数は120万人を超えています。

蔵前小学校の中に、近所の人や子どもたちのための「まちかど図書館」を整備するなど、気軽に読書できる環境づくりをしています。

旧柳北小学校を活用して「柳北スポーツプラザ」をつくるなど、スポーツ環境の整備に努めています。

問 18 生涯学習への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5



学習支援ボランティア事業

問 19 生涯学習のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで をおつけください)

生涯学習のための取り組み	大切である (は3つまで)
1.生涯学習のための講座等の充実	1
2.家庭教育のための支援	2
3.図書館などの充実	3
4.地域のスポーツ活動への支援	4
5.スポーツ施設の充実	5
6.学習・スポーツに関する情報提供や相談	6
7.その他 ()	7

問 20 あなたは、生涯学習に取り組まれていますか。(1つだけ をおつけください)

積極的に取り組んでいる	比較的取り組んでいる	普通である	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
1	2	3	4	5

問 21 あなたは、スポーツをしていますか。(1つだけ をおつけください)

ほぼ毎日スポーツをしている	週に2～3回スポーツをしている	週1回程度、スポーツをしている	月に1～3回スポーツをしている	スポーツはしていない
1	2	3	4	5

健康づくりのための取り組み

すべての区民が、それぞれに、健康を維持し、いきいきとした日常生活を送ることが大切です。そのため、区では、誰もが生涯を通じて心と体の健康づくりに取り組めるように、生活習慣病の予防、親子の健康づくり、介護の予防、地域の健康づくり活動などを支援しています。

問 22 健康づくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

すべての区民が、生涯にわたって健康づくりに取り組めるよう、区民の活動を支援しています。

介護が必要な状態にならないよう予防する取り組みを進めています。

生活習慣病の予防のため、区民が、健康診査や健康相談を受けたり、かかりつけ医（歯科医、薬局）を持つことに力を入れています。

（仮称）新台東病院(千束3-20)を建設しています。平成21年4月開設予定です。

問 23 健康づくりのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 24 健康づくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

健康づくりの取り組み	大切である (は3つまで)
1. 各種の健康診断	1
2. 生活習慣病の予防のための相談、学習	2
3. 育児相談、指導	3
4. 高齢者の健康づくり教室	4
5. 介護が必要にならないような取り組み	5
6. 地域での、区民の健康づくり活動への支援	6
7. かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ	7
8. 病院などを整備する	8
9. その他 ()	9

福祉のための取り組み

高齢の方、障害のある方など、すべての区民が、住みなれた地域で、安心して日常生活を送れることが大切です。

そのため、区では、総合的な相談の充実、在宅サービスや施設サービスの質と量の確保、地域の支えあいの活動への支援などを行っています。

問 25 福祉についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

特別養護老人ホーム、老人保健施設の整備に取り組んでいます。

障害者の自立のため、就労支援など、さまざまな支援を行っています。

地域の協力をいただき、ひとり暮らし高齢者等を見守る「地域見守りネットワーク」の拡充に力を入れています。

自分に合った質の高い在宅サービスを選べるよう、相談などの充実に努めています。

問 26 福祉のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 27 福祉のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

福祉のための取り組み	大切である は3つまで)
1. 高齢者のための総合的な相談と支援の充実	1
2. 障害者への総合的な相談と支援の充実	2
3. ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実	3
4. 特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実	4
5. 高齢者や障害者の住まいの確保	5
6. 地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり	6
7. ボランティア活動への支援	7
8. その他()	8

子育てのための取り組み

少子化が進行する中、家庭や地域での子育てを積極的に支援していくことが大切です。

そのため、区では、若い世代の育児不安の解消、地域での子育て支援、保育園の整備、子どもの医療費の助成などを行っています。

問 28 子育てについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

乳幼児から中学三年生まで、医療費を無料にしています。

夜間や休日の子どもの診療を実施しています(永寿総合病院内)。

一時保育や病後児保育など、保育サービスを充実しています。

二ヶ所目の子ども家庭支援センター(総合的な子育て相談などを行います)を、今年の夏に、旧田中小学校跡地に開設します。

子育て中の人を、地域で支援する「ファミリー・サポート・センター」に力を入れています。会員が千人を超えました。

問 29 子育てのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 30 子育てのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

子育てのための取り組み	大切である (は3つまで)
1.若い世代向けの子育て講座の充実	1
2.一時的に子どもを預かるサービスの拡大	2
3.保育園の整備	3
4.子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実	4
5.子どもの医療費の助成	5
6.夜間や休日の子どもの診療	6
7.子どもの安全の確保	7
8.その他()	8

問 31 あなたは、現在、子育てをしていますか。

(1つだけ をおつけください)

現在、子育て中	今は行っていないが 過去に経験がある	していない
1	2	3

問 32 子育てに自信を持っていますか。

(1つだけ をおつけください)

自信を持って いる	大体、自信を 持っている	特に意識した ことはない	たまに、自信 を持ってないこ とがある	たびたび、自 信を持ってない ことがある
1	2	3	4	5



子ども家庭支援センター

教育のための取り組み

子どもたちが、こころざしを抱き、夢や希望をもち、これからの時代を自らの力でたくましく生きることのできる教育が大切です。

そのため、区では、基礎学力の向上、心と体の育成、学校施設の整備、学校と家庭・地域との連携などを行っています。

問 33 教育についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

学校教育の充実に力を入れています。また、土曜スクールを実施するなど、児童生徒の基礎学力の向上に努めています。

幼稚園と保育園の連携など、幼児教育の充実を図っていきます。

学校、家庭、地域が一体となって、「下町台東の美しい心づくり運動」を実施し、心の教育を推進しています。

学校の教室にエアコンを整備するなど、教育環境整備に努めています。

問 34 教育のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 35 教育のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

教育の取り組み	大切である (は3つまで)
1. 学校教育の充実、教員の資質の向上	1
2. 幼児教育の充実	2
3. あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進	3
4. 学校施設の整備	4
5. 学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり	5
6. 児童の安全の確保	6
7. 不登校児童対策	7
8. その他 ()	8

パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み

本区は、支えあいの地域性があり、地域での活動が盛んです。また、社会では、ボランティアやNPO(非営利の社会貢献活動団体)の活動が増加しています。

地域の課題の解決のため、区民一人ひとりと、区、企業などが協力関係を深めていくことが大切で、そのため、区では、区政やまちづくり活動への参加の拡大、NPOなどとの協働の促進などに取り組んでいます。

問 36 パートナーシップ(区民と区との協力関係)についてどの程度重要だと思いますか。
(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

NPOの活動を支援するための組織づくりを進めています。

区民が行政に参画できる仕組みを検討しています。

問 37 パートナーシップのための区の取り組みについて満足していますか。
(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 38 パートナーシップのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまでをおつけください)

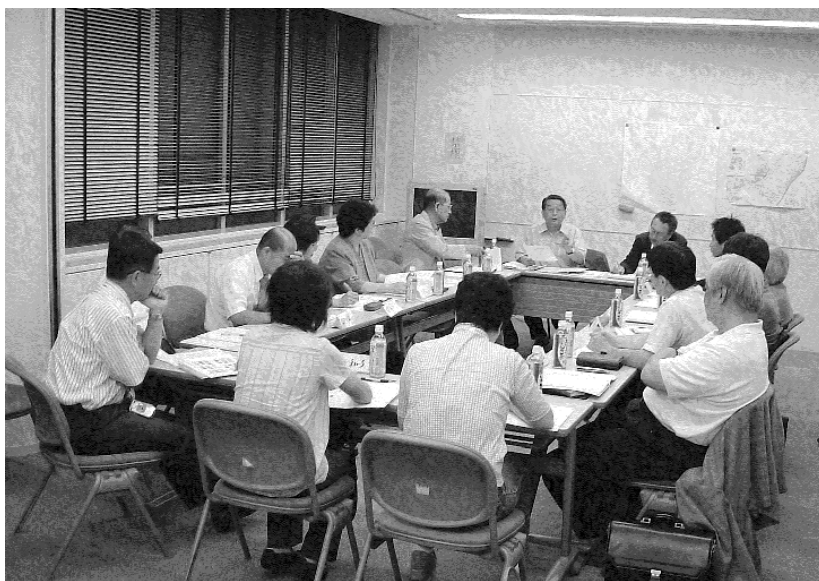
パートナーシップのための取り組み	大切である (は3つまで)
1. 区民が、区の施設の窓口事務など、行政の一部を担える 仕組みづくり	1
2. 男女共同参画の推進	2
3. NPOへの支援	3
4. 国内外の都市との協力や交流の促進	4
5. 国際交流の促進	5
6. その他()	6

問 39 あなたは、地域の活動(町会やPTAなど)をしていますか、または、
今後、活動するお考えがありますか。(1つだけをおつけください)

現在、活動している	現在は活動していないが、機会があれば参加する	現在、活動しておらず、今後活動するか分からない	現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない
1	2	3	4

問 40 あなたは、ボランティアやNPO活動をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。 (1つだけをおつけください)

現在、活動している	現在は活動していないが、機会があれば参加する	現在、活動しておらず、今後活動するか分からない	現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない
1	2	3	4



区民ワークショップ (基本構想)

行政経営のための取り組み

国全体で行政改革が進められています。本区も行政改革を進めてきました。今後、区民に満足していただける行政サービスを提供していくためには、限られた財源や人員を、より効果的・効率的に活かしていく行政が必要です。そのため、区では、施策や事業の不断の見直し、健全な財政の推進、職員数の削減、そして行政の外部からのチェックなど、行政経営の取り組みを進めています。

問 41 行政経営についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけをおつけください)

重要である	比較的 重要である	普通	あまり重要 ではない	重要ではない
1	2	3	4	5

本区の主な取り組みは、

区のすべての施策・事業について、毎年、評価を行い、必要性の薄れた施策・事業は、より効果的なものへと見直しを行っています。

経費の縮減に努め、健全な財政の維持に努めています。

職員数を削減しています。平成12年度から17年度までで定員の11%、197名を削減しました。

区を外側から評価してもらうための委員会、懇談会を設けました。

問 42 行政経営のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけをおつけください)

満足である	比較的 満足である	普通	あまり満足 ではない	満足ではない
1	2	3	4	5

問 43 行政経営のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまでをおつけください)

行政経営のための取り組み	大切である (は3つまで)
1. 施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み	1
2. 外部から行政をチェックすること	2
3. 区の事業で、可能なものは民間に任せること	3
4. 財政の健全性を維持すること	4
5. さまざまな手段で収入を確保すること	5
6. 職員数を削減し、組織の大きさを適正に保つこと	6
7. その他()	7

施策の優先順位について

最後に、あらためて、全体を通して、今後、区が力を入れていくべきとお考えの施策について、優先順位をお伺いします。

問 44 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策を第1位から第3位まで選んで、数字を下の欄内にご記入ください。

<p>1. 産業の振興</p> <p>2. 観光の振興</p> <p>3. 文化の振興</p> <p>4. 都市開発</p> <p>5. 道路・交通の整備</p> <p>6. 公園・緑の整備</p> <p>7. 定住促進・住宅対策</p> <p>8. 防災対策</p> <p>9. 治安対策</p> <p>10. 環境・公害対策</p> <p>11. 清掃・リサイクル</p> <p>12. 生涯学習の推進</p>	<p>13. スポーツの推進</p> <p>14. 健康・医療</p> <p>15. 高齢者福祉</p> <p>16. 障害者福祉</p> <p>17. 保育・子育て</p> <p>18. 教育</p> <p>19. パートナーシップ（区民と区との協力関係）</p> <p>20. 行政経営（施策・事業や財政、職員数の見直し等）</p> <p>21. その他 （ ）</p>
---	---

【記入例】

第1位	3	第2位	9	第3位	15
-----	---	-----	---	-----	----

【あなたの優先順位】

第1位		第2位		第3位	
-----	--	-----	--	-----	--

あなたご自身についてお伺いします

(お答えを、統計的に分類するためのものです。お名前の記入はありません。また、個人情報管理には細心の注意を払い、決して、区の施策の充実以外の用途には用いません)

F 1 あなたの性別をお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 男性	2 . 女性
--------	--------

F 2 あなたの年齢をお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 20～24 歳	5 . 40～44 歳	9 . 60～64 歳
2 . 25～29 歳	6 . 45～49 歳	10 . 65～69 歳
3 . 30～34 歳	7 . 50～54 歳	11 . 70～74 歳
4 . 35～39 歳	8 . 55～59 歳	12 . 75 歳以上

F 3 あなたの現在のご職業をお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 会社員・公務員	5 . 学生
2 . 自営業・自由業	6 . アルバイト・パート
3 . 会社経営者	7 . 無職
4 . 家事専業	8 . その他 ()

F 4 あなたは同居者がいますか。(1つだけ をつけてください)

1 . いる	2 . いない
--------	---------

(F 4で「1.いる」とお答えの方にお聞きします)

F 5 同居者の中に次ア～ウの方はいますか。(それぞれ1つずつ をつけてください)

	いる	いない
ア) 配偶者	1	2
イ) 小学校入学前のお子さん	1	2
ウ) 小・中学生	1	2
エ) 65 歳以上の方	1	2

F 6 本区での居住年数をお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 1年未満	4 . 11～15年
2 . 1～5年	5 . 16～20年
3 . 6～10年	6 . 21年以上

F 7 お住まいについてお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 一戸建て持家	5 . 公営住宅
2 . 分譲マンション	6 . 社宅等
3 . 一戸建て借家	7 . 同居、間借り
4 . 賃貸アパート・マンション	8 . その他()

F 8 本区に住むことについてお伺いします。(1つだけ をつけてください)

1 . 住み続けるつもりである	4 . 移転するつもりである
2 . できれば住み続けたい	5 . 分からない
3 . できれば移転したい	

問 45 最後に、区政全般について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

ご協力、まことにありがとうございました。

ご記入いただきました用紙は、7月27日から8月25日までのあいだに調査員が回収にまいりますので、お渡しください

平成 19 年 3 月発行

台東区 区民満足度調査

編集・発行 / 台東区 企画財政部企画課
〒110-8615 東京都台東区東上野 4 - 5 - 6
電話 03 (5246) 1013
集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電話 03 (3802) 6724